

みらい創造都市 とよなか

あした
～明日がもっと楽しみなまち～

第4次豊中市総合計画
事務事業評価
(2022年度実施予定分)



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030



目次

事務事業評価の概要	1
（1）事務事業評価とは	1
（2）評価方法	1
（3）結果の活用	1
（4）第4次豊中市総合計画前期基本計画の施策体系	2
（5）計画の進め方	2
（6）令和4年度事務事業の取組み	2
1. 体系別評価	3
第1章 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり	7
1-1 子育て支援の充実	8
1-2 保育・教育の充実	40
1-3 子ども・若者支援の充実	97
第2章 安全に安心して暮らせるまちづくり	118
2-1 自立生活支援の充実	119
2-2 保健・医療の充実	184
2-3 消防・救急救命体制の充実	222
2-4 暮らしの安全対策の充実	286
第3章 活力ある快適なまちづくり	307
3-1 快適な都市環境の保全・創造	308
3-2 低炭素・循環型社会の構築	340
3-3 都市基盤の充実	357
3-4 魅力的な住環境の形成	393
3-5 産業振興の充実	423
第4章 いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり	428
4-1 共に生きる平和なまちづくり	429
4-2 市民文化の創造	440
4-3 健康と生きがいづくりの推進	451
第5章 施策推進に向けた取組み	470
5-1 情報共有・参画・協働に基づくまちづくり	471
5-2 持続可能な行財政運営の推進	503
リーディングプロジェクト 南部活性化プロジェクト	601

事務事業評価の概要

(1) 事務事業評価とは

総合計画に基づく行政評価制度の評価方法の一つです。前年度に実施した事務事業を対象に、担当課において手段や資源配分等の観点から事務事業をふりかえり、その後の事業に反映していくしくみです。

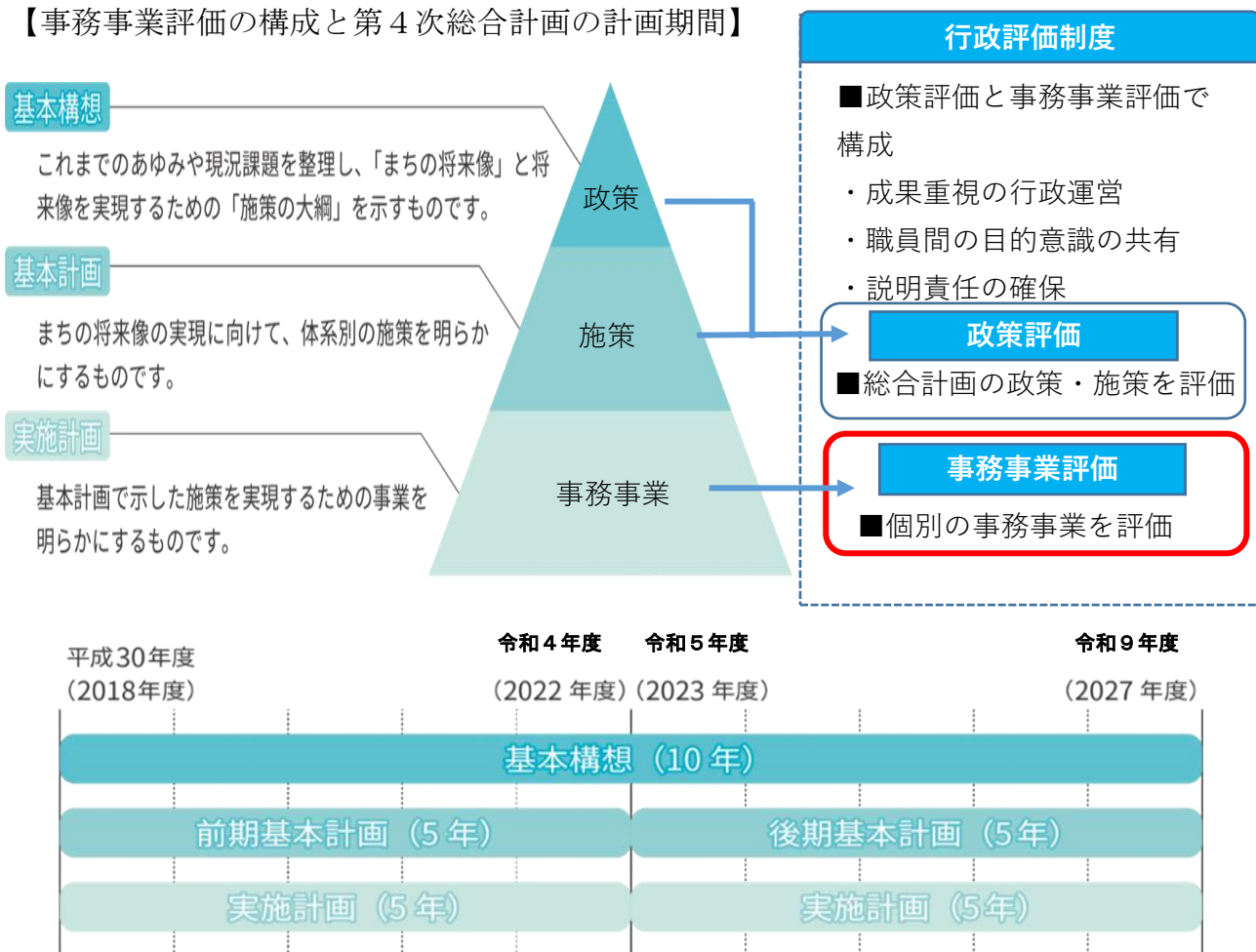
(2) 評価方法

事務事業評価では、事務事業それぞれの活動量を定量的に分析するとともに、成果や課題、今後の方向性について多面的に評価します。

(3) 結果の活用

事務事業評価の結果については、予算や組織等、行政運営に関する既存の諸制度と関連付けながら活用します。

【事務事業評価の構成と第4次総合計画の計画期間】



(4) 第4次豊中市総合計画前期基本計画の施策体系



(5) 計画の進め方

基本構想の「まちの将来像の実現に向けた基本的考え方」のもと、各施策の連携を図りながら計画を進めます。

また、成果重視の行政運営を進めるとともに、施策の説明責任を図るために、各施策における取組みにおいて、統計データやアンケート結果などの客観的な指標を活用し施策の進捗状況を管理します。



(6) 令和4年度事務事業の取組み

評価対象となる278事業（うち継続248、新規7、拡充23）の取組みの概要は以下のとおりです。なお、各事務事業の評価内容については、令和4年度事業評価シートをご覧ください。



体系別評価

<表の見方>

施策の名称と内容を示しています。

1-1 子育て支援の充実

地域のなかで、まわりの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)産前・産後の切れめのない支援を進めます	2事業
①産前からの正しい知識習得の環境づくり	
②産後ケアの充実	
③妊産婦や乳幼児の健康を確保するためのさまざまな機会の充実	
母子保健事業	健康医療部 母子保健課
訪問型子育て支援	こども未来部 こども相談課
(2)安心して子育てができるよう支援します	10事業
①子育てと仕事の両立の推進口	
②ひとり親家庭への支援	
子ども施策の総合的な推進(母子保健課)	健康医療部 母子保健課
学校図書館事業	教育委員会 読書振興課
保育所・障害児通所施設等の整備・認可・指定等事務	こども未来部 こども政策課
子ども施策の総合的な推進	こども未来部 こども政策課
多様な子育て支援の充実(こども事業課)	こども未来部 こども事業課
ひとり親家庭等支援	こども未来部 子育て給付課
多様な子育て支援の充実(子育て給付課)	こども未来部 子育て給付課
母子父子福祉センター運営管理	こども未来部 子育て給付課
多様な子育て支援の充実(こども相談課)	こども未来部 こども相談課
子ども施策の総合的な推進(こども相談課)	こども未来部 こども相談課

施策の方向性とそれに伴う主な取組みを示しています。また、施策の方向性に関する主な事務事業数・事務事業とその担当課を掲載しています。

<表の見方>

事業の名称、施策の方向性などを示しています。

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	母子保健事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)産前・産後の切れめのない支援を進めます	総合計画掲載ページ	44
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課	340100 健康政策課 341000 保健予防課 360100 こども政策課 360500 こども事業課 361500 こども相談課 362000 子育て給付課		

事業概要

○安心して妊娠・出産にのぞみ、すこやかな生活のできるまちをめざし、関係機関・団体及び関係部局と連携し、妊娠・出産・子育ての切れめのない支援体制の充実・強化により、妊娠・産婦・乳幼児の健康増進に取り組みます。
 ○子どもの健やかな心身の発達促進のため、保健医療の強化と妊産婦支援に取り組みます。
 ○虐待発生予防のため、ポピュレーションアプローチとハイリスク者支援に取り組みます。
 ○ニーズに沿った利用者支援目線の相談体制を充実します。
 ○母子医療費助成事業の確実な実施と相談支援を強化します。

当該年度の実績

○母子健康手帳交付、重層的支援体制整備（母子保健課）
 妊娠届の受理、母子健康手帳の交付、専門職の全数面接による支援プラン作成
 ○妊産婦健康診査
 妊婦健康診査14回分（多胎は5回分追加）、産婦健康診査2回分の費用助成と事後フォロー
 ○乳幼児健康診査、二次健診
 新生児聴覚検査、乳児（一般・後期）、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診の実施と事後フォロー
 ○公害健康被害予防事業
 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診におけるアレルギースクリーニング
 アレルギーに関する情報提供、相談対応
 ○健康教育（母子保健）、食育関連事業
 妊娠・出産・子育てに関する保健・食育情報の提供
 WEBと集合型を活用した講座開催
 ○相談（母子保健）、訪問指導事業（母子保健）
 妊娠・出産・子育てに関する相談支援
 【拡充】産後ケア事業（「10時～17時」→「10時～19時」、12か所→16か所）
 【新規】不妊症・不育症オンライン専門相談（10月～）
 妊産婦、新生児、小児慢性特定疾病児、高度医療児等への訪問による支援
 ○【新規】出産応援金給付及び伴走型相談支援の実施（予算はこども相談課で計上）
 ○医療費助成
 ・小児慢性特定疾病医療費助成事業、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業、不育症医療費助成事業
 ・【新規】不妊治療等支援事業（9月～申請受付開始）

今年度の取り組み内容とその実績について示しています。新規・拡充した内容についてはその内容を示しています。

当該年度の成果・課題
 解決できた課題・今後の方向性

○妊娠届出時全数面接を継続し、支援プランのリスク分類に基づいた早期からの支援を行いました。また、医療機関や児童福祉等関係機関と連携し、多職種が専門性を活かした切れめのない支援を実施し、安心・安全な出産育児につなげることができました。
 ○令和5年4月に開設されるはぐみセンターにおいて、母子保健・児童福祉、障害児支援、教育も含めた包括的な支援体制を構築し、合同会議やサポートプランの作成を行い、必要に応じた支援の提供につなげます。
 ○妊婦健康診査の助成回数拡充、流産や死産を経験した方へのグリーンケアなど、さらなる支援に取り組みます。
 ○乳幼児健診の受診率向上及び未受診者の全数把握を行い、必要な支援につなぐことができました。今後、3歳6か月児健診における屈折検査の導入に取り組みます。
 ○産後ケア事業の利用時間の拡充及び利用施設の拡充を行い、支援を必要とする産婦の育児不安の解消に資することができました。今後、利用率の拡充やより安全な実施体制の充実等に取り組みます。
 ○小児慢性特定疾病、未熟児養育医療、不妊症治療等・不育症治療等の費用助成について、円滑な医療費助成を実施し、対象者の経済的な負担軽減につなげることができました。また、医療職による相談支援を推進しました。

今年度の成果や課題、次年度以降の事業の方向性について示しています。

【関連データ】

目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年	
1	目標	妊娠届が満11週までに提出される割合	地域保健報告	%	97.8	97.8	97.6	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	満11週までの妊娠届出数/妊娠届出数							
2	目標	妊娠出産について満足している者の割合	健やか親子21	%	77.2	79.4	80.2	数値	80%
	考え方、定義、算出方法など	4か月児健診時の健やか親子21アンケート分析より							
3	目標	健康診査受診率（4か月児）	担当課調査	%	95.2	97.1	97	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	受診児数/対象児数							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

取組みに関連する指標を目標値や参考地として設定し、定量的に達成状況をできるように記載しています。

<表の見方>

事業実施の根拠となる法令や計画等について示しています。

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令・計画等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、地域保健法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	妊婦健康診査実施要綱、産婦健康診査実施要綱、新生児聴覚検査事業実施要綱、乳幼児健康診査実施要綱ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	847,278	人件費（参考）	206,819
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△379	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	846,899	国・府支出金	158,721
	決算額	754,694	地方債	0
	残額	92,205	財源内訳の その他 特定財源	18,551
	執行歩合	89.11%	一般財源	577,422

予算・決算額とその内訳について記載しています。

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
妊産婦健康診査【継続】	353,532	14,888	0	338,644	01	母子保健費
乳幼児健康診査【継続】	82,160	0	0	82,160	01	母子保健費
二次健診【継続】	4,259	0	0	4,259	01	母子保健費
母子健康手帳交付事業【継続】	825	0	0	825	01	母子保健費
健康教育（母子保健）【継続】	2,322	435	0	1,887	01	母子保健費
相談（母子保健）【拡充】	17,628	8,053	0	9,575	01	母子保健費
訪問指導事業（母子保健）【継続】	8,315	2,616	0	5,699	01	母子保健費
公営健康被害予防事業【継続】	13,040	0	0	6	01	公営保健福祉及び予防
小児慢性特定疾病医療費助成事業【継続】	150,854	74,365	0	76,489	01	母子保健費
未熟児養育医療給付事業【継続】	20,772	10,839	0	4,416	01	母子保健費
結核児童療育給付事業【継続】	0	0	0	0	01	母子保健費
不妊に悩む方への特定治療支援事業【継続】	80,065	40,032	0	40,033	01	母子保健費
食育関連事業【継続】	351	0	0	351	01	母子保健費
重層的支援体制整備事業（母子保健課）【継続】	8,131	6,775	0	1,356	01	社会福祉総務費
不育症医療費助成事業【継続】	718	718	0	0	01	母子保健費
不妊治療等支援事業【新規】	11,722	0	0	11,722	01	母子保健費

事務事業に紐づく予算管理事業の一覧と、それぞれの決算額等について記載しています。



第 1 章



1-1 子育て支援の充実

地域のなかで、まわりの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取り組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)産前・産後の切れめない支援を進めます	2事業
①産前からの正しい知識習得の環境づくり	
②産後ケアの充実	
③妊産婦や乳幼児の健康を確保するためのさまざまな機会の充実	
母子保健事業	健康医療部 母子保健課
訪問型子育て支援	こども未来部 こども相談課
(2)安心して子育てができるよう支援します	10事業
①子育てと仕事の両立の推進	
②ひとり親家庭への支援	
子ども施策の総合的な推進(母子保健課)	健康医療部 母子保健課
学校図書館事業	教育委員会 読書振興課
保育所・障害児通所施設等の整備・認可・指定等事務	こども未来部 こども政策課
子ども施策の総合的な推進	こども未来部 こども政策課
多様な子育て支援の充実(こども事業課)	こども未来部 こども事業課
ひとり親家庭等支援	こども未来部 子育て給付課
多様な子育て支援の充実(子育て給付課)	こども未来部 子育て給付課
母子父子福祉センター運営管理	こども未来部 子育て給付課
多様な子育て支援の充実(こども相談課)	こども未来部 こども相談課
子ども施策の総合的な推進(こども相談課)	こども未来部 こども相談課

(3)地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます	2事業
①親子の居場所づくり	
②妊産婦や乳幼児期の親子が外出しやすい環境づくり	
③地域での子育て環境づくり	
子育て支援センター運営管理及び地域子育て支援の推進	健康医療部 母子保健課
地域子育て支援の推進(こども事業課)	こども未来部 こども相談課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	母子保健事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)産前・産後の切れめのない支援を進めます	総計計画掲載ページ	44
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課	340100 健康政策課 341000 保健予防課 360100 こども政策課 360500 こども事業課 361500 こども相談課 362000 子育て給付課		

事業概要	<p>○安心して妊娠・出産にのぞみ、すこやかな生活のできるまちをめざし、関係機関・団体及び関係部局と連携し、妊娠・出産・子育ての切れめのない支援体制の充実・強化により、妊産婦・乳幼児の健康増進に取り組みます。</p> <p>○子どもの健やかな心身の発達促進のため、保健医療の強化と妊産婦支援に取り組みます。</p> <p>○虐待発生予防のため、ポピュレーションアプローチとハイリスク者支援に取り組みます。</p> <p>○ニーズに沿った利用者支援目線の相談体制を充実します。</p> <p>○母子医療費助成事業の確実な実施と相談支援を強化します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○母子健康手帳交付、重層的支援体制整備（母子保健課） 妊娠届の受理、母子健康手帳の交付、専門職の全数面接による支援プラン作成</p> <p>○妊産婦健康診査 妊婦健康診査14回分（多胎は5回分追加）、産婦健康診査2回分の費用助成と事後フォロー</p> <p>○乳幼児健康診査、二次健診 新生児聴覚検査、乳児（一般・後期）、4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診の実施と事後フォロー</p> <p>○公害健康被害予防事業 4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診におけるアレルギースクリーニング アレルギーに関する情報提供、相談対応</p> <p>○健康教育（母子保健）、食育関連事業 妊娠・出産・子育てに関する保健・食育情報の提供 WEBと集合型を活用した講座開催</p> <p>○相談（母子保健）、訪問指導事業（母子保健） 妊娠・出産・子育てに関する相談支援 【拡充】産後ケア事業（「10時～17時」→「10時～19時」、12か所→16か所） 【新規】不妊症・不育症オンライン専門相談（10月～） 妊産婦、新生児、小児慢性特定疾病児、高度医療児等への訪問による支援</p> <p>○【新規】出産応援金給付及び伴走型相談支援の実施（予算はこども相談課で計上）</p> <p>○医療費助成 ・小児慢性特定疾病医療費助成事業、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業、不育症医療費助成事業 ・【新規】不妊治療等支援事業（9月～申請受付開始）</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○妊娠届出時全数面接を継続し、支援プランのリスク分類に基づいた早期からの支援を行いました。また、医療機関や児童福祉等関係機関と連携し、多職種が専門性を活かした切れめのない支援を実施し、安心・安全な出産育児につなげることができました。</p> <p>○令和5年4月に開設されるはぐくみセンターにおいて、母子保健・児童福祉、障害児支援、教育も含めた包括的な支援体制を構築し、合同会議やサポートプランの作成を行い、必要に応じた支援の提供につなげます。</p> <p>○妊婦健康診査の助成回数拡充、流産や死産を経験した方へのグリーンケアなど、さらなる支援に取り組みます。</p> <p>○乳幼児健診の受診率向上及び未受診者の全数把握を行い、必要な支援につなぐことができました。今後、3歳6か月児健診における屈折検査の導入に取り組みます。</p> <p>○産後ケア事業の利用時間の拡充及び利用施設の拡充を行い、支援を必要とする産婦の育児不安の解消に資することができました。今後、利用枠の拡充やより安全な実施体制の充実等に取り組みます。</p> <p>○小児慢性特定疾病、未熟児養育医療、不妊症治療等・不育症治療等の費用助成について、円滑な医療費助成を実施し、対象者の経済的な負担軽減につなげることができました。また、医療職による相談支援を推進しました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	100%
1	目標	妊娠届が満11週までに提出される割合	地域保健報告	%	97.8	97.8	97.6	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	満11週までの妊娠届出数/妊娠届出数							
2	目標	妊娠出産について満足している者の割合	健やか親子21	%	77.2	79.4	80.2	数値	80%
	考え方、定義、算出方法など	4か月児健診時の健やか親子21アンケート分析より							
3	目標	健康診査受診率（4か月児）	担当課調査	%	95.2	97.1	97	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	受診児数/対象児数							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、地域保健法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	妊婦健康診査実施要綱、産婦健康診査実施要綱、新生児聴覚検査事業実施要綱、乳幼児健康診査実施要綱ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	847,278	人件費（参考）	206,819	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△379	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	846,899	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	158,721
	決算額	754,694		地方債	0
	残額	92,205		その他 特定財源	18,551
	執行歩合	89.11%		一般財源	577,422

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		妊産婦健康診査【継続】	353,532	14,888	0	338,644	01
	乳幼児健康診査【継続】	82,160	0	0	82,160	01	母子保健費
	二次健診【継続】	4,259	0	0	4,259	01	母子保健費
	母子健康手帳交付事業【継続】	825	0	0	825	01	母子保健費
	健康教育（母子保健）【継続】	2,322	435	0	1,887	01	母子保健費
	相談（母子保健）【拡充】	17,628	8,053	0	9,575	01	母子保健費
	訪問指導事業（母子保健）【継続】	8,315	2,616	0	5,699	01	母子保健費
	公害健康被害予防事業【継続】	13,040	0	0	6	01	公害保健福祉及び予防
	小児慢性特定疾病医療費助成事業【継続】	150,854	74,365	0	76,489	01	母子保健費
	未熟児養育医療給付事業【継続】	20,772	10,839	0	4,416	01	母子保健費
	結核児童療育給付事業【継続】	0	0	0	0	01	母子保健費
	不妊に悩む方への特定治療支援事業【継続】	80,065	40,032	0	40,033	01	母子保健費
	食育関連事業【継続】	351	0	0	351	01	母子保健費
	重層的支援体制整備事業（母子保健課）【継続】	8,131	6,775	0	1,356	01	社会福祉総務費
	不育症医療費助成事業【継続】	718	718	0	0	01	母子保健費
	不妊治療等支援事業【新規】	11,722	0	0	11,722	01	母子保健費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	訪問型子育て支援	区分	拡充
施策の方向性	(1)産前・産後の切れめのない支援を進めます	総合計画掲載ページ	44
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○子どもが健やかに育成できる環境整備を図るため、0歳から小学生までの児童がいる子育て家庭を対象として、居宅での子育てにおいてさまざまな不安や悩みを持つ支援が必要な家庭を適切なサービス提供に結びつけます。</p>
当該年度の実績	<p>○自ら出向くことが困難な状況にある0歳から小学6年生までの子どもがいる家庭を訪問して育児に関する相談・支援を行う育児支援家庭訪問や、生後4ヶ月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育て支援を行うこんにちは赤ちゃん事業を行いました。</p> <p>○【拡充】多胎児家庭に対して育児・家事を援助する伴走型の支援を行いました。また、令和4年6月より新たに、乳幼児の育児支援及び児童虐待の未然防止を図ることを目的に、子育てに不安をもち支援を必要とする家庭等に対しても育児・家事援助支援を開始しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○保育教諭等の専門職が育児支援家庭訪問を実施することにより、保護者の悩み・不安の軽減等につなげることができました。複合的な課題を抱えたケースが増えてきており、今後さらに、関係機関と連携しながら丁寧に支援を継続していく必要があります。</p> <p>○産後の不安な時期等にこんにちは赤ちゃん事業の訪問を実施し、相談窓口や遊び場等の情報提供を行うことで、孤立感・不安感の軽減につながりました。</p> <p>○育児及び家事援助支援を導入したことにより、多胎児家庭や支援が必要な家庭の不安や負担を軽減することができました。今後、さらなる利用促進に向け、関係課と情報共有・連携強化を図る必要があります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	赤ちゃん訪問面談率	担当課調査	%	97.1	97.3	98.4	数値	100
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法、児童福祉法施行規則、乳児家庭全戸訪問事業実施要綱、養育支援訪問事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	乳児家庭全戸訪問事業実施要綱、育児支援家庭訪問事業実施要綱等、多胎児家庭育児支援事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	22,616	人件費（参考）	42,930
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	22,616	財源内訳の	国・府支出金	9,616
決算額	14,423		地方債	0
残額	8,193		その他 特定財源	0
執行歩合	63.77%		一般財源	4,807

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		訪問事業【拡充】	14,423	9,616	0	4,807	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	子ども施策の総合的な推進（母子保健課）	区分	新規
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産や子育てにかかる負担軽減を図る給付を行うことで、妊婦や特に0歳～2歳までの子育て家庭に妊娠届出時から寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図ります。 ※予算はこども相談課で一括計上</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○妊娠届出時の面談（母子健康手帳交付時の保健師、助産師等による保健指導）や出産後の乳児家庭全戸訪問（「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん事業」）など妊娠期から出産・子育てまで、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施しました。 ○妊娠届出時面談率 100%、乳児家庭全戸訪問面談率 98.4% ○出産応援金（妊婦1人あたり5万円）3,199人、子育て応援金（子ども1人あたり5万円）2,534人に対して経済的支援を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○出産応援金及び子育て応援金を所管する部局が連携し、伴走型相談支援及び経済的支援を行いました。今後は、妊娠7～8ヶ月頃のアンケートの実施など、より一層妊娠期からのきれめのない支援の充実を図ります。また、所管部局が随時情報共有を行うとともに、本事業を確実に実施する体制づくりを確立する必要があります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	0	人件費（参考）	0	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	0	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	0		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		出産・子育て応援交付金（母子保健課）【新規】	0	0	0	0	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校図書館事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	601700 教育委員会・読書振興課		
関連部局・課	603700 学校教育課 604100 教育センター		

事業概要	<p>○児童・生徒の読書活動を促進し、自ら学ぶ力を育成するために、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備します。</p> <p>○学校図書館への人的・物的支援により、学校における教育課程のさらなる充実を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○学校間相互並びに学校図書館と市立図書館等の蔵書の一体的活用を図るため、図書運搬車両の運行を行いました。</p> <p>○市立図書館と学校図書館との連携を深めるため、公共図書館の児童室担当者と学校司書が地域ごとに地域館交流会を年2回実施しました。</p> <p>○学校図書館活用を図るため、新任司書への新任研修、学校司書の専門性を高める研修、教職員向け研修を行いました。</p> <p>○小中連携した学校図書館教育に取り組む第八中学校区の学校図書館担当者会に参加し、小中学校9年間を見通した学校図書館教育の実践について情報収集を行ったほか、さくら学園教科指導チーム会議に参加し、義務教育校での図書館教育についての検討を行いました。</p> <p>○教職員や学校司書、市立図書館担当者間の情報共有データベース、学校ごとのデータを格納するための電子キャビネットおよび蔵書管理システムを含む「豊中市学校図書館等読書活動支援システム」を安定稼働させました。</p> <p>○令和5年度2月末で契約期間が満了した「豊中市学校図書館等読書活動支援システム」の合理化・最適化を目的とした構築期間を確保するため、システムリース・保守契約を延長し、リプレイスに向け図書館システム開発事業者へのヒアリングを行いました。</p> <p>○庄内さくら学園（仮称）南校の開校に向けた引越に向け、統合・同居後の蔵書構成を検討し、蔵書を統合しました。また、学校図書館内の機器移設、設定変更工事を実施しました。</p> <p>○外国語資料や、郷土資料など、個別に登録が必要な書誌データを作成しました。</p> <p>○学校図書館を訪問し、授業での活用事例を収集しました。</p> <p>○学校図書館を活用した読書活動と学習活動のさらなる活性化に向け、運営関係者間の情報共有・発信のため、とよなかブックプラネット事業推進委員会を開催しました。</p> <p>○30学級以上の過大規模校2校に、それぞれ学校図書館補助職員を配置しました。またその他の大規模校については、訪問等による業務支援を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○図書運搬車両を年間320回運行し、学校と市立図書館間および学校間で、115,810冊の相互貸借を実施したことにより、子どもの読書活動や学習活動の環境整備ができました。</p> <p>○学校図書館活用研修を2回開催し、のべ46名の教職員が参加することにより、各校での学校図書館活用の取組みを共有して、小・中学校での学校図書館を活用した読書活動・学習活動のさらなる活性化につながりました。</p> <p>○ICT活用研修や、デジタル機器と紙の資料の併用に関する研修等を実施し、タブレットを活用した授業実践への支援につながりました。</p> <p>○「豊中市学校図書館等読書活動支援システム」が安定稼働することにより、一年を通して、学校図書館での蔵書管理と資料提供が円滑に行われ、安定的な学校図書館運営ができました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○学校の統合・同居にあわせ、システム上でも蔵書を統合することにより、統合・同居後にも全児童・生徒が利用できる図書館ができました。</p> <p>○外国語資料や、郷土資料などの書誌データが登録されたことにより、資料検索や学校間の相互貸借にも利用できるようになり、日本語が母語でない児童・生徒の読書や学習、外国語学習や地域の調べ学習等に、より多くの資料が活用できるようになりました。</p> <p>○学校図書館補助職員を配置したことにより、低学年の「図書の時間」の時間の増加、児童の資料予約件数の増加など、子どもたちの読書環境が大幅に向上しました。また過大規模校に専任の学校図書館補助職員が入ったことにより、他の大規模校への業務支援や、新任司書への研修、学校統合に伴う学校図書館の蔵書統合作業などを充実させることができました。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	1
1	参考	とよなかブックプラネット事業推進委員会の開催回数	開催案内	回	1	1	1	数値	1
	考え方、定義、算出方法など	教育委員会内で横断的に事業を推進するための会議です。							
2	目標	学校図書館活用データベースアクセス件数	担当課調査	件	23,767	21,853	21,086	数値	23,000
	考え方、定義、算出方法など	学校図書館活用データベースの使用度合、情報共有の進捗をはかるもの							
3	目標	学校図書館の児童一人当たりの貸出冊数	担当課調査	冊	62.8	73.2	78.1	数値	80
	考え方、定義、算出方法など	【算出方法】全小学校図書館の年間の貸出冊数(クラス・教員への貸出含む)÷在籍児童数(当年度5月1日現在)							
4	目標	学校図書館の生徒一人当たりの貸出冊数	担当課調査	冊	11	10.9	10.4	数値	15
	考え方、定義、算出方法など	【算出方法】全中学校図書館の年間の貸出冊数(クラス・教員への貸出含む)÷在籍生徒数(当年度5月1日現在)							
5	目標	資料運搬システム利用冊数	担当課調査	冊	99,638	109,572	115,810	数値	108,000
	考え方、定義、算出方法など	活用度合いをはかる指標。【算出方法】(公共図書館から学校図書館への貸出冊数+学校間の貸出冊数)×2							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	教育基本法、図書館法、学校図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市教育振興計画、図書館規則、豊中市情報化計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	58,206	人件費（参考）	245,060	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,260	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	60,466	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	58,297		地方債	0
	残額	2,169		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.41%		一般財源	58,297

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	とよなかブックプラネット事業【継続】	195	0	0	195	01	研修指導費
	学校図書館システムの運用【継続】	43,925	0	0	43,925	01	研修指導費
	学校図書館教育の充実事業【継続】	14,177	0	0	14,177	01	研修指導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域の知の拠点事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	601700 教育委員会・読書振興課		
関連部局・課	360100 こども政策課		

事業概要	<p>○すべての市民に知る自由を保障するため地域の知の拠点としての役割を果たします。</p> <p>○読書を通じて豊かな感性と自ら学び主体的に生きる力を育てよう、子どもの読書環境を整備します。</p> <p>○「協働とパートナーシップに基づくまちづくり」に取り組む観点から、地域社会の課題解決とコミュニティの活性化に寄与するため市民と協働して事業に取り組みます。</p> <p>○全地域で図書館サービスを実現するため、動く図書館車などの車両を適切に管理します。</p> <p>○社会状況やニーズの変化に対応した持続可能な図書館サービスを提供するため、(仮称)中央図書館基本構想をふまえ、中央図書館の候補地および事業手法、図書館の効率的・効率的運営や市内図書館の新たなネットワーク再編について具体的に検討を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○地域の知の拠点として、あらゆる世代の学びを支える資料の充実と情報提供に取り組むとともに、暮らしの課題解決に役立つ資料・情報の提供を行いました。</p> <p>○【拡充】電子書籍貸出サービスを開始し、図書館への来館が困難な市民に対しても図書館の利便性を高めるとともに、音声読み上げ対応のコンテンツ等の導入により読書バリアフリー法に対応した資料・情報提供に取り組みました。</p> <p>○関係部局や複合施設内で連携して関連資料の紹介・展示を実施し、市立図書館における情報リテラシー支援に取り組みました。</p> <p>○ボランティアによる対面朗読や音点訳の障害者サービス、北摂アーカイブスやしようないREK、地域教育協議会等との協働・連携事業を実施しました。</p> <p>○豊中市立図書館みらいプランの策定に向けて、(仮称)中央図書館の候補地を3か所選定しました。また、市民ワークショップを全4回実施し各回約25人、シンポジウムを開催し会場62人、オンライン46人の計108人参加しました。さらに、パブリックコメントを実施し203人・681件の意見をいただき、みらいプランに反映し策定しました。</p> <p>○【拡充】蛍池図書館に予約照会機を追加導入し、予約資料受取コーナーを開設しました。</p> <p>○庄内・庄内幸町図書館の図書などを庄内コラボセンターに移設し、リニューアル開館をしました。</p> <p>○岡町、野畑図書館の空調の不具合により、一部のエリアにおいて臨時休室の措置や扇風機を使う、利用時間の短縮を呼びかけるなどを行い、夏や冬の冷暖房時を乗り越えました。</p> <p>○図書館協議会を3回開催し、図書館の読書バリアフリーの取組みについて審議しました。また図書館協議会の評価部会を4回実施し、5年に1度の図書館評価に係る審議を行いました。</p> <p>○「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を豊子連と共催で開催しました。</p> <p>○ブックスタート事業のボランティアスタッフ研修と懇談会、新しい施設の見学とスタッフミーティングを実施し情報共有しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○電子書籍貸出サービスの利用状況やニーズを把握し、サービスの充実を図ります。児童向けや外国語資料等のコンテンツの更なる充実をめざします。</p> <p>○市民の学びを支援するための学習の場や、地域のつながりの創出、地域の生涯学習の担い手を育てる仕組みの構築等推進するとともに、学んだ成果を主体的に地域づくりや市民活動に活かす取組みを進めます。</p> <p>○今後の図書館について、様々な機会において市民から多くの意見をいただくとともに、市の考え方を周知することができました。今後も豊中市立図書館みらいプランに基づいて、市民と共有を図るとともに、(仮称)中央図書館の整備に向け取組みを進めます。</p> <p>○岡町、野畑にかかる空調の不具合に対して、7月臨時会、9月定例会にそれぞれ必要な補正予算を計上しました。また、空調更新工事に先立ち、必要な外壁材調査も実施しました。空調更新工事は岡町は5月末、野畑は7月中旬を目途に実施し、工事期間中は休館しますが、資料の受取・返却などの可能なサービスを継続します。</p> <p>○セルフ機器をはじめとしたICTの活用による業務の効率化と利用者の利便性の向上を進めます。</p> <p>○新しく図書館を開館し来館者数も増えましたが、施設内の各団体と連携をはかり事業を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民一人当たり貸出冊数	豊中市の図書館活動	冊	6.7	7.9		9	令和4
	考え方、定義、算出方法など	住民の知る権利を保障し、住民の学ぶ意欲を示す図書館における代表指標。自治体間比較ができる指標							
2	目標	図書館Webサイトの公開トップページのアクセス件数	豊中市の図書館活動	件	2,224,637	2,489,071		2,500,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	高度情報社会で図書館が提供するデジタル情報の活用を示す一指標							
3	目標	児童書の蔵書数	豊中市の図書館活動	冊	302,495			330,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	乳幼児・学童期・青年期の読書活動と子どもたちの読書活動を支える住民等への情報資源							
4	目標	地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数	図書館評価システム	回	169			760	令和4
	考え方、定義、算出方法など	協働により地域ニーズを把握しておこなう事業数							
5	目標	「とよ1ぶつくる」 出動実績	担当課調査	箇所	265		232	300	令和4
	考え方、定義、算出方法など	図書館におけるアウトリーチサービス（全域サービス）を示す一指標							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	図書館法 文字・活字文化振興法 子どもの読書活動の推進に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府子ども読書活動推進計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	図書館条例 図書館規則 豊中市教育振興計画 (仮称)中央図書館基本構想 豊中市子ども健やか育み条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	459,133	人件費（参考）	408,570	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	12,388	公債費（参考）	18,782	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	522,758	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	1,812
	決算額	487,775		地方債	12,500
	残額	34,983		その他 特定財源	14,911
	執行歩合	93.31%		一般財源	458,552

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		図書館活動・すべての人への資料提供事業【拡充】	224,486	0	0	224,402	01
	図書館システムの運用【拡充】	100,069	0	0	99,999	01	図書館費
	図書館施設運営【継続】	2,080	0	0	1,871	01	図書館費
	子どもをとりまく読書環境整備の取り組み【継続】	1,928	1,812	0	116	01	図書館費
	地域・市民との協働事業【継続】	987	0	0	987	01	図書館費
	図書館車両管理【継続】	3,800	0	0	3,739	01	図書館費
	図書館施設管理【継続】	119,118	0	0	104,631	01	図書館費
	(仮称)中央図書館基本構想の推進【継続】	9,361	0	0	9,361	01	図書館費
	図書館設備更新工事【継続】	16,729	0	12,500	4,229	01	図書館整備費
	図書館施設改修事業【継続】	0	0	0	0	01	図書館整備費
	(仮称)南部コラボセンター準備事業(読書振興課)【新規】	9,217	0	0	9,217	01	図書館費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保育所・障害児通所施設等の整備・認可・指定等事務	区分	継続
施策の方向性	(2)安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	360100 こども未来部・こども政策課		
関連部局・課	360500 こども事業課 362000 子育て給付課		

事業概要	<p>○安心して子育てができる環境づくりのため、保育所、認定こども園等の義務教育就学前施設の整備・認可・確認や障害児通所支援事業所の指定に関わる施策、事務等を推進します。</p> <p>○教育・保育の無償化や女性の就労意向の高まりに伴う保育ニーズに対応できるように、必要な保育施設整備を図り安心して子育てができるよう環境づくりを推進します。</p>
当該年度の実績	<p>○社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催し、保育所の認可等について調査審議しました。</p> <p>○豊中版子育て安心プランに基づく保育定員の確保を図るため、補助金等を活用して民間保育所の整備等を行い、保育定員2号100人分、3号67人分を確保しました。</p> <p>○保育所、家庭的保育事業等、認定こども園の認可・確認及び変更を行いました。</p> <p>○障害児相談支援事業所、障害児通所支援事業所の指定、指定の更新、指定内容の変更を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○保育所等の認可について、意見をいただきました。今後も教育・保育の質の向上に向け、効果的な審議を行います。</p> <p>○保育定員の確保については、出生者数の減少に伴う就学前人口の減少が続く中であっても、保育所等の利用申込者は増加しているため、待機児童等の状況をふまえ、引き続き多様な手法による取り組みを進めます。</p> <p>○保育所、家庭的保育事業等、認定こども園の認可・確認及び変更については、今後も法令に基づき継続して実施します。</p> <p>○障害児相談支援事業所、障害児通所支援事業所の指定、指定の更新、指定内容の変更については、今後も法令に基づき継続して実施します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	保育所等待機児童数（翌年4月1日現在）	担当課調査	人	0	0	9	数値	0
	考え方、定義、算出方法など	国基準（厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査要領」）に基づく算出							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法等
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	101,373	人件費（参考）	48,195
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	443,232	国・府支出金	351,382
	決算額	398,256	地方債	0
	残額	44,976	その他 特定財源	44,678
	執行歩合	89.85%	一般財源	2,196
			財源内訳の	

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
社会福祉審議会児童福祉専門分科会【継続】	139	0	0	139	01	児童福祉費
私立認定こども園等整備事業（私立認定こども園等整備費本年度支出額	396,041	351,363	0	0	01	私立認定こども園等整
認定こども園等の認可・確認等【継続】	30	19	0	11	01	児童福祉費
障害児通所サービス事業者等指定事務【継続】	2,046	0	0	2,046	01	児童福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	子ども施策の総合的な推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	360100 こども未来部・こども政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○すべての子どもが健やかに育ち、子どもや子育て家庭に関わるすべての人がつながり、社会全体で子どもを育むまちづくりを進めるため、子育て・子育て支援の総合的な企画・調整を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○こども審議会（部会含む）3回、庁内会議（本部会議2回・連絡会議（部会含む）3回・実務担当者会議（部会含む）4回）を開催し、第2期行動計画の内容を周知するとともに、行動計画の推進にかかる成果、課題抽出を行いました。</p> <p>○市内の小・中学校・高等学校9校に訪問し、子育て・子育て支援施策について子どもへヒアリングを行い（他部局の職員も参加）、子どもの社会参加を促進しました。</p> <p>○ロードマップに基づき、子どもの居場所コーディネーターを配置し、新規8校区を含む16団体の立上げ支援や既存団体への支援、6圏域で交流会を各1回、市域の円卓会議を2回、ボランティア連続講座を3回開催しました。また居場所コーディネーターとGSWの交流会を実施しました。</p> <p>○子どもの居場所の定期的な開催や、食材等の提供を通じて支援を必要とする子ども・家庭の見守り等を行う20団体に補助を行いました。</p> <p>○【新規】支援対象児童等の見守り強化のため、子どもの居場所・相談支援拠点モデル事業を実施しました。</p> <p>○【新規】ヤングケアラー支援に関する研修会（8回）・講演会（1回）・市民向け出前講座（4回）・学校向け出前講座（1回）を実施しました。（※こども相談課共催等）</p> <p>○【完了】とよなかイクボスプロジェクトとして、豊中商工会議所の協力による市内事業者向けチラシの配布（2回）、男性の家事・育児参加のための家事シェア講座（参加者4人）やパパ料理教室（参加者16組）を開催しました。</p> <p>○【新規】子育て応援クーポン配布事業（カタログギフト「とよなかっ子スマイル」の配布）を1月から開始しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○こども審議会及び庁内会議等を通じて、第2期行動計画を総合的に推進できました。</p> <p>○子どもの社会参加・意見表明の機会の提供に努めるとともに、社会全体で子どもの権利についての理解・保障が浸透するよう、条例周知等引き続き取り組みを進めます。</p> <p>○第3期計画策定に向け、アンケートやヒアリング調査にあわせ、条例制定10周年を機にさらなる条例周知に努めます。</p> <p>○子どもの居場所ネットワーク事業については、学校を核としたセーフティネットの構築に向けて、学校等との連携を引き続き強化するとともに、つながり促進・資源確保といったさらなる課題解消を図ります。</p> <p>○子どもの居場所・相談支援拠点モデル事業を本格実施し、子どもの居場所におけるセーフティネットの仕組みづくりを検討し、子ども・家庭への支援力を強化します。</p> <p>○ヤングケアラーを早期発見し、適切な相談・支援につなげるため、関係機関等を対象とした啓発を進めるとともに、当事者である子どもへの啓発により子ども自身がSOSを出せるよう子ども向け出前講座を実施します。</p> <p>○とよなかイクボスプロジェクトについては、ジェンダー平等や生産的な雇用と働きがいのある雇用などSDGsの目標と合致していることから「豊中SDGs・公民学連携プラットフォーム」に統合します。</p> <p>○子育て応援メッセージや、乳幼児期からの子育ての喜びや楽しさを発信し、子育てに必要な相談窓口・行政サービス等の情報を前向きに伝えるため、子育て応援クーポン配布事業（カタログギフト「とよなかっ子スマイル」の配布）を継続実施します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	子どもの居場所がある小学校区	育みプラン実施報告書	校区	11	16	22	数値	41
	考え方、定義、算出方法など	育みプランの評価指標と整合							
2	参考	豊中市は、子育てがしやすいと思う市民の割合	豊中市市民意識調査	%	-			数値	
	考え方、定義、算出方法など	2年に1度の市民意識調査から設定							
3	参考	合計特殊出生率	住民基本台帳・政府統計		1.47	1.37		数値	
	考え方、定義、算出方法など	住民基本台帳及び人口動態統計をもとに独自算出							
4	目標	ファミリー・サポート・センター事業活動回数	こども政策課調べ	回	1,951	1,832	1,479	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市政年鑑と整合							
5	目標	ライフデザイン支援出前講座実施回数	こども政策課調べ	回	2	2	6	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市政年鑑と整合							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、次世代育成支援対策推進法、子どもの貧困対策法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府子ども総合計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	子ども健やか育み条例、ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、いじめ問題対策連絡協議会等条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	34,448	人件費 (参考)	40,500																																																																																																																																							
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△567	公債費 (参考)	0																																																																																																																																							
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	96,944	財源内訳の	国・府支出金	19,521																																																																																																																																						
	決算額	84,215		地方債	0																																																																																																																																						
	残額	12,729		その他 特定財源	2																																																																																																																																						
	執行歩合	86.87%		一般財源	64,692																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファミリー・サポート・センター事業【継続】</td> <td>9,106</td> <td>6,395</td> <td>0</td> <td>2,711</td> <td>01</td> <td>児童福祉費</td> </tr> <tr> <td>「子育て・子育て支援行動計画」の推進【拡充】</td> <td>74,703</td> <td>12,878</td> <td>0</td> <td>61,823</td> <td>01</td> <td>児童福祉総務費</td> </tr> <tr> <td>ワークライフバランスの推進【継続】</td> <td>406</td> <td>248</td> <td>0</td> <td>158</td> <td>01</td> <td>児童福祉費</td> </tr> <tr> <td>豊中市いじめ問題再調査委員会の運営【完了】</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>01</td> <td>児童福祉総務費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	ファミリー・サポート・センター事業【継続】	9,106	6,395	0	2,711	01	児童福祉費	「子育て・子育て支援行動計画」の推進【拡充】	74,703	12,878	0	61,823	01	児童福祉総務費	ワークライフバランスの推進【継続】	406	248	0	158	01	児童福祉費	豊中市いじめ問題再調査委員会の運営【完了】	0	0	0	0	01	児童福祉総務費																																																																																																	
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																					
ファミリー・サポート・センター事業【継続】	9,106	6,395	0	2,711	01	児童福祉費																																																																																																																																					
「子育て・子育て支援行動計画」の推進【拡充】	74,703	12,878	0	61,823	01	児童福祉総務費																																																																																																																																					
ワークライフバランスの推進【継続】	406	248	0	158	01	児童福祉費																																																																																																																																					
豊中市いじめ問題再調査委員会の運営【完了】	0	0	0	0	01	児童福祉総務費																																																																																																																																					
予算管理事業																																																																																																																																											

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	多様な子育て支援の充実（こども事業課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	360500 こども未来部・こども事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○保護者の勤務形態、生活スタイルの多様化によるさまざまな保育ニーズや、待機児童ゼロの維持などに対応するため、保育所・こども園などの保育終了後の預かりや一時保育、休日保育、病児保育など、保育サービスの充実を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○日曜・祝日に就労などで家庭での保育が困難な子どものため、休日保育を実施しました。 ○保護者の緊急的な事情により保育が必要な子どものため、緊急一時保育を実施しました。 ○待機児童解消の取組みの一環として、庄内（庄内駅前庁舎）及び北部（旧あゆみ学園）において、定期利用枠（認可施設への入所が決まるまでの期間）、一般利用枠（保護者のリフレッシュ等）による一時保育を実施するとともに、子育て中の保護者の相談支援を行いました。 ○病気または病気回復期で集団保育が困難な児童のため、病児保育を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○市立本町こども園で実施している休日保育のより一層の利便性向上を図るため、実施場所の拡充を検討した結果、令和5年4月から庄内駅前庁舎、令和5年10月から豊中市医療保健センターの計2カ所で実施することを決定し、必要な予算措置等を行いました。また、これに伴い、令和5年10月から市立本町こども園での休日保育を廃止することとしました。 ○市有施設の再編に伴う北部一時保育実施場所（旧あゆみ学園）の移転先について、豊中市医療保健センターとすることを決定し、整備に必要な予算措置や手続きを行いました。 ○病児保育事業について、南部地域での施設拡充の検討を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	休日保育 延べ利用人数	担当課調査	人	449	584	622	数値	800
	考え方、定義、算出方法など	市立本町こども園で実施。目標値：1回当たりの定員25人の半数12人×年68日≒800人を維持							
2	目標	緊急一時保育（公立） 延べ利用人数	担当課調査	人	511	446	543	数値	500
	考え方、定義、算出方法など	公立こども園で実施。1園当たり年間平均利用者21人×25園≒500人を維持							
3	目標	庄内一時保育 一般利用枠延べ利用人数	担当課調査	人	563	770	720	数値	750
	考え方、定義、算出方法など	目標値：1日当たり2.5人利用×月25日×12月≒750人を維持							
4	目標	北部一時保育 一般利用枠延べ利用人数	担当課調査	人	876	931	898	数値	900
	考え方、定義、算出方法など	目標値：1日当たり3人利用×月25日×12月≒900人を維持							
5	参考	病児保育 延べ利用人数	担当課調査	人	1,033	1,888	1,420	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市内3カ所で実施							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	休日・夜間保育事業実施要綱（厚生労働省）、児童福祉法、地域子ども子育て支援事業
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	こども園条例、豊中市休日保育事業実施要綱、豊中市病児保育事業の実施および補助金交付要綱など

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	209,379	人件費（参考）	9,720	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	259,189	財源内訳の	国・府支出金	88,708
	決算額	216,688		地方債	0
	残額	42,501		その他 特定財源	285
	執行歩合	83.60%		一般財源	127,695

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		休日保育事業【継続】	399	0	0	114	01
	緊急一時保育事業（公立）【継続】	0	0	0	0	01	公立こども園費
	病児保育事業【継続】	52,235	48,470	0	3,765	01	児童福祉費
	庄内一時保育事業【継続】	62,660	21,878	0	40,782	01	児童福祉費
	北部一時保育事業【継続】	101,394	18,360	0	83,034	01	児童福祉費
	エレベーター設置事業（児童福祉施設整備費）【新規】	0	0	0	0	01	児童福祉施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ひとり親家庭等支援	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	362000 こども未来部・子育て給付課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を通じて児童の健全育成を図るため、以下の事業を実施します。 ○ひとり親家庭等医療費助成 ○児童扶養手当 ○母子生活支援施設入所 ○ひとり親家庭等日常生活支援事業 ○母子父子寡婦福祉資金貸付 ○ひとり親家庭支援事業（養育費確保支援） ○自立支援給付金事業
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭等医療費助成 医療証の交付：5,573人 助成額：184,449,800円 ○児童扶養手当 延べ支給児童数：45,882人 支給額：1,262,268,350円 ○母子生活支援施設入所 入所世帯数：4世帯 ○ひとり親家庭等日常生活支援事業 生活援助 利用世帯：2世帯 子育て支援 利用世帯：5世帯 ○母子父子寡婦福祉資金貸付 就学資金貸付 件数：9件 支給額：4,980,000円 ○【拡充】ひとり親家庭支援事業（養育費確保支援） 公正証書等作成促進補助 件数：34件 支給額：610,092円 弁護士費用補助 件数：2件 支給額：300,000円 ○【拡充】自立支援給付金事業 自立支援教育訓練給付金 件数：5件 支給額：1,153,990円 高等職業訓練促進給付金 件数：139件 支給額：13,956,500円

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各種事業を実施することで、ひとり親家庭の生活の安定、児童の健全育成につながりました。 ○令和4年9月から養育費確保に係る弁護士費用の一部を補助する制度を開始することにより、ひとり親家庭の精神的な安定や自立の促進につながりました。 ○今後、養育費確保のため、補助制度等の事業を推進していきます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	ひとり親家庭医療費助成対象者数	担当課調査	人	5,925	5,673	5,573	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	ひとり親家庭相談件数	担当課調査	件	1,052	1,276	1,173	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童扶養手当法、児童福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府市町村ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例・条例施行規則、豊中市児童福祉法施行細則 等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,609,002	人件費（参考）	23,571	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,327	公債費（参考）	11,231	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,610,329	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	546,872
	決算額	1,513,281		地方債	0
	残額	97,048		その他 特定財源	6,189
	執行歩合	93.97%		一般財源	960,220

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
ひとり親家庭等医療費助成事業【継続】	192,274	93,808	0	97,636	01	ひとり親家庭医療助成
児童扶養手当【継続】	1,273,744	425,282	0	848,462	01	児童福祉費
母子生活支援施設入所事業【継続】	14,566	7,500	0	6,802	01	母子父子福祉費
ひとり親家庭等日常生活支援事業【継続】	841	438	0	403	01	母子父子福祉費
母子父子寡婦福祉資金貸付事務【継続】	115	0	0	0	25	母子父子寡婦福祉資金
母子父子寡婦福祉資金貸付金【継続】	4,980	0	0	0	25	母子父子寡婦福祉資金
ひとり親家庭支援事業【継続】	11,651	4,734	0	6,917	01	母子父子福祉費
自立支援給付金事業【拡充】	15,110	15,110	0	0	01	母子父子福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	多様な子育て支援の充実（子育て給付課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	362000 こども未来部・子育て給付課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、以下の事業を実施します。 ○子ども医療費助成 ○助産施設入所 ○児童手当 ○大学生等支援特別給付金 ○子育て世帯への臨時特別給付金 ○低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金
------	--

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども医療費助成 医療証の交付：64,057人 助成額：1,649,201,636円 ○助産施設入所 件数：13件 ○児童手当 延べ支給児童数：584,918人 支給額：6,032,995,000円 ○【新規】【完了】大学生等支援特別給付金 新型コロナの感染拡大により就学費用の確保が困難な大学生等に対して、学資金の一部として一人当たり5万円を支給 対象者数：4,045人 支給額：202,250,000円 ○【完了】子育て世帯への臨時特別給付金 新型コロナの影響が長期化する中で、18歳以下の児童を養育する世帯（児童手当受給水準を上回る世帯は対象外）に対して、児童一人当たり10万円を支給 （令和3年10月1日から令和4年3月31日までに出生した児童分及び支援給付金対象分のみ） 対象児童数：2,161人 支給額：216,100,000円 ○【新規】【完了】低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金 新型コロナの影響が長期化する中で、物価高騰等の影響により家計が悪化した低所得の子育て世帯に対して、18歳以下の児童一人当たり5万円を支給 対象児童数：7,964人 支給額：398,200,000円 （内訳） ひとり親世帯 対象児童数：3,687人 支給額：184,350,000円 その他世帯 対象児童数：4,277人 支給額：213,850,000円
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各種事業を実施することで、子育て世帯の経済支援や生活の安定、次代を担う子どもたちの健やかな成長につながりました。 ○新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、特別給付金を支給し、大学生等の学びの継続や低所得の子育て世帯への生活を支援しました。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	子ども医療費助成対象者数	担当課調査	人	64,474	64,490	64,057	数値	
	考え方、定義、算出方法など	2019年11月に対象者を拡大（上限年齢を15歳から18歳までに引き上げ）							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法、児童手当法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府市町村乳幼児医療費助成事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市子ども医療費の助成に関する条例・条例施行規則、豊中市児童福祉法施行細則 等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	8,757,551	人件費（参考）		16,767		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,437	公債費（参考）		0		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	9,709,061	財源内訳の	国・府支出金		6,153,676	
	決算額	8,640,339		地方債		0	
	残額	1,068,722		その他 特定財源		981	
	執行歩合	88.99%		一般財源		2,485,682	
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
子ども医療費助成事業【継続】		1,724,157	187,089	0	1,536,823	01	子ども医療 助成費
助産制度【継続】		5,375	3,196	0	2,043	01	母子父子福 祉費
児童手当【継続】		6,040,021	5,108,351	0	931,070	01	児童福祉費
児童福祉総合システム【継続】		15,746	0	0	15,746	01	児童福祉総 務費
大学生等支援特別給付金（市制度） 【新規】		214,635	214,635	0	0	01	児童福祉費
子育て世帯への臨時特別給付金（国 制度）【新規】		216,528	216,528	0	0	01	児童福祉費
低所得の子育て世帯に対する子育て 世帯生活支援特別給付金（国制度）		423,877	423,877	0	0	01	児童福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	母子父子福祉センター運営管理	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	362000 こども未来部・子育て給付課		
関連部局・課	330100 地域共生課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭の支援の拠点となる母子父子福祉センターの維持管理を行います。また、母子父子福祉センターの運営管理を行う指定管理者と連携しながら、ひとり親家庭等に対する各種相談、生活及び生業の指導、就労支援等の事業を行います。 ○母子父子福祉センター運営管理 指定管理者：社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会 指定管理期間：令和3年4月から令和8年3月（第4期）
------	---

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○母子父子福祉センターを地域共生センター西館へ仮移転しました。 ○母子父子福祉相談 件数：262件（うち弁護士相談39件、専門員相談28件） ○就労支援支援講座 介護職員初任者研修 延べ参加人数：135人 日商簿記3級検定対策講座 延べ参加人数：124人 ビジネスパソコン基礎講座 延べ参加人数：64人 医科医療事務3級検定講座 延べ参加人数：108人 ○学習支援教室 延べ参加人数：579人（中学生426人、高校生153人） ○レクリエーション バスツアー 参加者人数：57人 夏休み工作 参加者人数：17人 クリスマス会 参加者人数：42人 ○生活支援セミナー 奨学金制度説明会 参加者人数：16人
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○資格取得によるキャリアアップや就職、学習習慣の獲得など、ひとり親家庭の生活の質の向上につながりました。 ○適正な運営管理を継続するため、成果指標の達成度等をふまえながら、外部委員による指定管理者の中間評価を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	母子父子福祉相談件数	担当課調査	件	346	345	262	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	母子及び父子並びに寡婦福祉法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市母子父子福祉センター条例 等

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	14,262	人件費(参考)		8,262	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)		0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	14,262	財源内訳の	国・府支出金	4,042	
	決算額	12,425		地方債	0	
	残額	1,837		その他 特定財源	0	
	執行歩合	87.12%		一般財源	8,383	
	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
母子父子福祉センター施設管理【継続】	975	0	0	975	01	母子父子福祉センター
母子父子福祉センター施設運営管理【拡充】	11,450	4,042	0	7,408	01	母子父子福祉センター
母子父子福祉センター整備事業【継続】	0	0	0	0	01	母子父子福祉センター
予算管理事業						

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	多様な子育て支援の充実（こども相談課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等で一定期間養育・保護を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等で一定期間養育・保護を行いました。 ○実績としては、25世帯、延べ210日の利用がありました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○保護者の利用希望日に施設の行事や感染症の流行、施設の入所定員満員で空きがない等の理由で利用できないことがありました。その際には、他のサービスの案内など、利用者のニーズに寄り添った代替案についても積極的に助言等をおこないました。 ○今後は、より利用しやすいサービスになるよう、事業内容・運営についても検討していきます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	延べ利用日数	担当課調査	日	282	286	210	数値	500
		考え方、定義、算出方法など	ショートステイの利用実績（乳児院と児童養護施設の利用実績）						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法、子育て短期支援事業実施要綱
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	子育て短期支援事業実施要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	子育て短期支援事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	2,709	人件費(参考)	7,290	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	2,709	財源内訳の	国・府支出金	1,030
	決算額	1,030		地方債	0
	残額	1,679		その他 特定財源	0
	執行歩合	38.02%		一般財源	0

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	予算管理事業	子育て短期支援事業【継続】	1,030	1,030	0	0	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	子ども施策の総合的な推進（こども相談課）	区分	新規
施策の方向性	(2) 安心して子育てができるよう支援します	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課	341500 母子保健課 362000 子育て給付課		

事業概要	<p>○妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産や子育てにかかる負担軽減を図る給付を行うことで、妊婦や特に0歳～2歳までの子育て家庭に妊娠届出時から寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○妊娠届出時の面談（母子健康手帳交付時の保健師、助産師等による保健指導）や出産後の乳児家庭全戸訪問（「新生児訪問」や「こんにちは赤ちゃん事業」）など妊娠期から出産・子育てまで、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施しました。</p> <p>○妊娠届出時面談率 100%、乳児家庭全戸訪問面談率 98.4%</p> <p>○出産応援金（妊婦1人あたり5万円）3,199人、子育て応援金（子ども1人あたり5万円）2,534人に対して経済的支援を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○出産応援金及び子育て応援金を所管する部局が連携し、伴走型相談支援及び経済的支援を行いました。今後は、妊娠7～8ヶ月頃のアンケートの実施など、より一層妊娠期からのきれめのない支援の充実を図ります。また、所管部局が随時情報共有を行うとともに、本事業を確実に実施する体制づくりを確立する必要があります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱、令和4年度出産・子育て応援交付金交付要綱
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府出産・子育て応援交付金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	0	人件費（参考）	6,480	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,445	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	418,642	決算額の 財源内訳	国・府支出金	187,359
	決算額	296,221		地方債	0
	残額	122,421		その他 特定財源	0
	執行歩合	70.76%		一般財源	108,862

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		出産・子育て応援事業【新規】	296,221	187,359	0	108,862	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	子育て支援センター運営管理及び地域子育て支援の推進	区分	拡充
施策の方向性	(3) 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづく	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課	300500 くらし支援課 330100 地域共生課 330500 福祉事務所 331000 障害福祉課 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 341500 母子保健課 360500 こども事業課 362000 子育て		

事業概要	<p>○子育て支援の拠点として、子育て家庭（0歳から就学前までの児童がいる家庭）の孤立化を防ぐため、子育てへの不安感・負担感を軽減するための取組みを行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○地域の親子が気軽に集い、ふれあう場の提供を行いました。また、電話・面談による相談の実施や年齢別・テーマ別の講座の開催、子育て情報の発信などを行いました。</p> <p>○子育て支援コーディネーターが保育・教育施設や遊び場に関する相談に応じる等、一人ひとりのニーズに沿った支援を行いました。</p> <p>○【拡充】南部地域活性化に向けた子育て支援事業の充実を図るため、令和5年2月に子育て支援センターほっぺ南部分室を開設しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○コロナ禍においても、感染予防対策を図りながらプレイルームの開放や講座の開催等を継続することで、保護者同士のふれあい、交流の場を保障しました。</p> <p>○子育て情報の発信については、「ほっぺちゃん通信」「とよふあみ」でのイベント情報発信の充実をめざし、各施設からの情報発信推進に向けて取組みを進めました。</p> <p>○子育て支援コーディネーターの相談については、転入予定や来所が難しい家庭に対してウェブ相談を引き続き実施しました。</p> <p>○子育て支援センターほっぺ南部分室を開設したことを機に、庄内保健センターや教育委員会と連携推進の取組みについて話し合いを行いました。また、今後も、公民協働による施設管理運営を行うことで、妊娠期・父親等対象の講座等も充実させていきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	子育て支援センターあそび場利用者数	担当課調査	人	14,696	13,875	25,445	数値	30,000
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	小学校区連絡会開催校区数	担当課調査	校区	13	41	41	数値	41
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会福祉法、児童福祉法、児童福祉法施行規則、地域子育て支援拠点事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市立子育て支援センター条例、豊中市立子育て支援センター条例施行規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	35,708	人件費（参考）	30,490	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	80	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	35,788	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	18,824
	決算額	34,252		地方債	0
	残額	1,536		その他 特定財源	173
	執行歩合	95.71%		一般財源	15,255

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		重層的支援体制整備事業（こども相談課）【拡充】	34,252	18,824	0	15,255	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域子育て支援の推進（こども事業課）	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづく	総合計画掲載ページ	45
担当部局・課	360500 こども未来部・こども事業課		
関連部局・課	330100 地域共生課		

事業概要	<p>○相談者の属性、世代、相談内容に関わらず包括的に相談を受け止め支援につなぐため、各支援機関が連携し「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」などを実施しました。</p> <p>○こども事業課においては、公立こども園に併設されている地域子育て支援センター16園および連携園9園にて実施しました。</p>
当該年度の実績	<p>○重層的な支援体制のもと公立こども園に併設されている地域子育て支援センター16園を中心に地域支援事業を実施しました。</p> <p>○相談支援を目的とした育児相談やサロン交流を実施しました。</p> <p>○参加支援を目的とした育ちの講座や食育講座を実施しました。</p> <p>○地域づくりに向けた支援を目的とした0歳児の子どもと保護者・妊婦を対象とした地域活動であるわんわんや、1歳児の子どもと保護者・妊婦を対象とした地域活動であるみつばちや、1歳6ヶ月から2歳未満の子どもと保護者を対象に、遊びの提供や情報提供を行うこぐまや、2歳から3歳未満の子どもと保護者を対象に、遊びの提供や情報提供を行ういるかを実施しました。また、センターに気軽に遊びに行くことができるよう園開放を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○地域子育て支援事業として、地域支援員が市内の公園で子育てに関する相談対応や支援情報の提供等を行う「公園ほっとタイム」を令和5年4月から新たに実施します。また、全市展開に向け準備を進めます。</p> <p>○妊婦や未就園児の保護者が子育てで相談できる居場所を確保し、安心して子育てできる環境を整えることを目的として「マイ子育てひろば」事業の実施に向け関係課と協議を行い、令和5年度に市立桜井谷こども園で試行実施することを決定しました。</p> <p>○児童発達支援センターや保健師との連携を継続して行うほか、はぐくみセンターとも連携し、地域における子どもの発育に悩む保護者への支援します。</p> <p>○相談事業について、地域子育て支援センターへ来訪することや電話相談の利用を躊躇する保護者のためにオンライン相談等の新たな手法の導入の検討が必要です。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和7年度
1	参考	相談支援事業窓口数	包括支援PI調査	箇所	26	25	25	数値年	22 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		公立こども園数						
2	参考	相談支援のうち育児相談の件数	市政年鑑	回	5,993	5,899	6,500	数値年	6500 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	参加支援のうち育ちの講座と食育講座の件数	市政年鑑	人数	816	1,229	1,474	数値年	1500 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	地域活動のうちびよびよ、わんわん、こぐま、いるか	市政年鑑	人数	3,75	5,673	9,379	数値年	9000 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	地域づくりに向けた支援のうち園開放	市政年鑑	人数	32,379	30,429	46,799	数値年	50000 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会福祉法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	28,384	人件費 (参考)	91,550	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△79	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	28,305	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	12,700
	決算額	18,576		地方債	0
	残額	9,729		その他 特定財源	23
	執行歩合	65.63%		一般財源	5,853

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	重層的支援体制整備事業 (こども事業課) 【継続】	18,576	12,700	0	5,853	01	社会福祉総務費



1-2 保育・教育の充実

子どもたちが健やかに成長・発達していくよう、乳幼児期から義務教育期まで発達段階に応じた連続性のある保育・教育を充実し、子どもたちの「人とつながり、未来を切り拓く力」が育まれるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)保育や幼児教育の充実を進めます	3事業
①保育や幼児教育の質の確保・向上	
②乳幼児期から小学校生活への円滑な移行の推進	
公立こども園運営管理	こども未来部 こども事業課
就学前教育・保育の推進(こども事業課)	こども未来部 こども事業課
就学前教育・保育の推進(子育て給付課)	こども未来部 子育て給付課
(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	23事業
①確かな学力と体力の向上、豊かな人間性の育成	
②小中一貫教育の推進	
③共に学ぶ教育の推進	
④いじめや不登校のない学校づくり	
学校施設運営管理事業	教育委員会 教育総務課
教育振興計画の推進	教育委員会 教育総務課
中学校施設整備事業	教育委員会 学校施設管理課特任主幹
学校施設管理事業	教育委員会 学校施設管理課特任主幹
小中一貫校施設整備事業	教育委員会 学校施設管理課特任主幹
小学校施設整備事業	教育委員会 学校施設管理課特任主幹
中学校施設運営管理事業	教育委員会 学校施設管理課
学校体育施設開放事業	教育委員会 学校施設管理課
小中一貫校運営管理事業	教育委員会 学校施設管理課
小学校施設運営管理事業	教育委員会 学校施設管理課
学校給食事業	教育委員会 学校給食課
学校教育充実支援事業	教育委員会 教職員課

教職員の人事等事務	教育委員会 教職員課
学校教育運営事業	教育委員会 学校教育課
学校管理・運営事業	教育委員会 学校教育課
小中一貫校施設整備事業	教育委員会 学校教育課
学校教育充実事業	教育委員会 教育センター
児童生徒支援・相談事業	教育委員会 児童生徒課
学校・福祉連携事業	教育委員会 児童生徒課
学校問題解決支援事業	教育委員会 児童生徒課
障害児教育推進事業	教育委員会 児童生徒課
修学・就学事業(学務保健課)	教育委員会 学務保健課
学校保健管理事業(学務保健課)	教育委員会 学務保健課
(3)子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます	1事業
①学校と家庭、地域をつなぐしくみづくりの推進	
②家庭や地域の教育力向上の支援	
教育コミュニティづくり事業	教育委員会 学び育ち支援課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公立こども園運営管理	区分	継続
施策の方向性	(1) 保育や幼児教育の充実を進めます	総合計画掲載ページ	46
担当部局・課	360500 こども未来部・こども事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公立こども園において、子どもの安全を確保し、質の高い教育・保育を行うため、施設・設備の維持管理・補修や給食の提供、子どもたちの健康・保健などにかかる物品購入などを行い、保育が円滑に進むよう管理・支援を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○公立こども園25施設の維持管理を行いました。 ○就学前児童に対し質の高い教育・保育を一体的に提供しました。また、職員の事務負担の軽減及び保護者の利便性向上のため令和3年度に導入した保育環境改善システムのバージョンアップ等を行い、さらなる活用を進めました。 ○公立こども園において、教育・保育の質向上に係る職員研修のための講師派遣や子どもの健康・保健・保育に係る物品購入などを行い、各園の教育・保育が円滑に進むよう支援しました。 ○公立こども園に必要な消耗品購入費等の予算を、各園に配当しました。 ○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画に基づき、令和4年度をもって庄内こども園を閉園しました。 ○「公立こども園再整備計画（前期）」で再整備対象園として位置付ける6園（西丘・原田・東丘・てしま・てらうち・とねやま）の改修工事について、関係課と連携の上、工事の進捗管理等を行いました。また、令和5年3月より、再整備対象園のうち2園（原田・てらうち）の工事を開始しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○待機児ゼロ達成のため、柔軟なクラス編成で利用定員を調整します。 ○保育環境改善システムについて、各園の活用方法に差が見られることから、各園が均一かつ効果的にシステム運用を行えるよう、操作研修の実施や活用事例の情報共有等を通じて、より一層の職員の負担軽減や保護者の利便性向上を図ります。 ○公立こども園の4つの役割について、今後の公民での保育の在り方や少子化、はぐくみセンターや児童相談所の設置等を踏まえ、役割の再検討を行う必要があります。 ○再整備計画時期未定園の実施時期や統廃合の手法等について、令和5年度に実施するニーズ調査結果を踏まえて検討する必要があります。 ○公立こども園適正配置に向けた基本方針や再整備計画を踏まえながら、保育教諭の定年や早期退職などを見据えた職員採用計画の更新・進捗管理を行います。また、技能員の定年・早期退職等を見据え、今後の調理職員の在り方を検討する必要があります。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	公立こども園数	担当課調査	園	26	25	25	数値	17
	考え方、定義、算出方法など	「夢はぐくむ」公立こども園整備計画に基づき公立こども園の統廃合など適正配置を推進							
2	目標	再整備園数	担当課調査	園	0	6	6	数値	6
	考え方、定義、算出方法など	公立こども園再整備計画（前期）で示す再整備園数							
3	参考	在籍児童数	担当課調査	人	3,129	3,105	3,048	数値	
	考え方、定義、算出方法など	学校基本調査（5/1時点在籍児童数）							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市立幼保連携型認定こども園条例、「夢はぐくむ」公立こども園整備計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,729,941	人件費（参考）	3,166,205	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	18,086	公債費（参考）	35,528	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,816,394	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	18,599
	決算額	2,039,661		地方債	325,800
	残額	776,733		その他 特定財源	420,866
	執行歩合	72.42%		一般財源	1,274,396

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	公立こども園施設管理【継続】	208,897	0	0	152,517	01	公立こども園費	
	公立こども園施設運営【継続】	1,396,051	17,534	0	1,035,989	01	公立こども園費	
	公立こども園支援事業【継続】	16,408	1,065	0	11,901	01	公立こども園費	
	公立こども園配当【継続】	56,185	0	0	37,669	01	公立こども園費	
	公立こども園空調設備設置事業【継続】	0	0	0	0	01	公立こども園整備費	
	公立こども園整備事業【継続】	362,120	0	325,800	36,320	01	公立こども園整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	就学前教育・保育の推進（こども事業課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 保育や幼児教育の充実を進めます	総合計画掲載ページ	46
担当部局・課	360500 こども未来部・こども事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○人権保育、障害児保育の推進に向けた研修の実施や私立認定こども園等への運営助成、市内で勤務する保育人材の確保などに取り組み、義務教育就学前施設の教育・保育の質の向上を進め、これまで培ってきた本市の保育・教育をより確かなものへと発展させ、さらなる充実を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○保育士・保育所支援センター窓口にて市民及び事業者からの求職・求人の相談対応・斡旋を行いました。また、保育士確保策として、子育て支援員研修や保育士試験対策講習を実施したほか、とよなか保育士助成金の制度周知及び支給を行いました。</p> <p>○私立認定こども園等に対し、教育・保育の質の確保を図るため、運営助成を行いました。</p> <p>○私立認定こども園等に対し、給付費等の支給を行いました。</p> <p>○他市の私立認定こども園等に対し、給付費等の支給を行いました。</p> <p>○市内4カ所の家庭保育所に、入所斡旋した乳児の保育を委託しました。</p> <p>○私立幼稚園やこども財団に対する補助金支給等を通じて、幼児教育・保育の充実を図りました。また、私立幼稚園教諭家賃補助事業補助金を交付したほか、私立幼稚園に対し、幼児教育・保育の無償化に伴う副食材料費補給給付を実施しました。</p> <p>○教育・保育の質の向上をめざし、理論・実技など多様なテーマの研修を開催したほか、各公立こども園において「公立こども園自己評価表」を用いた研修や、公民就学前施設職員対象の「豊中市教育保育環境ガイドライン」を活用した研修会と公開保育・意見交換会を実施しました。また、幼児教育サポートセンターにおいて、障害児保育実施園や保育相談があった園など必要に応じた巡回を実施し、同ガイドラインをもとに指導・助言を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○私立認定こども園等への使用済み紙おむつ処理補助金や物価高騰（光熱水費及び食材費）対応補助金、送迎用バスの安全装置に係る補助金を新設しました。</p> <p>○民間就学前施設の透明性の確保や保護者が園を選択する際の参考となるよう、園評価を実施する施設の評価手法や内容の閲覧方法を市ホームページで令和4年9月から公開しました。</p> <p>○幼保こ小の接続・連携について、幼児教育サポートセンターの一機能としてより効果を高めていくため、関係機関との連携、協力体制の充実・強化を図ります。</p> <p>○私立認定こども園等給付は、新規施設が保育所で2施設、制度の移行施設で認定こども園が1施設増えるとともに、処遇改善等加算Ⅲの給付費の加算制度が新設されるにより給付費が増加しました。次年度は、新規施設が保育所で3施設、制度の移行施設で認定こども園が3施設、私立幼稚園が1施設増えるとともに第2子保育料無償化により利用者が負担すべき保育料等を給付費で補てんする必要があり、これらにより給付費が増加することが予想されます。</p> <p>○家庭保育所は、令和4年度末に2施設が閉所することによる補填を行うことにより委託費が増加しました。残り2施設の家庭保育所は最長2027年度（令和9年度）まで閉所する予定です。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	保育士・保育所支援センター紹介による就職者数	担当課調査	人	8	9	7	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	保育士・保育所支援センターが就職先を斡旋し就職に結びついた人数							
2	目標	主催研修延べ参加者数	担当課調査	人	1,362	1,858	1,648	数値	1700
	考え方、定義、算出方法など	市内就学前施設職員対象研修の延べ参加者数							
3	目標	こどものつぶやき展来場者数	担当課調査	人	357	230	264	数値	500
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	認可就学前施設数	担当課調査	箇所	97	98	100	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	他市委託児童数	担当課調査	人	1,482	1,665	3,266	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	子ども子育て支援法、児童福祉法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市人権保育基本方針、各補助金要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	13,743,343	人件費（参考）	61,985			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0			
予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	14,194,748	財源内訳の	国・府支出金	8,248,888			
決算額	13,853,605		地方債	0			
残額	341,143		その他 特定財源	605,569			
執行歩合	97.60%		一般財源	4,999,148			
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	保育士・保育所支援センター事業【継続】	38,269	4,956	0	33,313	01	児童福祉費
	私立認定こども園等運営助成【継続】	2,649,415	721,896	0	1,908,508	01	私立認定こども園等費
	私立認定こども園等給付【継続】	10,401,079	7,037,531	0	2,776,990	01	私立認定こども園等費
	他市私立認定こども園等給付【継続】	114,837	91,312	0	23,525	01	私立認定こども園等費
	家庭保育所事業【継続】	110,615	709	0	109,906	01	私立認定こども園等費
	私立幼稚園振興助成金【継続】	21,587	7,458	0	14,129	01	私立認定こども園等費
	認定こども園等教育・保育推進事業【継続】	3,765	0	0	3,765	01	児童福祉費
	私立幼稚園施設等利用給付【継続】	514,038	385,026	0	129,012	01	私立認定こども園等費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	就学前教育・保育の推進（子育て給付課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 保育や幼児教育の充実を進めます	総合計画掲載ページ	46
担当部局・課	362000 こども未来部・子育て給付課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○子どもが健やかに成長することができる社会および子育てしやすい社会の実現のために、以下の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園等への入所入園 ○教材費等の実費徴収に係る補足給付 ○幼児教育・保育の無償化に伴う施設利用等給付 ○重層的支援体制整備事業
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園等への入所入園 教育・保育の必要性の認定および支給認定（2号・3号）を受けた児童について、認定こども園等の入所入園の利用調整を行いました。 ○教材費等の実費徴収に係る補足給付 認可施設に在園する低所得世帯の児童の保護者に対して、保育に必要な日用品購入費用、行事参加費用等の一部を助成しました。 対象者：30人 支給額：583,331円 ○幼児教育・保育の無償化に伴う施設利用等給付 私立幼稚園、認可外保育施設等を利用する3歳児から5歳児までの保護者および0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の保護者に対して、預かり保育・認可外サービス利用の費用を償還払い（認定要件・上限あり）で支給しました。（令和4年1月分から令和5年3月分までの15か月分） 対象者：15,667人 支給額：195,986,242円 ○重層的支援体制整備事業 多分野、他機関との連携を行い、認定こども園の入所入園をはじめとする様々な相談支援を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前教育・保育の提供、安心して子育てができる環境の整備、子育て世帯への経済的負担の軽減につながりました。 ○認定こども園等に関する各種手続きについて、保護者の利便性や事務の効率化を考え、オンラインでの相談や申込を進めていきます。 ○安心して子育てができる環境を充実させるため、第二子以降の保育料を無償化し、保育料算定のシステム改修を行います。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	償還払分施設利用等給付費支給人数	担当課調査	人	10,068	12,054	15,667	数値	
	考え方、定義、算出方法など	2019年10月より制度開始							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校施設運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600100 教育委員会・教育総務課		
関連部局・課	262000 債権管理課 330500 福祉事務所 362000 子育て給付課 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○児童・生徒が安心して学習できる環境を確保するため、小・中学校施設及び設備の適切な維持管理や、小・中学校運営を円滑に行うための取組みを行います。 また、学校における裁量で執行できる経費を配当することにより、各校で特色ある取組みを進め、児童・生徒の学習の進展に寄与します。 ○小・中学校における保護者負担費等については、保護者負担費等に関するガイドラインや保護者負担費等会計事務マニュアルにもとづき、適切に事務処理及び債権管理を行うため、保護者負担費徴収管理システムを運用します。また、保護者負担費の未収対策として、各学校における徴収努力を進めるとともに、各種公的給付の充当を実施し、公会計化に向けて制度設計を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○小・中学校の管理運営に必要な経費を配当及び精算しました。 ○【拡充】“特色ある学校づくり”を推進するため、アフターコロナ学校企画応援事業を実施しました。 ○学校教育活動継続支援事業について、国の令和4年度補正予算を活用することとし、小・中学校での新型コロナウイルス感染拡大防止に必要な物品等に要する経費を令和4年度に増額補正後、令和5年度に繰越しました。 ○小・中学校運営を円滑に行うため、緊急傷病児童・生徒搬送用の自動車借上等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○学校に一定の裁量権がある経費を配当することにより、学校の円滑な管理運営が確保されました。 ○緊急傷病児童・生徒搬送用の自動車借上等を行うことにより、学校の円滑な運営が確保されました。 ○事業を効率的に実施しており、今後も資源投入量を維持していく方向で検討を進めます。 ○令和5年度は、アフターコロナ学校企画応援事業をとよなかの学び活性化推進事業（とよなかつ子・学び・WAKUWAKUプラン）に名称変更し、引き続き“特色ある学校づくり”を推進します。 ○令和5年度は、老朽化した教具等を更新し、より効果的な学習を実現するための予算枠を創設します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	教育費の決算値（建設事業費除く）	教育版決算の概要	千円	13,174,731	11,513,991	13,591,086	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	教育予算（経常経費）を安定的かつ継続的に確保し、執行できていることを確認するため。							
2								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	教育振興計画の推進	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600100 教育委員会・教育総務課		
関連部局・課	600000 教育委員会		

事業概要	<p>○教育の振興に関する施策の総合かつ計画的な推進を図るため、第2期教育振興計画をもとに、毎年度教育行政方針を作成し公表します。また、前年度の事務事業等の点検及び評価を行い、報告書を議会に提出し公表します。</p> <p>○教育環境の整備など教育の振興を目的に寄附金を募り、子どもたちの学ぶ意欲・学力の向上推進及び生涯学習に関する施設・備品の整備に活用するため、教育振興基金の積立及び取崩を適正に執行し、基金の管理を行います。</p> <p>○教育委員会会議について、教育委員会の意思決定機関である同会議の円滑な開催及び市民への公開の推進を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○令和3年度実施事業の「豊中市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を作成し、学識経験者で構成される豊中市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価委員会への諮問・答申を経たのち、議会へ提出しました。</p> <p>○点検評価を行った後、令和5年度の行政方針を策定しました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○評価について、他団体の実績を考慮したものとなるよう、点検評価報告書の掲載項目を見直します。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	教育振興基金寄付件数	担当課調べ	件	283	571	1,000	数値	300
		考え方、定義、算出方法など						年	令和4年度
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条、地方自治法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	点検評価委員会規則（略称）、教育振興基金積立条例、豊中市教育委員会会議規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	42,998	人件費（参考）	17,415	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	42,998	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	34,779		地方債	0
	残額	8,219		その他 特定財源	24,324
	執行歩合	80.89%		一般財源	10,455

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	教育振興計画の推進【継続】	170	0	0	170	01	事務局費
	教育振興基金【継続】	25,297	0	0	973	01	教育振興費
	教育委員会会議【継続】	9,312	0	0	9,312	01	教育委員会費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	中学校施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600300 教育委員会・学校施設管理課特任主幹		
関連部局・課	263000 施設課 600400 学校施設管理課		

事業概要	<p>○中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、令和2年度(2020年度)に策定した「豊中市学校施設長寿命化計画」に基づき、中学校の施設整備を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○運動場改修工事（第十四中）を実施、完了しました。 ○トイレ内装改修及び渡り廊下耐震補強工事（第九中）を実施、完了しました。 ○渡り廊下耐震補強工事（第三中・第八中・第十六中）を実施、完了しました。 ○体育館トイレ等内装改修工事設計（第三中・第十五中）を実施、完了しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○対象となる工事が完了した結果、長寿命化計画を押し進めることが出来ました。 ○令和5年度以降、トイレ洋式化の100%達成の前倒しやバリアフリー化、災害時に指定避難所等となる体育館の耐震化や空調設備の設置、老朽化による改築計画などの諸課題を盛り込んだ、学校施設長寿命化計画に見直す検討と推進が必要です。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	渡り廊下耐震補強工事完了校数	担当課実施	校	0	0	4	数値	5
	考え方、定義、算出方法など	各中学校の渡り廊下耐震補強							
2	参考	縦1列トイレ改修校数	担当課実施	校	0	0	1	数値	4
	考え方、定義、算出方法など	各中学校の縦一列のトイレ改修							
3	参考	校舎トイレ洋式化校数	担当課実施	校	0	0	0	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	各中学校の校舎トイレ洋式化							
4	参考	体育館トイレ改修校数	担当課実施	校	0	0	0	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	各中学校の体育館トイレ改修							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600300 教育委員会・学校施設管理課特任主幹		
関連部局・課	263000 施設課 600400 学校施設管理課		

事業概要	○児童・生徒が安心して学習できる環境を確保するため、小学校・中学校の維持管理を行います。
当該年度の実績	○小学校・中学校施設の維持管理を行いました。 ○プール周辺目隠しフェンス設置工事（桜井谷東小）を実施、完了しました。 ○【新規】小学校・中学校体育館のLED照明器具のリースを開始しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○桜井谷東小学校へのプール周辺目隠しフェンス設置の際、道路管理者及び少路水利組合会長に対し説明会を実施・協議した結果、道路管理者の占有許可手続きを経て、予定通り工事が完了し、フェンスを設置することが出来ました。 ○占有許可期間は5年間のため、5年間ごとの占有許可手続き更新が必要です。（次回は令和9年度更新予定。）
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	小中一貫校施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600300 教育委員会・学校施設管理課特任主幹		
関連部局・課	263000 施設課 600400 学校施設管理課		

事業概要	○「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」に基づき、新設する令和5年度開校予定の義務教育学校(仮称)庄内さくら学園の整備を行います。
当該年度の実績	○建設工事が完了し、庄内さくら学園が竣工しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和5年度、家屋事後調査を実施します。
------------------------------	----------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	小中一貫校の整備	担当課実施	校			1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	基本設計以降実施した校数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	小学校施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600300 教育委員会・学校施設管理課特任主幹		
関連部局・課	263000 施設課 600400 学校施設管理課 600500 学校給食課		

事業概要	<p>○中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、令和2年度(2020年度)に策定した「豊中市学校施設長寿命化計画」に基づき、小学校の施設整備を行います。</p> <p>○学校施設の老朽化対策及び耐震化促進の観点から総合的に給食室等の改修を行います。また老朽化した給食リフトの計画的な更新工事を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○エレベーター設置工事（箕輪小）を実施、完了しました。</p> <p>○給食配膳室内装改修工事（庄内南小）を実施、完了しました。</p> <p>○小荷物専用昇降機改修工事（東豊台小）を実施、完了しました。</p> <p>○プール付属棟トイレ改修工事（小曾根小・桜塚小・南桜塚小）を実施、完了しました。</p> <p>○渡り廊下耐震補強工事（螢池小・南丘小・北緑丘小）を実施、完了しました。</p> <p>○渡り廊下耐震補強工事（東豊中小・高川小）を実施しました。</p> <p>○体育館トイレ内装改修工事設計（螢池小・東豊中小・桜井谷東小・豊島小・新田小・熊野田小・豊南小・小曾根小・桜塚小・南桜塚小）が完了しました。</p> <p>○エレベーター改修工事設計（新田小）が完了しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○対象となる工事・設計が完了した結果、長寿命化計画を推し進める事が出来ました。</p> <p>○令和5年度以降、トイレ洋式化の100%達成の前倒しやバリアフリー化、災害時に指定避難所等となる体育館の耐震化や空調設備の設置、老朽化による改築計画などの諸課題を盛り込んだ、学校施設長寿命化計画に見直す検討と推進が必要です。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	渡り廊下耐震補強工事完了校数	担当課実施	校			3	数値	13
	考え方、定義、算出方法など	各小学校の渡り廊下耐震補強							
2	参考	縦1列トイレ改修校数	担当課実施	校			0	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	各小学校の縦一列のトイレ改修							
3	参考	校舎トイレ洋式化校数	担当課実施	校			3	数値	27
	考え方、定義、算出方法など	各小学校の校舎トイレ洋式化							
4	参考	体育館トイレ改修校数	担当課実施	校		1	0	数値	26
	考え方、定義、算出方法など	各小学校の体育館トイレ改修							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	中学校施設運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600400 教育委員会・学校施設管理課		
関連部局・課	263000 施設課 600300 学校施設管理課特任主幹		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が安心して学習できる環境を確保します。 ○中学校の維持管理を行います。 ○中学校における学習環境を確保するため、必要な物品の発注、修繕、管理を行います。
------	---

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が安心・安全に学習できる環境を確保するため、必要な物品等の発注を行いました。 ○中学校からの要望に基づき修繕をはじめとする維持管理を行いました。
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	○物品等の発注、修繕等の維持管理を行うことにより、生徒が安心安全に学習できる環境の確保ができました。
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	中学校数	担当課調べ	校	17	17	17	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	199,498	人件費（参考）	45,560	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,139	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	200,637	財源内訳の	国・府支出金	550
	決算額	181,166		地方債	0
	残額	19,471		その他 特定財源	0
	執行歩合	90.30%		一般財源	180,616

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	学校環境衛生（中学校）【継続】	3,176	0	0	3,176	01	中学校管理費	
	中学校施設運営（学校施設管理課）【継続】	126,842	550	0	126,292	01	中学校管理費	
	中学校施設管理（学校施設管理課）【継続】	51,148	0	0	51,148	01	中学校管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校体育施設開放事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600400 教育委員会・学校施設管理課		
関連部局・課	211000 スポーツ振興課		

事業概要	<p>○スポーツ活動に関する市民の要望に応え、健康保持と体力の向上に資するため、学校教育に支障のない範囲で小・中学校の体育施設を市民に開放します。</p>
当該年度の実績	<p>○学校教育に支障のない範囲で小・中学校の体育施設を市民に開放しました。 ○庄内さくら学園の開放に向け、学校体育施設開放運営委員会の設立に向けた調整を行いました。 ○千成小の庄内南小への同居に向けた学校開放運営委員会と調整を行いました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○学校教育に支障のない範囲で小・中学校の体育施設を市民に開放することができました。 ○使用団体が固定化し、新規団体の参入が難しいことが課題です。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	学校体育施設開放校数（小学校）	担当課実施	校	40	40	40	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,187	人件費（参考）	12,960	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,187	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,555		地方債	0
	残額	1,632		その他 特定財源	1,555
	執行歩合	48.79%		一般財源	0

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	学校体育施設開放事業【継続】	1,555	0	0	0	01	事務局費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	小中一貫校運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600400 教育委員会・学校施設管理課		
関連部局・課	262500 資産管理課 263000 施設課 304500 南部地域連携センター 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画に基づき、新設する令和5年度開校予定の義務教育学校（仮称）庄内さくら学園の整備を行います。 整備場所：庄内小学校・第六中学校跡地（豊中市庄内幸町4-29-1・2）</p>
当該年度の実績	<p>○庄内さくら学園用地拡幅に向け民地（3戸）の調査測量を行いました。 ○野田小学校、島田小学校、旧内さくら学園中学校のアスベスト調査及び庄内西小学校の境界測定測量を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○庄内さくら学園用地拡幅に向けた取組みを行いました。 ○計画的に測量を行っていく必要があります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考				-	-	-	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	87,607	人件費（参考）	16,200	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△94	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	87,513	決算内訳の 財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	53,319		地方債	0
	残額	34,194		その他 特定財源	0
	執行歩合	60.93%		一般財源	53,319

予算管理事業 名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
(仮称)庄内さくら学園整備事業 (学校用地取得)【継続】	0	0	0	0	01	小中一貫校 整備費
義務教育学校開校準備事業(前期課 程)【新規】	16,213	0	0	16,213	01	小学校管理 費
義務教育学校開校準備事業(後期課 程)【新規】	2,361	0	0	2,361	01	中学校管理 費
(仮称)庄内さくら学園整備事業【 新規】	23,412	0	0	23,412	01	小中一貫校 整備費
学校施設基礎情報調査事業【新規】	11,333	0	0	11,333	01	事務局費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	小学校施設運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600400 教育委員会・学校施設管理課		
関連部局・課	263000 施設課 600300 学校施設管理課特任主幹		

事業概要	<p>○児童が安心して学習できる環境を確保します。 ○小学校の維持管理を行います。 ○小学校における学習環境を確保するため、必要な物品の発注、修繕、管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○児童が安心・安全に学習できる環境を確保するため、必要な物品等の発注を行いました。 ○小学校からの要望に基づき修繕をはじめとする維持管理を行いました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○物品等の発注、修繕等の維持管理を行うことにより、児童が安心・安全に学習できる環境の確保ができました。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	小学校数	担当課調べ	校	41	41	41	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	359,679	人件費（参考）	43,970	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,807	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	362,486	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	514
	決算額	344,806		地方債	0
	残額	17,680		その他 特定財源	377
	執行歩合	95.12%		一般財源	343,915

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
学校環境衛生（小学校）【継続】	2,088	0	0	2,088	01	小学校管理費
小学校施設運営（学校施設管理課） 【継続】	230,910	514	0	230,060	01	小学校管理費
小学校施設管理（学校施設管理課） 【継続】	111,808	0	0	111,767	01	小学校管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校給食事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600500 教育委員会・学校給食課		
関連部局・課	263000 施設課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○走井学校給食センターの調理業務、施設管理及び対象校配膳室の施設運営、維持管理 ○原田南学校給食センターの施設運営管理 ○単独調理校4校（螢池・原田・島田・庄内南）の施設運営及び調理室の維持管理 ○学校給食に必要な給食食材の調達 ○アレルギー対応食などの個別対応食の提供 ○中学校給食の運営管理 ○中学校夜間学級への補食（パンと牛乳）の提供 ○小・中学校給食費の調定・収納業務及び小学校給食費の滞納債権管理業務 ○学校給食課及び走井・原田南学校給食センターの車両管理
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○走井・原田南学校給食センター及び単独調理校4校（螢池・原田・島田・庄内南）において、副食の調理及び食器食管の洗浄・消毒保管を行いました。また、原田南学校給食センターでは運営事業者に対するモニタリングを実施しました。 ○走井・原田南学校給食センターの施設及び単独調理校4校（螢池・原田・島田・庄内南）の調理室を維持管理しました。 ○走井学校給食センター対象校配膳室の運営、学校給食従事員の配置と衛生管理を行いました。 ○走井学校給食センター対象校配膳室の維持管理を行いました。 ○学校給食に必要な食材の調達業務を行いました。 ○アレルギー対応食などの個別対応食の提供を行いました。 ○【拡充】中学校給食において、1学期は選択制によるデリバリー給食を、2学期以降は全員給食を実施しました。 ○中学校夜間学級の生徒に、補食（パンと牛乳）を提供しました。 ○小・中学校給食費の調定及び収納業務を行いました。 ○小学校給食費の滞納債権管理業務を行いました。 ○学校給食課及び走井・原田南学校給食センターで使用する車両の管理を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○走井・原田南学校給食センター及び単独調理校4校（螢池・原田・島田・庄内南）において、副食の調理及び食器食管の洗浄・消毒保管、施設や対象校配膳室の維持管理や運営、学校給食従事員の配置と衛生管理を行うことで、安心安全な学校給食の提供につながりました。また、原田南学校給食センターでは運営事業者に対するモニタリングを実施することで、委託事業者の管理を適正に行うことが出来ました。 ○物価上昇が続く中、適正に財源を確保することにより、給食費にかかる保護者負担の軽減と「学校給食摂取基準」に基づく安心安全な食材の調達を行うことができました。 ○小学校給食と2学期から開始した中学校全員給食における卵除去食の提供等により、食物アレルギーへの個別対応を行うことができました。 ○2学期からの中学校全員給食の開始により、生徒全員への栄養バランスのとれた給食提供と給食を活用した食育の推進を図ることができました。 ○中学校夜間学級に補食と行事食の提供を継続して提供することにより、今後も生徒の健康保持と就学奨励を図ります。 ○小・中学校給食費の調定・収納業務を適正に行い、一定の収納率の確保につながりました。また、小学校給食費の催告業務を適正に行い、収入未済額の縮減につながりました。 ○学校給食課及び走井・原田南学校給食センターで使用する車両を適切に管理することにより、不備等なく車両を使用することができました。 ○引き続き、すべての小・中学校に安心安全な学校給食を提供していく必要があります。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	副食残菜率	学校給食課調べ	%	16	15.7	16.6	数値	13.8
	考え方、定義、算出方法など	学校給食実施基準に配慮した献立の適正検討に必要なため							
2	目標	小学校給食費収納率 (現年度分)	歳入確保戦略	%	98.81	98.83	98.88	数値	98.5
	考え方、定義、算出方法など	収納率を向上させることで、未収の発生防止及び早期解決を図り、滞納繰越となる債権を減額するため							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	学校給食法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市学校給食費徴収規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,551,439	人件費（参考）	316,565	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	4,465	公債費（参考）	222,850	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,707,385	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	3,459,258		地方債	0
	残額	248,127		その他 特定財源	1,376,797
	執行歩合	93.31%		一般財源	2,082,461

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		センター対象校施設運営【継続】	92,712	0	0	92,712	01
	単独調理校施設運営【継続】	25,576	0	0	25,576	01	小学校給食費
	走井学校給食センター施設管理【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	走井学校給食センター調理業務【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	給食事務所車両管理【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	中学校夜間学級補食提供事業【完了】	0	0	0	0	01	中学校管理費
	給食食材の調達【継続】	1,254,522	0	0	206,923	01	小学校給食費
	中学校給食事業【完了】	0	0	0	0	01	中学校管理費
	センター対象校施設管理【継続】	2,490	0	0	2,490	01	小学校給食費
	単独調理校施設管理【継続】	5,711	0	0	5,711	01	小学校給食費
	小学校給食費滞納債権管理【継続】	1,619	0	0	0	01	小学校給食費
	小学校給食費調定及び収納【継続】	20,721	0	0	13,204	01	小学校給食費
	個別対応食業務【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	走井学校給食センター車両管理【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	原田南学校給食センター車両管理【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	原田南学校給食センター施設運営管理【完了】	0	0	0	0	01	学校給食センター費
	原田南学校給食センター建設事業（訴訟費）【完了】	0	0	0	0	01	訴訟費
	走井学校給食センター施設管理【継続】	180,972	0	0	180,972	01	小学校給食費
	走井学校給食センター調理業務【継続】	229,943	0	0	228,200	01	小学校給食費
	給食事務所車両管理【継続】	600	0	0	445	01	小学校給食費
	個別対応食業務【継続】	8,070	0	0	8,070	01	小学校給食費
	走井学校給食センター車両管理【継続】	226	0	0	226	01	小学校給食費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校教育充実支援事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	603300 教育委員会・教職員課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○児童・生徒一人ひとりに対するきめ細やかな教育活動の推進のため、学力向上、いじめ、不登校、生活指導上などの課題や、小学校から中学校への環境の変化に伴う学習面のつまづき、ICTを活用した学習の習熟度などに応じた指導体制に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○小学校35人学級を継続実施し、きめ細かな学習指導を行うため、4年生35人学級に必要な人員14名を該当校に配置しました。 ○【拡充】学校運営支援員（管理職経験者）を4名に拡充して、学校管理職の課題対応等をサポートし、教頭への業務指導を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○小学校で35人学級を実施することで、児童一人ひとりの個性や理解力、興味や関心に合わせた指導を図り学力向上の取組みを図りました。また、個々の児童に目が届きやすくなることで様子を把握しやすくなりました。しかしながら、人材の確保や今後の勤務条件等の整備が課題となっております。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○校長OBの役割の見直しを進め、経験の浅い管理職のサポートや相談対応など学校管理職支援の充実を図ります。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	任期付常勤講師配置学級数	担当課調査	学級	12	23	14	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	教職員の人事等事務	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	603300 教育委員会・教職員課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○きめ細やかな教育活動の推進のため、府費負担教職員の人事や学級編制、給与、免許等に関する事務及び、勤務負担軽減やサービス管理に関する指導、福利厚生を増進を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○【拡充】教職員の新出退勤システムを導入し、休暇処理等の電子化を進め、出退勤情報の共有を図りました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○出退勤システムの導入により、管理職や教職員個人が出退勤のデータを確認することで在校等時間削減の取組みを図りました。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	スクール・サポート・スタッフ 配置校数	担当課調査	校			58	数値	58
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	教職員定期健康診断受検率	担当課調査	%	95.4	90.6	91.2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	119,835	人件費（参考）	82,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	5,650	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	125,485	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	27,917
	決算額	108,455		地方債	0
	残額	17,030		その他 特定財源	0
	執行歩合	86.43%		一般財源	80,538

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		教職員厚生会事業【継続】	1,580	0	0	1,580	01	事務局費
	教職員の人事等事務【拡充】	106,875	27,917	0	78,958	01	事務局費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校教育運営事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	603700 教育委員会・学校教育課		
関連部局・課	160100 人権政策課 600000 教育委員会 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○小・中学校間の円滑な接続と指導の一貫性等を図るため、各中学校を中核とし小学校と連携して9年間を見通した取組みを推進します。また、「地域体験学習」「総合的な学習の時間」の円滑な実施に向け、実施計画・方法等について研究を進め、事業の充実を図ります。</p> <p>○教職員に対する人権教育研修の企画・運営、人権教育関係情報の発信、小中学校における人権教育活動への援助を行います。研究団体の活動を支援します。</p> <p>○奨学金制度の活用を主とした進学相談を行います。また、帰国・渡日児童生徒を対象に、日本語指導、学習や学校生活支援を行うとともに、小中学校における多文化共生教育を推進します。</p> <p>○小中学校の児童生徒に対し、運動への関心を高めるとともに、体力の向上を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○小中学校間の円滑な接続と指導の一貫性や系統性を図るため、各中学校を中核校とし児童生徒や地域の実態に応じて推進主題を設定し、小学校と連携して9年間を見通した取組みを進めました。また、キャリアパスポートを作成し、学びに向かう力を育み、自己実現を図ることに取り組みました。</p> <p>○教職員に対して人権教育研修や人権教育関係情報を発信し、小中学校における人権教育活動への援助を行いました。</p> <p>○奨学金制度の活用を主とした進学相談を行いました。また、帰国・渡日児童生徒を対象に、日本語指導、通訳者派遣、学習や学校生活支援を行うとともに、小中学校における多文化共生教育を行いました。</p> <p>○児童の運動への関心を高めるとともに体力の向上を図るため、「わくわくスタートかけっこ教室(小学生陸上教室)」により体育授業に専門スタッフを派遣しました。</p> <p>○【拡充】外国語(英語)教育では、小・中学校で外国人英語指導助手派遣を拡充するとともに教職員研修及び公開授業を実施し、教員の外国語活動及び外国語指導に対する資質・能力の向上を図りました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○渡航解除に伴い、渡日・帰国児童生徒の増加により、日本語指導や通訳者派遣の増加が見込まれます。</p> <p>○小学校における体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ自ら課題に取り組む力や「生きる」力を育むために継続します。</p> <p>○中学校における体験的な学習を通して、生徒が社会的自立に向けた基礎的・基本的な知識・技能の習得ならびに、それらを活用する力を育むために継続します。</p> <p>○児童生徒の運動に対する興味関心を高めることや体力向上につながるよう、義務教育9年間を見通した取組について調査研究を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	全国調査の教科に関する結果で全国平均を上回った設問の割合	全国学力・学習状況調査	%	-	88.3	68.8	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	小中学校の教科ごとに全国平均を上回った設問の割合を算出し、その平均をとる							
2	目標	「自分で計画を立てて勉強している」と答える児童の割合	全国学力・学習状況調査	%	-	69.5	65.7	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	児童質問紙の「自分で計画を立てて勉強している」の「よくしている」「ときどきしている」の割合							
3	目標	「自分で計画を立てて勉強している」と答える生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	-	62.8	59.2	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	生徒質問紙の「自分で計画を立てて勉強している」の「よくしている」「ときどきしている」の割合							
4	目標	人権教育啓発推進校	担当課調査	校	23	26	26	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	人権教育を先進的に進めている小中学校の数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令・計画等	学校教育法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、学習指導要領
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人権文化のまちづくりをすすめる条例、豊中市児童生徒体力づくり推進会議要綱等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	270,001	人件費（参考）	66,015	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△5,992	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	264,009	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	4,542
	決算額	227,330		地方債	0
	残額	36,679		その他 特定財源	2,540
	執行歩合	86.11%		一般財源	220,248

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		教職員研修推進事業【継続】	2,800	0	0	2,800	01
	人権教育啓発推進事業【継続】	3,863	0	0	3,863	01	研修指導費
	進路選択支援事業【継続】	1,257	1,256	0	1	01	研修指導費
	通訳派遣事業【継続】	5,680	986	0	4,694	01	研修指導費
	国際教室【継続】	1,652	600	0	1,052	01	研修指導費
	在日外国人教育推進事業【継続】	6,568	0	0	6,568	01	研修指導費
	学力向上【継続】	11,117	0	0	9,932	01	研修指導費
	国際（理解）教育の推進【継続】	4,009	0	0	2,654	01	研修指導費
	小中一貫教育の推進【継続】	26,091	0	0	26,091	01	研修指導費
	音楽教育の推進【継続】	4,989	0	0	4,989	01	研修指導費
	体力向上推進事業【継続】	1,804	0	0	1,804	01	保健振興費
	運動部活動指導協力者派遣事業【継続】	0	0	0	0	01	中学校管理費
	日本語指導【継続】	5,673	1,700	0	3,973	01	研修指導費
	教育美術展【継続】	367	0	0	367	01	研修指導費
	学力・学習状況調査【継続】	244	0	0	244	01	研修指導費
	英語・外国語教育の推進【拡充】	133,919	0	0	133,919	01	研修指導費
	小学校体験学習の推進【継続】	10,209	0	0	10,209	01	研修指導費
	中学校体験学習の推進【継続】	7,088	0	0	7,088	01	研修指導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校管理・運営事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	603700 教育委員会・学校教育課		
関連部局・課	360500 こども事業課 600000 教育委員会 604100 教育センター		

事業概要	<p>○小・中学校ごとに学校評議員会やコミュニティ・スクールを設置し、保護者や地域住民等の意向を把握するとともに学校運営に反映し開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>○小中学校の通学区域その他の学校教育についての調査審議、学校規模と通学区域に関する課題解消のために、企画立案を行います。また、「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」に基づき、義務教育学校の開校に向けた準備を進めます。</p> <p>○職員が人権問題の本質を理解し、共通の認識をもって小中学校への積極的かつ適切な対応・支援を行うため、人権研修会を企画運営します。</p> <p>○豊中市立小中学校児童生徒の運動に対する意欲や関心を高め、体力向上を図るため、運動部団体等への支援を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】小・中学校4校に対しコミュニティ・スクールを設置し、保護者や地域住民等の意向を把握し学校運営に反映しました。</p> <p>○学校教育審議会を4回開催し、「小中一貫教育の推進に向けた基本的な考え方」の答申を受けました。</p> <p>○【拡充】「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」及び「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」に基づき、義務教育学校の開校に向けた準備を進めました。</p> <p>○本市の実態に応じた人権課題をテーマに、教職員を対象にした人権研修を実施しました。</p> <p>○【新規】市内各中学校へ部活動指導協力者を派遣することで、中学生へ専門的な技術指導を行いました。また、令和4年度(2022年度)より部活動指導員6人を6校に配置しました。</p> <p>○各種負担金・補助金については各種諸団体に適切に執行しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○コミュニティ・スクールへのスムーズな移行に向けて、学校支援を行うとともに開かれた学校づくりを推進していきます。</p> <p>○教育に関する数々の課題解消に向けて、学校教育審議会に諮問し、議論していただいたうえで、答申を得るという手順を考えると、毎年3回程度の開催が妥当と考えます。ただし、課題の内容等によっては、議論を深めていただく必要があるため、開催回数を増やすなどの対応が必要となります。</p> <p>○教育制度や社会情勢の変化、本市における教育行政や学校規模と通学区域に関する課題等の動向を注視し、学校、保護者、地域住民、関係部局等と連携しながら、小中一貫教育の取組みを進めます。</p> <p>○希望部活動の指導協力者の確保が今後の課題です。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	目標	人権研修会の参加回数	担当課調査	回	7	9	9	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	事務局職員が研修会等に参加した回数							
2	目標	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	担当課調査	校	-	1	4	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置している校数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、学校保健安全法・労働安全衛生法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人権文化のまちづくりをすすめる条例、小中学校管理運営規則・職員安全衛生管理規則、学校運営協議会規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	40,816	人件費（参考）	56,295	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,116	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	42,932	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	2,888
	決算額	36,390		地方債	0
	残額	6,542		その他 特定財源	0
	執行歩合	84.76%		一般財源	33,502

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		学校教育審議会の運営【継続】	673	0	0	673	01	事務局費
	コミュニティ・スクール及び学校評議員会【拡充】	1,088	0	0	1,088	01	事務局費	
	研究・研修（研修指導費）【継続】	442	406	0	36	01	研修指導費	
	教材教具・諸帳簿（小学校）【継続】	4,458	0	0	4,458	01	小学校管理費	
	学校施設安全衛生委員会【継続】	350	0	0	350	01	保健振興費	
	教材教具・諸帳簿（中学校）【継続】	1,212	0	0	1,212	01	中学校管理費	
	各種負担金・補助金・奨励金【継続】	4,663	0	0	4,663	01	研修指導費	
	事務局職員研修推進事業（事務局費）【継続】	114	0	0	114	01	事務局費	
	教育課程・教科書【継続】	0	0	0	0	01	研修指導費	
	学校の適正規模にかかる企画立案【拡充】	11,160	0	0	11,160	01	事務局費	
	教育研究会【継続】	1,140	0	0	1,140	01	研修指導費	
	部活動指導員・指導協力者【新規】	9,129	2,482	0	6,647	01	中学校管理費	
	各種負担金・補助金（保健振興費）【】	1,961	0	0	1,961	01	保健振興費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	小中一貫校施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	603700 教育委員会・学校教育課		
関連部局・課	600300 学校施設管理課特任主幹		

事業概要	○「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」に基づき、9年制の施設一体型の義務教育学校を整備します。
当該年度の実績	○（仮称）南校整備事業者の選定を行い、設計を進めました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○事業者、学校、保護者、地域住民、関係部局等と連携しながら、（仮称）南校の開校に向け、設計及び建設に取り組みます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校教育充実事業	区分	拡充
施策の方向性	(2) 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	604100 教育委員会・教育センター		
関連部局・課	603300 教職員課 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子どもたちが必要な情報を自ら選び、仲間とともに解決策を見出していきける力を身につけることができるよう、一人一台タブレット端末やデジタル教科書、大型モニタ等のICT環境の整備や学校支援に努めます。</p> <p>○教育環境の複雑化、多様化および教職員の世代交代に伴う授業力の継承や、新たに生起する教育現場の課題に対応するため、教職員研修の充実を図り、当市の教職員の人材育成を推進します。</p> <p>○学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、様々な授業研究の機会を提供するなど、小中学校の校内研究・校内研修の活性化を支援します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【拡充】令和2年度（2020年度）に配備した一人一台タブレット端末を活用し、児童・生徒の情報活用能力の育成や、新型コロナウイルス感染症の拡大時におけるオンライン授業等により、学力保障の取組みを行いました。</p> <p>○経験年数や職務、授業力の向上及び多様な教育課題に応じた教職員研修の実施に取り組みました。また、豊能地区での相互交流研修を活用しました。</p> <p>○校内研究推進事業「情報活用能力の育成」では、研究指定校12校を指定し、担当指導主事による定期的な学校訪問や教員・児童生徒アンケートの実施、公開授業などを行いました。また、研究協力員を任命し、各教科・領域ごとに研究協力員会を開催するとともに、教科・領域等に係る授業研究を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○一人一台タブレット端末等のICT機器の活用を拡大していくためには、データ使用量の増加によるネットワーク負荷の増大への対応など、さらなるICT環境の整備が必要です。</p> <p>○教職員のキャリアステージを意識した育成指標を各研修に示すことで、キャリアステージに応じた研修が選択ができるようになりました。また、豊能地区での相互交流研修を活用することにより、教職員が他地域の実践に触れ、学ぶ機会を創出しました。</p> <p>○研修受講履歴システムが令和6年度（2024年度）から国が導入することを見据え、令和5年度（2023年度）は教育センター独自で各教職員受講履歴を管理していきます。</p> <p>○校内研究推進事業の実施によって、教員のICT活用指導力や児童生徒の情報活用能力の向上につながりました。取組みをさらに推進するため、校内研究推進事業の指定校を12校から16校に拡大します。</p> <p>○また、研究協力員の取組みについては、研究協力員会や公開授業の実施、研究成果物などの情報発信によって実践の共有を行うことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた授業改善につながりました。</p> <p>○教職員の働き方改革が全国的な課題となっている中、これまで以上に効率的に校務を進めていくことができるよう、校務支援システムを拡充し、健康診断票の電子化等に取り組みます。</p> <p>○校務等の電子化が進む中、学校における情報セキュリティの確保に取り組み、情報流出等の事故の低減を図る必要があります。令和5年度（2023年度）は、教育情報セキュリティポリシーにもとづく監査を実施します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	100
1	目標	小学校1クラス週1回以上ICTを活用する学習活動を行った割合	全国学力学習調査	%	-	90.3	97.5	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	前年度に児童がコンピューター等のICTを活用する学習活動を1クラス当たり週1回以上行った学校の割合							
2	目標	中学校1クラス週1回以上ICTを活用する学習活動を行った割合	全国学力学習調査	%	-	100	100	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	前年度に生徒がコンピューター等のICTを活用する学習活動を1クラス当たり週1回以上行った学校の割合							
3	参考	教職員研修の実施回数	担当課調査	回	130	162	173	数値	200
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	教職員研修の延べ参加人数	担当課調査	人	2,881	5,114	5,491	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	教職員研修参加者アンケート集計結果の肯定的評価	担当課調査	%	92.7	97.1	98.4	数値	95
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	児童生徒支援・相談事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	604500 教育委員会・児童生徒課		
関連部局・課	160000 人権政策課 360100 こども政策課 361500 こども相談課 601300 社会教育課 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○子ども理解及び信頼関係に基づいた生徒指導の充実及び教職員の相談対応能力や学校組織としての対応力向上を図るために、個別のケースカンファレンス等の学校支援及び教職員研修等を実施します。また、「豊中市いじめ防止基本方針」に則り、いじめに関する取組みを推進し、学校におけるいじめ問題への対応力の向上を図ります。</p> <p>○小中学校における教育相談体制の充実を図るために、学校にスクールカウンセラーを配置します。また、配慮の必要な児童生徒の個々のニーズに応じた指導や支援を行うために、全小中学校にスクールサポーターを配置します。</p> <p>○子どものより豊かな心身の成長を促すために、子どもの心理・行動・ことば(発音等)、教育に関する様々な悩みや課題について、来所や電話による相談に適切に対応します。</p>
当該年度の実績	<p>○学校の相談に対応し、学校支援を行いました。</p> <p>○組織の運営を行い、関係機関との連携を深めることで、いじめの未然防止等の対策を進めました。</p> <p>○【拡充】スクールサポーターの効果的な配置により、学校支援を行いました。</p> <p>○教職員研修を5回実施し、また年間を通じて個別のカンファレンスを実施することで、教員の子ども理解の向上と学校の組織的な対応力の向上を促すことができました。</p> <p>○全公立中学校と一部の公立小学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実を図ることができました。</p> <p>○来所相談では、子どもや保護者の悩みや不安に対して専門職員が対応し、子どもの状況改善を促すことができました。電話相談では、悩みに応じた対応を提案、案内することができました。また、所員研修を実施し、相談体制に関する今日的な課題とその対応方法を学び、相談業務にいかすことができました。</p> <p>○【新規】庄内コラボセンター「こども・教育総合相談窓口」を開設し、相談機能を整備することができました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○いじめ、暴力等各学校の課題に対し丁寧に問題解決に取り組み学校支援に努めるとともに、生徒指導に関わる組織的対応力の向上が進みました。今度も引き続き効果的な児童生徒支援、学校支援に向けて取り組みます。</p> <p>○組織の設置・運営を行い、いじめの防止等に関する関係機関や団体との組織的な連携を図ることで、いじめ問題に対する学校の組織的体制の強化が進みました。</p> <p>○個々の児童生徒に対する支援を行い、学校全体の生徒指導の推進に貢献しました。</p> <p>○教職員研修を実施し、また年間を通じて個別のカンファレンスを実施することで、教員の子ども理解の向上と学校の組織的な対応力の向上を促します。</p> <p>○小中学校における教育相談体制の充実を図るために、引き続き、学校にスクールカウンセラーを配置します。</p> <p>○子どものより豊かな心身の成長を促すために、子どもの心理・ことば(発音等)、教育に関する様々な悩みや課題について、来所や電話による相談に適切に対応します。</p> <p>○庄内コラボセンター「こども・教育総合相談窓口」の相談機能を充実させ、児童生徒に係る問題を早期に発見し、早期支援につなげられるよう取組みを進めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	小・中学校におけるいじめの解消率	児童生徒課調査	%	92	91.4	94.1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	翌年6月30日現在のいじめ解消件数÷年度内のいじめ認知件数							
2	参考	スクールカウンセラー延べ援助者数	児童生徒課調査	人	28,175	23,579	25,588	数値	
	考え方、定義、算出方法など	スクールカウンセラーからの学期ごと報告による延べ人数累積によるもの							
3	参考	教育相談（来所相談）延べ相談者数	教育要覧	人	6,717	7,550	6,352	数値	
	考え方、定義、算出方法など	教育相談（来所相談）の来所相談者数の延べ人数累積によるもの							
4	参考	学校園との連絡会議	児童生徒課調査	回	186	211	138	数値	
	考え方、定義、算出方法など	来所相談における学校園との連携会議の回数							
5	参考	スクールサポーター活動回数	児童生徒課調査	回	8,470	7,231	7,740	数値	
	考え方、定義、算出方法など	スクールサポーター月例活動実績報告における延べ回数累積によるもの							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校・福祉連携事業	区分	新規
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	604500 教育委員会・児童生徒課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○青少年交流文化館いぶき（以下「いぶき」という。）における創造活動は、不登校児童生徒が、自らの興味・関心を行動にうつしその活動過程で成長が図られるよう、必要な援助を組織的・継続的に行うことにより、不登校児童生徒が学校復帰や社会的自立をめざすことを目的とします。</p> <p>○虐待など児童生徒のさまざまな課題に対応するために、教育と福祉に関して高度な専門的知識を有し、相談支援活動経験のある人材を、スクールソーシャルワーカー（以下「SSW」という。）として全小学校に配置し、中学校に事案対応派遣を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○年々、多様で長期化する不登校児童生徒が増える傾向の中、いぶきの創造活動で支援できた人数も多く、総援助人数が43人増加しました。</p> <p>○【拡充】SSWを派遣することにより、校内での支援体制を強化するとともに、福祉などの他分野との連携が進み、支援件数が271件増加しました。</p> <p>○寄り添い型学習支援事業では、年間を通じて20人の定員の内16人が登録し、年間延べ利用回数は403回でした。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○いぶきが連携する団体と共同した活動を行うなど、社会的つながりの幅を広げるとともに、切れ目のない支援を行うことができました。次年度も引き続き、連携を深めていきます。</p> <p>○援助人数の増加に伴い、活動場所や支援者の不足が生じており、場所及び人員の拡充が喫緊の課題です。</p> <p>○すべての市立小学校にSSWを派遣することができましたが、支援件数の増加に伴い、SSWの抱えるケースについて事務局としての把握が難しいことや、経験の浅いSSWが大半を占めていることからくる育成面等が課題です。今後は、SSWに対する研修を充実させ、支援の質の向上を図ります。</p> <p>○寄り添い型学習支援事業の成果として、利用したすべての生徒が進学することができました。一日の利用者が多い場合、部屋の広さに対するソーシャルディスタンスの確保が難しかったことや児童等学習指導員等、支援者体制に課題がありますが、令和5年度より庄内コラボセンター「ショコラ」に場所を移し、支援の充実を図ります。</p> <p>○今後は、新たに不登校児童生徒を生み出さない取り組みと、不登校児童生徒の新たな学びの場の創出を図ります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	不登校児童生徒への創造活動による援助率	すこやか育みプラン	%	21.6	19.7	21.9	数値	
	考え方、定義、算出方法など	学校復帰児童生徒数÷相談援助総児童生徒数							
2	参考	不登校児童の千人率	長期欠席児童生徒調査	%	8.8	14.3	16.2	数値	
	考え方、定義、算出方法など	不登校が理由である年度内累積30日以上欠席した児童数÷市立小学校児童数							
3	参考	不登校生徒の千人率	長期欠席児童生徒調査	%	33.8	47.9	55	数値	
	考え方、定義、算出方法など	不登校が理由である年度内累積30日以上欠席した生徒数÷市立中学校生徒数							
4	参考	スクールソーシャルワーカー活用時間数	すこやか育みプラン	時間	6,924	7,035	10,529	数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市スクールソーシャルワーカー事業							
5	参考	中3生に向けた学習・相談支援者数	少年文化館報告書	人	12	16	16	数値	
	考え方、定義、算出方法など	寄り添い型学習支援事業							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校問題解決支援事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	604500 教育委員会・児童生徒課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○学校・教育委員会において生じた解決困難な課題に対して、学校問題解決支援事業の専門家の助言・支援により早期解決を図るとともに学校等における課題解決力及び教育力の向上を図ります。</p> <p>○相談チームと支援チーム及び検討会議等から構成されており、相談チームは、課題の早期解決のための相談（法律相談・実務相談）等を行い、支援チームは、課題の早期解決のために支援方法の協議（サポート会議）及び専門家の学校支援派遣（サポート派遣）等を行います。</p> <p>○検討会議では、本事業の課題の解決への効果検証及び効果を高める方策等の調査研究を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○保護者等から寄せられる学校・教育委員会における解決困難な課題に対し、学校問題解決支援事業支援チーム及び相談チームが中心となり、専門家の助言・支援により早期解決を図りました。また、課題対応力・学校力の向上を図りました。</p> <p>○相談チームにおける法律相談については、概ね月3回の機会を設定し実施しました。</p> <p>○支援チームにおけるサポート会議については、年10回開催し、延べ35件の事案に対応しました。また、サポート派遣については、延べ25件の事案に対応し、困難事案のアセスメントを適切に行い早期解決を図りました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○保護者等から寄せられる学校・教育委員会における解決困難な課題に対し、学校問題解決支援事業支援チーム及び相談チームが中心となり専門家の助言・支援を受ける機会を設定することにより、事態の改善、早期解決につながりました。</p> <p>○困難事案の早期解決につながるよう、学校にサポート会議やサポート派遣の有効活用を促していくことが課題です。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	法律相談及び対応件数	児童生徒課調査	件	51	18	16	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当課への法律相談申し込み事案実績件数							
2	参考	サポート会議延べ対応件数	児童生徒課調査	件	36	38	35	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当課へのサポート会議申し込み事案実績件数							
3	参考	サポート派遣延べ対応件数	児童生徒課調査	件	15	12	25	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当課への専門家サポート派遣依頼申し込みによる対応実績件数							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		学校問題解決支援事業実施要綱 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	8,901	人件費（参考）	5,913
	流用増減額 （予備費充当用含む）	39	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	8,940	国・府支出金	0
	決算額	7,714	地方債	0
	残額	1,226	その他 特定財源	0
	執行歩合	86.29%	一般財源	7,714
			財源内訳の	

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	予算管理事業	学校問題解決支援事業（相談）【継続】	5,766	0	0	5,766	01	事務局費
学校問題解決支援事業（支援）【継続】		1,948	0	0	1,948	01	児童生徒支援費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害児教育推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	604500 教育委員会・児童生徒課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○障害のある児童生徒が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを推進するために、福祉・保健・医療と緊密な連携を図り、効果的な施策推進による教育を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○一年間、府事業「市町村リーディングチーム充実支援事業」のモデル市として実践を行いました。</p> <p>○【拡充】今年度より、任期付介助員・会計年度介助員に加え、人材派遣委託契約を締結したことにより、派遣契約介助員が新たに加わり、介助員の増員を行いました。</p> <p>○全小中学校ならびに義務教育学校に通級指導教室の設置を府に要望しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○府事業「市町村リーディングチーム充実支援事業」のモデル市として指導助言を賜り、市町村リーディングチームの活性化と強化を図ることができました。また、実践報告会にて発表を行いました。モデル市は終了しましたが、引き続き、指導助言されたことを活かし、市町村リーディングチームの強化を図っていきます。</p> <p>○介助員を13名増員したことにより、個々の状況に応じた支援を行うことができました。しかしながら、介助員の配置が0名の学校もあるため、引き続き、増員に向け取り組みます。</p> <p>○要望通り、令和5年度より全校に通級指導教室が設置され、個のニーズに応じた学びの場を整備することができました。引き続き、通級指導教室の適切な運用を進めていきます。</p> <p>○支援教育の更なる充実と推進のため、各校より選任された支援教育コーディネーターを3年かけ育成する計画です。令和5年度は15回の悉皆研修を予定しています。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	介助員配置数（小学校）	事務の点検評価報告書	人	58	61	72	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	学校ヒアリングにおける、必要な介助員数に基づき配置を決定しています。							
2	目標	介助員配置数（中学校）	事務の点検評価報告書	人	12	16	18	数値	20
	考え方、定義、算出方法など	学校ヒアリングにおける、必要な介助員数に基づき配置を決定しています。							
3	参考	巡回相談実施校数	事務の点検評価報告書	校	67	64	86	数値	
	考え方、定義、算出方法など	指標については、機構改革により、平成27年度以降は小中学校における実施数のみをカウントしています。							
4	参考	進路相談数	事務の点検評価報告書	回	317	362	347	数値	
	考え方、定義、算出方法など	指標については、令和2年度以降は就学前相談数及び転入等の就学相談数のみの合計でカウントしています。							
5	目標	支援が必要な児童生徒への看護師派遣率	事務の点検評価報告書	%	100	100	100	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	看護師による医療的ケアが必要な児童生徒数に対して看護師を配置した数の割合です。							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市障害児教育基本方針（改定版）、豊中市立小中学校における医療的ケア実施要項

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	252,499	人件費（参考）	170,320			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	5,148	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	267,718	財源内訳	国・府支出金	20,333		
	決算額	212,408		地方債	0		
	残額	55,310		その他特定財源	0		
	執行歩合	79.34%		一般財源	192,075		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
支援職員配置事業（小学校）【拡充】		128,049	0	0	128,049	01	小学校管理費
支援職員配置事業（中学校）【継続】		23,460	0	0	23,460	01	中学校管理費
学校支援事業【継続】		8,481	0	0	8,481	01	児童生徒支援費
支援学級管理運営事業【継続】		2,439	0	0	2,439	01	児童生徒支援費
支援職員配置事業【継続】		49,979	20,333	0	29,646	01	児童生徒支援費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	修学・就学事業（学務保健課）	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600200 教育委員会・学務保健課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○適切な学校指定と学籍の管理を行います。また、児童生徒の就学に関する統計事務を行います。</p> <p>○経済的理由で高等学校等の修学を断念することのないよう奨学金の貸付けを行います。</p> <p>○市立学校の保護者負担費等会計事務について、業務の標準化を行い、適切な債権管理を行います。</p> <p>○経済的理由により、就学困難な生徒の保護者に援助することで教育の機会均等を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○学齢児童生徒の就学事務、外国人の就学事務、支援学校・院内学級への就学事務、就学猶予・免除事務、越境通学の調査・是正事務、指定校変更・区域外就学事務、通学区域の設定事務、夜間学級就学事務等を行いました。</p> <p>○児童生徒の就学に関する統計事務を行いました。</p> <p>○保護者負担費を適正に徴収管理する体制を構築し、学校現場における事務負担軽減を図りました。</p> <p>○経済的理由により高校等への修学が困難な生徒に対して、奨学金の貸付けを行いました。</p> <p>○私立高等学校等入学時に必要な資金の調達が困難な生徒に対して、貸付（有利子）あっせんを行いました。また、約定どおりに完済した者に対して、利子補給を行いました。</p> <p>○要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対して医療券を発行し、医療機関へ治療委託料を支払いました。</p> <p>○経済的理由により就学困難な市立小中学校特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対して、学用品費等、学校給食費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、林間臨海学舎費の一部を援助しました。</p> <p>○【拡充】経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費等、学校給食費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、林間臨海学舎費の一部を援助しました。</p> <p>○中学校夜間学級に在籍する豊中市在住生徒に対して、学用品費等、通学費、修学旅行費、林間臨海学舎費の一部を援助しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○【成果】就学事務を適切に行うことで、適切な学齢児童生徒の学籍管理が図られました。</p> <p>○【成果】保護者負担費を適正に徴収管理する体制を構築することで、学校現場における事務負担軽減が図られました。</p> <p>○【成果】奨学金貸付及び貸付あっせんを実施することで、経済的理由により高等学校等の入学を断念させることなく、入学時に必要となる資金の調達支援が図られました。</p> <p>○【成果】医療費補助を実施することで、経済的理由により医療機関の受診を躊躇させることなく、対象疾病の治療が図られました。</p> <p>○【成果】奨励費を支払うことで、支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、支援教育の普及奨励が図られました。</p> <p>○【成果】就学援助を実施することで、経済的理由により就学困難な者への支援が図られました。</p> <p>○【課題】奨学金制度について、基金残高が増加傾向である一方で貸付実績が減少傾向であることから、奨学金の効率的な運用を図る必要があります。</p> <p>○【今後の方向性】奨学金の効率的な運用に向けて、奨学金制度を見直します。</p> <p>○【今後の方向性】新型コロナウイルス感染症対策費について、国・府・世間の動向を注視し、支給の是非を検討します。</p> <p>○【今後の方向性】電子デバイスを導入する等し、窓口対応の充実を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	就学援助受給者数（小学校）	担当課調査	人	2,845	2,702	2,586	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	就学援助受給者数（中学校）	担当課調査	人	1,574	1,445	1,385	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	特別支援教育就学奨励受給者数（小学校）	担当課調査	人	339	334	368	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	特別支援教育就学奨励受給者数（中学校）	担当課調査	人	107	124	104	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	学校教育法、学校保健安全法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市就学援助費支給要綱 豊中市私立高等学校入学支度金貸付あっせん等に関する規則 奨学基金条例 豊中市奨学条例 豊中市奨学条例施行規則 学齢児童生徒の就学すべき学校の指定等に関する規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	627,554	人件費（参考）	43,740	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△448	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	627,106	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	87,438
	決算額	484,649		地方債	0
	残額	142,457		その他 特定財源	21,673
	執行歩合	77.28%		一般財源	375,538

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		要・準要保護児童就学援助（小学校）【拡充】	248,851	51,670	0	197,181	01
	夜間学級就学奨励【継続】	229	0	0	229	01	中学校教育振興費
	小学校特別支援教育就学奨励【継続】	13,171	5,380	0	7,791	01	小学校教育振興費
	小学校医療費援助【継続】	1,071	5	0	1,066	01	小学校教育振興費
	入学支度金貸付あっせん【継続】	4,522	0	0	5	01	教育振興費
	奨学金事務【継続】	18,657	0	0	1,501	01	教育振興費
	就学事務【継続】	3,510	38	0	3,472	01	事務局費
	学籍管理等業務支援オンラインシステムの運用【継続】	11,073	0	0	11,073	01	事務局費
	中学校医療費援助【継続】	520	0	0	520	01	中学校教育振興費
	中学校特別支援教育就学奨励【継続】	5,755	1,793	0	3,962	01	中学校教育振興費
	要・準要保護生徒就学援助（中学校）【拡充】	171,587	28,552	0	143,035	01	中学校教育振興費
	保護者負担費徴収管理【継続】	5,703	0	0	5,703	01	事務局費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校保健管理事業（学務保健課）	区分	継続
施策の方向性	(2)子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	47
担当部局・課	600200 教育委員会・学務保健課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○学校管理下における児童・生徒の災害に対する医療費等の給付を行い保護者の経済的な負担軽減を図ります。</p> <p>○豊中市学校保健会、豊中市三師会に対して補助金を執行し、その活動の活性化を図ります。</p> <p>○就学予定者の心身の状況を把握し、疾病を早期発見し対応することで、入学後の学校生活の円滑な実施にいかします。</p> <p>○豊中市立学校に在籍している児童の健康の保持増進を図り、疾病を早期に発見し対応することにより、学校教育の円滑な実施をめざします。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○学校管理下において被災した児童生徒の保護者に対して、豊中市学校災害見舞金や医療費等必要な給付を行いました。</p> <p>○医療点数の総計が500点未満の医療費等について、豊中市学校災害見舞金として給付手続きを行いました。</p> <p>○豊中市学校保健会の理事会・評議員会、研修会の開催、保健会だよりの発行を行いました。</p> <p>○翌年度の小学校就学予定者に対して、就学時の健康診断（視力・聴力検査、内科・歯科・眼科・耳鼻科検診）を実施しました。また、保護者の同意が得られた場合に限り、就学前施設で実施した定期健康診断の結果を、就学時健康診断の結果に活用しました。</p> <p>○宿泊を要する学校行事等に看護師を帯同させ、児童生徒の健康管理を行いました。</p> <p>○市立小中学校の児童生徒に対して、定期健康診断を実施しました。</p> <p>○在籍児童生徒の心臓検診、定期結核健診、尿検査の実施、学校検診で使用する滅菌器具の借上げを行いました。また、心臓一次検診未受診者の検診及び、心臓二次検診費用について公費負担を行いました。</p> <p>○医療点数の総計が500点以上の医療費等について、独立行政法人日本スポーツ振興センターへ給付申請し、給付手続きを行いました。</p> <p>○医薬材料・プール薬品事務に基づく保健指導により、児童生徒の健康管理と学校の環境管理を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○【成果】学校管理下において被災した児童生徒の保護者に対して、豊中市学校災害見舞金や医療費等必要な給付を行うことで、保護者の経済的な負担を軽減できました。</p> <p>○【成果】豊中市学校保健会、豊中市三師会へ負担金・分担金を交付することで、課題に応じた研修会を実施する等、それぞれの独自性をいかした活動を展開でき、活性化が図られました。</p> <p>○【成果】小学校就学予定者の心身の状況を把握し、疾病を早期発見し対応することで、入学後の学校生活の円滑な実施にいかせました。</p> <p>○【成果】市立小中学校在籍児童生徒の健康の保持増進を図り、疾病を早期発見し対応することで、学校教育の円滑な実施に寄与できました。</p> <p>○【成果】宿泊を要する学校行事等に看護師を帯同させることで、児童生徒の健康管理や、健康上配慮を要する児童生徒への適切な対応につながりました。</p> <p>○【成果】市立小中学校において、医薬材料・プール薬品事務に基づく保健指導により、児童生徒の健康管理と学校の環境管理を円滑に実施できました。</p> <p>○【今後の方向性】引き続き、児童生徒の健康管理と安全確保を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	就学時健康診断 受検率	担当課調査	%	98.1	99.3	98.8	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	受診者（就学前施設結果提供+集団健診受診+市立HP受診）／対象者（10/1学齢簿記載+10~12月転入）							
2	参考	市立小学校児童 心臓検診 受検率	担当課調査	%	99.4	99.9	99.2	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	受診者（学校心電図（1次）受検者+1次未受診者検診受検者）／対象者（各校提出の対象者名簿記載者）							
3	参考	市立小学校児童 尿検査 受検率	担当課調査	%	98.7	99.8	99.8	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	受診者（受検者）／対象者（各校提出の対象者名簿記載者）							
4	参考	市立中学校生徒 心臓検診 受検率	担当課調査	%	97.9	98.2	98.4	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	受診者（学校心電図（1次）受検者+1次未受診者検診受検者）／対象者（各校提出の対象者名簿記載者）							
5	参考	市立中学校生徒 尿検査 受検率	担当課調査	%	97.1	98	97.1	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	受診者（受検者）／対象者（各校提出の対象者名簿記載者）							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市学校見舞金給付要綱、豊中市立学校管理運営規則、修学旅行等付添看護師経費助成事業要綱、豊中市学校保健会補助金交付要綱、豊中市学校医等研修事業等補助金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	89,568	人件費 (参考)	19,440	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△6,824	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	82,744	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	1,396
	決算額	71,464		地方債	0
	残額	11,280		その他 特定財源	14,475
	執行歩合	86.37%		一般財源	55,593

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		就学时健康診断【継続】	6,552	0	0	6,552	01
	小学校児童健康管理【継続】	13,818	0	0	13,818	01	小学校管理費
	中学校生徒健康管理【継続】	7,861	0	0	7,861	01	中学校管理費
	小学校学校配当 (医薬材料事務)【継続】	2,920	0	0	2,920	01	小学校管理費
	中学校学校配当 (医薬材料事務)【継続】	1,259	0	0	1,259	01	中学校管理費
	修学旅行等付添看護師派遣事業【継続】	5,509	0	0	5,509	01	保健振興費
	各種負担金・補助金 (保健振興費)【継続】	2,229	0	0	2,229	01	保健振興費
	学校災害給付 (事務局費)【継続】	252	0	0	252	01	事務局費
	学校災害給付 (小学校管理費)【継続】	20,605	0	0	10,505	01	小学校管理費
	学校災害給付 (中学校管理費)【継続】	8,926	0	0	4,551	01	中学校管理費
	臨時対応体制の構築 (学務保健課)【】	1,533	1,396	0	137	01	災害対策費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	教育コミュニティづくり事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 子どもたちを育む学校・家庭・地域の連携を進めます	総合計画掲載ページ	48
担当部局・課	605000 教育委員会・学び育ち支援課		
関連部局・課	360100 こども政策課 361000 子育て支援センター 603700 学校教育課		

事業概要	<p>○学校・家庭・地域が連携し、学校を核とした地域の教育コミュニティの醸成を図るために、授業等における学習補助などの学校支援、放課後等に子どもたちの安心安全な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後支援、フェスタや講演会など地域教育の活性化を図る取組み、子どもたちの豊かな人間性や学力の基礎となる家庭教育の支援など、様々な教育支援活動を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市内全中学校区に地域教育協議会（すこやかネット）を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業を行い、地域教育の活性化を図りました。</p> <p>○家庭教育支援事業における「明日の親のための講座」では、桜塚高校、千成小学校放課後こどもクラブ、東丘小学校に地域の親学習ファシリテーターを派遣し、命の大切さや親になる気持ちについて考える機会を、児童・生徒に提供しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○学校と地域のさらなる連携促進のため、学校支援コーディネーターの全校配置に向け、人材確保を進めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	地域教育協議会各地域におけるフェスタ等事業の延べ参加人数	担当課調査	人	3,559	3,425	11,064	数値	
	考え方、定義、算出方法など	各校区の地域教育協議会からの報告書より算出							
2	目標	学校支援コーディネーターの配置校数（割合）	担当課調査	%	60.3	63.8	60.3	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	教育行政方針の評価指標、学校・家庭・地域の連携を示す目安、配置校数から算出							
3	参考	家庭教育支援事業に係る講座等の参加人数	担当課調査	人	269	137	518	数値	
	考え方、定義、算出方法など	事業実績（報告書等）により算出							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								



1-3 子ども・若者支援の充実

すべての子ども・若者が、希望に満ちた明るい未来を展望しながら健やかに育ち、地域社会の一員として成長し、自立した社会生活を営むことができるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します	4事業
①活動や交流ができる機会の充実	
②社会参加の促進	
③子どもの居場所づくり	
螢池北青少年運動広場施設管理	教育委員会 社会教育課
青少年健全育成事業	教育委員会 社会教育課
青少年自然の家施設運営管理	教育委員会 社会教育課
学校を拠点とした放課後等の子どもの居場所づくり事業	教育委員会 学び育ち支援課
(2)社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	4事業
①発達の特性に応じた支援、障害のある子どもへの支援	
②児童虐待防止対策の推進	
③若者就労支援	
こども家庭相談支援	こども未来部 こども相談課
児童発達支援センター運営管理	こども未来部 こども相談課
発達支援・療育の取組み	こども未来部 こども相談課
障害児福祉の推進	こども未来部 こども相談課
(3)子ども・若者を取り巻く課題に総合的に対応するしくみづくりを進めます	2事業
①子ども・若者を総合的に支援するしくみづくり	
②身近な地域での環境づくり	
若者支援事業	市民協働部 くらし支援課
青少年健全育成・防犯対策事業	教育委員会 児童生徒課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	螢池北青少年運動広場施設管理	区分	継続
施策の方向性	(1) 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わって	総合計画掲載ページ	50
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○青少年のスポーツ及びレクリエーション活動を促進し、青少年の交流を奨励することにより、青少年の体力向上の促進及び健全育成を図るとともに人権文化のまちづくりを進めるため、安全・快適に広場を利用してもらえるよう適正な維持管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○安全・快適に広場を利用してもらえるよう適正な維持管理（清掃業務、設備修繕、樹木剪定・雑草刈り等）を行いました。 ○青少年や地域のみなさまのスポーツ・レクリエーション・文化活動等の使用として独占使用を承認しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○施設を活用していただくことにより青少年の体力向上の促進及び健全育成を図りました。今後も樹木剪定・雑草刈り等施設の適正管理を継続して行います。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	増加 令和9年度
1	目標	独占使用団体述べ回数	担当課調査	回	225	216	216	数値年	増加 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	利用実績							
2								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	青少年健全育成事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わって	総合計画掲載ページ	50
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課	300500 くらし支援課		

事業概要	<p>○子ども・若者の主体的に行動していく力やコミュニケーション力、豊かな感性などを育むための活動や多様な人との交流の機会を充実させるため、少年文化館の施設統合を経た青少年交流文化館いぶきを拠点として、青少年健全育成の取り組みをします。</p> <p>○所管していた機能を連携・接続させ、様々な子どもから大人までが出会い、学び、体験することを通じて、子どもたちが社会に出ていくことを見通した連携事業を実施します。</p> <p>○施設の適正な維持管理を行いつつ、主催事業では高校クラブ活動の発表の場や学習機会の提供、青少年育成団体の活動支援、不登校支援との連携等に取り組みます。</p> <p>○また社会的支援を要する若者の相談窓口を委託事業を通じて設け、自立支援につなぎます。</p>
当該年度の実績	<p>○2022年度は、コロナ禍により全面的に活動に制限がかかった2020年度以来、社会の感染症対策が進み行動制限が緩和されていく状況に合わせ、感染拡大防止に十分に注意を払いながら事業を実施していきました。</p> <p>○いぶき主催事業では、「高校生ダンスフェスタ」を、ダンス部にとどまらず文化系クラブも対象とする新事業「高校生パフォーマンスフェスタ」に衣替えし3年ぶりに実施したほか、コロナ禍により近年中止を余儀なくされていた諸事業についても感染対策を行ったうえで実施しました。ほぼ3年間の空白により以前の事業を知る世代が入れ替わるなど逆境からのスタートでしたが、高校と連携したいずれの事業も盛況となりました。</p> <p>○子どもの居場所づくり事業では、ニーズを的確にとらえ通年講座のほかアート展を実施したほか、卓球台の開放、ほんのひろばの日曜日の運営を実施し、主に小中学生から高校生年代に至る若者世代のほか、幼児を含む親子連れといった幅広い利用がありました。また、新たに隔月で月1回、LGBTやその可能性がある子どもや若者の居場所づくりに取り組みました。</p> <p>○図書活動では、これまで少年文化館での「幼・小・中学生」から高校生や若者世代まで対象を広げ、旧プラネタリウム跡を活用して「ほんのひろば」として貸出、閲覧のほか、「たのしいつどい」や「おはなしと折り紙を楽しむ会」を行い、図書に親しむ機会を提供しました。また新たに、創造活動（不登校支援）事業から巣立った高校生年代の生徒が、社会的自立に向けた図書の整理などの就労体験をする取組みも行いました。</p> <p>○青少年団体の事業補助では、引き続き団体の活動支援等を行う一方、不登校支援との連携など新たな取り組みも始めました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○いぶき実施の諸事業の参加者数の点では、コロナ対策が進み行動制限が緩和されていく状況の底を打った前年度の流れをさらに受け、回復傾向となりました。</p> <p>○このうち図書活動と子どもの居場所づくり事業では、2022年度から実施場所が旧庄内少年文化館から青少年交流文化館いぶきに変更になったことから、参加者の減少が懸念されましたが、こちらも回復傾向を確保し、新生いぶきの周知と施設の活性化につながりました。</p> <p>○施設統合を踏まえた青少年健全育成事業と不登校支援、若者支援総合相談窓口との連携、いぶき諸事業のコロナ後の参加者数の回復、改修後の施設を活かした新たな企画の検討といった課題に対して、不登校支援との連携プログラムの実施等を通じ指導員役を務める青少年団体連絡協議会加盟団体の活動活性化を図るほか、いぶきに通う青少年といぶき諸事業とのつながりをつくる検討を行っていきます。またデジタル媒体を活用した施設・事業の情報発信のほか子育て層を対象とした新たな企画の実施により、青少年の豊かな交流と育みに取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値 年	増加 2023
1	参考	いぶき主催事業	担当課調査	人	-	35	584	数値 年	増加 2023
	考え方、定義、算出方法など	市主催の青少年健全育成事業の参加人数							
2	参考	図書活動	担当課調査	人	2,964	3,876	6,833	数値 年	増加 2023
	考え方、定義、算出方法など	延べ利用人数							
3	参考	子どもの居場所づくり	担当課調査	人	1,833	2,282	3,420	数値 年	増加 2023
	考え方、定義、算出方法など	延べ参加人数							
4								数値 年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値 年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	青少年自然の家施設運営管理	区分	継続
施策の方向性	(1) 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わって	総合計画掲載ページ	50
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊かな自然環境の中での自然体験活動、野外活動及び団体生活を通じて、青少年の主体性、創造性、協調性を養うことにより、生きる力と互いの人格を認め合う心を育み、もって青少年の健全育成を図るため、青少年自然の家を設置し適切に管理します。</p>
当該年度の実績	<p>○指定管理者制度により、施設を適切かつ効率的に運営しました。 ○民間事業者との連携事業を実施し、新たな利用者層の開拓に取り組みました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○コロナ感染症予防対策を講じ施設運営に取り組み、利用者に安心して施設を利用していただくことができました。 ○「利用者の行動様式の変化」「密を避けたい心理が醸成」され大口の団体利用が減少していますが、コロナにより活動を自粛していた団体に積極的に働きかけ、活動再開を促していきます。また団体予約の少ない週末などには、家族・小グループに向けた魅力的な利用プランやプログラムをSNS等で紹介し、利用につなげます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	増加
1	目標	自然の家利用団体数	担当課調査	団体	196	309	310	数値年	増加 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	自然の家利用延べ人数	担当課調査	人	4,172	5,203	9,322	数値年	増加 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	学校を拠点とした放課後等の子どもの居場所づくり事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わって	総合計画掲載ページ	50
担当部局・課	605000 教育委員会・学び育ち支援課		
関連部局・課	360100 こども政策課		

事業概要	○遊びや異年齢の交流、集団活動を通じて、児童の自発的・自主的な生活態度や習慣を養うなど、健全な育成を図るために、放課後や週末、三季休業中を過ごす場の充実に向けた取組みを進めます。
------	---

当該年度の実績	○【拡充】放課後等の児童の居場所づくり事業については、事業を拡大し、三季休業期間にも事業を実施しました。さらに、小学校全校で夏季休業中におけるプール開放事業を実施しました。 ○【拡充】庄内小学校・野田小学校放課後こどもクラブの土曜日運営を事業者に委託しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○放課後こどもクラブの一の支援の単位（クラス）あたりの児童数の国基準（おおむね40人）達成が必要です。 ○学校を拠点とした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりを推進するため、地域子ども教室、放課後こどもクラブ事業及び放課後の子どもの居場所づくり事業が連携する仕組みづくりを進めます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	放課後の児童の居場所づくり事業実施校数	担当課調査	校	10	10	10	数値	39
								年	2024
	考え方、定義、算出方法など 教育行政方針の評価指標、児童の放課後の居場所の充実度を示す目安、事業実績（報告書等）により算出								
2	参考	とよなか地域子ども教室の子ども延べ参加人数	担当課調査	人	11,122	14,005	31,515	数値	
								年	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
								年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
								年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
								年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	こども家庭相談支援	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	総合計画掲載ページ	51
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課	604500 児童生徒課		

事業概要	<p>○子どもと家庭に関するあらゆる相談を受け、子育ての不安や困難を抱える家庭への支援を行うとともに、大阪府池田子ども家庭センターなどの関係機関と連携をとりながら、児童虐待の予防や早期発見、再発防止に努めることにより、子どもの人権を守り、健やかな成長を支援します。また、児童虐待の予防から要保護支援施策まで一貫して支援できる相談体制の構築と地域社会全体で子どもの見守り体制づくりを図っていきます。</p>
当該年度の実績	<p>○子どもと家庭に関するあらゆる相談を受け、子育ての不安や困難を抱える家庭への支援を行うとともに、子育て支援や虐待予防を目的に保護者支援プログラムを実施しました。</p> <p>○大阪府池田子ども家庭センターなどの関係機関と連携をとりながら、児童虐待の予防や早期発見、再発防止に努めることにより、子どもの人権を守り、健やかな成長を支援しました。また、児童虐待の予防から要保護支援施策まで一貫して支援できる相談体制の構築、地域社会全体で子どもの見守り体制づくりを図るとともに、児童相談所開設の準備を進めました。</p> <p>○【新規】子どもの支援情報一元化システムを構築し、システムを活用しながら、こども相談課、母子保健課、児童生徒課の3課で相互に連携し、子ども・家庭へ包括的な支援を行いました。</p> <p>○【新規】ヤングケアラー支援に関する専用相談窓口を設置し、子ども本人や学校など関係機関にとって安心して相談できるよう、専任の「ヤングケアラー・コーディネーター」を配置し、公民役割分担のもと適切な福祉サービスにつなぐ機能の強化を図りました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○相談件数の増加及び相談内容の複雑化する中において、職員の資質の向上を図ることが必要です。子どもにかかる相談窓口機関・団体と情報交換・共有、連携の強化を図っていき、よりよい相談支援体制を整備する必要があります。</p> <p>○虐待対応ケースの重度化及び虐待通告件数の増加により、対応に追われ、きめ細やかな支援・ケースワークが難しくなっています。児童虐待による死亡事例が後を絶たず、子どもの命に係わる危険性が高まる中、国の動向や他市の先進事例を踏まえ児童虐待防止施策について検討し、体制の強化・充実を図ることが最重要課題です。</p> <p>○R5年4月に開設されるはぐくみセンターにおいて、児童福祉や母子保健、障害児支援、教育も含めた包括的な支援体制を構築し、合同会議やサポートプランの作成を行い、必要に応じた支援の提供につなげます。</p> <p>○R7年度の児童相談所の開設に向け、専門職の育成や確保といった人的体制の整備等を着実に進めていく必要があります。</p> <p>○ヤングケアラー支援の資源充実のため、子育て世帯訪問支援事業の具体的制度設計、子どもへのピアサポート、レスパイトケアを検討します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	子育て心の悩み相談件数	担当課調査	件	446	606	569	数値	520
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	児童虐待相談件数	担当課調査	件	1,049	1,159	1,516	数値	1,500
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	子どもを守る地域ネットワーク 会議開催数	担当課調査	回	13	15	17	数値	15
		考え方、定義、算出方法など	代表者会議、実務者会議、運営会議開催回数の合算					年	2022
4	参考	家庭児童相談件数	担当課調査	件	2,827	3,242	3,985	数値	2,950
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	児童発達支援センター運営管理	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	総合計画掲載ページ	51
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○児童発達支援センターおよび児童発達支援事業所あゆみの利用児童や家族が、安全で快適に事業の利用ができるために、児童発達支援センターおよび児童発達支援事業所あゆみの運営全般と施設管理や車両管理等環境の整備を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○児童発達支援センターの職員配置（専門職員の配置）変更届出を行い、「専門的配置加算」「福祉専門的配置等加算Ⅲ」「栄養士配置加算」の報酬・基準に係る見直しを行い、収入の確保につなげました。 ○児童発達支援事業所あゆみの事業実施している児童福祉関連複合施設の設備等の老朽化に伴い、貯水槽の配管修繕等行いました。 ○児童発達支援センターの厨房配膳台修繕、屋上庇他防水修繕を行いました。 ○【拡充】令和6年1月試行実施、4月本格実施予定の発達支援親子教室の必要物品の購入等必要な事務を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○児童発達支援センターにおける運営全般については円滑に実施できました。 ○児童発達支援センターにおける通所支援事業の一体的民間委託及び発達支援親子教室設置にむけて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援親子教室実施要綱の策定 ・通所支援及び給食業務プロポーザル実施 ・児童発達支援事業所あゆみ廃止届出 ・児童発達支援センター通所支援事業変更届出 ・児童発達支援センター事務所移転 ・児童発達支援事業所あゆみ移転 <p>を行っていきます。 ○支援者研修の内容及び対象者等の見直しを行います。 ○令和6年度児童福祉法改正に伴い、民間通所支援事業者等へのスーパーバイズ・コンサルテーション機能の事業内容について作成します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	こども療育相談利用児数	担当課調査	人	1,250	1,904	2,040	数値	900
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
2	参考	小集団親子教室契約児数	担当課調査	人	53	59	34	数値	60
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
3	参考	医学的リハビリテーション利用者数	担当課調査	人	147	131	136	数値	150
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
4	参考	あゆみ単独通所契約児数	担当課調査	人	20	31	16	数値	30
	考え方、定義、算出方法など	施設利用頻度の高い事業の利用数を指標としました。							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	発達支援・療育の取組み	区分	拡充
施策の方向性	(2) 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	総合計画掲載ページ	51
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○障害や発達に課題のある子どもや家族が地域で主体的に社会生活が営めるために、子どもの障害や発達特性に応じて、障害児通所支援事業、こども療育相談、診療所業務、障害児一時預かり事業等を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○親子通所による児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を実施しました。 （全契約児童数66名） ○児童発達支援事業の親子通所利用児童及び保護者に給食の提供を行いました。 ○【拡充】こども療育相談事業として基本相談、計画相談、療育支援事業、保護者支援講座等を実施しました。また令和4年度より、新たに民間通所支援事業者向けのペアレント・トレーニング講師養成講座を実施するとともに、地域子育て支援センターにて子育て発達支援プログラム及び相談会を実施しました。 ・こども療育相談相談件数 2040件 ・ペアレント・プログラム参加者 12名 ペアレント・トレーニング参加者 9名 ・ペアレント・トレーニング講師養成講座実施参加者数 10名 ・地域子育て支援センターにて子育て発達支援プログラム及び相談会実施 9回開催 延べ参加者数 72名 ○民間委託事業として単独通所事業、個別療育事業、障害児一時預かり事業を実施しました。 ・単独通所事業年間契約児童数 16名 ・個別療育年間契約児童数 39名 ・障害児一時預かり新規契約児童数 22名 ○診療所にて障害や発達に課題のある子どもの診察や医学的リハビリテーション、発達検査を実施しました。また、令和4年度より児童精神科医による診療も始めました。 ・診療所初診受診者数164名 ・医学的リハビリテーション実施対象者数136名</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業において、子どもの生活技能の向上を図るとともに、保護者の子どもの理解についてすすめることができました。 ○こども療育相談事業においては、訪問相談や発達支援巡回訪問を通じて、子どもの所属施設での適切な環境調整がすすめられたほか、保護者支援講師養成講座の拡充や、地域子育て支援センターにおける相談会を通して、保護者支援の拡充を図ることができました。 ○診療所においては、児童精神科医師の診療を開始し、発達障がい二次障害予防についてすすめることができました。 ○課題としては、就園前の子どもの行動の困り感について、保護者がより身近で気軽に相談できる場所が少ないことと、各事業の利用児童として就学前及び学童期の児童が多く、成人期移行支援の取組みをすすめる必要があることがあげられます。 ○現在児童発達支援センターで実施している就園前小集団親子教室を地域子育て支援センターで実施することにより、地域における発達支援親子教室と発達支援相談窓口を通し、より身近な地域における支援の拡充につなげます。 ○義務教育修了後の発達障害児を対象にした放課後等デイサービス事業を新設し、成人期移行支援をすすめていきます。また新設するにあたり、現在児童発達支援センターで実施している就園前小集団親子教室以外の通所支援事業と児童発達支援事業所あゆみで実施している通所支援事業等を一体的に民間委託し、公民連携による発達支援の充実を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	こども療育相談利用児童数	担当課調査	人	1,250	1,904	2,040	数値	900
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
2	参考	親子通所契約児童数	担当課調査	人	39	33	31	数値	40
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
3	参考	小集団親子教室契約児童数	担当課調査	人	53	59	34	数値	60
	考え方、定義、算出方法など							年	2022
4	参考	医学的リハビリテーション利用者数	担当課調査	人	147	131	136	数値	150
	考え方、定義、算出方法など	豊中市立児童発達支援センターの利用状況の経時的な推移を図る数値を指標に設定							年
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害児福祉の推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します	総合計画掲載ページ	51
担当部局・課	361500 こども未来部・こども相談課		
関連部局・課	331000 障害福祉課		

事業概要	<p>○障害のある子どもが、地域社会の一員として自分らしく豊かに生き、子どもと家庭が地域で主体的に社会生活を営むことができるよう、「第2期豊中市障害児福祉計画」に掲げる障害のある子どもへの支援の充実に向けた取組みを行います。</p> <p>○発達に課題がある子どもが障害児通所支援（児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援）を受けるために、相談、支給決定、障害児通所給付費の請求に対する審査業務を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○第3期障害児福祉計画の策定に先立ち、対象者へのアンケート及び結果分析を行いました。</p> <p>○発達に課題がある子どもが障害児通所支援（児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援）を受けるために、相談、支給決定、障害児通所給付費の請求に対する審査業務を行いました。</p> <p>○国の補正予算を活用し、障害児通所支援事業所を対象とした物価高騰対策事業を行いました。</p> <p>○医療的ケア児支援連絡会議を2回開催しました。また、医療的ケア児支援ガイドブックを作成しました。</p> <p>○豊中市通所支援事業者連絡会の側面的支援を行いました。</p> <p>○発達支援・障害児支援者研修をオンラインで年6回実施しました。</p> <p>○事業者と協働し、支援手帳のオンライン化にかかる実証実験を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○第3期障害児福祉計画の策定に先立つアンケート結果は令和5年度の計画策定に活用します。</p> <p>○医療的ケア児支援連絡会議は、児童発達支援センターと連携しながら引き続き定期的に関催し、医療的ケア児支援ガイドブックの更新等について検討します。</p> <p>○豊中市通所支援事業者連絡会及び発達支援・障害児支援者研修を児童発達支援センターにて実施することで、本市における障害児支援の中核的役割を担う施設として市内事業所及び支援者への情報発信を行います。</p> <p>○支援手帳のオンライン化について、実証実験で得られた課題について引き続き検証を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	通所受給者証所持者数	担当課調査	件	1,505	1,731	1,990	数値	2300
		考え方、定義、算出方法など	過去の伸び率から予測						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童福祉法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第2期豊中市障害児福祉計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,797,991	人件費（参考）	25,920	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	639	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,831,492	財源内訳の	国・府支出金	1,946,934
	決算額	2,512,518		地方債	0
	残額	318,974		その他 特定財源	19,697
	執行歩合	88.73%		一般財源	545,887

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		障害児施設通所【継続】	2,511,785	1,946,763	0	545,325	01
	障害児福祉計画の推進【継続】	733	171	0	562	01	児童福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	若者支援事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 子ども・若者を取り巻く課題に総合的に対応するしくみ	総合計画掲載ページ	52
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○社会生活を円滑に営むうえで困難な状況にある子ども・若者への包括的な支援を円滑に行なうため、子ども・若者育成支援推進法に基づき社会的自立の支援を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○子ども・若者支援協議会の代表者・実務者合同会議を開催し、子ども・若者の抱える問題点、状況等について情報共有をおこなうとともに、必要なケースについては連携を図りながら支援に取り組みました。また、研修会としてオンラインシンポジウムを開催し、全国の先進的な取組みについて学びました。</p> <p>○若者支援総合相談窓口において困難を有する若者、家族等から102件の新規相談を受け、相談者の状況に応じて関係機関と連携しながら継続的に支援を実施しました。</p> <p>○個別のケース会議を高校、保健所等とおこない、今後の対応について検討を行いました。また、市教育委員会や児童福祉部局と連携し継続的な支援が必要なケースについて引継ぎを行いました。</p> <p>○相談窓口の周知を図るため、支援の説明会をオンラインと対面の併用で実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○社会的支援を要する若者にかかる相談に応じ、関係支援機関の紹介、情報提供、助言、必要な支援を実施することで、若者の自立支援に寄与しました。</p> <p>○中学校における不登校者数が増加傾向であることから、卒業後も支援が必要になると想定されるケースの把握や居場所等の支援を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	新規相談件数	担当課調査	件	112	123	102	数値	120
	考え方、定義、算出方法など	若者支援総合相談窓口への新規相談件数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	子ども・若者育成支援推進法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市子ども・若者支援協議会設置要綱/豊中市若者自立支援計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,948	人件費（参考）	8,100	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△190	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,758	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	2,546
	決算額	12,275		地方債	0
	残額	483		その他 特定財源	30
	執行歩合	96.21%		一般財源	9,699

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	若者支援事業【継続】	12,275	2,546	0	9,699	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	青少年健全育成・防犯対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 子ども・若者を取り巻く課題に総合的に対応するしくみ	総合計画掲載ページ	52
担当部局・課	604500 教育委員会・児童生徒課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○子どもたちの健全な育成のため、青少年健全育成会等のボランティアが行う青少年の健全育成の取組みを支援するなど、年間を通じて地域ボランティア活動の充実を図り、地域における青少年の健全育成にかかる環境づくり及び市民への啓発活動を推進します。</p> <p>○児童生徒の問題行動及び児童虐待事案の早期発見・早期対応に向けて、豊中・豊中南警察等の関係機関と学校との連携体制強化を推進します。</p> <p>○児童生徒の犯罪被害防止のために、「こども110番の家」の旗について広く周知し協力家庭を募るとともに、小学校1年生へ防犯ブザーの配布を行い、地域における子どもたちの安全・安心な環境づくりを図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市内全中学校区で組織される青少年健全育成会への活動支援を行うなど、地域における青少年健全育成の取組みを支援しました。</p> <p>○学警連絡会兼青少年補導補助員会を開催するなど、豊中・豊中南警察等関係機関と学校との連携を図りました。</p> <p>○「こども110番の家」活動の協力家庭・事業所を広く募るとともに、小学校1年生へ防犯ブザーの配布を行いました。</p> <p>○大阪府警察本部「安まちメール」の不審者情報等を参考に、年間を通じて広報車による市内全域の巡視活動を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○近年のコロナ禍により、健全育成の原点に立ち返った「地域の子どもの見守り」を重点に置いた活動がなされ、「地域の子どもは地域で守り、育てる」意識の向上につながりました。</p> <p>○青少年の健全育成のための地域環境の整備や啓発活動が活発となりました。</p> <p>○各学校での非行防止や問題行動の未然防止に繋がりましたが、さらに積極的な啓発活動を進めていく必要があります。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、アフターコロナにおける地域活動・行事の実施方法の精査が必要です。</p> <p>○健全育成への意識、活動について地域格差が生じている状況があり、豊中市青少年健全育成協議会役員校区会長会や青少年健全育成市民のつどい等で好事例の情報交換・共有を図るなど、校区間での連携を深める必要があります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	青少年健全育成市民のつどい参加者数	児童生徒課調査	人	0	0	255	数値	
		考え方、定義、算出方法など	通例11月中旬に開催、会場受付人数を算出						
2	参考	青少年健全育成会推進委員人数	児童生徒課調査	人	1,714	1,830	1,535	数値	
		考え方、定義、算出方法など	各中学校区健全育成会からの報告人数を累積						
3	参考	学警連絡会兼青少年補導補助員会開催回数	児童生徒課調査	回	0	1	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など	基本年7回開催						
4	参考	児童虐待防止ネットワーク部会（運営会議）への参加回数	児童生徒課調査	回	4	4	4	数値	
		考え方、定義、算出方法など	基本年4回開催（R2年度～）						
5	参考	こども110番の家協力軒数	児童生徒課調査	軒	7,411	7,465	7,573	数値	
		考え方、定義、算出方法など	協力者（個人・法人問わず）の登録軒数を累積						

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	児童虐待防止法、児童福祉法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府子どもを虐待から守る条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市子どもを守る地域ネットワーク設置要綱、豊中市青少年健全育成会規約 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	5,334	人件費（参考）	4,374	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	5,334	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2,712		地方債	0
	残額	2,622		その他 特定財源	0
	執行歩合	50.84%		一般財源	2,712

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		地域ボランティア支援事業【完了】	0	0	0	0	01
	健全育成啓発事業【継続】	2,449	0	0	2,449	01	児童生徒支援費
	子ども見まもり事業【継続】	263	0	0	263	01	児童生徒支援費



第2章



2-1 自立生活支援の充実

個々のもつ力を活かし支えあいながら、住み慣れた地域で、自立して暮らせる環境づくりに取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます	5事業
①多分野で連携する地域福祉ネットワークの構築	
②地域福祉活動活性化のための基盤づくりの推進	
地域共生センター運営管理事業	福祉部 地域共生課
地域福祉支援事業	福祉部 地域共生課
地域福祉計画の推進	福祉部 地域共生課
福祉環境の整備	福祉部 福祉指導監査課
自立生活支援事業	福祉部 福祉事務所
(2)介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます	7事業
①介護・高齢者福祉サービスの充実	
②認知症高齢者支援の充実	
③高齢者の権利擁護・虐待防止に向けた取組みの推進	
介護保険事業計画等の推進	福祉部 長寿社会政策課
介護予防・自立支援推進事業	福祉部 長寿安心課
介護認定事業	福祉部 長寿安心課
地域包括支援センター運営支援・管理事業	福祉部 長寿安心課
認知症等対策関連事業	福祉部 長寿安心課
高齢者権利擁護事業	福祉部 長寿安心課
高齢者生活支援事業	福祉部 長寿安心課

(3)障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社会参加を促進します	4事業
①総合的な障害者生活支援体制の充実	
②障害者の就労支援の充実	
③障害者の社会参加の促進	
障害者就労支援業務	総務部 行政総務課
障害福祉の推進	福祉部 障害福祉課
障害福祉サービスの運営	福祉部 障害福祉課
障害福祉センターひまわり運営管理	福祉部 障害福祉課

(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めます	12事業
①安定した社会保険制度の運用	
②生活困窮者への自立支援	
生活保護事業	福祉部 福祉事務所
介護保険給付等事業	福祉部 長寿社会政策課
介護保険事業(保険給付課)	健康医療部 保険給付課
国民健康保険事業(保険給付課)	健康医療部 保険給付課
後期高齢者医療事業	健康医療部 保険給付課
福祉医療費助成事業	健康医療部 保険給付課
保険料収納事業	健康医療部 保険資格課
保険料資格得喪事業	健康医療部 保険資格課
保険料賦課事業	健康医療部 保険資格課
保険料還付事業	健康医療部 保険資格課
国民年金事業	健康医療部 保険資格課
保険料徴収事業	健康医療部 保険収納課

(5)就労支援の充実を図ります	2事業
①就労に必要な能力の習得支援	
くらし再建パーソナルサポート事業	市民協働部 くらし支援課
労働啓発・相談事業	市民協働部 くらし支援課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域共生センター運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	260000 財務部 360000 こども未来部 400000 都市計画推進部 560000 消防局		

事業概要	○社会福祉の増進や地域の交流促進を図るため、施設を適切に運営管理します。
------	--------------------------------------

当該年度の実績	○施設を適切に運営し社会福祉を増進しました。 ○母子父子福祉センター跡地にて令和5年度までを工期とした東館の建設工事に着工しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○東館の建設について、次年度はインフレスライドによる工事費用の上昇を反映した変更契約と補正予算案を議会に提出する必要があります。 ○令和6年度の開館に向けて、関係団体等との調整を行います。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	貸館利用数	担当課調査	回		1,531	1,709	数値	4000
	考え方、定義、算出方法など	貸館5部屋1日朝・昼・晩で3枠のうち利用回数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	336,310	人件費（参考）	6,416	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	286	公債費（参考）	8,825	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	336,596	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	105,900
	決算額	307,249		地方債	95,300
	残額	29,347		その他 特定財源	1,019
	執行歩合	91.28%		一般財源	105,030

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	地域共生センター施設運営【継続】	4,633	0	0	4,633	01	地域共生センター費
	地域共生センター施設管理【継続】	11,590	0	0	10,571	01	地域共生センター費
	地域共生センター・母子父子福祉センター整備事業【継続】	291,026	105,900	95,300	89,826	01	地域共生センター・母

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域福祉支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	160100 人権政策課		

事業概要	<p>○原爆被害者の会の会員や戦没者並びに空爆犠牲者の遺族の福祉の増進や活動の支援を行い、核兵器と戦争のない平和な社会を実現させることを目的とします。また、災害により被害を受けた市民に災害見舞金や災害弔慰金を支給するほか、災害援護資金貸付金の徴収事務を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○原爆に関する各種行事への参加、相談支援活動、伝承活動（7回）を行いました。 ○被災者に対して災害見舞金（2件）、災害弔慰金を支給しました。 ○戦没者並びに空爆犠牲者を偲び追悼式を開催しました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>原爆の恐ろしさを後世へ継承することができました。今後は新たな被爆の語り手を養うことや、被爆体験の記憶がない会員も伝承活動を行っていけるよう手法を検討します。災害を受けた市民に対して、適切な生活復旧の支援を実施できました。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	伝承活動回数	担当課調査	回	4	7	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	災害見舞金（市独自）件数	担当課調査	件	23	8	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	戦没者等の妻に対する特別給付金支給法、戦傷病者戦没者遺族等援護法等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市高齢被爆者相談等事業運営要綱、豊中市比較平和都市宣言、災害見舞金等支給規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	8,816	人件費（参考）	7,290	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	30	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	8,846	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	68
	決算額	3,959		地方債	0
	残額	4,887		その他 特定財源	0
	執行歩合	44.75%		一般財源	3,891

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		被爆者援護事業【継続】	906	0	0	906	01	社会福祉対策費
	戦没者等遺族援護事業【継続】	2,844	68	0	2,776	01	戦傷病者戦没者遺族援	
	災害見舞金・弔慰金【継続】	206	0	0	206	01	災害救助費	
	災害援護資金貸付金【継続】	3	0	0	3	01	災害救助費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域福祉計画の推進	区分	継続
施策の方向性	(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	201000 とよなか都市創造研究所 300500 くらし支援課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○地域共生社会の実現に向けて、地域包括ケアシステム・豊中モデルを構築・推進する役割を担う地域福祉計画に基づき施策を計画的に進めていきます。多分野・多世代の人や団体が交流し、支え合う土壌づくりに取り組む交流・支え合いの場づくり推進事業の実施。制度や属性にとらわれず、複雑化・複合化した課題ある人を包括的に支援していく重層的支援体制整備事業に取り組みます。また、団体支援では、市民の福祉の増進のため、見守りや相談などの地域福祉活動を行う民生委員児童委員や更生保護団体を支援します。認知症や障害のある人など判断能力が不十分な人の権利を法的に支援する成年後見制度を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○社会を明るくする運動を3年ぶりに実施し、78人の来場がありました。 ○民生委員推薦会（一斉改選）を開催し、536人の委員を推薦・委嘱しました。 ○市民後見人を2人養成しました。 ○次期地域福祉計画の策定を進めました。 ○【新規】地域住民と専門職による高齢者及び障害者の災害時避難支援を想定し、個別避難計画書に掲載する事項や避難の流れ等を検証しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○当初計画どおり交流・支え合いの場づくり推進事業が市の委託を離れ地域で自立するに至りました。 ○更生保護の各団体間の情報共有・連携を推進します。 ○民生委員・児童委員の人材確保（なり手不足）に取り組んでいきます。 ○市民後見人バンク登録者を受任につなげていきます。 ○地域包括ケアシステム豊中モデルを推進します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	民生委員・児童委員数	担当課調べ	人	558	553	536	数値	600
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	市民後見人養成者数	担当課調べ	人	3	5	2	数値	39
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会福祉法、老人福祉法、民生委員法、児童福祉法等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針、第4期豊中市地域福祉計画、豊中市健康福祉条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	546,989	人件費（参考）	75,330	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	546,989	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	17,581
	決算額	472,058		地方債	0
	残額	74,931		その他 特定財源	102,369
	執行歩合	86.30%		一般財源	352,108

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
民生・児童委員協議会【継続】	40,396	129	0	40,267	01	民生委員費
民生委員推薦会【継続】	1,461	0	0	1,461	01	民生委員費
社会福祉事業基金管理【継続】	19,270	0	0	0	01	社会福祉対策費
健康福祉サービス苦情調整委員会【継続】	390	0	0	390	01	社会福祉総務費
社会福祉協議会事業補助【継続】	347,300	0	0	298,725	01	社会福祉対策費
社会福祉審議会【継続】	388	0	0	388	01	社会福祉総務費
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会【継続】	79	0	0	79	01	社会福祉総務費
成年後見制度利用促進事業【継続】	30,136	1,406	0	1,730	01	社会福祉総務費
地域福祉計画推進事業（健康福祉審議会）【継続】	5,620	0	0	5,620	01	社会福祉総務費
地域福祉活動支援センター施設管理【継続】	428	0	0	428	01	社会福祉総務費
交流・支え合いの場づくり推進事業【継続】	7,571	0	0	47	01	社会福祉総務費
重層的支援体制整備事業（地域共生課）【継続】	18,672	16,046	0	2,626	01	社会福祉総務費
災害時個別避難計画推進事業【新規】	87	0	0	87	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	福祉環境の整備	区分	継続
施策の方向性	(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330300 福祉部・福祉指導監査課		
関連部局・課	330100 地域共生課 330500 福祉事務所 331000 障害福祉課 331500 長寿社会政策課 360100 こども政策課		

事業概要	<p>○福祉サービスを提供する事業者は、当該福祉サービスを必要とする市民が安全に安心して利用できるよう、市民ニーズに応え、質の高いサービスを提供する必要があります。こうした市民の期待と信頼に応えるため、社会福祉法人や事業所等の指導監査を通じ、自主的・自律的なサービス提供の点検・改善などに必要な調査、指導及び助言を行い、高齢者や児童、そして障害者（障害児）など、誰もが尊厳を持って、住み慣れた地域で自分らしく生きがいと誇りを持って安心して暮らし続けられるよう利用者本位のサービス提供体制の確保に努めるとともに、これらが持続的に確保されるようきめ細かな指導監査を実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○大阪府の医療非常事態宣言の状況下においても、基本的な感染防止対策を講じるとともに、年間スケジュールの見直し（分野ごとに優先順位を見直し）を図り、計画的・効率的に各法人・施設等への指導監査を実施しました。</p> <p>○社会福祉法人等への説明会（集団指導）において、主な指摘事項等に係るポイントについて動画配信を実施しました。</p> <p>○介護保険事業所への説明会（集団指導）において、身体拘束をテーマにした動画配信を実施しました。</p> <p>○障害福祉サービス1事業者に対し、監査及び業務管理体制特別検査を実施し、指定取消処分を行いました。</p> <p>○社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会については、対象となる事業の制限、取消し等の処分に係る案件がなく開催しませんでした。</p> <p>○新型コロナウイルスワクチンの接種において、介護保険サービス又は障害福祉サービス等の利用者のうち、家族の支援が受けられない場合などに、サービス事業所が支援を行った場合に協力金を支給し、当該利用者がワクチン接種を受けることができるよう接種の促進を図りました。</p> <p>○【新規】新型コロナウイルス感染症等の流行により介護施設等のサービス従事者が不足した場合に備え、法人間で職員を相互派遣する体制づくりのための協力金を支払いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○コロナ禍においても、基本的な感染予防対策を講じて概ね指導監査スケジュール通りに実施できたことで、適正な法人運営の維持を図るとともに、利用者本位のサービス提供体制の確保や事業所等の適正なサービス提供に寄与しました。</p> <p>○事業所等の適正な事業運営と利用者本位のサービス提供体制の安定確保のため、多くの事業所等への指導監査を計画的に行うとともに、効率的・効果的な指導監査の実施、職員の知識や技能の向上を図っていきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	社会福祉法人の指導監査件数	担当課調査	件	3	11	15	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	社会福祉施設等の指導監査件数	担当課調査	件	24	101	122	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	認可外保育施設等の指導監督件数	担当課調査	件	59	65	74	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	指定障害福祉サービス事業者等の実地指導サービス件数	担当課調査	件	44	54	113	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	介護保険サービス事業所等の運営指導等サービス件数	担当課調査	件	24	84	205	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令・計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱・計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱・計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	29,359	人件費（参考）	133,390	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	563	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	31,764	財源内訳の	国・府支出金	856
	決算額	23,594		地方債	0
	残額	8,170		その他 特定財源	0
	執行歩合	74.28%		一般財源	22,738

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
						(コード)	
	社会福祉法人等指導監査【継続】	8,501	0	0	8,501	01	社会福祉総務費
	介護保険サービス事業者指導監査【継続】	11,272	0	0	11,272	17	一般管理費
	障害福祉サービス事業者指導監査【継続】	2,961	0	0	2,961	01	障害者福祉費
	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	新型コロナウイルスワクチン接種事業（福祉指導監査課）【継続】	856	856	0	0	01	感染症予防費
	法人連携協定による人材派遣支援【新規】	4	0	0	4	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自立生活支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課			

事業概要	<p>○低所得者世帯の自立への支援のために、中国残留邦人等支援事業、行旅病人及び行旅死亡人の救護、一時生活支援事業、生活援護資金貸付事業、在宅重度障害者介護料支給事業を行います。</p> <p>※ 中国残留邦人等支援事業は、法定受託事務</p>
当該年度の実績	<p>○中国残留邦人等に、老齢基礎年金の満額支給に加えて、その者の属する世帯の収入が一定の基準を満たさない場合に支援給付を行いました。また、中国残留邦人等に対する理解が深く、中国語のできる支援・相談員を配置し、支援しました。</p> <p>○行旅病人の救護等及び行旅死亡人の火葬等を行いました。</p> <p>○既存建築物の借り上げ方式による緊急的、一時的に宿泊場所や食事を提供する一時生活支援事業を行いました。</p> <p>○生活援護資金貸付の償還管理を行いました。本年度は貸付の申込みがありませんでした。</p> <p>○生活保護の適用を受けている重度障害者で、厚労省の特別基準の他人介護料加算がついており、在宅で他人の介護を要する場合に月額13,000円を支給しました。</p> <p>○巡回によるホームレス等に対する日常生活に関する相談支援を行う自立相談支援事業を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○中国残留邦人等支援事業については、対象者7世帯8名が安定した生活を送れています。全員が75歳以上の高齢者であるため親族とも連携を図り状況把握をし生活が維持できるよう支援を行います。</p> <p>○行旅病人及び行旅死亡人取扱事業について、引き続き法に基づき実施していきます。</p> <p>○ホームレス対策事業について、対象となるホームレスの人数が減少傾向にありますが、今後も現在ホームレス状態にある人への相談支援とホームレスになることを余儀なくされるおそれのある者への支援が必要なため継続していきます。</p> <p>○生活援護資金貸付について、適正な償還管理を継続していきます。</p> <p>○在宅重度障害者介護料支給事業については、対象者が施設へ移行することなく在宅生活を継続できました。今後も対象者の状況把握を行い生活が維持できるよう支援を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	中国残留邦人等支援事業 支給世帯数	担当課調査	世帯	6	7	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	行旅死亡人取扱件数	担当課調査	件	3	0	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	一時生活支援事業 延べ宿泊日数	担当課調査	日	612	1,095	1,701	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	生活援護資金貸付件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	在宅重度障害者介護料支給事業 対象世帯	担当課調査	世帯	3	3	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	39,966	人件費（参考）	11,097	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	5,047	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	45,013	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	24,934
	決算額	40,560		地方債	0
	残額	4,453		その他 特定財源	72
	執行歩合	90.11%		一般財源	15,554

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	中国残留邦人等支援事業【継続】	24,919	18,747	0	6,138	01	社会福祉対策費	
	行旅病人及び行旅死亡人取扱事業【継続】	494	0	0	456	01	社会福祉総務費	
	ホームレス対策事業【継続】	11,376	4,200	0	7,176	01	社会福祉対策費	
	生活援護資金貸付事業【継続】	653	0	0	653	01	社会福祉対策費	
	在宅重度障害者介護料支給事業【継続】	468	0	0	468	01	社会福祉対策費	
	重層的支援体制整備事業（福祉事務所）【継続】	2,650	1,987	0	663	01	社会福祉総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険事業計画等の推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	331500 福祉部・長寿社会政策課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 342000 保険給付課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○市民が必要な時に適切なサービスを利用できるようにするため、介護保険制度の適切かつ円滑な運営・周知、サービスの質の向上、適正なサービス提供体制の確保、介護保険施設等の安定的な運営支援を行います。</p> <p>○高齢者のセーフティネット機能を維持するため、養護老人ホームの指定管理者選定、軽費老人ホーム事務費補助を実施し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○介護保険事業運営委員会を開催（3回）し、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（以下「8期計画」とする）の進行管理を行いました。</p> <p>○第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（以下「9期計画」とする）の策定に向け、健康とくらしの調査等の結果を分析しました。</p> <p>○パンフレットの作成や、医療・介護・地域資源を情報発信する医療・介護・地域資源情報ナビの運用により、介護保険制度等を周知しました。</p> <p>○サービスの質の向上のため、介護保険事業者連絡会の支援、介護サービス相談員派遣事業を行いました。</p> <p>○医療情報等の突合等の介護給付適正化事業、介護保険関連システムの運用、介護保険給付費準備基金の管理を行いました。</p> <p>○生活支援サービス部会において学識経験者、関係者、被保険者から意見徴取するとともに、生活支援コーディネーター委託事業の実施、協議体の開催により、生活支援サービス等の提供体制の構築等をすすめました。</p> <p>○高齢者の社会参加、介護の魅力を発信するためいきゆくフェスを実施しました。</p> <p>○介護保険施設等約760事業所の指定、指定更新、変更等の事務処理を行い、地域密着型サービス事業者の指定については地域密着型サービス運営検討部会を開催しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業者等のサービス継続を支援し、介護老人福祉施設等が負担するPCR検査等の自主検査に係る補助金を支給しました。</p> <p>○8期計画に位置づけた施設整備のため介護保険施設整備事業者の選定を行いました（特定施設入居者生活介護2事業者、地域密着型特別養護老人ホーム1事業者）。</p> <p>○特別養護老人ホーム等の施設整備に伴う借入金に対する利子助成を行いました。</p> <p>○養護老人ホームの指定管理者による運営の管理、軽費老人ホーム事務費に対する補助金交付を行いました。</p> <p>○【新規】介護保険事業者等へ物価高騰に対する運営支援のため、給付金交付を行いました</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○介護保険事業運営委員会において8期計画の進行管理を行うとともに、アンケート調査の結果分析等をもとに9期計画を策定します。</p> <p>○地域密着型特別養護老人ホーム整備の公募については応募がなかったため、必要な整備数や整備時期などの検討を進めます。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応や物価高騰にかかる補助金交付により、市内介護事業者のサービス継続を支援し、コロナ禍においても介護サービスが受けられる環境づくりができました。次年度も引き続き市内介護事業者のサービス継続を支援します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	介護保険事業運営委員会開催回数	長寿社会政策課	回	4	2	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
2	参考	生活支援サービス部会開催回数	長寿社会政策課	回	2	2	2	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
3	参考	地域密着型サービス運営検討部会開催回数	長寿社会政策課	回	3	3	3	数値	4
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
4	参考	指定事業所数	長寿社会政策課	件	725	749	756	数値	800
	考え方、定義、算出方法など	各年度3月時点の指定事業所数（介護予防、ショートステイ、総合事業除く）						年	6年度
5	参考	協議体開催回数	長寿社会政策課	回	9	17	17	数値	17
	考え方、定義、算出方法など	第一層協議体（介護予防生活支援フォーラム含む）及び第二層協議体（地域ネットワーク会議）開催回数計						年	6年度

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行法、介護保険施行令、介護保険法施行規則等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	440,885	人件費（参考）	92,728	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	98	公債費（参考）	48,130	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,077,659	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	409,912
	決算額	904,834		地方債	0
	残額	172,825		その他 特定財源	122,474
	執行歩合	83.96%		一般財源	372,448

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		介護保険事業運営委員会【継続】	6,398	0	0	6,398	17
	介護保険事業者連絡会【継続】	22	13	0	4	17	任意事業費
	介護サービスの質の向上支援事業【継続】	0	0	0	0	17	任意事業費
	介護保険制度等の啓発【継続】	1,016	0	0	1,016	17	趣旨普及費
	事業者候補選定委員会【継続】	243	0	0	243	01	老人福祉費
	特別養護老人ホーム等利子助成【継続】	1,314	0	0	1,314	01	老人福祉費
	介護保険施設等施設整備補助金【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	地域密着型サービス運営検討部会【継続】	339	0	0	339	17	一般管理費
	介護サービス相談員派遣事業【継続】	4,706	2,718	0	906	17	任意事業費
	介護給付費準備基金【継続】	222,393	0	0	221,675	17	介護給付費準備基金積 任意事業費
	主要給付適正化事業【継続】	14,214	8,208	0	2,737	17	任意事業費
	介護保険サービス事業者指定【継続】	14,240	0	0	11,854	17	一般管理費
	養護老人ホーム施設運営管理【継続】	171	0	0	171	01	老人福祉費
	軽費老人ホーム事務費補助金【継続】	53,871	0	0	53,871	01	老人福祉費
	介護保険施設等施設整備補助金（老人福祉施設整備費）【継続】	10,213	10,213	0	0	01	老人福祉施設整備費
	介護保険関連システムの運用【継続】	24,593	1,585	0	23,008	17	一般管理費
	旧老人デイサービスセンター施設管理【継続】	1,820	0	0	1,820	01	老人福祉費
	生活支援サービス部会【継続】	104	0	0	104	17	一般管理費
	地域医療・介護資源把握事業【継続】	7,780	4,493	0	1,498	17	在宅医療・介護連携推 一般介護予 防事業費
	総合事業評価事業【継続】	5,413	2,065	0	677	17	一般介護予 防事業費
	社会参加促進・介護魅力発信事業【継続】	3,144	0	0	0	01	老人福祉費
	介護サービス継続支援事業（感染症関係）【継続】	251,928	226,548	0	25,380	01	老人福祉費

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
一般会計繰出金【継続】	149,259	50,261	0	0	17	他会計繰出金
重層の支援体制整備事業(長寿社会政策課)【継続】	36,572	21,348	0	6,812	01	社会福祉総務費
介護サービス継続支援事業(物価高騰対策)【新規】	95,081	82,460	0	12,621	01	老人福祉費

予算管理事業

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護予防・自立支援推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域包括支援センターと協働して自立支援・介護予防の取組みの充実を図ります。</p> <p>○要支援認定者及び事業対象者の軽度者に対する自立支援型ケアマネジメント促進モデル事業を踏まえ、全市域での展開をめざしているリハビリテーション専門職によるアセスメント支援訪問や短期集中サービスを展開します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○介護予防センターの維持管理を行い、介護予防センター事業を実施しました。</p> <p>○【拡充】「短期集中サービスを活用した自立支援型ケアマネジメント促進モデル事業」の結果を踏まえ、全市域展開として4事業所に拡充し、事業所利用者を拡大しました。</p> <p>○高齢者の心身機能向上を図るため、介護予防普及啓発事業、活動支援等の取組みを推進しました。</p> <p>○【拡充】地域リハビリテーション活動支援事業において、通所訪問型短期集中サービスの利用者拡大に伴い、リハビリテーション専門職等のアセスメント支援訪問も拡大し、要支援者を対象にした介護予防事業を拡充しました。</p> <p>○地域住民の心身の健康の保持等を図るために介護予防地域教室を実施しました。</p> <p>○自立支援型地域ケア個別会議や研修などを通じて自立支援・重度化防止の啓発普及に取り組ましました。</p> <p>○介護予防活動を実施する住民主体のグループにおいて、専門職による体力測定や介護予防に資する講話等を行うことにより、活動の継続意欲を促しました。また、質問票を活用して医療・介護サービスへつなぎました。</p> <p>○【拡充】地域の通いの場づくり支援事業としてとよなかパワーアップ体操を改訂し認知機能低下予防運動（コグニサイズ）、口腔機能向上体操を加えた内容に刷新しました。</p> <p>○【拡充】ICTを活用した介護予防事業の展開を図るため歩行姿勢測定システムやデータ集積システムの構築などの環境整備を拡充しました。また、既存の介護予防事業の取組みで得られる問診、体力測定データ等をOCRで集積、蓄積したデータを分析し課題に応じた介護予防事業の展開を実施するための検討を実施しました。</p> <p>○とよなか地域ささえ愛ポイント事業において、ボランティア活動による社会参加を図りました。</p> <p>○高齢者の交流、社会参加、生きがいづくりを推進する観点から、介護予防センターが開催するとよなか健康大学等の公益的事業に補助金を交付しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○介護予防、自立支援施策において関係部署との役割分担等整理、再編検討に取り組まします。</p> <p>○短期集中サービスを活用した自立支援型ケアマネジメント促進事業は利用者を拡大できたが給付型のサービスにつながらず、自立で終了する割合を高めることができるよう、事業内容の精査、効果検証が必要です。</p> <p>○リハビリテーション専門職によるアセスメント支援訪問を拡充したことにより訪問件数は拡大したが、マンパワーの確保に課題があります。</p> <p>○自立支援型ケアマネジメント促進事業の効果検証に基づく事業継続に取り組まします。</p> <p>○既存の介護予防事業の取組みで得られる問診、体力測定データ等をOCRで集積、蓄積したデータを分析し課題に応じた介護予防事業の展開を図るためシステム構築を実施します。</p> <p>○改訂版とよなかパワーアップ体操、認知機能低下予防のための運動（コグニサイズ）、口腔機能向上体操を普及啓発し、それらを利用して自主グループの立ち上げと、継続的な活動を支援します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	介護予防センター来所者数（延べ人数）	担当課調査	人	58,003	138,119	143,846	数値 年	171,000 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	生活機能が改善した割合（通所訪問型短期集中サービス）	担当課調査	%	84	89	87	数値 年	
	考え方、定義、算出方法など	生活機能が改善した人÷事業への参加実人数							
3	目標	立ち上がった通いの場の数（当年度）	担当課調査	か所	5	8	13	数値 年	40 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	地域ささえ愛ポイント活動の登録人数	担当課調査	人	1,051	1,095	1,128	数値 年	1,200 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	利用者数（通所訪問型短期集中サービス）	担当課調査	人	68	118	442	数値 年	500 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	市有財産を活用した事業者による介護予防の推進に関する条例 他、介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	352,636	人件費（参考）	39,205
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△14	公債費（参考）	20,301
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	363,474	国・府支出金	68,459
	決算額	340,188	地方債	0
	残額	23,286	その他 特定財源	95,704
	執行歩合	93.59%	一般財源	176,025
	財源内訳の			

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	介護予防センター施設管理【継続】	97,305	0	0	91,751	01	老人福祉費
	介護予防実施貸付事業者選定委員会【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	介護予防センター施設運営【継続】	65,200	0	0	65,200	01	老人福祉費
	通所訪問型短期集中サービス【拡充】	91,508	34,902	0	11,438	17	介護予防・生活支援サービス費
	介護予防普及啓発事業【継続】	340	129	0	43	17	一般介護予防事業費
	地域リハビリテーション活動支援事業【拡充】	1,918	732	0	239	17	一般介護予防事業費
	介護予防地域教室事業【継続】	2,190	836	0	273	17	一般介護予防事業費
	介護予防センター整備事業【継続】	0	0	0	0	01	介護予防センター整備 老人福祉費
	介護予防センター施設管理（旧老人福祉センター）【完了】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	地域ケア会議推進事業【継続】	2,268	1,310	0	436	17	地域ケア会議推進事業 健康増進事業費
	高齢者保健・介護連携事業（長寿安心課）【継続】	4,165	0	0	0	16	健康増進事業費
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・介護予防事業分）【拡充】	64,740	26,503	0	5,347	01	社会福祉総務費
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・介護予防センター公益的事業）	10,554	4,047	0	1,298	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護認定事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○介護保険制度の適正な運営のために、65歳以上の高齢者（第1号被保険者）や40歳から64歳までの特定疾病該当者（第2号被保険者）の要介護・要支援認定を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○医療、福祉、保健の専門家により構成される介護認定審査会を運営し、認定調査票、主治医意見書に基づく審査により、要介護状態区分等を判定しました。</p> <p>○要介護・要支援認定の申請に基づき、認定調査を行うとともに主治医意見書を入手しました。</p> <p>○要介護・要支援認定の申請情報管理、主治医意見書・訪問調査依頼及び提出された資料のイメージデータでの管理、介護認定審査会の運営管理、認定結果情報の管理、居宅介護支援事業所等への保有個人情報外部提供、厚生労働省への月例報告、各種統計等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○主治医意見書の遅延督促や、1審査会で判定する件数を増やすなど、速やかな認定に取り組みました。</p> <p>○より効率的な要介護・要支援認定をめざして、国の進めるシステムの標準化をはじめ、必要な改修を行っていきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	要介護・要支援認定件数	担当課調査	件	14,792	18,849	20,856	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度における第1号被保険者及び第2号被保険者に対するの認定件数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市介護保険条例、豊中市介護保険規則、豊中市介護認定審査会規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	325,264	人件費（参考）		60,800	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	325,264	財源内訳の	国・府支出金		0
	決算額	285,364		地方債		0
	残額	39,900		その他 特定財源		763
	執行歩合	87.73%		一般財源		284,601

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		介護認定審査会【継続】	38,597	0	0	38,597	17
	要介護・要支援認定調査等【継続】	235,416	0	0	234,653	17	認定調査等費
	介護認定支援システムの運用【継続】	11,351	0	0	11,351	17	介護認定審査会費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域包括支援センター運営支援・管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域包括支援センターの質の向上を図るため、各センター間の連絡調整や情報共有、必要な支援を行います。</p> <p>○要援護者を地域全体で支える「地域包括ケア体制」のしくみづくりに向け、地域包括支援センター連絡協議会の機能向上に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○地域包括支援センターの業務内容の改善やサービスの質の向上につなげるため、評価指標の見直しを行いました。</p> <p>○連絡協議会を通じて、地域包括支援センターと情報共有と連携の向上を図り、現場の意見課題を吸い上げ、機能強化に取り組みました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○関係機関等との情報共有や対応策の検討を行い、さまざまな課題のあるケース対応に取り組みましたが、一方で、地域包括支援センターにおける業務量の増加や専門職確保が課題となっています。</p> <p>○地域包括支援センターの業務量について、優先順位をつけたうえで、業務整理を行います。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	総合相談受付件数	業務実施状況報告書	件	42,284	51,730	53,881	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	在宅高齢者虐待通報件数	業務実施状況報告書他	件	191	201	194	数値	
		考え方、定義、算出方法など	最終的には例年6月頃に、府へ報告している数字						
3	目標	地域ケア会議（高齢部会）実施件数	業務実施状況報告書他	回	45	62	49	数値	60
		考え方、定義、算出方法など	地域福祉ネットワーク会議の実施回数も含む						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法第115条の45、地域支援事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地域支援事業における包括的支援事業の実施および地域包括支援センター設置に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	445,609	人件費（参考）	8,667	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△72	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	445,537	財源内訳 の 決算額	国・府支出金	266,797
	決算額	416,194		地方債	0
	残額	29,343		その他 特定財源	95,725
	執行歩合	93.41%		一般財源	53,672

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
重層的支援体制整備事業（長寿安心課・地域包括支援センター運営支援	416,194	266,797	0	53,672	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	認知症等対策関連事業	区分	拡充
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○認知症により生活上の困難が生じた場合でも、住み慣れた場所で自分らしさや尊厳をもって暮らし続けることができるよう相談支援の充実に取り組むとともに、在宅生活を支える医療機関と介護サービス事業者等の連携を推進します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○認知症高齢者等を介護する家族介護者の介護疲れやストレスを軽減することを目的に交流会や介護に関する教室を実施しました。</p> <p>○在宅の認知症高齢者がひとり歩きにより行方不明になった場合に早期に発見できる仕組みの見直しや認知症損害賠償保険の導入検討など、家族が安心して介護できる環境整備に取り組みました。</p> <p>○認知症サポーター養成事業を実施し、認知症の普及啓発に取り組むとともに、認知症地域支援推進員向け研修の実施や、初期集中支援チームとの連携に取り組みました。</p> <p>○【拡充】地域における支援体制を構築していくために、認知症カフェを増設し、チームオレンジの活動の場づくりに取り組みました。</p> <p>○虹ねっと連絡会の事務局を担い、関係機関の連携強化に取り組みながら、認知症初期集中支援チームの活動を支援しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○認知症サポーターのステップアップ講座修了者による「チームオレンジ」の体制づくりと活動の場として認知症カフェの増設に取り組むとともに、認知症カフェマップの作成準備を進めました。</p> <p>○若年性認知症の人やその家族を支援するための相談窓口紹介リーフレットを庁内関係部署、関係機関とともに作成しました。</p> <p>○引き続き認知症地域支援推進員、嘱託医、認知症初期集中支援チームとともに、認知症の理解促進と地域での見守りを支える環境づくりに取り組みます。</p> <p>○認知症の早期発見とスムーズに支援につなげる仕組みを構築する必要があります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	認知症連携担当者会議の開催回数	担当課調査	回	9	12	12	数値	12
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4年度
2	目標	認知症カフェ数	担当課調査	箇所	5	15	20	数値	14
	考え方、定義、算出方法など							年	令和5年度
3	参考	初期集中支援チーム相談件数	担当課調査	回	147	129	131	数値	180
	考え方、定義、算出方法など							年	令和5年度
4	目標	認知症サポーター数（累計）	担当課調査	人	20,328	20,941	21,985	数値	25,000
	考え方、定義、算出方法など	認知症サポーターキャラバンHP>サポーターの養成状況>自治体別>各年3月末のデータ>「サポーター数」							
5	目標	虹ねっと連絡会の開催回数	担当課調査	回	3	3	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4年度

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱、認知症施策推進大綱、認知症サポーター等養成事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第8期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	19,494	人件費（参考）	7,220	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	68	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	19,562	財源内訳の 内訳	国・府支出金	9,911
	決算額	17,163		地方債	0
	残額	2,399		その他 特定財源	3,947
	執行歩合	87.74%		一般財源	3,305

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		認知症高齢者家族交流会・教室【継続】	45	26	0	9	17
	家族介護者交流事業【継続】	0	0	0	0	17	任意事業費
	徘徊高齢者家族支援サービス事業【継続】	196	113	0	38	17	任意事業費
	認知症サポーター等養成事業【継続】	345	199	0	67	17	任意事業費
	認知症地域支援・ケア向上事業【拡充】	6,116	3,532	0	1,177	17	認知症総合 支援事業費
	虹ねっと連絡会運営業務【継続】	281	162	0	54	17	在宅医療・ 介護連携推 認知症総合 支援事業費
	認知症初期集中支援チーム配置事業【継続】	10,180	5,879	0	1,960	17	認知症総合 支援事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者権利擁護事業	区分	継続
施策の方向性	(2)介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課	030100 危機管理課 331000 障害福祉課		

事業概要	○高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し安心して生活ができるよう、高齢者の権利擁護・安否確認のために、必要な支援を行います。
当該年度の実績	○法に基づき、関係機関と連携しながら相談支援活動に取り組むとともに、高齢者の権利擁護のため、虐待対応や市長申立による成年後見制度の適切な運用に取り組みました。 ○在宅給食サービス事業については、食事づくりが困難な高齢者に給食を届けるとともに安否確認を行いました。 ○シルバーハウジング住宅生活援助員派遣事業については、市内8カ所のシルバーハウジングに生活援助員を派遣し、生活相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供しました。また、アンケートを行い、利用者のニーズを把握しました。 ○ひとり暮らし高齢者登録をしている人に、地域の民生委員を通じて、安心キットを配布しました。 ○避難行動要支援者名簿の作成と平常時における名簿情報の外部提供に対する意思確認、避難支援等関係者への名簿の提供を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○成年後見人が決定するまでの期間における支援の在り方について、引き続き検討していきます。 ○社会情勢の変化に伴い事業の見直しを行い、在宅給食サービスを令和4年度末で終了しました。 ○シルバーハウジング住宅生活援助員派遣事業については、利用者アンケートに基づき委託内容の検討を行いました。 ○今後も引き続き、高齢者の権利擁護・安否確認のために必要な支援を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	150 令和5年度
1	目標	高齢者虐待防止に関する研修参加者数	業務実施状況報告書他	人	131	163	108	数値年	150 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など	長寿安心課主催、地域包括支援センター主催分含む							
2	参考	成年後見人等市長申立て件数	成年後見審査会資料	件	34	19	23	数値年	
	考え方、定義、算出方法など	「老人福祉法」を根拠に審査会へ提出した件数（担当課や、その後申立に至ったかどうかは問わない）							
3	参考	成年後見人等報酬助成の件数	成年後見事業の資料	件	14	42	65	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	要援護高齢者短期入所事業利用日数	担当課資料	日	1,726	2,041	1,667	数値年	1600 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地域支援事業
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	321,789	人件費（参考）	45,046			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△163	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	321,626	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	44,175		
	決算額	257,471		地方債	0		
	残額	64,155		その他 特定財源	60,370		
	執行歩合	80.05%		一般財源	152,926		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
養護老人ホーム入所等措置業務【継続】		174,178	0	0	133,140	01	老人福祉費
在宅給食サービス事業【継続】		15,230	8,795	0	2,932	17	任意事業費
シルバーハウジング生活援助員派遣事業【継続】		45,054	25,920	0	8,640	17	任意事業費
成年後見制度利用支援業務【継続】		12,943	7,419	0	2,472	17	任意事業費
在宅高齢者虐待防止事業【完了】		0	0	0	0	17	権利擁護事業費
高齢者虐待防止ネットワーク会議【完了】		0	0	0	0	17	権利擁護事業費
安心キット配布事業【継続】		46	27	0	8	17	任意事業費
要援護高齢者短期入所事業【完了】		0	0	0	0	17	権利擁護事業費
避難関連事業【継続】		1,032	0	0	1,032	01	老人福祉費
重層的支援体制整備事業（長寿安心課・権利擁護事業）【新規】		8,988	2,014	0	4,702	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者生活支援事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、高齢者の生活を支援するサービスの提供を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○【新規】ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、電球を使った見守りサービスを開始しました。</p> <p>○ひとり暮らし高齢者等に、緊急通報システムや福祉電話を貸与し、緊急時の通信手段を確保しました。</p> <p>○安心して在宅生活をおくることができるよう、訪問理美容サービスや日常生活用具（火災警報器等）の給付をはじめ、家事援助や外出時の援助など軽易な日常生活上の援助を行いました。</p> <p>○家族介護支援事業では、精神的・経済的負担を軽減し、在宅介護を支援するため、紙おむつの現物支給や常時介護している家族に家族介護慰労金を支給しました。</p> <p>○車いす等を利用している人を対象に外出支援サービスを行いました。</p> <p>○低所得者が介護保険サービスを利用した際の負担額の軽減を行うことにより、必要な介護サービスを利用できるよう支援しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○社会情勢の変化に伴い事業の見直しを行い、訪問理美容サービスの新規受付を令和4年度末で終了しました。（令和7年度末事業終了予定）</p> <p>○在日外国人高齢者福祉金支給については、市内に対象者がいないため、令和4年度末で終了しました。</p> <p>○高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、必要なサービスを引き続き提供するとともに、事業の見直しに取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	緊急通報システム設置台数	担当課調査	台	1,141	1,087	1,078	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	ICT見守り機器設置台数	担当課調査	台			213	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	外出支援サービス延利用人数	担当課調査	人	653	730	701	数値	730
		考え方、定義、算出方法など						年	令和5年度
4	参考	紙おむつ支給件数	担当課調査	件	4,230	4,294	4,316	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	老人福祉法、介護保険法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市緊急通報システム事業実施要項、豊中市軽度生活援助事業実施要綱など

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	63,393	人件費（参考）	13,709
	流用増減額 （予備費充当用含む）	97	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	68,099	国・府支出金	18,620
	決算額	58,148	地方債	0
	残額	9,951	財源内訳の その他 特定財源	7,304
	執行歩合	85.39%	一般財源	32,224
	財源内訳の			

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
緊急通報システム事業【継続】	9,863	0	0	9,863	01	老人福祉費
高齢者福祉電話貸与事業【継続】	3,298	0	0	3,298	01	老人福祉費
軽度生活援助事業【継続】	903	0	0	903	01	老人福祉費
高齢者外出支援サービス事業【継続】	6,464	0	0	6,464	01	老人福祉費
日常生活用具給付事業【継続】	1,654	0	0	1,654	01	老人福祉費
訪問理美容サービス事業【継続】	182	0	0	182	01	老人福祉費
在日外国人高齢者福祉金支給【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
民間事業所介護保険利用者負担軽減事業【継続】	666	0	0	666	01	老人福祉費
社会福祉法人介護保険利用者負担軽減事業【継続】	387	282	0	105	01	老人福祉費
紙おむつ給付事業【継続】	22,070	12,746	0	4,248	17	任意事業費
家族介護慰労金支給事業【継続】	3,250	1,877	0	625	17	任意事業費
障害者ホームヘルプサービス利用者支援措置事業（障害者福祉費）【継続】	0	0	0	0	01	障害者福祉費
在宅緊急対応オペレーター体制整備事業【継続】	6,433	3,715	0	1,238	17	任意事業費
ICT見守り事業【新規】	2,978	0	0	2,978	01	老人福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害者就労支援業務	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課	100500 人事課 101000 職員課 300500 暮らし支援課 331000 障害福祉課 342000 保険給付課 360100 こども政策課 999999 全部局		

事業概要	<p>○障害者職場定着フォロー委員会において、市で雇用する障害のある職員の職場定着を推進するため、職場環境づくりの検討や、相談窓口の運営による支援などを行います。</p> <p>○チャレンジ雇用において、雇用期間中を通して、企業等への就職につなげるために、支援を補助します。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者の就労を支援するとともに、個々の障害に応じた職域で原課配属を継続しました。</p> <p>○障害のある職員の職場定着に向けた支援として、障害のある新規採用職員に対する面談を実施し、必要な配慮についての確認等を行いました。（面談実施：1名）</p> <p>○チャレンジ雇用においては、暮らし支援課と連携し、書類作成方法や面接の助言を受けるとともに、ハローワーク専門援助部門への登録につなげる等、就労に向けた支援を行いました。</p> <p>○障害のある職員が、職場で能力を十分に発揮しながら就労を継続することができるよう、障害のある職員が勤務している部署の職員等を対象に、障害の特性などについて理解を深めるための研修を行いました。（研修：1回 参加人数：35人）</p> <p>○相談窓口で受け付けた相談について、引き続き対応を行いました。（相談：6件）</p>

当該年度の成果・課題	<p>○知的障害者の配属先と連携や意見交換を行いながら、事業を継続していく取組みを進めます。</p> <p>○啓発紙の発行や研修会の実施を通じて、障害のある職員とともに働く職場づくりについて、庁内の理解を深める取組みを引き続き行います。</p> <p>○就労に向けた支援の結果、1名就労につながりました。今後もチャレンジ雇用における就労支援の手法について、関係部局と連携しながら確立していきます。</p> <p>○障害者の法定雇用率が令和5年度から引き上げになることから、障害者職場定着フォロー委員会や障害者就労支援アドバイスチームにおける組織的な連携により、雇用のあり方や支援手法の検討等を通じて、障害がある職員の職場定着をより一層推進します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	行政総務課で雇用している知的・精神障害者の人数	担当課調査	人	4	4	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など	行政総務課の所属に限定。							
2	参考	原課配属の人数	担当課調査	人	4	4	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など	行政総務課以外に配属されている人数。							
3	目標	業務依頼の数	担当課調査	件	157	216	227	数値	160
	考え方、定義、算出方法など	前年度依頼を受け入れることのできた件数×約3%。							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	17,033	人件費（参考）	4,050																																																																																																																																																																																								
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△866	公債費（参考）	0																																																																																																																																																																																								
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	16,167	財源内訳の	国・府支出金	0																																																																																																																																																																																							
	決算額	13,413		地方債	0																																																																																																																																																																																							
	残額	2,754		その他 特定財源	0																																																																																																																																																																																							
	執行歩合	82.97%		一般財源	13,413																																																																																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者就労支援事務【継続】</td> <td>13,413</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13,413</td> <td>01</td> <td>一般管理費</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>							予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	障害者就労支援事務【継続】	13,413	0	0	13,413	01	一般管理費																																																																																																																																																																							
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																																																																						
障害者就労支援事務【継続】	13,413	0	0	13,413	01	一般管理費																																																																																																																																																																																						
予算管理事業																																																																																																																																																																																												

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉の推進	区分	拡充
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課	100100 行政総務課 100500 人事課 104500 デジタル戦略課 300500 くらし支援課 330500 福祉事務所 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 361500 こども相談課 600100 教育総務		

事業概要	<p>○障害のある人が地域で安心して暮らすことができるよう、障害福祉サービスや各種給付事業等の充実を図るとともに、障害のある人の自立と社会参加、権利擁護のための取組みを促進します。</p> <p>○障害者施策を推進するため「第五次障害者長期計画」「第6期障害福祉計画」で掲げる取組みの推進と進行管理を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○障害に関する相談体制を強化するため、日常生活圏域ごとに障害者相談支援センターを配置しました。</p> <p>○【拡充】一人で通学が困難な障害のある児童・生徒を支援するため、通学支援サービスを新設しました。</p> <p>○【拡充】就労継続支援B型事業所等を支援するため、商品の開発や販路拡大等にかかる経費を新たに補助しました。</p> <p>○【新規】重度障害者等の通勤や職場等における支援について、業務上の支援以外に生活面の支援が必要な場合、または重度障害者等が自営業者として働く場合に必要な支援事業を新設しました。</p> <p>○【拡充】一定の医療的ケアのある重症心身障害者を受け入れている施設の補助金を、夜間に受け入れる福祉型短期入所事業所に対し補助できるよう制度を拡充しました。</p> <p>○「第五次障害者長期計画」「第6期障害福祉計画」で掲げる取組みの進行管理を行うとともに、次期計画策定の基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○日常生活圏域に設置した障害者相談支援センターの周知を図るとともに、地域包括支援センターなど他機関連携を強化し、相談支援体制の強化をします。</p> <p>○サービスを拡充したが、サービスを提供する介護人材が不足していることを理由にサービスが利用できない人が一定数いるため、介護人材の確保に向けた取組みをします。</p> <p>○市民アンケート調査結果を踏まえ、本市における障害者施策に関する課題の解消に向け、次期障害者長期計画等を策定します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」サービス利用者回答率	担当課調査	%	-	-	49	数値	66
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳以上の障害福祉サービス利用者）						
2	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」サービス未利用者回答率	担当課調査	%	-	-	57.9	数値	75
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳以上の障害福祉サービス未利用者）						
3	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」障害児回答率	担当課調査	%	-	-	60.3	数値	75
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳未満の障害のある市民）						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	障害者基本法ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	第5次大阪府障がい者計画ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第五次障害者長期計画ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	14,385,740	人件費（参考）	241,333	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,314	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	14,412,637	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	8,781,524
	決算額	13,518,053		地方債	0
	残額	894,584		その他 特定財源	34,698
	執行歩合	93.79%		一般財源	4,701,831

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		シルバーハウジング生活援助員派遣事業【継続】	149	0	0	149	01
	障害者外出支援サービス事業【継続】	13,501	6,515	0	6,986	01	障害者福祉費
	移動支援【拡充】	635,495	307,746	0	327,749	01	障害者福祉費
	日中一時支援【継続】	8,917	4,420	0	4,497	01	障害者福祉費
	緊急通報システム事業【継続】	282	0	0	282	01	障害者福祉費
	障害者施策推進協議会【継続】	517	0	0	517	01	障害者福祉費
	障害者啓発活動【継続】	284	233	0	51	01	障害者福祉費
	障害福祉サービス窓口受付事務【継続】	10,266	8,502	0	1,764	01	障害者福祉費
	障害者職場体験実習【継続】	1,525	0	0	1,525	01	障害者福祉費
	介護給付費等支給審査会【継続】	26,690	0	0	26,690	01	障害者福祉費
	障害福祉システムの運用【継続】	25,042	902	0	24,140	01	障害者福祉費
	補装具費用支給【継続】	58,479	49,375	0	9,104	01	障害者福祉費
	日常生活用具給付等【継続】	99,648	47,689	0	51,959	01	障害者福祉費
	福祉電話貸与【継続】	426	0	0	426	01	障害者福祉費
	住宅改造助成【継続】	666	0	0	666	01	障害者福祉費
	重度障害者福祉手当支給【継続】	207,721	152,611	0	55,110	01	障害者福祉費
	在宅給食サービス事業【継続】	379	0	0	379	01	障害者福祉費
	福祉ホーム運営事業補助【継続】	158	76	0	82	01	障害者福祉費
	障害者就労支援強化事業【継続】	2,360	0	0	2,360	01	障害者福祉費
	訪問入浴サービス事業【継続】	17,086	8,289	0	8,797	01	障害者福祉費
	高額障害福祉サービス等給付費支給決定・支払事務【継続】	5,318	4,830	0	488	01	障害者福祉費
	障害者長期計画・障害福祉計画の推進【継続】	2,468	0	0	2,468	01	障害者福祉費

【決算説明情報】

(単位：千円)

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	自立支援医療費補助【継続】	502,746	391,078	0	111,668	01	障害者福祉費	
	自動車改造助成【継続】	300	0	0	300	01	障害者福祉費	
	障害者手帳交付事業【継続】	6,535	5,897	0	638	01	障害者福祉費	
	相談支援給付費等支給決定・支払事務【継続】	100,813	76,458	0	24,355	01	障害者福祉費	
	障害福祉サービス費等支給決定・支払事務【継続】	11,663,413	7,678,947	0	3,952,145	01	障害者福祉費	
	福祉的就労の場への支援【拡充】	2,375	0	0	1	01	障害者福祉費	
	障害者相談支援事業【継続】	27,074	86	0	26,988	01	障害福祉センター費	
	障害者虐待防止対策支援【継続】	3,616	2,770	0	846	01	障害福祉センター費	
	成年後見制度利用者支援【継続】	4,322	1,219	0	3,100	01	障害福祉センター費	
	障害者自立支援協議会【継続】	64	0	0	64	01	障害福祉センター費	
	地域活動支援センター事業【継続】	19,329	0	0	19,329	01	障害福祉センター費	
	たちばな園施設運営管理【完了】	0	0	0	0	01	たちばな園費	
	避難関連事業【継続】	71	0	0	71	01	障害者福祉費	
	重度訪問介護利用者の大学修学支援事業【継続】	1,589	1,192	0	397	01	障害者福祉費	
	医療的ケアのある重症心身障害者支援にかかる施設運営補助【継続】	25,553	0	0	25,553	01	障害者福祉費	
	重層的支援体制整備事業（障害福祉課・地域活動支援センター事業分）	6,000	4,500	0	1,500	01	社会福祉総務費	
	重層的支援体制整備事業（障害福祉課・基幹相談支援センター分）【拡充】	36,383	27,819	0	8,564	01	社会福祉総務費	
	重度障害者等就労支援特別事業【新規】	493	370	0	123	01	障害者福祉費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉サービスの運営	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○障害福祉サービス提供体制の整備を促進するため、障害者グループホームの開設事業費補助等や障害福祉サービス事業所等の指定等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者グループホームの開設事業費補助を行いました。 ○障害者グループホームを新たに開設した事業所のうちスプリンクラーを設置する2事業所に対し、国の補助金を活用した補助を実施しました。 ○障害福祉サービス事業所等の指定等を行いました。 ○【新規】たちばな園跡地施設の維持管理を行いました。 ○【新規】物価高騰により影響を受けている障害福祉サービス事業所に対して、事業を安定的に継続するための運営支援として給付金を支給しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○重度障害者の地域移行を進めるため、重度障害者を受け入れることが設備的に可能な障害者グループホームを増やす必要があります。既設のグループホームが重度化に対応するため必要な費用を補助するなど、新たな助成制度が必要であるか検討します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後、障害福祉サービス事業所で働く人材が一層不足することが見込まれるため、国や府に対し、現場のニーズに合った施策展開を要望し続けるとともに、市独自の助成制度が必要であるか検討します。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	グループホーム定員数	担当課調査	人	337	398	433	412	令和5
	考え方、定義、算出方法など	各年度3月1日現在の市指定障害者グループホームにおける定員数の合計							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉センターひまわり運営管理	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課	100100 行政総務課 100500 人事課 104500 デジタル戦略課 200300 広報戦略課 300500 くらし支援課 361500 こども相談課 561500 消防指令センター		

事業概要	<p>○障害福祉センターひまわりの設置目的である「障害者の文化と教養の向上及び自立と社会参加の促進」を図るため、各種相談・講座等の事業を実施するとともに、施設の維持管理を行います。</p> <p>○豊中市手話言語アクションプランの基本目標を達成するため、手話への理解を広め、手話を習得・発信する土台づくりに取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者向けの各種講座の実施により、障害者の文化と教養の向上及び自立と社会参加の促進を図りました。また、障害の有無にかかわらず参加できるひまわりひろばを実施し、地域と交流する機会としました。</p> <p>○障害福祉センターひまわりの総合管理・運営及び車両の管理を適切に行いました。</p> <p>○家庭のみでは入浴が困難な重度障害者に対し、必要な設備等を提供し、保健衛生の向上と福祉の増進を図りました。</p> <p>○障害者の社会参加・日常生活支援を目的とした手話通訳等の奉仕員を養成し、障害者の福祉の向上を図りました。</p> <p>○手話通訳者・要約筆記者を派遣し、聴覚障害者等の家庭生活・社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を図りました。</p> <p>○手話通訳者を設置し、聴覚障害者に手話通訳及び相談支援を行いました。</p> <p>○発達障害に起因する日常生活上の問題に対して医療リハ職、社会福祉職等が支援することにより、発達障害者の福祉の向上を図りました。</p> <p>○視覚障害者に歩行及び日常生活にかかる相談支援を行うことにより、自立支援・社会参加の促進を図りました。</p> <p>○身体機能や日常生活動作の機能低下やその恐れのある障害者に対し、機能訓練やその指導、生活上での動作や姿勢に対する指導や助言を行い、家族や介護者に対しては、継続して行える訓練や介助方法について指導及び助言を行いました。</p> <p>○行政情報・地域生活をするうえで必要な情報を音訳・点訳し定期的に発行しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○ひまわりひろばを定期的開催し、地域交流及び多世代交流を果たすことができました。今後は、Zoomの活用やアクセシビリティ能力を高める講座を行う必要があります。また、参加者の高齢化が進んでいることから、参加しやすい時間帯など講座の開催方法も検討していきます。</p> <p>○奉仕員養成講習会は、障害や手話への理解を深め、奉仕員活動に対する動機付けの機会となりました。現在、市登録奉仕員の高齢化が進み、新規登録者の確保が課題となっています。今後は講習会修了後、奉仕員活動を目指す人を対象にしたスキルアップ講習会開催を進め、登録者の増加を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	参考	貸室件数	担当課調査	件	1,197	764	1,689	数値	1,250
	考え方、定義、算出方法など	各年度の貸室利用延べ件数							
2	参考	相談件数	担当課調査	件	886	884	1,165	数値	820
	考え方、定義、算出方法など	各年度の総合相談件数							
3	参考	講座延参加者数		人	1,346	1,738	2,226	数値	4,500
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	奉仕員養成研修事業受講者数	担当課調査	人	47	61	75	数値	90
	考え方、定義、算出方法など	各年度の奉仕員養成研修事業受講者数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	障害者基本法ほか
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	第5次大阪府障がい者計画ほか
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	第5次障害者長期計画ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	121,510	人件費 (参考)	62,127			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△275	公債費 (参考)	45,439			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	125,473	財源内訳 決算額の	国・府支出金	23,468		
	決算額	112,425		地方債	0		
	残額	13,048		その他 特定財源	801		
	執行歩合	89.60%		一般財源	88,156		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
障害福祉センター施設管理【継続】		13,492	0	0	13,492	01	障害福祉センター費
障害福祉センター車両管理【継続】		569	0	0	569	01	障害福祉センター費
手話通訳者・要約筆記者派遣【継続】		2,588	1,313	0	1,275	01	障害福祉センター費
障害者向け各種講座【継続】		25,735	12,417	0	13,318	01	障害福祉センター費
歩行訓練及び手話通訳【継続】		52	31	0	21	01	障害福祉センター費
機能回復訓練【継続】		24	13	0	11	01	障害福祉センター費
奉仕員養成研修事業【継続】		847	575	0	272	01	障害福祉センター費
点字・声の広報等発行事業【継続】		2,302	1,193	0	1,109	01	障害福祉センター費
障害福祉センター施設運営【継続】		48,818	5,607	0	42,410	01	障害福祉センター費
障害者団体支援事業【継続】		399	186	0	213	01	障害福祉センター費
障害者施策推進協議会 障害福祉センター運営検討部会【継続】		61	0	0	61	01	障害福祉センター費
意思疎通支援事業【継続】		3,828	2,133	0	1,695	01	障害福祉センター費
施設入浴サービス事業【継続】		13,560	0	0	13,560	01	障害福祉センター費
発達障害者支援【継続】		150	0	0	150	01	障害福祉センター費
障害福祉センター施設整備事業【継続】		0	0	0	0	01	障害福祉センター整備
事務費 (障害福祉センター整備費)【継続】		0	0	0	0	01	障害福祉センター整備

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生活保護事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課	331000 障害福祉課 340100 健康政策課 341000 保健予防課		

事業概要	<p>○生活に困窮する国民に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するために、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行います。 ※ 扶助費支給事業と生活保護関連事務は法定受託事務</p>
当該年度の実績	<p>○一人では求職活動が困難な生活保護受給者や保護申請者に対して、履歴書の作成支援・模擬面接・ハローワーク同行による求職支援をハローワークと連携を図りながら行い、生活保護受給者等の自立を支援しました。 ○【拡充】日常生活の健康管理が困難な生活保護受給者等に対し健康管理支援員（保健師・精神保健福祉士）と地区担当員が連携し、日常生活・病状の把握、健康管理、医療機関への連携等の支援を行いました。平成30年3月に策定した『第2期豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針』に基づき、医療扶助に係る取組みを計画的に実施するとともに、それぞれに設定している数値目標の達成に向け、進捗状況の確認等の進捗管理を行いました。 ○福祉事務所で使用する車両の管理を行いました。 ○庄内分室の維持管理を行いました。 ○生活保護業務を効率的に遂行するため生活保護システムの運用を行いました。 ○生活に困窮する国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長しました。 ○生活保護の適正な運営を確保するため生活保護業務に係る事務費等の支出を行いました。 ○被保護世帯の生活実態を明らかにすることによって、生活保護基準の改定等生活保護制度の企画運営のために必要な基礎資料を得るとともに、厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得ることを目的とした社会保障生計調査（家計簿調査事業）を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○生活保護受給者等就労支援事業については、庁内の常設ハローワーク窓口を活用し、支援対象者が求職活動の支援を受けることができるよう、ハローワークとの連携を進めていきます。 ○生活保護受給者等健康管理支援事業については、引き続き健康相談、同行受診などの健康管理支援や適切な医療の活用、制度適用の適正化等を実施し、これまでの各取り組みを評価するとともに、就学前の乳幼児のいる世帯や妊婦のいる世帯に対する支援などの課題に対して「第3期医療扶助の適正な実施に関する方針」を策定します。 ○扶助費支給事業については、生活に困窮する国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	530 令和4年度
1	目標	のべ就労支援者数	担当課調査	人	566	580	524	数値年	530 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	個別支援における支援目的達成率	担当課調査	%	81.1	82.4	92.9	数値年	90 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	糖尿病を起因とする新規透析導入者数	担当課調査	人	13	9	9	数値年	11 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	市民健診受診者数	担当課調査	人	410	451	556	数値年	500 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	被保護人員	担当課調査	人	9,709	9,497	9,539	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	生活保護法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市生活保護受給者等自立・就労支援事業要綱、

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,474,192	人件費（参考）	775,223		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,487,311	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	13,211,387	
	決算額	17,749,716		地方債	0	
	残額	737,595		その他 特定財源	242,443	
	執行歩合	96.01%		一般財源	4,295,886	
	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
生活保護受給者等就労支援事業【継続】	14,940	13,424	0	1,516	01	生活保護総務費
生活保護受給者等健康管理支援事業【拡充】	9,032	8,378	0	654	01	生活保護総務費
福祉事務所事務室車両管理【継続】	528	0	0	396	01	生活保護総務費
庄内分室施設管理【継続】	2,774	0	0	2,774	01	生活保護総務費
生活保護システムの運用【継続】	21,442	7,040	0	14,402	01	生活保護総務費
扶助費支給事業【継続】	17,629,599	13,174,107	0	4,213,181	01	扶助費
生活保護関連事務【継続】	69,794	6,831	0	62,963	01	生活保護総務費
社会保障生計調査（家計簿調査事業）【継続】	1,607	1,607	0	0	01	生活保護総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険給付等事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331500 福祉部・長寿社会政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○要介護認定者、要支援認定者及びチェックリスト該当者（事業対象者）が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするため、被保険者が利用した介護サービスや介護予防・生活支援サービスにかかる費用の保険給付を行い、地域の多様な主体による見守りやサロン活動の運営費を補助します。</p> <p>○適正な保険給付を行うため、国保連合会に対する支払いやデータ授受事業者との協議などの事務を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○介護予防サービス給付費、介護予防計画給付費、居宅介護サービス費、居宅介護サービス計画費、施設介護サービス費、地域密着型介護サービス費、地域密着型介護予防サービス費、特例介護予防サービス費、特例介護予防サービス計画費、特例居宅介護サービス費、特例居宅介護サービス計画費、特例地域密着型介護サービス費、特例地域密着型介護予防サービス費、介護予防・生活支援サービス事業費を給付し、介護予防ケアマネジメント事業費、審査支払手数料を支払いました。</p> <p>○国保連合会に対し審査手数料の支払いやデータ授受、第三者行為求償事務、介護報酬算定に係る事業者との協議などの事務を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○事業所に対し必要な保険給付を行い、被保険者は利用者負担を行うことで円滑な保険給付事業を行うことができました。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	保険給付費の計画値に対する執行率	長寿社会政策課	%	93.3	96.6	95.7	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	決算額÷当初予算額						
2	参考	介護予防・生活支援サービス事業費の計画値に対する執行率	長寿社会政策課	%	75.9	84.6	82.2	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	決算額÷当初予算額						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行法、介護保険施行令、介護保険法施行規則等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	36,382,640	人件費（参考）	10,340	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	36,382,642	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	13,358,227
	決算額	34,904,808		地方債	0
	残額	1,477,834		その他 特定財源	16,594,382
	執行歩合	95.94%		一般財源	4,952,199

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		保険給付事業（介護予防サービス給付費）【継続】	726,646	277,073	0	90,808	17
	保険給付事業（介護予防サービス計画給付費）【継続】	173,592	66,208	0	21,699	17	介護予防サービス計画
	保険給付事業（居宅介護サービス給付費）【継続】	18,669,382	7,115,616	0	2,919,375	17	居宅介護サービス給付
	保険給付事業（居宅介護サービス計画給付費）【継続】	2,065,438	787,758	0	258,180	17	居宅介護サービス計画
	保険給付事業（施設介護サービス給付費）【継続】	6,845,375	2,610,826	0	855,672	17	施設介護サービス給付
	保険給付事業（審査支払手数料）【継続】	33,500	12,777	0	4,187	17	審査支払手数料
	保険給付事業（地域密着型介護サービス給付費）【継続】	5,235,341	1,996,759	0	654,418	17	地域密着型介護サービス
	保険給付事業（地域密着型介護予防サービス給付費）【継続】	13,407	5,113	0	1,676	17	地域密着型介護予防サービス
	保険給付事業（特例介護予防サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例介護予防サービス
	保険給付事業（特例介護予防サービス計画給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例介護予防サービス計画
	保険給付事業（特例居宅介護サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例居宅介護サービス
	保険給付事業（特例居宅介護サービス計画給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例居宅介護サービス計画
	保険給付事業（特例地域密着型介護サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例地域密着型介護サービス
	保険給付事業（特例地域密着型介護予防サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例地域密着型介護予防サービス
	保険給付管理【継続】	3,908	0	0	3,908	17	一般管理費
	介護保険利用者負担額軽減支援事業【継続】	0	0	0	0	17	一般管理費
	介護予防・生活支援サービス事業（長寿社会政策課）【継続】	1,016,563	439,697	0	127,070	17	介護予防・生活支援サービス
	介護予防ケアマネジメント事業（長寿社会政策課）【拡充】	118,416	45,164	0	14,802	17	介護予防ケアマネジメント
	介護予防・生活支援サービス事業（審査支払手数料）【継続】	3,240	1,236	0	404	17	審査支払手数料

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険事業（保険給付課）	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	○介護保険法による保険給付を行います。
当該年度の実績	○申請に基づき被保険者に対し負担限度額認定証の交付及び保険給付を行いました。 ○給付適正化のため実地調査を実施しました。

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	○法で定められた保険給付のため今後も継続します。
--	--------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数	担当課資料	人	105,297	105,059	104,746	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	住宅改修・福祉用具購入調査件数	担当課資料	件	0	76	135	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	理由書作成の助成件数	担当課資料	件	6	11	12	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法 他
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,240,055	人件費（参考）	7,390
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,240,220	財源内訳の 国・府支出金 地方債 その他 特定財源 一般財源	710,811
	決算額	1,869,601		0
	残額	370,619		918,803
	執行歩合	83.46%		239,987

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
予算管理事業	住宅改修・福祉用具購入適正化事業【継続】	2,138	1,234	0	412	17	任意事業費
	保険給付事業（介護予防住宅改修費）【継続】	49,479	18,871	0	6,185	17	介護予防住宅改修費
	保険給付事業（介護予防福祉用具購入費）【継続】	15,627	5,960	0	1,954	17	介護予防福祉用具購入
	保険給付事業（居宅介護住宅改修費）【継続】	67,088	25,587	0	8,386	17	居宅介護住宅改修費
	保険給付事業（居宅介護福祉用具購入費）【継続】	50,450	19,241	0	6,306	17	居宅介護福祉用具購入
	保険給付事業（高額医療合算介護サービス費）【継続】	134,749	51,394	0	16,843	17	高額医療合算介護サ一
	保険給付事業（高額医療合算介護予防サービス費）【継続】	1,132	432	0	141	17	高額医療合算介護予防
	保険給付事業（高額介護サービス費）【継続】	1,037,244	395,604	0	129,656	17	高額介護サ一
	保険給付事業（高額介護予防サービス費）【継続】	614	234	0	77	17	高額介護予防サ一
	保険給付事業（特定入所者介護サービス費）【継続】	499,285	190,427	0	62,411	17	特定入所者介護サ一
	保険給付事業（特定入所者介護予防サービス費）【継続】	35	13	0	5	17	特定入所者介護予防サ
	保険給付事業（特例特定入所者介護サービス費）【継続】	0	0	0	0	17	特例特定入所者介護サ
	保険給付事業（特例特定入所者介護予防サービス費）【継続】	0	0	0	0	17	特例特定入所者介護予
	居宅介護（介護予防）住宅支援事業【継続】	24	14	0	4	17	任意事業費
	介護保険管理事務事業【継続】	7,017	0	0	7,017	17	一般管理費
	地域支援事業（介護予防・生活支援サービス事業費）【継続】	4,719	1,800	0	590	17	介護予防・生活支援サ

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	国民健康保険事業（保険給付課）	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○国民皆保険制度の中核を担う医療保険制度であり、市町村が保険者となり、市民のうち自営業や退職者などを対象とする被保険者が疾病や負傷をしたときなどに必要な給付を行います。</p> <p>○平成30年4月から広域化により大阪府が共同保険者として加わり、財政運営の責任主体となっています。</p> <p>○国民健康保険制度の財政運営の都道府県化により、府内市町村の保険給付費等の支出に対する必要額を事業費納付金として負担します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○申請に基づき被保険者に対し限度額適用（・標準負担額減額）認定証の交付及び保険給付を行うとともに、市立体育館などの利用料や人間ドック受診料の助成を行いました。</p> <p>○府内市町村の保険給付費等の支出に対する必要額を事業費納付金として納付しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○法で定められた保険給付のため今後も継続します。</p> <p>○市立体育館などの利用料や人間ドック受診料の助成については、被保険者の健康の保持・増進を支援するため今後も継続します。</p> <p>○一人あたりの保険給付費や事業費納付金が年々増加しており、このことにより保険料率が上昇して被保険者の負担となっています。</p> <p>○令和6年度に府内統一保険料率となりますが、引き続き保険料抑制や医療費の適正化などの課題に対して、広域化調整会議のWG委員を通じて、意見の申出をします。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（4月末～3月末月平均）	担当課資料	人	78,172	76,201	72,872	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	人間ドック・脳ドック受診者数	決算説明書	人	2,785	3,079	3,074	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	はつらつ健康事業助成件数	決算説明書	件	2,528	2,744	3,942	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険運営方針 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	39,113,880	人件費（参考）	67,328
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,154,015	国・府支出金	27,170,063
	決算額	38,932,244	地方債	0
	残額	221,771	財源内訳の その他 特定財源	7,913,250
	執行歩合	99.43%	一般財源	3,848,931

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	国民健康保険オンラインシステムの運用【継続】	42,679	0	0	42,679	11	一般管理費	
	国民健康保険運営協議会【継続】	254	0	0	254	11	運営協議会費	
	国民健康保険協議会負担金事業【継続】	3	0	0	3	11	国民健康保険協議会負担金	
	国民健康保険連合会負担金事業【継続】	6,929	0	0	6,929	11	国民健康保険連合会負担金	
	保健事業（疾病予防費）【継続】	135,812	37,310	0	98,502	11	疾病予防費	
	保健事業（保健衛生普及費）【継続】	9,263	1,648	0	7,615	11	保健衛生普及費	
	保険給付事業（一般被保険者移送費）【継続】	0	0	0	0	11	一般被保険者移送費	
	保険給付事業（一般被保険者高額療養費）【継続】	3,479,873	3,479,873	0	0	11	一般被保険者高額療養費	
	保険給付事業（一般被保険者療養給付費）【継続】	22,922,569	22,921,672	0	897	11	一般被保険者療養給付費	
	保険給付事業（一般被保険者療養費）【継続】	360,127	360,127	0	0	11	一般被保険者療養費	
	保険給付事業（一般被保険者高額介護合算療養費）【継続】	2,915	2,915	0	0	11	一般被保険者高額介護合算療養費	
	保険給付事業（支払手数料）【継続】	43	43	0	0	11	支払手数料	
	保険給付事業（出産育児一時金）【継続】	89,753	89,753	0	0	11	出産育児一時金	
	保険給付事業（審査支払手数料）【継続】	63,547	63,547	0	0	11	審査支払手数料	
	保険給付事業（精神・結核医療給付金）【継続】	62,950	62,950	0	0	11	精神・結核医療給付金	
	保険給付事業（葬祭費）【継続】	22,850	22,850	0	0	11	葬祭費	
	保険給付事業（退職被保険者等移送費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等移送費	
	保険給付事業（退職被保険者等高額介護合算療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等高額介護合算療養費	
	保険給付事業（退職被保険者等高額療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等高額療養費	
	保険給付事業（退職被保険者等療養給付費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等療養給付費	
	保険給付事業（退職被保険者等療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等療養費	
	国民健康保険管理事務事業【継続】	64,730	18,832	0	45,898	11	一般管理費	

【決算説明情報】

(単位：千円)

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	利子（国民健康保険事業）【継続】	0	0	0	0	11	利子
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	8,355,437	80,544	0	2,663,919	11	一般被保険者医療給付
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	678	0	0	678	11	退職被保険者等医療給
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	2,353,343	12,284	0	682,227	11	一般被保険者後期高齢
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	204	0	0	204	11	退職被保険者等後期高
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	920,074	5,849	0	270,781	11	介護納付金分
	共同事業拠出金事業【継続】	1	0	0	1	11	共同事業拠出金
	償還金（国民健康保険事業）【継続】	28,255	0	0	28,255	11	償還金
	保険給付事業（傷病手当金）【継続】	9,955	9,866	0	89	11	傷病手当金

予算管理事業

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	後期高齢者医療事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○平成20年4月に超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現に向け、75歳以上の後期高齢者を被保険者とする後期高齢者医療制度が創設されました。</p> <p>○各都道府県に設置された後期高齢者医療広域連合が、保険者となって保険料の決定や被保険者への給付を行い、市町村は、各種届出や申請の受付、保険料の徴収を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○後期高齢者医療制度の被保険者から徴収した保険料等を、大阪府後期高齢者医療広域連合に納付しました。</p> <p>○後期高齢者医療制度に係る医療給付等の受付事務などを行いました。</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○徴収した保険料等を適切に納付し、大阪府後期高齢者医療広域連合の安定的な運営に寄与しました。保険給付費の増加に伴い、後期高齢者医療制度の保険料率も年々上昇しており、被保険者の負担が重くなっているのが課題です。</p> <p>○後期高齢者医療事業の適正かつ円滑な運営するため今後も継続します。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（4月末～3月末月平均）	担当課資料	人	53,546	54,141	56,271	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者の医療の確保に関する法律 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府後期高齢者医療広域連合条例 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市後期高齢者医療に関する条例 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	11,455,475	人件費（参考）	18,718
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	11,455,475	国・府支出金	0
	決算額	11,313,727	地方債	0
	残額	141,748	財源内訳の その他 特定財源	5,933,728
	執行歩合	98.76%	一般財源	5,379,999

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
後期高齢者医療広域連合納付金事業【継続】	7,037,684	0	0	1,103,956	16	後期高齢者医療広域連
後期高齢者医療事業療養給付費・事務負担金事業【継続】	4,259,663	0	0	4,259,663	01	後期高齢者医療事業費
後期高齢者医療管理事務事業【継続】	1,486	0	0	1,486	16	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	福祉医療費助成事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	362000 子育て給付課		

事業概要	○重度の身体障害者など対象者の健康の保持及び福祉の増進を図るために、対象者の医療費の一部を助成します。
当該年度の実績	○申請に基づき対象者に対し医療証の交付及び医療費の助成を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○医療費の一部を助成し、安心して医療を受ける環境を整えることにより、受診機会の多い重度障害者の経済的負担を軽減できており今後も事業を継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	障害者医療費助成対象者数（3月～2月の月平均）	決算説明書	人	6,066	6,058	6,064	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	助成額	決算説明書	千円	742,038	749,725	754,590	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	□国の法律・政令・省令・計画等	
		大阪府市町村重度障がい者及び知的障がい者医療費助成事業費補助金交付要綱
		豊中市重度障害者の医療費の助成に関する条例・豊中市重度障害者の医療費の助成に関する条例施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	859,651	人件費（参考）	22,187	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	859,651	財源内訳	国・府支出金	370,339
	決算額	774,578		地方債	0
	残額	85,073		その他特定財源	0
	執行歩合	90.10%		一般財源	404,239

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
老人医療費助成事業【継続】	990	92	0	898	01	老人医療助成費
訪問看護基本利用料助成事業【継続】	0	0	0	0	01	訪問看護療養助成費
福祉医療システムの運用【継続】	2,499	0	0	2,499	01	社会福祉総務費
重度障害者医療費助成事業【継続】	771,089	370,247	0	400,842	01	障害者医療助成費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料収納事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○被保険者に対し、保険料収納事務を適正に行うことにより、保険料負担の公平性や相互扶助の確保とともに保険財政の健全化を図るために、保険料の収納、過誤納金の還付及び口座振替に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険料（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の収納、過誤納金の還付及び口座振替に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○窓口での保険料納付に対する口座振替勧奨や一部のキャッシュレス決済に対応させているものの、収納率の全体的な底上げに結びついていないのが現状です。 ○引き続き保険料収納事務を適正に行うことにより、保険料負担の公平性や相互扶助の確保を推進していくとともに、保険財政の健全化を図るため収納率の上昇に向けた取組みを継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	目標	現年度収納率（国民健康保険）	決算資料	%	92.9	93.37	92.82	数値年	93.50 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	国民健康保険料目標収納率（保険収納課作成）							
2	目標	現年度収納率（後期高齢者医療事業）	決算資料	%	99.52	99.49	99.34	数値年	99.52 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	介護保険料目標収納率（保険収納課作成）							
3	目標	現年度収納率（介護保険）	決算資料	%	99.21	99.26	99.27	数値年	99.30 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	介護保険料目標収納率（保険収納課作成）							
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市後期高齢者医療に関する条例、豊中市介護保険条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	50,703	人件費（参考）	26,710	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	50,703	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	44,130		地方債	0
	残額	6,573		その他 特定財源	44
	執行歩合	87.04%		一般財源	44,086

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		保険料収納管理事業（国民健康保険事業）【継続】	25,239	0	0	25,200	11
	保険料収納管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	6,160	0	0	6,157	16	一般管理費
	保険料収納管理事業（介護保険事業）【継続】	12,731	0	0	12,729	17	賦課徴収費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料資格得喪事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○被保険者の資格得喪事務を適正に実施すること等を通じて、保険事業の適正かつ円滑な運営を図るために、保険の資格得喪に関する調査、被保険者証の交付及び年度更新に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の資格取得・喪失に関する手続き・調査、被保険者証の交付及び年度更新に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○3保険被保険者の資格取得・喪失事務を適正に行うことで賦課決定や医療給付を担保し、また3保険事業の円滑な運営を図ることで安定した社会保障制度を維持させていくことに寄与しました。</p> <p>○今後も3保険の資格取得・喪失事務を適正に継続します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（国民健康保険事業）	保険給付課より	人	78,172	76,201	72,872	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（保険給付課作成）						
2	参考	第1号被保険者数（介護保険事業）	長寿社会政策課より	人	105,297	105,059	104,746	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	被保険者数（後期高齢者医療事業）	保険給付課より	人	53,661	55,026	57,383	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	決算説明書（保険給付課作成）						
4								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、介護保険法、高齢者の医療の確保に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市介護保険条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	81,228	人件費（参考）	52,634			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,062	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	80,166	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	1,816		
	決算額	75,717		地方債	0		
	残額	4,449		その他 特定財源	18,833		
	執行歩合	94.45%		一般財源	55,068		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
保険資格得喪管理事業（国民健康保険事業）【継続】		30,813	1,816	0	28,997	11	一般管理費
保険資格得喪管理事業（介護保険事業）【継続】		3,815	0	0	3,815	17	賦課徴収費
保険資格得喪管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】		41,089	0	0	22,256	16	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料賦課事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○保険料の賦課決定や減免制度の適正な運用等を通じて、介護保険事業の適正かつ円滑な運営を図るために、保険料の賦課及び減免に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の賦課及び減免に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○3保険保険料の賦課決定や減免制度の適正な運用等をととして3保険事業の介護保険事業の適正かつ円滑な運営を図ることにより、安定した社会保障制度を維持させていくことに寄与しました。</p> <p>○今後も3保険の賦課決定・減免事務を適正に継続します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	国民健康保険保険料（現年分・一般被保険者分）	決算資料	千円	7,811,479	7,995,434	8,213,597	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（伸率を乗じたもの）							
2	参考	国民健康保険保険料（現年分・退職被保険者分）	決算資料	千円	0	0	0	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（伸率を乗じたもの）							
3	参考	後期高齢者医療事業保険料（現年分）	決算資料	千円	5,508,773	5,521,896	5,981,500	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	後期高齢者医療被保険者数推計（伸率を乗じたもの）							
4	参考	介護保険料（現年分・第1号被保険者）	決算資料	千円	7,259,491	7,489,026	7,516,594	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	第5期介護保険事業計画（伸率を乗じたもの）							
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市後期高齢者医療に関する条例、豊中市介護保険条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	63,021	人件費（参考）	60,130	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	63,021	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	58,083		地方債	0
	残額	4,938		その他 特定財源	0
	執行歩合	92.16%		一般財源	58,083

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	保険料賦課管理事業（国民健康保険事業）【継続】	24,275	0	0	24,275	11	一般管理費
	保険料賦課管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	13,029	0	0	13,029	16	一般管理費
	保険料賦課管理事業（介護保険事業）【継続】	20,779	0	0	20,779	17	賦課徴収費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料還付事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○過年度の過誤納還付金が発生した市民へ保険料過誤納金を還付するため、過誤納還付金請求に応じ、還付します。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）保険料の過誤納還付請求に応じ還付しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○現年度及び過年度の過誤納還付請求に対して適正に支出することで保険料負担の公平性を確保して保険財政の健全を図り、安定した社会保障制度を維持させることに寄与しました。 ○今後も3保険の保険料還付事務を適正に継続します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	後期高齢者医療保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	10,682	11,232	11,730	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
2	参考	国民健康保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	68,760	47,131	43,707	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	介護保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	14,496	11,656	12,726	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市財務規則、豊中市後期高齢者医療に関する条例施行規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	94,982	人件費（参考）	4,890
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△121	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	94,861	国・府支出金	0
	決算額	68,175	地方債	0
	残額	26,686	その他特定財源	12,739
	執行歩合	71.87%	一般財源	55,436
			財源内訳の	

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
保険料還付金（後期高齢者医療事業）【継続】	11,742	0	0	11,729	16	保険料還付金
保険料還付金（国民健康保険事業）【継続】	43,707	0	0	43,707	11	保険料還付金
第1号被保険者保険料還付金（介護保険事業）【継続】	12,726	0	0	0	17	第1号被保険者保険料

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	国民年金事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課			

事業概要	○国民年金制度は、老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上に寄与することを目的としています。市は、国民年金制度の目的の達成に必要な役割を果たすため、国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行します。
当該年度の実績	国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	引き続き、国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行します。
------------------------------	--------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	相談件数(来庁者数)		件	17,666	17,242	17,803	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	被保険者件数(第1号)	日本年金機構	人	49,611	49,058	47,948	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	被保険者数(任意)	日本年金機構	人	755	812	862	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	被保険者数(第3号)	日本年金機構	人	32,935	31,993	30,673	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	国民年金法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	38,509	人件費（参考）	24,300	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△201	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	38,308	財源内訳の	国・府支出金	37,755
	決算額	37,755		地方債	0
	残額	553		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.56%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		国民年金事業【継続】	37,755	37,755	0	0	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料徴収事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	343000 健康医療部・保険収納課		
関連部局・課	262000 債権管理課 331500 長寿社会政策課 342000 保険給付課 342500 保険資格課		

事業概要	○国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行います。
当該年度の実績	○国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○引き続き、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	目標	国民健康保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	92.9	93.37	92.82	数値年	93.50 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	後期高齢者医療保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	99.52	99.49	99.34	数値年	99.52 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	介護保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	99.21	99.26	99.27	数値年	99.30 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律 介護保険法 地方自治法 地方税法 国税徴収法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例 豊中市後期高齢者医療に関する条例 豊中市介護保険条例 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	35,520	人件費（参考）	108,540	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	35,520	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	34,244		地方債	0
	残額	1,276		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.41%		一般財源	34,244

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		車両管理【継続】	11	0	0	11	16
	保険料徴収事業（後期高齢者医療事業）【継続】	534	0	0	534	16	賦課徴収費
	滞納処分費（後期高齢者医療事業）【継続】	0	0	0	0	16	賦課徴収費
	車両管理【継続】	27	0	0	27	11	賦課徴収費
	滞納整理システムの運用(国民健康保険事業)【継続】	10,478	0	0	10,478	11	賦課徴収費
	保険料徴収事業(国民健康保険事業)【継続】	22,875	0	0	22,875	11	賦課徴収費
	滞納処分費（国民健康保険事業）【継続】	0	0	0	0	11	賦課徴収費
	車両管理【継続】	0	0	0	0	17	賦課徴収費
	保険料徴収事業(介護保険事業)【継続】	319	0	0	319	17	賦課徴収費
	滞納処分費（介護保険事業）【継続】	0	0	0	0	17	賦課徴収費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	くらし再建パーソナルサポート事業	区分	継続
施策の方向性	(5) 就労支援の充実を図ります	総合計画掲載ページ	57
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○自立生活支援の充実のために、くらし再建パーソナルサポートセンター・地域就労支援センター・無料職業紹介所等を活用した基礎能力の養成プログラムや各種講座・職業体験・合同面接会の開催、職業紹介などにより就労支援を進めます。</p> <p>○上記取組をより効果的に実施するため、ひとり親支援や若者支援、生活困窮者自立支援、高齢者支援、障害者支援などの各取組と連携して、就労希望者の就労の場の確保や定着支援を進めます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○くらし再建パーソナルサポートセンターにおいて、2,025件のさまざまな生活の困りごとの新規相談を受けました。</p> <p>また、コロナ禍やその他の理由により、住居を失ったり失う恐れのある方を対象に住居確保給付金の支給を行い、併せて常用就職をめざした就労支援を行いました。</p> <p>○【新規】【拡充】庄内コラボセンター内に豊中しごと・くらしセンターを設置し、生活困窮と就労支援の相談窓口を一体的に実施することにより、生活困窮に陥るきっかけの一つである失業という機会をとらえ、生活困窮に陥るリスクの高い市民を早期に発見し、就労支援と生活面のサポートを一体的に実施する体制を整えました。</p> <p>○市内の雇用創出に向け、豊中商工会議所などと連携した地域雇用活性化推進事業を実施し、145人が就職につながりました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○コロナ禍以降、複雑かつ多様な課題を有する相談が増加していることから、相談員の質の向上に取り組みました。また、その課題に対して包括的な支援が実施できるよう、関係機関とも連携を図りながら個々に合わせた社会的自立に向けた支援を行いました。また、さらなる連携強化と支援体制の充実に向けて、令和5年（2023年）2月に開設した豊中しごと・くらしセンターも活用しながら、就労支援と生活面のサポートを一体的に実施していきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	くらし再建パーソナルサポート事業にかかる新規相談件数	担当課調査	件	6,828	3,735	2,025	数値	1,400
	考え方、定義、算出方法など	くらし再建パーソナルサポート事業の新規相談件数							
2	参考	地域就労支援事業にかかる相談者数	担当課調査	人	1,960	1,296	1,036	数値	610
	考え方、定義、算出方法など	地域就労支援事業にかかる新規及び継続相談者の数							
3	参考	地域就労支援事業による就労決定数	担当課調査	人	194	290	266	数値	200
	考え方、定義、算出方法など	地域就労支援事業により就労が決定した数							
4	参考	無料職業紹介事業による就職件数	担当課調査	件	252	238	244	数値	220
	考え方、定義、算出方法など	無料職業紹介事業による就職件数							
5	参考	住居確保給付金延べ支給者数	担当課調査	人	1,962	1,278	747	数値	72
	考え方、定義、算出方法など	住居確保給付金の延べ支給者数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	生活困窮者自立支援法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府総合相談事業交付金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市地域就労支援実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	418,023	人件費（参考）	45,765	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△111	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	533,315	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	362,258
	決算額	491,010		地方債	0
	残額	42,305		その他 特定財源	5,984
	執行歩合	92.07%		一般財源	122,768

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		若者職業体験事業【継続】	11,242	0	0	11,242	01
	就労支援事業【継続】	82,357	64,694	0	17,663	01	雇用対策費
	無料職業紹介事業【拡充】	24,431	12,547	0	6,140	01	雇用対策費
	住居確保給付事業【継続】	32,299	25,945	0	6,354	01	雇用対策費
	多重債務者生活相談業務【継続】	5,626	4,336	0	1,290	01	雇用対策費
	雇用創出事業【継続】	39,999	0	0	39,999	01	雇用対策費
	重層的支援体制整備事業（くらし支援課）【継続】	83,929	44,656	0	39,273	01	社会福祉総務費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（雇用対策費）【新規】	807	0	0	807	01	雇用対策費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（労働会館費）【新規】	0	0	0	0	01	労働会館費
	生活困窮者自立支援金給付事業【継続】	210,320	210,080	0	0	01	雇用対策費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	労働啓発・相談事業	区分	継続
施策の方向性	(5) 就労支援の充実を図ります	総合計画掲載ページ	57
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○働きがいのある人間らしい仕事ができる環境づくりのため、働いている人や事業者に対して労働相談窓口の運営をします。</p> <p>○働いている人が安心して働き続けられる環境づくりを支援するため、働いている人や事業者に対して最新の労働法規や働き方改革の内容などについて啓発・情報発信に取り組みます。</p> <p>○市内中小企業で働く人が豊かで充実した生活を実現できるようにするため、市内中小企業の福利厚生サービスの支援を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○労働相談業務では、NATSの取り組みを活用した相談を実施するとともに、オンライン予約を拡充するなど、相談しやすい環境づくりに取り組み、191件の相談がありました。</p> <p>○若い世代に対する労働啓発としてショートムービーを13本作成するなど、年代に応じた啓発や情報発信に取り組みました。事業所向けには、労働法規や働き方改革の内容を啓発するため、オンラインで勤労者ニュースを2回発行しました。</p> <p>○豊中市中小企業勤労者互助会の事業運営に対する補助や周知活動の支援を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○オンライン予約の拡充により相談しやすい環境を構築できました。課題は、労働相談窓口の認知度を向上し、さらに活用してもらうことです。今後は豊中しごと・くらしセンターや事業所訪問で周知を行うなど、相談窓口を活用してもらうことができる取り組みを進めます。</p> <p>○多様な働き方が進むなか、雇用契約や労働時間管理の手法も多様化することが予想されることから、引き続き事業所及び労働者双方に対して労働関係法令の周知・啓発に取り組みます。</p> <p>○豊中市中小企業勤労者互助会の持続的な運営のため、周知活動を支援します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	労働相談窓口 相談内容件数	担当課調べ	件	653	689	500	数値	
	考え方、定義、算出方法など	相談内容ごとの件数を合算したもの。受付延べ人数とは異なる。							
2	参考	中小企業勤労者互助会会員数	担当課調べ	人	1,266	1,278	1,303	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年度末時点の中小企業勤労者互助会会員数							
3	参考	働き方アドバイザー派遣制度派遣回数	担当課調べ	回	4	7	2	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年度内にアドバイザー派遣を実施した回数							
4	参考	労働会館 利用人数	担当課調べ	人	37,249	31,817	28,653	数値	
	考え方、定義、算出方法など	但し、労働会館は令和4年度末で廃止予定							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	豊中市訴訟等に係る資金の貸付けに関する条例、豊中市労働相談窓口実施要綱、豊中市働き方アドバイザー派遣制度要綱など	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	21,350	人件費（参考）	10,530	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	22,120	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	19,063		地方債	0
	残額	3,057		その他 特定財源	2,227
	執行歩合	86.18%		一般財源	16,836

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		中小企業勤労者互助会事業【継続】	5,520	0	0	5,520	01
	労働啓発事業【完了】	0	0	0	0	01	労働総務費
	労働相談啓発業務【継続】	4,794	0	0	4,794	01	労働総務費
	労働会館施設管理【継続】	8,658	0	0	6,522	01	労働会館費
	労働会館施設運営【継続】	91	0	0	0	01	労働会館費



2-2 保健・医療の充実

自身の心身の健康に関心をもって発病や重症化の予防を促進するよう、それを支える保健・医療体制の質の向上に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)こころと体の健康管理・予防対策を進めます	11事業
①生活習慣病対策の推進	
②疾病の早期発見や早期治療の促進	
③メンタルヘルス、自殺予防対策の推進	
④薬物乱用防止対策の推進	
各種統計調査事業	福祉部 福祉事務所
健康政策の推進事業	健康医療部 健康政策課
健診(検診)事業	健康医療部 健康政策課
予防接種事業	健康医療部 保健予防課
健康被害等対策事業	健康医療部 保健予防課
感染症予防事業	健康医療部 保健予防課
精神保健事業	健康医療部 保健予防課
難病患者支援事業	健康医療部 保健予防課
保健センター管理事業	健康医療部 母子保健課
公害健康被害予防事業	健康医療部 母子保健課
コロナ健康支援事業	健康医療部 コロナ健康支援課
(2)生活衛生の確保を図ります	4事業
①感染症予防対策の推進	
②食の安全確保	
火葬場等運営管理事業	福祉部 地域共生課
狂犬病予防・動物愛護事業	健康医療部 衛生管理課
衛生対策指導事業	健康医療部 衛生管理課
害虫等への対策	都市基盤部 維持修繕課

(3)地域医療の充実を図ります	3事業
①医療連携の推進	
②在宅医療の推進	
医薬安全事業	健康医療部 健康政策課
地域保健医療の推進	健康医療部 健康政策課
高齢者保健・介護連携事業	健康医療部 健康政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	各種統計調査事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課	340100 健康政策課		

事業概要	○保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るために、国が各種調査を福祉事務所に委託するものです。 (国庫委託事業)
当該年度の実績	○各種調査の実施により、国の厚生労働行政の企画立案に寄与します。令和4年度は大規模調査の年度であり83世帯の調査を調査員と市担当者で連携して行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和4年度から、従前からの対面による調査票の回収と郵送に加えて、インターネット回答が試行されました。厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料となるため、厚生労働省から示された事業実施の手順に沿って進めます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	調査世帯数	担当課調査	世帯	0	66	83	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	統計法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	489	人件費（参考）	1,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	489	財源内訳の	国・府支出金	370
	決算額	369		地方債	0
	残額	120		その他 特定財源	0
	執行歩合	75.46%		一般財源	△1

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		各種統計調査事業（福祉事務所）【 継続】		369	370	0	△1	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健康政策の推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	340500 衛生管理課 341000 保健予防課 341500 母子保健課		

事業概要	<p>○全世代を通じた健康づくり計画の周知、計画に基づく取組みの推進を行います。令和2年3月に策定した「豊中市健康医療戦略方針」に基づき、平均寿命と健康寿命の差の縮小など、市民の健康増進活動をすすめます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○現計画の最終評価及び新計画を策定するため、「食と健康に関するアンケート」を実施しました。発送数9,019人に対し、回収数3,327人、回収率36.9%でした。</p> <p>○豊中市健康医療戦略方針に基づき、引き続き、引き続き、血管プロジェクトを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩PR動画の作成 ・血圧計設置（市内飲食店2店） ・小学生親子対象のダンスイベント及び縄なわとびイベント等身体活動啓発の実施 ・【拡充】大阪府健活アプリ「アスマイル」の市独自ポイントとして血圧ポイントに加えウォーキングポイントの開始。 <p>○【拡充】骨髄バンクドナー助成金制度及びがん患者のためのアピアランスケア助成金制度を開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクドナー助成金制度：実績5件 ・がん患者のためのアピアランスケア助成金制度：実績145件 ・両事業の財源としてクラウドファンディングを実施し、64,000円の寄付がありました。 <p>○市民に対し、健康増進事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 37回 424人、健康相談 548回 718人、訪問指導 7人 延11回 <p>○国民健康・栄養調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣調査：9名、栄養摂取状況調査：10名、身体状況調査：4名 <p>○歯科疾患実態調査を実施し、10名の協力が得られました。</p> <p>○特定給食施設等研修会を現地と後日配信で実施し、36施設が参加、後日配信に34施設の申し込みがありました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○「食と健康に関するアンケート」を実施・分析したことで、令和5年度の新計画策定につなげることができました。次年度からの新しい健康づくり計画に基づき各事業を実施することで、市民の健康づくりを推進していきます。</p> <p>○小学生親子対象の運動イベントにより、30～40歳代の働き盛り世代への身体活動の必要性を啓発できました。</p> <p>○骨髄バンクドナー・がん患者のためのアピアランスケア助成制度の創設により、骨髄バンクドナーの登録促進やがん患者のがん治療と社会参加の両立につながりました。また、クラウドファンディングの実施により、両制度の周知ができました。</p> <p>○健康教育、健康相談、訪問指導を実施することで、市民の健康を増進することができました。</p> <p>○特定給食施設等研修会の実施について、コロナ禍での実施方法が確立できました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	健康寿命と平均寿命の差（男性）	大阪府健康推進室データ	歳	1.9			数値	縮小
		考え方、定義、算出方法など	目標：前年度より縮小						
2	参考	健康寿命と平均寿命の差（女性）	大阪府健康推進室データ	歳	4			数値	縮小
		考え方、定義、算出方法など	目標：前年度より縮小						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	健康増進法、健康日本21（第2次）
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府健康増進計画、大阪府受動喫煙防止条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市健康づくり計画、豊中市健康及び安全のための総合的なたばこ施策の推進に関する条例

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	66,209	人件費（参考）		63,585			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△2,410	公債費（参考）		0			
予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	67,174	財源内訳の	国・府支出金		2,335			
決算額	50,904		地方債		0			
残額	16,270		その他 特定財源		747			
執行歩合	75.78%		一般財源		47,822			
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	保健医療審議会【継続】	186	0	0	186	01	保健衛生総務費	
	健康政策の推進【拡充】	16,108	1,141	0	14,220	01	保健衛生総務費	
	健康づくり推進員会事業【継続】	395	0	0	395	01	生活習慣病予防費	
	健康教育（成人保健）【継続】	70	46	0	24	01	保健センター費	
	健康相談（成人保健）【継続】	0	0	0	0	01	保健センター費	
	訪問指導事業（成人保健）【継続】	313	166	0	147	01	保健センター費	
	保健所車両管理【継続】	1,261	0	0	1,261	01	保健所費	
	各種統計調査事業（保健衛生関係）【継続】	982	982	0	0	01	保健衛生総務費	
	食育関連事業【継続】	2,931	0	0	2,931	01	生活習慣病予防費	
	特定給食指導等事業【継続】	63	0	0	63	01	保健衛生総務費	
	保健所施設管理【継続】	18,387	0	0	18,387	01	保健所費	
	保健所整備事業【新規】	10,208	0	0	10,208	01	保健所整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健診（検診）事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	342000 保険給付課		

事業概要	<p>○糖尿病、高血圧等の生活習慣病を早期発見し適切な保健指導や治療につなげること及びがんの早期発見・早期治療につなげることで、健康の保持増進及び生涯を通じた健康づくりを図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○各けんしん受診者数 ・特定健診：14,343人 ・市民健診：2,049人 ・胃がん検診：4,481人 ・大腸がん検診：21,904人 ・肺がん検診：12,772人 ・子宮がん検診：14,198人 ・乳がん検診：6,318人 ・前立腺がん検診：8,443人 ・【拡充】歯科健診：7,730人 妊産婦歯科健診1,337人 ・骨粗鬆症検診：3,448人 ・肝炎ウイルス検査：2,752人</p> <p>○各けんしん未受診勧奨 特定健診、各がん検診、骨粗しょう症検診の未受診者に対し、年度途中で受診勧奨通知を送付</p> <p>○各がん検診要精密検査者フォロー事業 がん検診の要精密検査者で受診結果が返却されていない者について、精密検査結果の把握と未受診者への受診勧奨を実施</p> <p>○国民健康保険 保健事業 ・特定保健指導：利用者数276人 ・糖尿病性腎症重症化予防事業：保健指導実施者13人 ・異常値放置者受診勧奨事業：587名に受診勧奨文書送付、電話による受診勧奨を実施</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○各けんしんを実施することで、市民の健康の増進につながりました。 ○各けんしんの啓発及び未受診勧奨を行うことで、前年度より受診率は微増しました。しかし、各種けんしんの受診率が全国及び大阪府内の市町村と比べ低いことから、けんしん未受診者に対する健康意識調査を行い、けんしん受診の実態把握と効果的な受診勧奨の仕組みづくりを調査・検討します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○がん検診精密検査受診率は大腸がん検診が低いいため、引き続き結果の把握と未受診者フォローに努めます。 ○国民健康保険の保健事業を実施することで、被保険者の疾患の重症化予防につながりました。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	特定健康診査受診率	法定報告	%	23.7	25.5		数値	60
		考え方、定義、算出方法など	翌年11月確定					年	2023
2	参考	特定保健指導実施率	法定報告	%	17.4	16.5		数値	60
		考え方、定義、算出方法など	翌年11月確定					年	2023
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第2期豊中市国民健康保険保健事業実施計画、第3期豊中市特定健康審査等実施計画、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	858,209	人件費（参考）	46,765
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,322	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	967,457	国・府支出金	109,315
	決算額	825,079	地方債	0
	残額	142,378	その他 特定財源	0
	執行歩合	85.28%	一般財源	715,764

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
市民健康診査【継続】	118,373	11,741	0	106,632	01	生活習慣病 予防費
がん検診【継続】	459,668	7,887	0	451,781	01	生活習慣病 予防費
骨粗しょう症検査【継続】	20,795	387	0	20,408	01	生活習慣病 予防費
歯科健康診査【拡充】	49,721	1,474	0	48,247	01	生活習慣病 予防費
特定健康診査・特定保健指導【継続】	171,322	87,826	0	83,496	11	特定健康診 査等事業費
特定健康診査事業等嘱託等（一般管理費）【継続】	5,200	0	0	5,200	11	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	予防接種事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○A類疾病においては伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、B類疾病ではインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌の発病及び重症化を予防するため、感受性者対策として予防接種を行い公衆衛生の向上及び健康の保持増進に寄与します。</p> <p>○また、予防接種法に定める定期の予防接種を受けたことにより健康被害が生じた場合に、迅速な救済を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○B類疾病ではインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌の発病及び重症化を予防するため、「高齢者のインフルエンザ予防接種」「高齢者の肺炎球菌予防接種」を個別接種方式により実施しました。</p> <p>○A類疾病では、伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、感受性者対策として予防接種を行い、公衆衛生の向上及び健康の保持増進に寄与することを目的として「日本脳炎」「2種混合（ジフテリア・破傷風）」「麻しん・風しん」「結核（BCG）」「ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）」「インフルエンザ菌b型（ヒブ）」「小児用肺炎球菌」「4種混合（ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎（ポリオ）・破傷風）」「水痘」「B型肝炎」「ロタウイルス感染症」を個別接種方式により実施しました。また緊急風しん抗体検査事業及び風しん第5期予防接種の実施期間が令和7年3月末までに延長されたため、昭和37年（1962年）4月2日から昭和54年（1979年）4月1日生まれの男性に対して、引き続き風しんの抗体検査、定期予防接種を無料で実施しました。</p> <p>○予防接種法に定める定期の予防接種及び臨時的予防接種を受けたことにより健康被害が生じた場合に迅速な救済を図ることを目的に、大阪府を通じて国に新規の進達をするとともに、既認定者に対して、治療に必要な医療費及び障害年金など、健康被害補償を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害救済制度の申請件数が増えてきている中、長期の入院の事例などもみられ、予防接種健康被害調査委員会や国への進達に向けた準備として作成する事例概要等により業務が急増しています。</p> <p>○厚生科学審議会における審議内容など、国の動向を注視し、新規ワクチンの定期接種化などについて遅れないように実施します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	インフルエンザ接種率	出典：担当課調査	%	67	59	63	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	高齢者の肺炎球菌接種率	出典：担当課調査	%	25	20	18	数値	
	考え方、定義、算出方法など		平成31年度から平成36年度までの5年間、65歳から100歳まで5歳刻みの方を対象とする経過措置が延長						
3	参考	麻しん及び風しん（MR）接種率	出典：担当課調査	%	96	93	93	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	結核（BCG）接種率	出典：担当課調査	%	103	101	100	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	ロタ接種率	出典：担当課調査	%	79	98	98	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	予防接種法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	執行機関の付属機関に関する条例、豊中市予防接種健康被害調査委員会規則、接種事故災害補償要綱他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,905,281	人件費（参考）	22,923				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,015	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,196,009	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	160,716			
	決算額	1,441,178		地方債	0			
	残額	754,831		その他 特定財源	68,927			
	執行歩合	65.63%		一般財源	1,211,535			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
定期の予防接種（B類疾病）【継続】		393,008	82,474	0	286,745	01	感染症予防費	
健康被害補償【継続】		8,393	6,230	0	2,163	01	感染症予防費	
定期の予防接種（A類疾病）【継続】		1,039,777	72,012	0	922,627	01	感染症予防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健康被害等対策事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、大気汚染による健康被害者に対して補償給付等を行うため、認定の更新及び等級の見直し等を決定するとともに、被認定者の認定疾病にかかる医療費について、医療機関からの診療報酬請求の適否を諮ります。</p> <p>○被爆者援護事業申請受付、肝炎医療費助成申請受付、石綿健康被害救済給付申請受付を実施することにより、市民の健康保持を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○公害健康被害認定審査会において被認定者にかかる認定の更新及び等級の見直し等を決定するとともに、公害健康被害の補償等に関する法律の規定による療養の給付にかかる診療報酬明細書の審査を行い、被認定者または遺族に対して補償給付費の支給を行うことにより健康被害にかかる損害を補填しました。</p> <p>○公害健康被害保健福祉事業では、家庭療養指導として公害健康被害被認定者を看護師が家庭訪問し（コロナ禍で訪問できない場合は電話面談を実施し）、保健指導を行いました。</p> <p>○知識普及事業として環境再生保全機構が作成する「すこやかライフ」を認定患者に送付したほか、公害健康被害被認定者のインフルエンザ予防接種費用を助成しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○被認定者の高齢化により、死亡した人への手紙の案内が増加し、更新手続きなどを自分で行うことが難しい人が増えています。被認定者の減少に伴い、事務量が減少していくため、より一層の効率的な事業の実施を検討します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被認定者数	担当業務資料	人	140	136	133	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	診療報酬支給件数	担当業務資料	件	2,163	2,066	1,985	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	家庭療養指導件数	担当業務資料		241	355	316	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	肝炎医療費助成申請数	担当課調査	件	217	387	5月末頃集計	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	石綿健康被害申請数	担当課調査	件	1	1	6	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公害健康被害の補償等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市公害健康被害認定審査会条例、豊中市公害健康被害認定審査会規則、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	250,328	人件費（参考）	8,424
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	250,328	国・府支出金	6,372
	決算額	167,734	地方債	0
	残額	82,594	その他 特定財源	160,878
	執行歩合	67.01%	一般財源	484
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		公害健康被害認定審査会事業【継続】	1,087	1,071	0	16	01
	公害健康被害診療報酬審査会事業【継続】	1,210	777	0	433	01	公害健康被害補償費
	公害健康被害補償業務【継続】	165,187	4,453	0	0	01	公害健康被害補償費
	公害健康被害保健福祉事業【継続】	144	0	0	0	01	公害保健福祉及び予防保健衛生総務費
	地域保健医療等申請受付進達業務【継続】	106	71	0	35	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	感染症予防事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>感染症の発生情報を収集し、予防策について啓発し、感染拡大防止を図ります。結核医療費公費負担、検診、患者支援等の結核予防事業を実施することにより、結核の発生の予防・まん延の防止につなげ、市民の健康保持を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○HIV・梅毒の検査は月2回定例で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防とその対応のため、4回（8月、9月）を中止し、合計18回実施しました（全22回予定）。定員は12名の予約制とし、受検者数は149人で、昨年度より17人増加しました。また、6月、12月に保健所Twitterや阪急豊中駅前・千里ボボ前に横断幕掲出、啓発ポスター掲示を市内医療機関、阪急・北大阪急行の駅に行い、HIV・AIDSについての普及啓発に努めました。中学生や高校生向けの啓発はできませんでしたが、母子保健課とコロナ禍における市内中学校での性教育の実態を養護教諭へアンケート調査を行いました。</p> <p>○高齢者施設等での発生については福祉部と電子申込システムを利用した報告システムを構築しました。大阪府のクラスター対応強化チームや市立豊中病院の感染症管理看護師による感染対策指導を活用してクラスター発生防止や感染拡大防止に努めました。</p> <p>○結核対策について、新型コロナウイルス感染症対応のため結核の医療機関向け研修会は実施できませんでしたが、介護予防センターにレントゲン車を配備して健診と講座で結核予防啓発を行いました。また、外国出生の結核予防啓発として豊中市で暮らす外国人状況をよくな国際交流センターとワークショップを行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○全国的に梅毒が増加していますが、場所、人員体制の関係で大幅に検査体制を確保することはできませんでしたが、今後はHIV・梅毒の検査体制を充実させるとともに、受検しやすい方法を検討し実施します。中高生向けの性教育が未達でしたが、アンケート結果をもとにおよこ保健課、養護教諭と共に今後の方向性を検討していきます。</p> <p>○高齢者施設等はクラスター発生が起こりやすく重症化しやすいことから、5類になることでより一層地域での感染対策が必要となります。陽性者率の高い高齢者施設等への感染対策指導や感染症リンクワーカーの育成講習計画を作成していきます。</p> <p>○結核罹患患者には、生活基盤の不安定さ、一人暮らしなどの背景に服薬支援が困難な人が増えていることから、薬剤師や訪問看護師による地域DOTSを進めていきます。</p> <p>○感染症の予防啓発として、予防週間など記念日にPRしてはいますが、結核は高齢者や外国人、HIV・梅毒は若年層に多いことから、情報提供や啓発については、若年者や高齢者、外国人等対象に合わせた取り組みを進めていきます。また、コロナ後は人流が活発化するため、感染症発生時の迅速な対応と予防啓発として、感染症情報メールやSMS、ホームページを活用して発信し、感染拡大防止を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	感染症患者の発生届出数	感染症発生動向調査事業	件	20	13	34	数値	20
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
2	目標	HIV・梅毒検査者数	豊中市保健所事業概要	人	34	132	149	数値	250
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
3	目標	結核罹患率（人口10万対）	結核登録者調査年報	-	15.4	12.2	10.5	数値	15
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市感染症診査協議会条例 先天性風しん症候群予防のための風しん予防接種費用助成事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	59,098	人件費（参考）	68,202	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	517	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	59,615	財源内訳 の	国・府支出金	27,502
	決算額	41,811		地方債	0
	残額	17,804		その他 特定財源	27
	執行歩合	70.14%		一般財源	14,282

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		結核予防事業【継続】	18,842	17,515	0	1,300	01
	感染症予防事業【継続】	22,969	9,987	0	12,982	01	感染症予防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	精神保健事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課	160000 人権政策課 300000 市民協働部 330000 福祉部 360000 こども未来部 560000 消防局 600000 教育委員会		

事業概要	地域精神保健福祉業務の中心的な行政機関として、大阪府ことろの健康総合センター、精神科等医療機関、福祉及び教育、雇用労働分野等との連携協力のもとに、精神疾患（精神障害）の予防、早期発見・早期治療、社会復帰及び自立と社会経済活動への参加の促進を図るとともに、地域のメンタルヘルスの向上を図ります。
------	--

当該年度の実績	<p>1. リテラシー向上とネットワーク構築の推進</p> <p>①調整会議やネットワーク会議専門部会を各1回実施</p> <p>②研修や市民向け講演会・講座等をオンラインも活用して実施</p> <p>③「食と健康に関するアンケート」にてメンタルヘルスに関する調査を実施</p> <p>2. 相談支援体制の充実とスキルアップ、メンタルヘルスの理解の促進</p> <p>①「コロナことろのケアダイヤルとよなか」の継続</p> <p>②【拡充】市職員向けに、市民のことろのサポーターになるための入門、初級、中級、上級編研修を企画・実施し、4,318名が受講</p> <p>③TwitterやInstagram、デジタルサイネージ等様々な媒体を活用し、周知啓発を実施</p> <p>3. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進</p> <p>多職種チームによる訪問支援事業14件、措置入院者等退院支援事業6件を実施</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>1. リテラシー向上とネットワーク構築の推進</p> <p>メンタルヘルス計画において、引き続きリテラシーの向上とネットワークの構築、拡充に向け、多機関多職種と連携・協働し取り組みを行います。市民アンケート調査結果などをもとにメンタルヘルス計画の見直しを行います。</p> <p>2. 相談支援体制の充実とスキルアップ、メンタルヘルスの理解の促進</p> <p>「コロナことろのケアダイヤルとよなか」を継続し、市民や事業所、職員がことろのサポーターとなれるように入門、初級、中級、上級編研修を実施します。</p> <p>3. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進</p> <p>多職種チームによる訪問支援事業、措置入院者等退院支援事業等を通じた取り組みを行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	精神保健福祉相談延べ件数	市実績集計	件	6,251	4,843	5,582	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
2	参考	自殺未遂者相談支援を含む自殺相談延べ件数（1の再掲）	市実績集計	件	318	271	470	数値	300
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
3	参考	知識の普及事業（教室、講演会、研修）参加者延べ人数	市実績集計	人	738	1,308	6,626	数値	3000
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
4	参考	多職種チームによる訪問支援事業支援者数	市実績集計	件	19	14	14	数値	24
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、地域保健法、自殺対策基本法、心身喪失者等医療観察法等
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府保健医療計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	健康づくり計画、障害者長期計画、豊中市メンタルヘルス計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	21,202	人件費（参考）	51,111	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	21,202	財源内訳の	国・府支出金	8,760
	決算額	17,477		地方債	0
	残額	3,725		その他 特定財源	400
	執行歩合	82.43%		一般財源	8,317

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
精神保健事業【拡充】	17,477	8,760	0	8,317	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	難病患者支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○難病法に基づく基本方針を踏まえ、申請の受付、進達業務、相談体制の強化を図るとともに医療機関をはじめ関係機関との情報共有や協力体制を推進し、難病の理解促進及び災害対応を視野に入れた療養支援体制の構築を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○個別支援の充実 新規申請患者は全員、更新申請患者は病状変化や相談ニーズがある患者に面談や電話を行い、状況確認とニーズ把握に努めました。必要に応じて言語聴覚士や作業療法士、難病患者就職サポーターと連携し、個々のニーズに応じた療養生活の支援を行いました。また、豊中難病患者連絡会懇談会の事務局を担当し、医療や福祉、教育等の分野での課題を把握し検討しました。</p> <p>○災害対応 申請時に災害への備えについて確認し、平常時からの準備について情報提供しました。また、在宅人工呼吸器常時使用者には「防災プラン」の作成や見直しを行い、災害時の安否確認方法や避難行動について確認し、関係機関と情報共有しました。指定難病・小児慢性特定疾病以外の在宅人工呼吸器常時使用者についても「防災プラン」の作成や見直しを行いました。</p> <p>○難病に関する情報提供と理解促進 関係機関に対しては、オンライン研修会を2回開催しました。市民に対しては、難病患者による体験談動画について掲載したクリアファイルを市内の中学校・高校等に配布し、無関心層への啓発に努めました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○個別支援の充実 難病患者の多様なニーズを把握できるよう、医療的ケア内容についてより具体的に確認を行い、個別支援の充実を図ります。</p> <p>○災害対応 引き続き在宅人工呼吸器常時使用者について「防災プラン」の作成や見直しを行うとともに、それ以外の医療的ケアが必要な難病患者についても、個々の状況に合わせた災害発生時の対策を検討します。</p> <p>○難病に関する情報提供と理解促進 関係機関向け研修会はオンライン開催の希望が多く、今後もオンライン形式で開催します。市民に対しては、普段難病について知る機会が少ない層を対象に普及啓発を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	療養相談件数（訪問）	担当課	件	169	171	205	数値	400
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	療養相談件数（面接）	担当課	件	58	64	622	数値	50
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	療養相談件数（電話）	担当課	件	1,906	2,521	1,843	数値	2,500
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	難病の患者に対する医療等に関する法律、難病対策要綱
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例、大阪府特定疾患に係る医療費
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	6,994	人件費（参考）	50,625	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,057	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	9,051	財源内訳の	国・府支出金	4,024
	決算額	8,371		地方債	0
	残額	680		その他 特定財源	0
	執行歩合	92.49%		一般財源	4,347

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		難病患者療養生活支援事業【継続】	4,361	1,270	0	3,091	01	保健衛生総務費
	難病法申請等受付進達業務【継続】	4,010	2,754	0	1,256	01	保健衛生総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保健センター管理事業	区分	新規
施策の方向性	(1) 心と体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課			

事業概要	○保健センターの適切な運営のため、施設の管理・貸室、車両管理等を行います。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○3保健センター（中部、庄内、千里）施設の修繕等維持管理を行いました。 ○貸室事業を実施しました。 ○保健センター施設で使用する車両（自動車6台、自転車）の維持管理を行いました。 ○庄内コラボセンター新設に伴い、庄内保健センターの移転業務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○保健センターを適切に運営しました。
------------------------------	--------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	貸室件数	担当課調査	件	605	870	908	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中部保健センター、庄内保健センター、千里保健センターの貸室件数。							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市保健センター条例、豊中市保健センター条例施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	39,714	人件費（参考）	8,551	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,714	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	38,768		地方債	0
	残額	946		その他 特定財源	10,471
	執行歩合	97.62%		一般財源	28,297

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	保健センター車両管理【継続】	1,783	0	0	1,783	01	保健センター費
	保健センター施設管理【継続】	36,026	0	0	25,555	01	保健センター費
	(仮称)南部コラボセンター準備事業(母子保健課)【新規】	959	0	0	959	01	保健センター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公害健康被害予防事業	区分	新規
施策の方向性	(1) 心と体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課			

事業概要	母子保健事業へ統合
当該年度の実績	

当該年度の 成果・課題	
解決できた課題・ 今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	0	人件費（参考）	0	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	0	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	0		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コロナ健康支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340300 健康医療部・コロナ健康支援課		
関連部局・課	332000 長寿安心課 340100 健康政策課 341000 保健予防課		

事業概要	<p>○コロナ禍に起因する「健康二次被害」「フレイル」「認知機能の低下」を保健医療的な側面から予防します。</p> <p>○コロナ後遺症の回復支援を行い、市民の健康を守ります。</p> <p>○保健・医療と福祉の連携を強化します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○健康二次被害・フレイル普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツイッター、動画配信、広報紙での特集及び折込、出前講座、WEB広告など、さまざまな手法や機会を活用してコロナフレイル啓発を行い、フレイル認知度向上に取り組みました。 ・介護予防センター（6か所、回収数586件）や薬局（87か所、回収数1,423件）でフレイルチェックを行えるよう調整。 ・市主催・出展イベントを活用したフレイルチェックの実施（計37回、回収数779件） ・ヒアリングフレイルの早期発見のため、介護予防センターでアプリを活用してチェックを行えるよう調整したほか、市主催・出展イベントでもチェックを実施（計8回）。医師会と協力医療機関の調整や、ユニバーサル・サウンドデザインと事業連携協定を締結しました。 ・市公式LINEによる健康アンケートの実施（回答数：7,072件、有効回答率21.3%）。 <p>○運動や社会参加の機会拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行姿勢測定システムを活用した市主催イベントを行いました（会場：イオン豊中緑丘、庄内WESTホール、千里コラボ、エキスタとよなか各2回 計8回、参加数：167人）。 ・補助金による運動を始めるきっかけとなる事業の実施（10事業、延参加人数586人）。 ・親子でなわとびエクササイズを実施（計3回、参加数：82組184人、申込数474組）。 ・介護予防センターと調整しとよなか健康大学の出前講座を行いました（49回、759人）。 ・とよなか健康出張セミナーの実施（実施数：10回、参加数：122人）。 ・イベントでの体調管理啓発ポスターの掲示、ボディメンテの提供（大塚製薬と連携）。 <p>○コロナ健康支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ健康支援相談窓口を設置し、相談支援を行いました。（相談件数：523件） ・医師会及び地域包括支援センターと連携し、フレイル処方箋の仕組みを構築し、7医療機関でモデル実施を行いました。また、医師会向け研修会を開催しました。 ・大阪大学と株式会社Buzzreachとの公民学連携で、市内の全陽性者約27,000人を対象としたコロナ後遺症に関するアンケート調査を行い、共同記者会見で結果を公表しました。
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○健康二次被害・フレイル普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く周知することでフレイルについて知ってもらうきっかけとなりました。また、2,700人を超える市民にフレイルチェックを実施し、健康を意識してもらうことができました。集計結果によると、若い世代にフレイル傾向が表れていることが判明しました。次年度は健康状態の気づきとなるよう、市公式LINEを活用したフレイルチェックを実施する予定です。 ・アプリを活用したヒアリングフレイルのチェックを行うことで、簡易に自身の聴力を知ってもらうきっかけとなりました。軽度難聴疑いの人へは、耳鼻咽喉科受診を勧奨しました。 ・フレイルの認知度向上のため若年層や健康無関心層への効果的なアプローチが課題です。 <p>○運動や社会参加の機会拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催イベントや補助金などにより、市民に運動や社会参加の機会提供ができました。 ・体組成計を活用したイベントで、自身の健康状態を客観的に知る機会となりました。 ・より多くの人へ参加いただけるよう、事業の魅力さをさらにPRすることが課題です。次年度はターゲット層に合わせた、事業のPRを実施していきます。 <p>○コロナ健康支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ健康支援相談窓口では、健康課題に対し専門職による相談支援ができました。 ・後期高齢者医療健診時にフレイル状態にある高齢者を、医療機関から地域包括支援センターへつなげるフレイル処方箋の仕組みを構築し、モデル事業を実施しました。 ・今後は事業に参加する医療機関を順次拡大していくことと、個別のフレイル対策に応じた取り組みメニューの充実が課題であり、専門職による訪問指導など事業を検討していきます。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	「フレイル」の認知度	LINEアンケート	歳		25		数値	35
								年	2024
考え方、定義、算出方法など		LINEアンケートを活用した市独自調査							
2								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
3								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
4								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
5								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	37,395	人件費（参考）	32,230	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△498	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,731	財源 内訳の 額	国・府支出金	187
	決算額	13,171		地方債	0
	残額	26,560		その他 特定財源	12,923
	執行歩合	33.15%		一般財源	61

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
コロナフレイル啓発事業【新規】	4,241	0	0	0	01	保健衛生総務費
コロナフレイル予防事業【新規】	1,781	0	0	0	01	保健衛生総務費
支援体制強化事業【新規】	4,103	0	0	0	01	保健衛生総務費
高齢者保健・介護連携事業（コロナ健康支援課）【新規】	361	0	0	0	16	健康増進事業費
介護予防把握事業（コロナ健康支援課）【新規】	491	187	0	61	17	一般介護予防事業費
コロナフレイル啓発事業【新規】	0	0	0	0	01	保健衛生総務費
コロナ健康支援事業補助金【新規】	2,194	0	0	0	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	火葬場等運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	262500 資産管理課		

事業概要	<p>○公衆衛生の維持・向上のため、豊中市立火葬場の管理運営を行うとともに市内の死獣及び胞衣などの回収及び火葬を執行します。また、豊中市大字柴原ほか三大字財産区墓地の維持管理と財産区以外で市が底地を所有する墓地を適正に管理します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○豊中市立火葬場の管理運営や市内の死獣及び胞衣などの回収及び火葬を執行により公衆衛生を維持・向上しました。 ○豊中市大字柴原ほか三大字財産区墓地の維持管理と財産区以外で市が底地を所有する墓地を適正に管理しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火葬場の管理運営については、指定管理者のノウハウを活用し、安定した火葬執行ができました。引き続き、施設・設備の日常点検、定期的な保全を実施することで、安定的かつ継続的なサービスの提供を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火葬件数	担当課調べ	件	3,940	4,146	4,377	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	死獣処理件数	担当課調べ	件	2,565	2,978	3,059	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	墓地、埋葬等に関する法律、同施行規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、他
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市立火葬場条例、同施行規則、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	162,243	人件費（参考）	3,483	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	15,579	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	171,278	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	168,222		地方債	0
	残額	3,056		その他 特定財源	57,498
	執行歩合	98.22%		一般財源	110,724

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		墓地関係事務【継続】	683	0	0	0	55
	死獣・胞衣等回収業務【継続】	9,563	0	0	7,677	01	胞衣等取扱所費
	火葬場施設運営管理【継続】	157,976	0	0	103,047	01	火葬場費
	墓地管理事業【継続】	0	0	0	0	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	狂犬病予防・動物愛護事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	340500 健康医療部・衛生管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止するために、狂犬病予防行政を推進します。</p> <p>○人と動物の共生する地域の実現を図るために、動物愛護行政を推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p><狂犬病予防・動物愛護事業></p> <p>○犬や猫の適正飼育及び終生飼養について、ホームページやツイッターを活用し普及啓発を行いました。動物愛護週間(9月)に市庁舎ロビーで展示を行いました。</p> <p>○飼い犬登録や狂犬病予防注射済票等について、電子申込システムによる受付体制を整備した他、委託動物病院を増やしました。(19病院→26病院)</p> <p>○法改正によるマイクロチップ義務化に伴い、狂犬病予防法の特例制度の体制整備を行うとともに、動物病院などに対し制度の周知啓発を行いました。</p> <p>○災害時に、市民がペット同行避難を円滑に行うための「飼い主のための災害時マニュアル」を策定し、関係部局や市内動物病院などに周知しました。</p> <p><猫避妊去勢手術助成金交付事業></p> <p>○猫避妊去勢手術助成金について、250頭に対して助成金を交付しました。</p> <p>○クラウドファンディングを実施し、当該事業の拡充のための財源の確保を行いました。(寄付総額 1,285,000円)</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p><狂犬病予防・動物愛護事業></p> <p>○市民に対し、狂犬病予防や動物愛護に関する周知啓発を行うことができました。引き続き犬や猫の適正飼育及び終生飼養の啓発を行います。</p> <p>○飼い犬登録の手続きについて、市民の利便性の向上に繋げることができました。</p> <p>○法改正によるマイクロチップ制度について、市民への制度説明や受付について滞りなく対応できるよう体制を整備することができました。</p> <p>○災害時における同行避難に関するマニュアルについて、今後は市民や飼い主に対して啓発を図ります。</p> <p><猫避妊去勢手術助成金交付事業></p> <p>○猫避妊去勢手術助成金について、市民からの申込みを受付し、計250件の助成金を交付することで、活動する市民への支援に繋げることができました。</p> <p>○助成内容を拡充するために次年度もクラウドファンディングを実施し、市民にとってより利用しやすい事業になるよう取り組みます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	猫避妊・去勢手術助成金交付件数	担当課調査	件	200	200	250	数値	200
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
2	目標	狂犬病予防注射済票交付数	担当課調査	件	8,893	9,016	9,005	数値	8800
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
3	参考	犬の収容頭数	担当課調査	頭	6	2	5	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4	参考	猫の収容頭数	担当課調査	頭	19	14	7	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府動物の愛護及び管理に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市狂犬病予防法施行規則、豊中市動物の愛護及び管理に関する規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）		人件費（参考）		29,970			
	流用増減額（予備費充当用含む）		公債費（参考）		0			
予算・決算額等	△6		財源内訳の	国・府支出金		100		
	26,729			地方債		0		
	26,729			その他特定財源		8,985		
	決算額 24,893			一般財源		15,808		
	残額 1,836			執行歩合 93.13%				
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	猫避妊去勢手術助成金交付事務【継続】	2,097	0	0	812	01	保健衛生総務費	
	狂犬病予防・動物愛護事業【継続】	22,796	100	0	14,996	01	保健衛生総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	衛生対策指導事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	340500 健康医療部・衛生管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○食の安全を確保し、市民の健康の保護を図るため、食品衛生行政を推進します。</p> <p>○市民生活の安全確保及び健康で快適な住環境を確保するために、生活衛生関係施設の衛生水準の維持向上及び住まいの衛生に関する知識の普及を図ります。</p> <p>○市民生活の安全確保を図るために、食品営業施設・生活衛生施設の監視指導に係る収去検体の検査や食中毒及び感染症の検査を実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p><食品衛生事業></p> <p>○監視指導計画に基づいた監視指導及び検査を実施しました。（監視指導件数：1,747件、収去検査：310件）また、コロナ禍で需要が増加した無人販売所・自動販売機で販売される食品の買上げ検査を実施しました。（買上げ検査：54件）</p> <p>○危機管理体制の確保に努め、違反食品や食中毒疑い等の調査を速やかに実施しました。（食中毒発生件数：2件、違反食品：1件）</p> <p>○給食施設の調理従事者等に対して食品衛生講習会や実務講習会を実施したほか、飲食店営業者等の事業者に対し、HACCPや食品表示に関する周知啓発や指導を行いました。また市民に対して、市ホームページやSNS等を活用して食品衛生に関する知識の普及を図りました。</p> <p><生活衛生事業></p> <p>○監視指導計画に基づいた監視指導及び検査を実施しました。</p> <p>○簡易専用水道施設に対し、法定検査受検啓発や郵送による現況調査を実施しました。</p> <p>○こども園に対し、新型コロナウイルス感染症対策として換気啓発及び換気現場調査を実施しました。</p> <p>○こども園等に対し、二酸化炭素濃度計貸出事業を実施しました。</p> <p>○社会福祉施設に対し、新型コロナウイルス及びレジオネラ感染症対策として、換気及び浴室の維持管理現場調査を実施しました。</p> <p>○市庁舎ロビー等で衛生害虫対策啓発事業を実施しました。</p> <p>○感染症媒介蚊サーベイランスを市内5か所で計8回実施しました。</p> <p><保健所試験検査></p> <p>○食品営業施設・生活衛生施設の監視指導に係る収去検体の検査を実施しました。</p> <p>○食中毒及び感染症の検査を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p><食品衛生事業></p> <p>○計画的な監視指導により、事業者のHACCP指導や食中毒発生の未然防止に繋げることができました。また、買上げ検査により流通食品の食の安全安心に繋げることができました。</p> <p>○食中毒等の有事の際に速やかに対応し、被害拡大を防止しました。今後も、食品による健康危害事象に迅速に対応できるように、研修等を通じて体制の整備を図ります。</p> <p>○事業者や消費者に対する食品衛生や食中毒予防の知識普及について、市ホームページやSNS等を活用し、効果的な啓発指導方法を検討します。</p> <p><生活衛生事業></p> <p>○こども園等クラスターが発生しやすい施設に対して換気啓発及び調査を実施しました。新型コロナウイルス及びレジオネラ感染症対策事業を次年度も継続して実施します。</p> <p>○郵送による指導等を活用し、監視指導計画通り監視指導及び検査を実施しました。今後も計画的に監視指導を実施し、生活衛生施設における衛生水準の維持向上を図ります。</p> <p><保健所試験検査></p> <p>○高額な検査機器を必要とする検査項目等、一部の食品の検査については地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に委託していますが、豊中市で実施可能な検査項目については食品衛生監視指導計画通りに豊中市で検査を実施し、市内で生産・製造・加工・販売される食品等の安全性の確認を行いました。</p> <p>○食中毒や感染症の検査を実施することで、健康被害の原因究明、危害拡大の防止につながりました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	食品営業施設への監視・指導数	担当課調査	件	1,632	1,604	1,747	数値	2500
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
2	目標	生活衛生施設への監視・指導数	担当課調査	件	2,609	2,073	2,132	数値	2300
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
3	目標	食品衛生法に基づく収去検査	担当課調査	件	204	147	310	数値	100
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	食品衛生法、食品表示法、旅館業法、公衆浴場法理容師法、美容師法、感染症法ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府食の安全安心推進条例、大阪府食品衛生法施行条例、大阪府遊泳場条例、大阪府特設水道条例ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市食品衛生法施行条例、豊中市旅館業法施行条例、豊中市公衆浴場法施行条例ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	24,135	人件費(参考)		108,540		
	流用増減額 (予備費充当用含む)	27	公債費(参考)		0		
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	24,162	決算額の 財源内訳	国・府支出金		3,293	
	決算額	18,429		地方債		0	
	残額	5,733		その他 特定財源		12,478	
	執行歩合	76.27%		一般財源		2,658	
	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
食品衛生事業【継続】		8,735	2,583	0	0	01	保健衛生総務費
生活衛生事業【継続】		3,434	710	0	1,771	01	保健衛生総務費
保健所試験検査【継続】		6,260	0	0	887	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	害虫等への対策	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	030000 危機管理課 233000 公園みどり推進課 330100 地域共生課		

事業概要	<p>○水路・街渠樹等の適切な保全を図る為に不快害虫被害の軽減・害虫駆除、更には相談業務を行い、快適な生活環境を守ります。 スズメバチの駆除及び野生鳥獣により引き起こされる諸被害の低減化を図ため、関係部局とも連携し市民の生活環境を改善し、市民の安心安全を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○計画的に市内一円、薬剤散布を行いました。 スズメバチ駆除も相談件数・駆除件数ともに増加傾向にあります。 市内一円、野生動物の目撃や駆除依頼も増加傾向にあります。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○害虫や虫に過敏な反応を示す市民も増加傾向にあります。 ハチの相談件数も年々増加傾向にあり、ハチの生存時期も伸びており、今までの常識があてはまらなくなってきています。 例年では府の施設や大学・病院等は管理者が明確にある為、管理者で駆除して頂いていましたが、一般社団法人等が増加してきている為、あてはまらなくなってきており一律での駆除が望ましいと考えます。 ヌートリア・アライグマ等の野生動物も増加傾向にあり、捕獲器の設置依頼も増加しており、処分は泉佐野へ搬入している為、効率や諸経費にも負担がかかります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	ハチ駆除・相談	管理年報	件	356	417	367	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	要望処理件数	相談件数						
2	参考	衛生害虫駆除・相談	管理年報	件	260	222	286	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	要望処理件数	相談件数						
3	参考	アライグマ捕獲数	管理年報	匹	9	12	19	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	捕獲頭数							
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,089	人件費（参考）	34,566	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,089	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	10,237		地方債	0
	残額	1,852		その他 特定財源	0
	執行歩合	84.68%		一般財源	10,237

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	ハチ対策【継続】	5,867	0	0	5,867	01	環境衛生費
	衛生害虫対策【継続】	3,957	0	0	3,957	01	環境衛生費
	鳥獣被害対策事業【継続】	413	0	0	413	01	環境衛生費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	医薬安全事業	区分	拡充
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市民が医療施設等において法律を遵守した良質な医療等を受けられる体制を確保するために、医療施設等の許可・届出の受付及び監視指導を行います。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市民が安心して医療を受けることができる体制を確保するために、患者と医療機関との信頼関係の構築、医療の質の向上を図ります。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】薬による健康被害の発生を防ぎ、市民の安全安心を確保するために、品質及び安全性の確保された医薬品、医療機器の流通における薬局等の許可・届出の受付及び監視指導を行います。また、薬の正しい知識の普及を図るため、市民啓発を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市内病院および診療所に対し、医療法第25条第1項に基づく立入検査（医療監視）を実施しました。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】「患者の声相談窓口」に寄せられる医療関係機関への苦情や相談への対応（医療相談）を行いました。また、市民からの相談事例をもとに検討会を実施し、職員の相談対応力の向上に取り組みました。</p> <p>○【拡充】【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】デジタルサイネージを設置した「健康情報拠点薬局」を87件に拡大し、薬局を拠点とした健康情報の発信に取り組みました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】医薬品、医療機器、毒劇物の流通や検体検査の精度管理が適切に行われているかについて確認するため、薬局、店舗販売業、医療機器販売・貸与業、毒物劇物販売業、衛生検査所等に対し、医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法および臨床検査技師法に基づく立入検査を実施しました。さらに、市内薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、薬局における医療安全への対応状況の確認を行いました。</p> <p>○【薬物乱用防止啓発】市民による大麻等の薬物乱用の拡大を未然に防止するために、市内小中学校を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。また、市内高校と協働で作成した薬物乱用防止啓発物品を市内中学生に配布し啓発に取り組みました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市内病院および診療所計23施設への医療監視を行った結果、法令等を遵守した医療提供体制の状況について確認することができたことに加え、医療従事者に対して医療安全に関する注意喚起を行うことができました。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】医療相談への対応を通じ、患者と医療機関との信頼関係の構築や医療の質の向上につながりました。また、事例検討会を行ったことにより、職員の相談対応力の向上につながりました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】健康情報拠点薬局を拡大、健康・医療・介護等に関する情報やコロナ健康支援課によるフレイルチェックコンテンツなどをデジタルサイネージで発信することで、市民の健康の維持増進につながりました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】市内の薬局、店舗販売業、医療機器販売・貸与業、毒物劇物販売業、衛生検査所計269施設に対する監視指導を行うことで、法令等を遵守した業務実施状況について確認することができました。今後は、薬局から収集したヒヤリ・ハット事例を市内医療関係機関へフィードバックすることで、医療安全の向上に取り組みます。</p> <p>○【薬物乱用防止啓発】薬科大学生や市内中学生計292名を対象にした薬物乱用防止教室や市内高校と協働で作成した薬物乱用防止啓発物品を市内17中学校に配布することにより、若年者に対して薬物の恐ろしさについて啓発を行うことができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	医療施設等の立入検査数	担当課調べ	件	0	19	23	数値	23
	考え方、定義、算出方法など	立入検査を年1回実施する病院と、3年に1回実施する有床（6床以上）・人工透析診療所数							
2	参考	『患者の声相談窓口』における相談者の納得度	担当課調べ	%	94.1	91.7	?	数値	95
	考え方、定義、算出方法など	項目の内、「納得した」と「概ね納得」の合計							
3	参考	薬局等の監視指導数	担当課調べ	件	244	123	269	数値	250
	考え方、定義、算出方法など	薬局、店舗販売業、高度管理医療機器販売業、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者、衛生検査所等							
4	参考	出前講座、薬物乱用防止教室、キャンペーン開催回数	担当課調べ	回	5	5	4	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	事業者向け講習会、その他（学生向け講習会 薬科大学生実習等）の開催回数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	手数料条例、豊中市健康づくり計画 等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	20,000	人件費（参考）	50,625	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	45	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	20,045	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	6,783
	決算額	18,984		地方債	0
	残額	1,061		その他 特定財源	3,525
	執行歩合	94.71%		一般財源	8,676

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
医療施設等の許可届出・監視指導【 継続】	5,263	299	0	3,857	01	保健衛生総 務費
薬局等の許可届出・監視指導・機能 強化【拡充】	13,449	6,484	0	4,547	01	保健衛生総 務費
薬物乱用防止啓発【継続】	272	0	0	272	01	保健衛生総 務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域保健医療の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	60
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○【地域保健医療の推進】豊能圏域における保健医療の向上を図るために、大阪府から委託された大阪府保健医療計画推進事業を行います。</p> <p>○【地域保健医療の推進】市民が適切な医療を受けることができるよう地域医療体制を構築するために、「豊中市地域医療推進基本方針」（平成29年3月策定）に基づき、医療関係機関連携のしくみを整備するとともに、市民啓発に取り組みます。</p> <p>○【在宅医療と介護の連携体制の構築】市民が加齢による機能低下や疾患を抱えても住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるようにするために、在宅療養に携わる従事者等の資質向上の支援や、生活の場が変わっても生活の質が低下しない医療サービスの提供体制の構築に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>【地域保健医療の推進】</p> <p>○「（仮称）サブアキュートマッチングシステム：豊中モデル」の構築に向け、現状、空床状況提供システムとして非公開型SNS「虹ねっとcom」を活用していますが、より実効性の高い空床状況の提供方法について検討を行いました。</p> <p>【在宅医療と介護の連携体制の構築】</p> <p>○在宅医療・介護連携支援センター運営事業を医師会等各団体に委託し、研修会や意見交換会等開催しました。</p> <p>○地域医療推進会議を開催し、認知症医療体制について、豊中市医師会など関係団体と協議しました。</p> <p>○在宅医療体制の構築に向け、市内診療所に対してアンケート調査を実施しました。</p> <p>【豊能圏域救急医療対策事業】</p> <p>○二次救急医療について、病院群輪番制病院運営事業及び小児救急医療支援事業を実施し、事業参加病院への補助を行いました。（一財）箕面市医療保健センターが運営する豊能広域子ども急病センターの管理運営経費について、協定書に基づき負担しました。</p> <p>【地域保健等活動団体支援事業】</p> <p>○団体が実施する地域保健活動に要する経費に対して、事業の一部補助を行いました。</p> <p>【医療保健センター関係事務】</p> <p>○公共的・公益的な事業を多く実施している豊中市医療保健センターの事業運営を支援しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>【地域保健医療の推進】</p> <p>○空床情報提供システムの運用方法について、さらに検討を深め、病診連携体制の強化を図ります。</p> <p>【在宅医療と介護の連携体制の構築】</p> <p>○公民連携事業に参画し、ACP啓発ボードゲームを作成しました。</p> <p>○認知症医療体制について、漏れなく必要な医療・福祉サービスに繋げる仕組み作りに取り組みます。</p> <p>○在宅医療体制について、診療所間の連携体制及び急性増悪時等における病院のバックアップ体制の構築に取り組むことにより、診療所医師の在宅医療に対する負担軽減を図ります。</p> <p>【豊能圏域救急医療対策事業】</p> <p>○豊能医療圏においては、19医療機関が二次救急医療体制に参加し、市民の健康保持に対して重要な役割を担っています。そのうち5医療機関は小児救急医療支援として豊能広域子ども急病センターの後送病院にもなっています。</p> <p>【地域保健等活動団体支援事業】</p> <p>○医療関係団体への支援により、地域の保健活動を促進しており、地域医療活動の充実が図られました。</p> <p>【医療保健センター関係事務】</p> <p>○市民の健康増進・健康保持にかかる事業を実施することにより、地域医療の推進に大きな役割を担っています。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	会議等開催回数（豊能保健医療協議会、地域医療推進会議）	事務局資料	回	0	2	5	数値	4
		考え方、定義、算出方法など						年	4
2	参考	医療・介護従事者向け研修会参加者数	担当課調べ	延べ数	192	473	557	数値	250
		考え方、定義、算出方法など						年	4
3	参考	在宅療養支援診療所数	近畿厚生局調べ	箇所	81	83	80	数値	80
		考え方、定義、算出方法など						年	4
4	参考	在宅療養支援歯科診療所数	近畿厚生局調べ	箇所	36	37	36	数値	40
		考え方、定義、算出方法など						年	4
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	医療法、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府保健医療計画、大阪府地域医療構想
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地域医療推進基本方針、介護保険計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	370,991	人件費（参考）	28,381	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	11,903	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	586,692	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	20,972
	決算額	533,939		地方債	0
	残額	52,753		その他 特定財源	26,995
	執行歩合	91.01%		一般財源	485,972

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		豊能圏域救急医療対策事業【継続】	85,986	16,798	0	43,777	01
	地域保健等諸活動団体支援事業【継続】	12,402	0	0	12,402	01	保健衛生総務費
	医療保健センター関係事務【継続】	428,465	0	0	428,465	01	一般財団法人豊中市医療保健衛生総務費
	地域保健医療の推進【継続】	200	197	0	3	01	保健衛生総務費
	在宅医療と介護の連携体制の構築【継続】	6,886	3,977	0	1,325	17	在宅医療・介護連携推

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者保健・介護連携事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	60
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○身近な場所で健康づくりの取組に参加できる環境を整備し、心身機能の低下及び生活習慣病等の発症・重症化予防を促進します。また、地域でフレイル状態の高齢者を把握し、高齢者が地域で健康的な生活を送れるよう支援します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○歯や口の健康づくり教室 ・2回コースを5会場で実施 ・参加者；1回目69人、2回目48人</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○教室を受講することで、歯周病予防やオーラルフレイル予防につながりました。 ○コロナ禍の感染対策のため参加者数に制限がありましたが、令和5年度はより多くの市民が参加できる体制を整えます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	介入前後口腔機能改善率（咀嚼）	担当課調査	%			88.6	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	参加者のうち、前後の変化が維持・改善の人の割合							
2	目標	介入前後口腔機能改善率（嚥下）	担当課調査	%			68.6	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	参加者のうち、前後の変化が維持・改善の人の割合							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	高確法・国民健康保険法・介護保険法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,756	人件費（参考）	6,141	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,756	財 源 内 訳 の 決 算 額	国・府支出金	0
	決算額	2,228		地方債	0
	残額	528		その他 特定財源	2,228
	執行歩合	80.84%		一般財源	0

予算管理事業 名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計目録	
					（コード）	
高齢者保健・介護連携事業（健康政策課）【継続】	2,228	0	0	0	16	健康増進事業費



2-3 消防・救急救命体制の充実

市民の生活を守る消防・救急救命体制のさらなる充実に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	14事業
①救命力世界一の推進	
②防火対策の強化	
③自主救護能力の向上	
消防行政啓発事業(消防総務課)	消防局 消防総務課
防火・防災事業(警防課)	消防局 警防課
救命力世界一推進事業	消防局 救急救命課
救急高度化推進事業	消防局 救急救命課
消防指令センター関連事業	消防局 消防指令センター
消防行政啓発事業(予防課)	消防局 予防課
消防関係法令事務(予防課)	消防局 予防課
防火・防災事業(予防課)	消防局 予防課
消防関係法令事務(北消防署)	消防局 北消防署
防火・防災事業(北消防署)	消防局 北消防署
消防関係法令事務(南消防署)	消防局 南消防署
防火・防災事業(南消防署)	消防局 南消防署
消防関係法令事務(新千里消防署)	消防局 新千里消防署
防火・防災事業(新千里消防署)	消防局 新千里消防署

(2)消防体制を充実強化します	17事業
①警防体制の強化	
②避難・救出体制の強化	
③消防の広域連携の推進	
消防の広域連携の推進事業	消防局 消防総務課
消防体制の強化(消防総務課)	消防局 消防総務課
消防団の充実強化	消防局 消防総務課
消防庁舎等施設管理事業	消防局 消防総務課
消防一声訪問事業(警防課)	消防局 警防課
消防体制の強化(警防課)	消防局 警防課
消防水利の管理・整備事業	消防局 警防課
消防車両・資機材の整備事業	消防局 警防課
火災原因・損害調査	消防局 警防課
救急資機材の整備事業	消防局 救急救命課
消防指令業務の共同運用事業	消防局 消防指令センター
消防一声訪問事業(北消防署)	消防局 北消防署
消防活動(北消防署)	消防局 北消防署
消防一声訪問事業(南消防署)	消防局 南消防署
消防活動(南消防署)	消防局 南消防署
消防一声訪問事業(新千里消防署)	消防局 新千里消防署
消防活動(新千里消防署)	消防局 新千里消防署

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防行政啓発事業（消防総務課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	560500 警防課 561000 救急救命課 561500 消防指令センター 562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○消防職員、消防団員及び関係団体が団結して士気を高めるとともに、広く消防行政に対する市民の理解と防火・防災意識のより一層の高揚を図り、災害に強いまちづくりに寄与するために、毎年1月に消防出初式を挙ります。</p> <p>○消防行政に対する市民の理解と認識を深めるために制定された消防記念日に際し、消防行政に功労のあった市民・事業者等を表彰します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○令和5年1月8日に令和5年消防出初式を挙りました。 内容：訓練展示、消防団一斉放水、箕面自由学園ゴールデンベアーズ演技</p> <p>○令和5年3月9日に消防記念日表彰式を開催し、消防行政に功労のあった市民・事業者の表彰を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○消防出初式を挙行し、消防職団員の士気高揚を図ることができました。また、多くの市民に参加いただき、広く「安心安全のまちづくり」を啓発・広報することができました。消防職団員の士気高揚だけでなく、広く市民に「安心安全のまちづくり」を啓発・広報するための、年頭の消防行事として定着しています。積極的に広報ができる場所として捉え、啓発・広報できるよう今後も継続的に実施します。</p> <p>○消防行政に功労のあった市民・事業者の表彰を行い、行政と市民・事業者との協働を促すことで、地域防災力の強化を図ることができました。今後も引き続き、消防記念日に際し、消防行政に功労のあった市民・事業者等を表彰することで消防行政の啓発を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防出初式参加市民数	実績値	人	0	3,200	4,000	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	消防記念日表彰表彰者数	実績値	人	40	40	34	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域の消防防災力の充実強化のために、消防防災協力事業所登録制度の拡充や、自主防災組織の育成支援等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自助共助による地域防災力の向上 ・地域の防災意識高揚
当該年度の実績	<p>○自主防災組織への訓練指導 全162組織に対して、延べ77組織、3,934名に訓練指導を実施しました。</p> <p>○消防防災協力事業所への訓練指導 63事業所、114名に訓練指導を実施しました。</p> <p>○防災訓練ハンドブック等を活用した自主防災組織、消防防災協力事業所に対する効果的な訓練や支援の実施 19事業所、326名が防災訓練ハンドブックを使用した自主訓練を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○自主防災組織及び消防防災協力事業所への訓練指導を実施行うことで、地域防災力の強化を図ることができました。</p> <p>○防災訓練ハンドブックを使用し、各組織に訓練勧奨を行うことで、自主的な訓練実施につながり、地域防災力の強化を図ることができました。</p> <p>○コロナ感染拡大防止の観点から、訓練指導数及び訓練参加人数は昨年度同様に目標値には届きませんでした。効果的な訓練指導を実施することができました。</p> <p>継続して、地域との連携・協働を深め、地域防災力の向上を図り、災害に強い安心・安全な地域づくりを推進します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自主防災組織訓練実施率	担当課調査	%	40.4	49	47.5	数値	
		考え方、定義、算出方法など 訓練実施組織数÷全自主防災組織数（161組織）×100% で訓練実施率を算出							
2	参考	消防防災協力事業所の登録事業所数	実績数	事業所	316	316	310	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	消防防災協力事業所訓練の参加事業所数	担当課調査	事業所	21	58	82	数値	
		考え方、定義、算出方法など 事業所訓練に参加した事業所数を算出							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市地域防災計画、自主防災組織訓練指導マニュアル

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1	人件費（参考）	2,228																																																																																																																																															
		流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費（参考）	0																																																																																																																																														
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	1	財源内訳の	国・府支出金	0																																																																																																																																														
	決算額	0		地方債	0																																																																																																																																														
	残額	1		その他 特定財源	0																																																																																																																																														
	執行歩合	0.00%		一般財源	0																																																																																																																																														
予算管理事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域防災力の充実強化（警防課）【継続】</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>01</td> <td>常備消防費</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	地域防災力の充実強化（警防課）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																																																				
	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																												
	地域防災力の充実強化（警防課）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																																																												

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救命力世界一推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○現場に居合わせた人が、救急隊の現場到着までに心肺蘇生法など救命手当等を迅速かつ適切に実施することができるようにするために、市民・事業者等に救命講習を実施し、救命力の向上を図ります。また、救急需要対策を行うことにより、救急資源を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○講習時間の短縮及び受講し易い環境として、応急手当WEB講習（e-ランニング）コースを新設しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命講習会 478回 18,082名 ・予防救急講習会 乳幼児 16回 268名 高年齢者 4回 24名 熱中症 5回 61名 ・ジュニア救命講習 27校 2,505名 <p>○高齢者の救命講習受講を促進しました。また高齢者に心肺蘇生法を身に付けて頂くため、心肺蘇生法体操を考案し、社会福祉協議会と連携し実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア救命講習 11回 212名 <p>○いざという時のための救急ガイドの作成、企業連携、救急車ヘステッカー貼付など様々な広報の結果、救急需要対策へ繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急安心センターおおさか 相談件数16,754件 配布物 63,000部 ・救急タグ 配布枚687枚 奏功事例73件 ・企業連携 花王グループカスタマーマーケティング株式会社：感染症対策 <p>○市民救命サポーターは救命講習等で広報した結果、登録者（事業所）を増加させることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターステーション 3事業所 ・サポーターほーむ 102名
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○ジュニア救命講習はコロナ禍の影響もあり近年は受講数が減少していましたが、教育委員会や各学校へ協力を依頼し、受講数を増加させることができました。今後は全校実施に向けて、引き続き広報を行います。</p> <p>○応急手当WEB活用コースやシニア救命講習等の新しい取り組みを実施した結果、救命講習に受講し易い環境が整備でき、また各世代のニーズにあった救命講習を展開することができました。今後は特に高齢者の講習参加率の向上と広報が課題です。</p> <p>○救急安心センターおおさかは、相談件数が過去最高値を更新し、救急需要対策に繋がりました。今後もさらに認知度向上のため広報を実施し、救急需要対策を図ります。</p> <p>○市民救命サポーターは、今後も継続して広報を行い、災害時はもとより、救急事故等の負傷者等に救護活動を実施することができる市民等を育成します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	救命講習受講者数	年度実績	人	12,116	13,810	18,082	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	ジュニア救命サポーター事業実施小学校数	年度実績	校	12	17	27	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	市民救命サポーター・ステーション認定事業所数	年度実績	所	3	8	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急安心センターおおさか相談件数	月報・年報	件	12,628	15,197	16,754	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	救急タグ配布枚数	年度実績	枚	3,141	3,355	687	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱、ジュニア救命サポーター事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,185	人件費（参考）		19,387			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,185	財源内訳の	国・府支出金		0		
	決算額	10,678		地方債		0		
	残額	1,507		その他 特定財源		0		
	執行歩合	87.63%		一般財源		10,678		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
ジュニア救命サポーター事業【継続】		62	0	0	62	01	常備消防費	
応急手当の普及啓発【継続】		1,567	0	0	1,567	01	常備消防費	
市民救命サポーター制度【継続】		0	0	0	0	01	常備消防費	
救急需要対策【継続】		9,049	0	0	9,049	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救急高度化推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会のもと、救急隊が行う応急処置の質の向上や救急救命士の処置拡大等の救急業務の高度化を図るため、医師からの指導、助言及び事後検証が実施できる体制づくりや救急救命士の再教育を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会を2回開催し、延べ6名が参加しました。 ○豊能地域4市代表指導救命士合同会議を開催し、4名が参加しました。 ○症例検討会を2回開催し、延べ204名が参加しました。 ○プレホスピタル・セミナーとして、国立循環器病研究センター医師、市立豊中病院医師を講師に招き、延べ221名に研修を行いました。 ○プレホスピタル・セミナー発表会として、研究発表会を開催し、109名が参加しました。 ○病院研修を国立循環器病研究センター（2名参加）、市立豊中病院（3名参加）で行いました。 ○硬性喉頭鏡気管挿管認定救命士5名、ビデオ喉頭鏡気管挿管認定救命士を5名養成しました。 ○救急救命士就業中再教育病院実習を延べ160名に実施しました。 ○検証会議に参加し、医師とともに救急活動404件の検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会や豊能地域4市代表指導救命士合同会議に参加することにより、現在の救急隊員の教育状況や救急統計について情報共有を行いました。今後も引き続き救急情勢の把握を行い、情報共有に努めます。</p> <p>○症例検討会、プレホスピタルセミナーを行い、医師から救急活動の医学的指導を受け、医学知識が向上しました。今後は、状況に応じたセミナーの内容や救急活動に即した指導内容の精査が課題です。</p> <p>○プレホスピタルセミナー発表会を行うことで救急隊員の問題提起力、課題解決力、プレゼンテーション能力の向上につながりました。今後も引き続き救急隊員の資質向上に努めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○病院研修を行うことで、救命処置技術の向上と医療機関との連携強化につながりました。今後も引き続き関係機関との連携強化を行います。</p> <p>○気管挿管認定救命士を養成することで、心肺停止事案の対応力が向上しました。今後も活動対応力向上のため、計画的に養成を行います。</p> <p>○検証会議に参加し、救急活動を検証することにより、救急活動の質の向上につながりました。今後も引き続き救急活動の検証を行うことで、救急活動の質の向上を図ります。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	検証症例数	年度実績	件	447	501	404	数値	404
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	気管挿管認定救命士養成数	年度実績	人	5	5	5	数値	5
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
3	参考	気管挿管（ビデオ喉頭鏡）認定救命士養成数	年度実績	人	5	5	5	数値	5
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
4	参考	症例検討会実施回数	年度実績	回	2	2	2	数値	2
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	救急業務高度化推進委員会報告書、救急救命士法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会設置要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊能地域メディカルコントロール協議会設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,661	人件費（参考）	18,763			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,661	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0		
	決算額	4,568		地方債	0		
	残額	93		その他 特定財源	0		
	執行歩合	98.00%		一般財源	4,568		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
メディカルコントロール体制の充実 【継続】		4,568	0	0	4,568	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防指令センター関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561500 消防局・消防指令センター		
関連部局・課			

事業概要	<p>○被害の軽減を図るために、多様化する市民からの119番通報を迅速かつ的確に受信し、災害場所を特定するとともに災害に適した車両を選別して、早期に出動指令を行います。</p> <p>○市民の安心・安全を確保するために、通報者に対して応急手当などの口頭指導を実施します。</p> <p>○無線通信等の研修を実施することにより、迅速かつ的確な災害活動を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○指令管制業務について、年度を通じて豊中市、池田市及び能勢町からの119番通報に対し、的確に対応しました。（総受信件数 46,076件）</p> <p>○口頭指導を実施した事案について検証を行うとともに、全指令員にフィードバックしました。（口頭指導実施回数 28,919件）</p> <p>○現場活動を行う各隊長に対し、指令業務全般についての実務研修を実施しました。（受講者数 15名）</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○外部研修への参加や部内での検証により、通報受信及び口頭指導の技術が向上しました。</p> <p>○実務研修により無線通信やシステムの理解が深まるとともに、指令員と現場活動を行う隊員との意見交換をつうじて情報共有が図られ、災害対応力の強化につながりました。</p> <p>○令和6年4月の5市による消防指令業務共同運用開始に向け、新システムに対応した操作等の研修を実施します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	指令員の外部研修	実績値	人	15	10	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法、消防組織法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	28,258	人件費（参考）	77,536	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	28,258	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	27,869		地方債	0
	残額	389		その他 特定財源	12,912
	執行歩合	98.62%		一般財源	14,957

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	指令管制業務の強化【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費	
	消防救急無線機の管理【継続】	27,869	0	0	14,957	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防行政啓発事業（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	560100 消防総務課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○広く市民に消防広報を行うために、消防音楽隊が演奏を行います。
当該年度の実績	○出演実績 令和4年度は計18回の演奏出演を行い、参加市民数延べ10,020人に対して、防火・防災思想の普及啓発活動を行いました。 なお、3月には、豊中防火安全協会主催の「音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル～豊中市消防音楽隊45周年記念演奏会～」を開催し、約1,500名が来場されました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○コロナ禍における音楽隊活動及び出演について、新型コロナウイルス感染症対策に係る基準【消防音楽隊演奏会ガイドライン（屋内編）及び（屋外編）】を設け活動することができました。 ○消防音楽隊の演奏イベントを通じて、高齢者等への防火・防災意識の普及啓発及び住宅用火災警報器の設置、維持管理等、住宅防火に係る広報を行い、災害による被害の軽減を図ります。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防音楽隊の出演回数	実績値	回数	20	7	20	数値	20
		考え方、定義、算出方法など						年	23
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防音楽隊設置規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	432	人件費（参考）	3,815	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	432	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	431		地方債	0
	残額	1		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.77%		一般財源	431

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防音楽隊【継続】		431	0	0	431	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	402500 開発審査課 403000 建築審査課 560500 警防課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、消防関係法令等に基づき、防火対象物の違反処理の推進、危険物施設及び保安3法施設の規制事務、消防同意、消防用設備等の設置指導、住宅防火対策等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく防火対象物への立入検査を実施しました。（防火対象物数 11,302） ○消防関係法令に基づく違反是正業務を実施しました。 ○査察推進員への座学及び実務研修を行いました。（全6回 68名受講） ○上野、豊島、上新田の各校区で、各女性防火クラブ員と消防職員が合同で住宅用火災警報器設置状況調査を実施しました。 ○消防用設備の設置及び開発行爲に対して、関係法令等に基づく指導検査を行いました。 ○消防関係法令等の届出申請は、100%電子申請（メール含む）オンライン化を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後も年度計画に基づく立入検査を実施し、火災による被害の軽減を図ります。 ○査察推進員への座学及び実務研修を行うことで、統一的な研修を行うことができ、消防局全体の査察レベル向上が図られました。今後も継続することで、更なるレベルアップに繋がると考えます。 ○各女性防火クラブ員と消防職員が合同で住宅用火災警報器設置状況調査を実施することで地域に密着した活動となり、設置率向上に繋げることが出来ました。今後も更なる設置率向上に寄与できる手法だと考えますので継続します。 ○オンライン申請について、電子メールを活用した方法を中心に多くの申請で活用いただいております。利用者側のメリットとしては、申請・届出が紙ベースではないため、紙代負担の軽減及び閉庁時間にも届出が可能、来庁することなく届出が可能といったような利便性の向上があり、事業者の負担軽減に繋がっています。今後も、予防関係届出等の電子申請や消防用設備等設置に係る事前相談等のICT活用を推進します。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	住宅用火災警報器設置率	年度実績	件	85.3	85.7	86.1	数値	86.3
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	危険物施設における災害発生件数	年度実績	件	0	0	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	火薬類・高圧ガス・液化石油ガス施設の災害発生件数	年度実績	件	0	0	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法、危険物の規制に関する政令、火薬類取締法、高圧ガス保安法等
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府産業保安行政事務に係る事務処理の特例に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市火災予防条例、豊中市土地利用の調整に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,510	人件費（参考）	64,216
	流用増減額 （予備費充当用含む）	94	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,604	国・府支出金	0
	決算額	1,450	地方債	0
	残額	154	その他特定財源	181
	執行歩合	90.40%	一般財源	1,269
			決算額の財源内訳	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	防火対策の推進（予防課）【継続】	124	0	0	124	01	常備消防費
	危険物保安対策【継続】	496	0	0	315	01	常備消防費
	消防用設備の設置及び開発行為に対する指導【継続】	830	0	0	830	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民への防火・防災意識の普及啓発や事業所等の防火・防災管理体制の育成支援を行うとともに、年間を通して広く市民に防火・防災に関する普及啓発を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○秋の火災予防運動週間に豊中市内在住の学齢の幼稚園児や小中学生から応募のあった防火作品優秀者に対し表彰を行いました。 ○12月に女性防火クラブ員の防火防災への意識向上及び育成支援のため、阿倍野防災センターで合同研修会を行いました。 ○春の火災予防運動週間に、市内在住の外国人に対し、防火防災講話を行いました。 ○高齢者福祉施設等にて高齢者を対象に防火講話を実施し防火意識の向上と防火対策を図りました。（実施数 4回）</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○豊中市内在住の学齢の幼稚園児、小中学生から多数の防火作品の応募があり、作品応募者及びその家族の防火意識の高揚を図ることができました。 ○合同研修会に参加した女性防火クラブ員が、研修会で学んだ防火防災の知識を地元地域の住民に対して、自治会の会合や行事においてフィードバックすることで、市民の防火防災に対する意識向上につながりました。 ○今後も、高齢者や市内に居住する外国人への防火対策を推進することにより、住宅火災による死傷者をなくす取組みを実施します。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	防火作品応募数	実績値		1,508	2,358	2,484	数値	2500
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	消防防災協力事業所登録制度実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,473	人件費（参考）	12,256	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△93	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,380	財源内訳の 決算額 の 内訳	国・府支出金	0
	決算額	1,345		地方債	0
	残額	35		その他 特定財源	0
	執行歩合	97.46%		一般財源	1,345

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火・防災普及啓発（予防課）【継続】	858	0	0	858	01
	地域防災力の充実強化（予防課）【継続】	487	0	0	487	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	562000 予防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく査察を実施しました。 計画件数967件 実施件数 967件 実施率100% ○重大な不備事項のある防火対象物への是正指導を継続的に実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物33件中21件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物44件中25件が改善しました。 点検結果未報告違反対象物370件中238件が改善しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率100%を達成できました。特定防火対象物の法令違反については、火災が発生すれば不特定多数の人命に危険が及ぶため、不備事項改善に向けて継続した是正指導を行います。 ○福祉施設等の安全確保については、夜間帯に施設職員が減少するため、少ない人数でも迅速に避難ができる水平距離や初期消火の重要性について、査察時に防火管理者、関係者に対して継続的な指導を行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	93.3	98	100	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	904	996	967	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	146	人件費（参考）	77,822	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	146	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	109		地方債	0
	残額	37		その他 特定財源	0
	執行歩合	74.66%		一般財源	109

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火対策の推進（北消防署）【継続】		109	0	0	109	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	562000 予防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協働し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>上野地区 住宅用火災警報器設置率82.5%</p> <p>実施団体 上野校区女性防火クラブ6人</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火災による死傷者をなくすため、地域性を鑑み消防訓練、出前講座を実施するとともに住宅用火災警報器の設置促進を行いました。また住宅用火災警報器の維持管理について、広報誌やメディア、SNS等あらゆる媒体を活用した啓発を行いました。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	66	59	61	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市女性防火クラブ連絡協議会会則、火災予防運動実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	153	人件費 (参考)	93,839			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	153	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0		
	決算額	150		地方債	0		
	残額	3		その他 特定財源	0		
	執行歩合	98.04%		一般財源	150		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	防火・防災普及啓発 (北消防署) 【 継続】	90	0	0	90	01	常備消防費
	地域防災力の充実強化 (北消防署) 【 継続】	60	0	0	60	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく査察を実施しました。 計画件数997件 実施件数993件 実施率99.6% ○重大な不備事項のある防火対象物への是正指導を継続的に実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物57件中29件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物24件中12件が改善しました。 点検結果未報告違反違反対象物447件中227件が改善しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率99.6%を達成できました。特定防火対象物の法令違反については、火災が発生すれば不特定多数の人命に危険が及ぶため、不備事項改善に向けて継続した是正指導を行います。 ○福祉施設等の安全確保については、夜間帯に施設職員が減少するため、少ない人数でも迅速に避難ができる水平距離や初期消火の重要性について、査察時に防火管理者、関係者に対して継続的な指導を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	95.7	100	99.6	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	759	1,008	997	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	135	人件費（参考）	68,646	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	135	財 源 内 訳 の 内 訳	国・府支出金	0
	決算額	92		地方債	0
	残額	43		その他 特定財源	0
	執行歩合	68.15%		一般財源	92

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	防火対策の推進（南消防署）【継続】	92	0	0	92	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協議し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>豊島地区 住宅用火災警報器設置率91.6%</p> <p>実施団体 豊島地区女性防火クラブ3名</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火災による死傷者をなくすため、地域性を鑑み消防訓練、出前講座を実施するとともに住宅用火災警報器の設置促進を行いました。また住宅用火災警報器の維持管理について、広報誌やメディア、SNS等あらゆる媒体を活用した啓発を行いました。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	47	47	47	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	225	人件費（参考）	78,118	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	225	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	30		地方債	0
	残額	195		その他 特定財源	30
	執行歩合	13.33%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火・防災普及啓発（南消防署）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費
	地域防災力の充実強化（南消防署）【継続】	30	0	0	0	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。
------	--

当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく防火対象物への立入検査を実施しました。 計画件数483件 実施件数483件 実施率100%</p> <p>○立入検査に基づく違反是正業務を実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物39件中29件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物41件中31件が改善しました。 点検結果未報告違反対象物148件中105件改善しました。</p> <p>○住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の推進を実施しました。 ○消防計画書の作成や消防訓練の実績など、防火管理指導を実施しました。</p>
---------	---

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率100%を達成できました。住宅用火災警報器の設置維持啓発など住宅防火対策に取組み、火災の未然防止や火災被害の軽減を図ることができました。</p> <p>○今後も年度計画に基づく立入検査を実施し、火災による被害の軽減を図ります。また研修や合同査察などを実施することで、署全体の消防査察のレベルアップを図ります。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	97	100	100	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	401	460	483	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	117	人件費（参考）	60,446	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	117	財源内訳の 決算額	国・府支出金	0
	決算額	115		地方債	0
	残額	2		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.29%		一般財源	115

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火対策の推進（新千里消防署）【 継続】	115	0	0	115	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします。</p>
当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協働し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>上新田地区 住宅用火災警報器設置率88%</p> <p>実施団体 上新田校区女性防火クラブ人</p>

当該年度の成果・課題	<p>○管内の女性防火クラブ及び自主防災組織等を育成支援することにより、地域防災力の向上が図られました。今後も地域防災力の向上を図るため、継続的な育成支援を行います。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	81	81	81	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	自主防災組織	現数	組織	72	72	72	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	自主防災組織訓練実施率	現数	%	68.1	65.3	69	数値	60
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防運動実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	174	人件費（参考）	68,648	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	174	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	170		地方債	0
	残額	4		その他 特定財源	0
	執行歩合	97.70%		一般財源	170

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		地域防災力の充実強化（新千里消防署）【継続】	60	0	0	60	01
	防火・防災普及啓発（新千里消防署）【継続】	110	0	0	110	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防の広域連携の推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	561500 消防指令センター		

事業概要	<p>○消防行政の効率化及び相互の消防力の強化を図るために、消防の広域連携を推進します。</p> <p>○豊能地区の消防体制の強化を図るために、平成27年4月に受託した能勢町の消防事務の適切な運用、管理及び執行を行います。</p> <p>○効率的かつ効果的な消防資源の有効活用と消防体制面の強化を図るために、現在2市（豊中市・池田市）で運用している消防指令業務を5市（豊中市・吹田市・池田市・摂津市・箕面市）へ拡充し、より広域的な組織とします。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○近隣市長との消防の広域連携について検討を行いました。</p> <p>○計画等に基づき能勢町の消防事務を管理・執行しました。</p> <p>○令和6年4月からの5市での消防指令業務共同運用開始に向けて、協議会で広域消防指令情報システム構築業務の事業者を選定し、システム構築を進めたほか、運用規定の整備等に係わる検討を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○消防の広域連携の検討を進めることができました。消防体制の強化及び消防資源の有効活用の観点から今後も消防広域連携について検討を進めます。</p> <p>○能勢町の消防事務について、計画等に沿って管理・執行することができました。相互の消防力の強化を図るとともに、住民の安心安全が向上するよう、今後も計画等に沿って、能勢町の消防事務を管理・執行します。</p> <p>○令和6年4月からの5市での消防指令業務共同運用開始に向け調整、準備を行うことができました。令和5年度も引き続き、調整、準備を行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	5市消防通信指令事務協議会開催数	実績値		3	4	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法、消防組織法、市町村の消防の広域化に関する基本指針
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府消防広域化推進計画
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	9,293	人件費（参考）	6,926	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	9,293	財源内訳の 訳	国・府支出金	0
	決算額	9,290		地方債	9,000
	残額	3		その他 特定財源	204
	執行歩合	99.97%		一般財源	86

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防の広域連携の推進【継続】	0	0	0	0	01
	能勢町消防事務の受託【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費
	消防指令業務共同運用の拡充【継続】	9,290	0	9,000	86	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防体制の強化（消防総務課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○救急業務の高度化を図り、傷病者の救命率向上や的確な救急搬送を確保するために、救急救命士を養成します。 ○職員の安全と規律の確保を行うために、必要な被服・装備品等を整備します。 ○職員の士気高揚及び災害対応力の強化を図るために、消防局人材育成実施計画に基づき、人材育成制度の充実を図ります。 ○消防体制の強化を図るために、「消防・救急救命基金」の適切な管理、運用を行います。
------	--

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○救急救命士を計画通り養成し、救急救命士の活動に必要な研修等を受講しました。 ○消防活動に必要な被服等を計画的に整備・改修するとともに、仕様の見直し等を行いました。 ○計画に基づき、研修制度の充実など人材育成に関する取組みを進めました。 ○「消防・救急救命基金」の適切な管理、運用を行いました。
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○救急救命士を計画通り養成することができました。今後も計画的に養成することで、救急業務の高度化を図ります。 ○計画通り、被服・装備品等を整備することができました。今後も、計画的に被服や装備品等について検討し、計画的な整備を行います。 ○計画通り人材育成制度を推進することができました。今後も人材育成に関する取組みを推進し、職員の士気高揚、災害対応能力の強化を図ります。 ○「消防・救急救命基金」を適切に管理、運用できました。今後も積極的な広報等により寄付金を募り、ふるさと納税の活性化を図るとともに、基金の適切な運用管理を行います。
----------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	救急救命士養成者数	実績値	人	5	5	5	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	救急業務実施基準、消防吏員服制基準
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	救急業務実施要綱、消防吏員服制規則、消防吏員服制規程、消防局人材育成実施計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	60,348	人件費（参考）	16,396	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	60,349	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	45,147		地方債	0
	残額	15,202		その他 特定財源	7,990
	執行歩合	74.81%		一般財源	37,157

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		救急救命士の養成【継続】	7,571	0	0	7,392	01
	消防被服の整備【継続】	23,759	0	0	23,759	01	常備消防費
	人材育成制度の充実【継続】	6,006	0	0	6,006	01	常備消防費
	消防・救急救命基金【継続】	7,811	0	0	0	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防団の充実強化	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	560500 警防課		

事業概要	<p>○消防団活動の活性化を図り、災害に強いまちづくりを推進するために、消防団員確保を図るとともに、消防団員の訓練、教養の実施や、広報活動を支援します。</p> <p>○地域防災力の向上を図るために、地域の安全を守る消防団の拠点である各分団屯所の維持管理を行います。</p> <p>○地域防災力の向上を図るために、各分団の消防ポンプ自動車の維持管理を行います。</p> <p>○消防団屯所及び設備を適正に維持するため、計画的に改修工事等を実施します。</p> <p>○とよなか起業チャレンジセンターが移転することとなったため、現地に螢池分団屯所の建替を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○消防団のポンプ車操法訓練や消防団の広報活動を行いました。</p> <p>○消防団屯所の管理業務及び維持補修工事を行いました。</p> <p>○消防団車両の維持管理業務（修繕・点検・車検等）を行いました。</p> <p>○消防団屯所の改修計画の検討を行いました。</p> <p>○螢池分団屯所の建替工事を行いました。</p> <p>令和4年度の消防団訓練実績</p> <p>○ポンプ操法訓練・・・11回</p> <p>○幹部教養訓練・・・11回</p> <p>○歳末警戒・・・3回</p> <p>○地水利調査・・・1回</p> <p>○規律訓練・・・3回</p> <p>○消防出初式・・・1回</p> <p>○豊能地区支部総合訓練大会・・・1回</p> <p>○大阪府消防大会・・・1回</p> <p>○豊能地区支部教養訓練・・・6回</p> <p>○資機材等取扱訓練・・・243回</p> <p>○予防広報活動・・・57回</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○火災等の各種災害から市民の安心安全を確保するだけでなく、駅前・街頭でのビラ配りなどの広報活動及びポンプ車操法訓練など各種教育訓練を行うことで、消防団の充実強化を図ることができました。今後も引き続き消防団の充実強化を図ります。</p> <p>○消防団屯所の適切な維持管理を行うことができました。今後も継続して豊中市公共施設等総合管理計画に基づき、防災拠点である消防団屯所の適切な維持管理を行います。</p> <p>○消防団車両の適切な維持管理を行うことができました。今後も市民の安心安全を守るため、消防車両更新計画に基づき、消防団車両の適切な維持管理を行います。</p> <p>○令和4年度は改修の計画がありませんでした。今後も消防団屯所及び設備を適正に維持するため、消防団屯所の改修計画の検討を行います。</p> <p>○螢池分団屯所の建替工事を行いました。令和6年度竣工予定となっています。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防団員数	3月末日団員数	人	516	489	490	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防局組織規則、豊中市消防団の設置等に関する条例、豊中市消防団の組織等に関する規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	257,283	人件費（参考）	13,365	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△269	公債費（参考）	681	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	257,127	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	186,446		地方債	57,400
	残額	70,681		その他 特定財源	7,426
	執行歩合	72.51%		一般財源	121,620

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防団活動【継続】	92,918	0	0	85,492	01	非常備消防費
	消防団屯所管理【継続】	3,819	0	0	3,819	01	非常備消防費	
	消防団車両管理【継続】	3,535	0	0	3,535	01	非常備消防費	
	消防団屯所改修事業【継続】	0	0	0	0	01	消防施設整備費	
	螢池分団屯所改築事業【継続】	86,174	0	57,400	28,774	01	消防施設整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防庁舎等施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に強いまちづくりを推進するために、防災拠点である消防庁舎を適切に維持管理します。 ○消防車両を常時稼働させるために、必要な燃料を調達します。 ○災害に強いまちづくりを推進するために、老朽化した消防庁舎設備の更新整備を行います。 ○消防拠点機能の強化を図るために、東泉丘消防出張所の再整備を検討します。 ○消防庁舎を適正に維持するために、計画的に改修工事を実施します。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○消防施設の維持管理を行いました。 ○消防局が所管する自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を行いました。 ○消防庁舎設備の更新計画を作成しました。 ○東泉丘出張所北側用地の整備について検討を行いました。 ○令和4年度は消防庁舎の改修計画はありませんでした。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各施設適切な維持管理を行うことができました。今後も光熱水費の抑制に取り組むなど、各施設の適切な維持管理を行うとともに、老朽化した庁舎については計画的な改修を実施します。 ○自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を適切に行うことができました。今後も自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を適切に行うとともに、燃料単価の低い自家給油設備の使用促進を図ります。 ○消防庁舎設備の更新計画を作成することができました。今後は作成した計画に基づき設備の改修を行います。 ○東泉丘出張所周辺の開発工事に合わせて北側用地の整備について検討を行いました。今後も周辺の開発工事に合わせて検討を行います。 ○令和4年度は消防庁舎の改修計画はありませんでした。今後も消防庁舎を適正に維持するために、改修工事を計画的に行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	電気使用量	実績値	kWh	1,175,280	1,194,263	1,158,934	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2	参考	ガス使用量	実績値	m ³	66,012	55,366	57,488	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3	参考	水道使用量	実績値	m ³	15,689	15,106	15,161	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4	参考	自家給油補給率	実績値	%	40	47	47	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防局組織規則、豊中市消防局・北消防署合同庁舎管理規程、豊中市消防署組織規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	71,431	人件費（参考）	10,370	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,477	公債費（参考）	46,127	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	97,194	財源内訳の 国・府支出金	0	
	決算額	86,675		地方債	0
	残額	10,519		その他 特定財源	0
	執行歩合	89.18%		一般財源	86,675

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防庁舎施設管理【継続】	64,003	0	0	64,003	01
	消防車両燃料管理【継続】	22,672	0	0	22,672	01	常備消防費
	消防庁舎設備の整備【継続】	0	0	0	0	01	消防施設整備費
	東泉丘消防出張所の再整備【継続】	0	0	0	0	01	消防庁舎整備費
	消防庁舎改修事業【継続】	0	0	0	0	01	消防庁舎整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	561500 消防指令センター 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○避難、救出体制を強化するために、避難行動要支援者への一声訪問を行います。 ・ひとり暮らしの高齢者や重度障害者を訪問し、状況の把握と避難方法や防火の指導を行うことで、避難行動要支援者対策の強化を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○避難行動要支援者への一声訪問を実施 対象者への訪問実施率は100%を維持しており、訪問時には状況の把握だけでなく、防火指導を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○避難行動要支援者の状況を把握し、防火指導を行うことで、災害時における迅速な避難と救出対応の強化を図ることができました。 ○10,000人を超える対象者への効率的、効果的な訪問方法を早急に構築する必要があります。</p> <p>○今後も、避難・救出体制を強化するために、継続して避難行動要支援者への一声訪問を実施をします。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問実施率	担当課調査	%	100	100	100	数値	
	考え方、定義、算出方法など	訪問実施率を算出（訪問者数÷全訪問対象者数×100）							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市消防一声訪問事業実施要綱、一声訪問セキュリティマニュアル

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	664	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財 源 内 訳 の	国・府支出金	0
	決算額	2		地方債	0
	残額	1		その他 特定財源	0
	執行歩合	66.67%		一般財源	2

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防一声訪問（警防課）【継続】	2	0	0	2	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防体制の強化（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○災害に係る様々な危険要因から市民生活の安心、安全を確保するために、災害活動の効率化と安全管理の徹底を図り、消防力の体制を充実強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助活動の高度化 ・災害対応力の強化 ・特殊災害対応力の強化
------	--

当該年度の実績	<p>○高度救助隊による救助隊員の救助技術向上のための研修や訓練を実施しました。</p> <p>○指揮調査隊による各種訓練の企画立案及び訓練指導を実施しました。</p> <p>○特別消火隊による消火技術向上のための研究や訓練を実施しました。</p> <p>○災害時におけるLIVE119を活用した現場情報共有を実施しました。</p> <p>○特殊災害対策専門班による部内研修や訓練を実施しました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○年度を通して、各種災害における研修や訓練を行うことで、消防体制の充実強化が図られました。</p> <p>○継続して、高度救助隊を中心とした救助技術の向上を図ります。</p> <p>○継続して、指揮調査隊を中心に、現場指揮体制の充実強化を図ります。</p> <p>○継続して、特別消火隊を中心とした消火技術の向上を図ります。</p> <p>○現場情報共有方法については、さらに研究を重ねていきます。</p> <p>○継続して、特殊災害対策専門班を中心に、特殊災害対策の対応力強化を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	特殊災害対応訓練	教育訓練計画書	回	3	3	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	特殊災害等対応合同訓練、震災対策訓練、水防訓練等の特殊災害対応訓練の年度内訓練回数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	豊中市消防警防規程、救助業務実施要綱、豊中市消防活動基準、特殊災害対策基準	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,890	人件費（参考）	71,009	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,890	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,787		地方債	0
	残額	103		その他 特定財源	0
	執行歩合	94.55%		一般財源	1,787

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		特殊災害対応力の強化【継続】	543	0	0	543	01
	救助体制の強化【継続】	544	0	0	544	01	常備消防費
	警防体制の強化【継続】	700	0	0	700	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防水利の管理・整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 530000 上下水道局 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○各種災害から市民の安心安全を確保するために、災害時に活用する消防水利等の維持管理、整備を計画的に行い、消防力の充実を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○消防水利及び消防施設の維持管理を計画通りに実施し、市民の安心・安全に寄与しました。</p> <p>○耐震性貯水槽1基整備しました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○消防水利及び消防施設の維持管理を計画通りに実施できています。災害に強い街づくり推進のため、今後も引き続き実施していきます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	耐震性貯水槽の整備	実績	基	1	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防水利の基準、地震防災対策特別措置法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防計画、豊中市地域防災計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	54,797	人件費（参考）		3,775
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△145	公債費（参考）		8,635
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	67,197	財源内訳の	国・府支出金	4,155
	決算額	57,637		地方債	0
	残額	9,560		その他 特定財源	0
	執行歩合	85.77%		一般財源	53,482

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		耐震性貯水槽の整備【継続】	50,130	4,155	0	45,975	01	消防施設整備費
	消防水利の管理【継続】	7,507	0	0	7,507	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防車両・資機材の整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	○消防力の充実を図るために、災害現場で消防隊が活用する資機材や、各種消防車両の維持管理、整備を行います。
当該年度の実績	<p>○消防資機材について、常時使用可能な状態を維持し、計画的な整備を行いました。</p> <p>○消防車両及び車両に関連する資機材について、計画的な点検整備を行いました。</p> <p>○更新消防車両</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高規格救急自動車 2台 * 災害対応特殊化学車 1台 * 人員搬送車 1台 * 消防ポンプ自動車 1台 * 小型動力ポンプ（B3級） 2台 * 小型動力ポンプ（C1級） 1台

当該年度の成果・課題	<p>○各車両、及び消防資機材については、計画的に点検整備を行い、常時使用可能な状態を維持することができました。</p> <p>○更新計画に沿った更新が出来ていない車両の維持管理が課題となります。</p> <p>○各種消防車両、及び消防資機材について計画的な更新・点検整備を行うことで、各種災害に対応できるようにします。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防車両更新台数	実績	台	3	3	8	数値	
		考え方、定義、算出方法など	年間更新台数					年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法、消防力の整備指針、道路運送車両法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防計画

【決算説明情報】

(単位:千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	255,196	人件費(参考)	13,277	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	27,603	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	255,196	財源内訳の 内訳	国・府支出金	21,169
	決算額	247,461		地方債	6,200
	残額	7,735		その他 特定財源	52,474
	執行歩合	96.97%		一般財源	167,618

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
消防車両の更新整備【継続】	167,375	21,169	6,200	93,232	01	消防施設整備費
消防資機材の整備【継続】	17,956	0	0	17,956	01	常備消防費
消防車両管理【継続】	62,130	0	0	56,430	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	火災原因・損害調査	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○火災予防を中心とする消防行政を効果的かつ効率的に推進するための資料を得るために、火災の原因調査及び火災による損害の調査を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災に関する情報を提供し、類似火災の防止と被害の軽減を図ります。 ・出火原因を究明し、予防対策、警防対策上の資料とします。 ・延焼及び拡大原因、死傷者の発生原因及び防火管理状況等を究明し、予防及び警防対策上の資料とします。 ・火災の発生状況、出火原因、損害状況等を統計化するとともに、広く火災の情報を収集し、行政対策の資料とします。
当該年度の実績	<p>○発生した火災の原因調査及び火災による損害調査を行いました。</p> <p>○火災の原因などを統計にし、ホームページで広報を行いました。</p> <p>○り災証明書等交付申請の電子申込システム化を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○火災原因や損害を調査し、分析し、広報を行うことで類似火災の予防を図ることができました。</p> <p>○り災証明書等交付申請の電子申込システム化を行うことで、市民サービスに寄与することができました。</p> <p>○類似火災の未然防止を図るため、今後も質の高い調査業務に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中市出火件数（年統計）	消防活動統計	件	78	65	72	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年間の火災発生件数（年統計）							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災の原因及び損害の調査に関する規程、火災原因調査要綱、火災損害調査要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	256	人件費（参考）	69,063	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	146	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	402	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	400		地方債	0
	残額	2		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.50%		一般財源	400

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		火災原因・損害調査【継続】	400	0	0	400	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救急資機材の整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○救急活動が円滑に行えるよう救急資機材の保守、点検を行うとともに、救急消耗品を適切に調達、管理します。</p> <p>○救急活動に従事する消防職員の新型インフルエンザ等への感染を防ぐため、感染防止資機材を整備、備蓄します。</p> <p>○新型インフルエンザ等発生時に適切な業務が遂行できるよう各関係機関との合同訓練等に参加し、対応力の強化を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○除細動器（13式）、ストレッチャー（6台）の保守、点検を行いました。</p> <p>○救急消耗品を適切に調達、管理しました。</p> <p>○感染防止対策資器材をローリングストック方式により、調達、備蓄を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症傷病者搬送を円滑に行うため、豊中市保健所と調整を行い、感染防止対策の連携強化を図りました。</p> <p>○救急隊員の感染防止を図るため、豊中市保健所主催の感染防護具脱着訓練に参加しました。（1回 3名）</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○救急資機材の保守、点検、救急消耗品の調達、管理することにより、救急活動を円滑に行うことはできました。今後、救急件数増加による資器材管理方法についてが課題です。</p> <p>○感染防止対策資器材を新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルに基づき、ローリングストック方式により計画的・適切に備蓄・管理したことにより、安全に活動することができました。今後も引き続き、計画的に管理します。</p> <p>○豊中市保健所主催の感染防護具脱着訓練に参加することにより、救急活動中に新型コロナウイルス感染症に罹患することなく活動することができました。今後も引き続き感染対策に留意します。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	資器材備蓄数(ディスポ手袋)	年度実績	枚	0	15,000	15,000	数値	36,000枚
		考え方、定義、算出方法など	ローリングストック方式にて管理						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新型コロナウイルス対策行動計画、新型コロナウイルス対策消防業務継続計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	19,797	人件費（参考）	6,895			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	19,797	財源内訳の	国・府支出金	0		
	決算額	17,259		地方債	0		
	残額	2,538		その他 特定財源	1,084		
	執行歩合	87.18%		一般財源	16,175		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	救急資機材の整備【継続】	16,511	0	0	15,427	01	常備消防費
	新型コロナウイルス対策【継続】	748	0	0	748	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防指令業務の共同運用事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	561500 消防局・消防指令センター		
関連部局・課			

事業概要	<p>○消防資源の効率的な運用による費用の節減を図るとともに、スケールメリットを活かした消防体制の強化を図るために、池田市と共同消防指令センターを共同整備・運用します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○消防防災情報システムの効率的な運用管理業務を行いました。 ○様々な災害に対し、必要な応援隊を迅速に出場させ、被害を最小限に抑えました。 ○現状の管内実地調査に加えて、5市での消防指令業務共同運用を見据え5市管内の実地調査を実施しました。 ○映像通報システム(Live119)を活用し、効率的な情報伝達が図れました。（令和4年度実績114件）</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○5市管内全体の情勢が概ね把握できました。今後も調査を継続し、令和6年4月の5市での消防指令業務共同運用を円滑に開始できるよう努めます。 ○映像通報システム(Live119)については、円滑な通報に繋げるため、市民への広報を実施し、普及啓発を図るとともに、積極的な活用をすすめます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	能勢町管内実地調査	実績値	人		24	27	数値	24
		考え方、定義、算出方法など						年	3
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	156,294	人件費（参考）	72,849	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	156,294	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	7,800
	決算額	154,808		地方債	0
	残額	1,486		その他 特定財源	35,318
	執行歩合	99.05%		一般財源	111,690

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防指令業務の共同運用【継続】	154,808	7,800	0	111,690	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	560500 警防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○3,285件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。 ○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,182	3,354	3,285	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市一声訪問事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	79,123	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	3		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	100.00%		一般財源	3

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	消防一声訪問（北消防署）【継続】	3	0	0	3	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・警戒活動、救急活動及び救助活動を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○特別消火隊、高度救助隊が中心となり、各種の訓練、教養を実施することにより、災害対応力の強化を図りました。 ○消火隊、救助隊が部隊連携訓練を実施しました。 237人、12回、34時間 ○特別消火隊が中心となり、火災防ぎょ実戦訓練を実施しました。 45人、3回、6時間 ○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました。 60人、3回、9時間 ○特殊災害研修として、航空機、危険物、集団災害及び山林災害対策を主に研修及び訓練を実施しました。 90人、4回、12時間</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。 ○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。また、特殊災害や山林災害に対する知識、技術の向上を図り、林野火災や山岳救助への更なる対応力向上に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	19	25	27	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2	参考	警戒件数	実績	件	856	881	918	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3	参考	救助件数	実績	件	278	238	257	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4	参考	救急件数	実績	件	8,147	8,576	9,966	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法、消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,139	人件費（参考）	641,433				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,139	財源内訳の	国・府支出金	0			
	決算額	1,137		地方債	0			
	残額	2		その他 特定財源	0			
	執行歩合	99.82%		一般財源	1,137			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
火災・警戒活動（北消防署）【継続】		51	0	0	51	01	常備消防費	
救急活動（北消防署）【継続】		0	0	0	0	01	常備消防費	
救助活動（北消防署）【継続】		1,086	0	0	1,086	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	560500 警防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○3,718件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。</p> <p>○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,798	3,917	3,718	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市一声訪問事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）		3	人件費（参考）		59,324	
	流用増減額 （予備費充当用含む）		0	公債費（参考）		0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）		3	財源内訳の	国・府支出金		0
	決算額		0		地方債		0
	残額		3		その他特定財源		0
	執行歩合		0.00%		一般財源		0
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	消防一声訪問（南消防署）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・警戒活動、救急活動及び救助活動を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○消火隊、特別救助隊が中心となり、各種の訓練、教養を実施することにより、災害対応力の強化を図りました。</p> <p>○消火隊、救助隊連携訓練及び火災防ぎょ実戦訓練を実施しました。 延244時間</p> <p>○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました。 17名1回延51時間</p> <p>○特殊災害研修として、C災害研修を実施しました。 63名延63時間</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。</p> <p>○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。また、特殊災害等に対する知識、技術の向上を図り、NBC災害等への更なる対応力向上に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	32	32	42	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	警戒件数	実績	件	728	849	770	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	救助件数	実績	件	151	152	181	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急件数	実績	件	7,877	8,248	9,139	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	消防組織法、消防法 豊中市消防計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	260	人件費（参考）	482,333	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	260	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	253		地方債	0
	残額	7		その他 特定財源	0
	執行歩合	97.31%		一般財源	253

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		火災・警戒活動（南消防署）【継続】	17	0	0	17	01
	救急活動（南消防署）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費
	救助活動（南消防署）【継続】	236	0	0	236	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	560500 警防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○3,409件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。 ○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,486	3,589	3,409	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市一声訪問事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	52,263	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2		地方債	0
	残額	1		その他 特定財源	0
	執行歩合	66.67%		一般財源	2

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防一声訪問（新千里消防署）【継続】		2	0	0	2	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・救急・救助・警戒活動を行います。
------	---

当該年度の実績	<p>○火災・救急・救助・警戒事案に対する災害活動を実施しました。</p> <p>○消火隊・梯子隊・救助隊が各種災害に則した実働訓練や教育研修を実施しました。 182名、9回、24時間</p> <p>○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました 18人、3回、9時間</p> <p>○NBC災害及び地下街災害訓練を実施しました。 69人、4回、12時間</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。</p> <p>○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	23	14	19	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	警戒件数	実績	件	743	854	929	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	救助件数	実績	件	94	97	125	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急件数	実績	件	6,189	2,192	1,799	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	



2-4 暮らしの安全対策の充実

災害、犯罪、事故などの安全対策を進めるとともに、自ら守る、地域で守るという意識の醸成を図ります。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)防災力の充実強化を図ります	5事業
①防災対策の充実強化	
②地域防災力の充実強化	
防災関連事業	危機管理課 危機管理課
感染症対策関連事業	総務部 行政総務課
水防対策事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
水防対策事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
水防対策事業(維持修繕課)	都市基盤部 維持修繕課
(2)犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	4事業
①地域の防犯活動への支援	
②防犯対策の充実	
③消費者被害対策の充実	
防犯関連事業	危機管理課 危機管理課
暴力団排除推進事務	総務部 法務・コンプライアンス課
消費生活事業	市民協働部 くらし支援課
生活情報センター事業	市民協働部 くらし支援課
(3)交通安全意識の向上を図ります	1事業
①交通安全教育の推進	
②交通安全啓発の推進	
安全対策事業	都市基盤部 交通政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防災関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	030100 危機管理課・危機管理課		
関連部局・課	430000 都市基盤部 530000 上下水道局 560000 消防局 999999 全部局		

事業概要	<p>○大規模災害などの危機事態に対応するため、豊中市地域防災計画に基づき、災害対応力の強化を図ります。また、自助・共助による地域防災力の向上に向けた支援や啓発を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○一人ひとりの防災意識の醸成を図るために課長級対象研修(コロナ禍のため動画配信で実施)及び新規採用職員研修を実施しました。また、組織として危機事態に対処できるよう、豊能地区3市2町合同防災訓練において各部局が一同に集結し図上訓練を行いました。</p> <p>○マイ・タイムライン作成支援ツールの導入について、調査・研究を行いました。</p> <p>○【拡充】総合ハザードマップに掲載している情報を視覚障害のある方が取得し利用できるよう「総合ハザードマップ点訳版・音訳版」を作成し、提供しました。</p> <p>○災害時の対応強化を図るため、民間事業者と応援協定等を6件締結しました。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルとして新たに1施設を追加しました。</p> <p>○【拡充】南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害に対してそれぞれ最大の被害をもたらす災害を想定し、被災者支援のために特に必要とする食料などを重要物資と位置づけ、府と市で1:1を基本とした役割分担の下、必要量を計画的に備蓄し、感染症対策のための物資の備蓄を行いました。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、小・中学校12施設において、簡易ベッド、簡易テント、不織布毛布の配備場所を確保しました。</p> <p>○【拡充】風水害時における避難情報発令の判断材料の充実を図るために、旧猪名川に河川監視カメラを設置しました。</p> <p>○校区自主防災組織等に対して、とよなか防災アドバイザー派遣、防災出前講座の実施、防災訓練の支援を行いました。</p> <p>○避難行動要支援者対策については、避難支援等関係者へ名簿を提供するとともに、福祉部と連携し、避難支援等関係者が実施する訓練への支援を行うとともに、モデル校区において個別避難計画の作成にかかる検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○大規模災害などの危機事象に対応するため、組織力が発揮できるよう災害対応訓練を実施し、個々の災害対応能力の向上に向けた研修を引き続き行います。</p> <p>○災害時において、市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、具体的、実践的な情報を発信し、洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画となるマイ・タイムラインの普及啓発を進めます。</p> <p>○民間事業者や団体等と災害時における相互応援協定等を締結します。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルを拡充します。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、小・中学校において、簡易ベット等の配備場所の確保を進めます。</p> <p>○災害時のデジタル活用については、AI等の技術を活用した新たなテクノロジーの導入について検討が必要です。</p> <p>○校区自主防災組織等に対して、補助金の支援をはじめ組織としての底上げが図れるよう講座等を実施してきましたが、全小学校区に自主防災組織が組織されるよう引き続き、必要な支援を行います。</p> <p>○福祉部と連携し、個別避難計画の作成を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	参考	避難所開設訓練	担当課調査	回	1	1	1	数値	1
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
2	参考	出前講座の参加人数	担当課調査	人	2,475	991	1,323	数値	5,500
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
3	参考	地区防災圏自主防災組織の組織率	担当課調査	%	70.7	73.2	73.2	数値	85
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
4	参考	職員参集配信訓練回数	担当課調査	回			3	数値	3
		考え方、定義、算出方法など						年	令和
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止法、防災基本計画
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府地域防災計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市地域防災計画、豊中市強靱化地域計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	102,673	人件費（参考）	43,740	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△220	公債費（参考）	3,444	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	102,453	財源内訳の	国・府支出金	175
	決算額	81,531		地方債	0
	残額	20,922		その他 特定財源	1,100
	執行歩合	79.58%		一般財源	80,256

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
予算管理事業	中央防災倉庫他施設管理【継続】	1,288	0	0	1,288	01	災害対策費
	地域防災計画関連事業【継続】	4	0	0	4	01	災害対策費
	防災無線運用事業【継続】	26,753	0	0	26,753	01	災害対策費
	防災対策関連システムの運用【拡充】	4,365	0	0	4,365	01	災害対策費
	自主防災体制推進事業【継続】	1,148	0	0	1,148	01	災害対策費
	避難関連事業【継続】	10,353	0	0	10,353	01	災害対策費
	備蓄物資整備・管理事業【拡充】	36,048	0	0	34,948	01	災害対策費
	防災訓練・意識向上事業【継続】	57	0	0	57	01	災害対策費
	風水害対策【拡充】	1,515	175	0	1,340	01	災害対策費
	危機管理対応方針関連事務【継続】	0	0	0	0	01	災害対策費
	国民保護計画関係事務【継続】	0	0	0	0	01	災害対策費
	防災無線再整備事業【継続】	0	0	0	0	01	防災無線整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	感染症対策関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	○新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、消毒液等、全庁共通に必要な物品を調達し、安心・安全を確保します。
------	--

当該年度の実績	○新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、消毒液等、全庁共通に必要な物品を調達し、安心・安全を確保しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、令和5年度は規模を縮小して実施します。令和6年度以降については、本事業を廃止のうえ、総務業務の支援の中で、全庁共通に必要な消毒液等の購入に係る手続きの一元化を継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消毒物品発注実績（手指消毒用アルコール）	担当課調査	箱	1,066	265	285	数値	
	考え方、定義、算出方法など		全庁への必要数調査による配布実績。						
2	参考	消毒物品発注実績（次亜塩素酸ナトリウム製品）	担当課調査	本	335	245	474	数値	
	考え方、定義、算出方法など		全庁への必要数調査による配布実績。						
3	参考	消毒物品発注実績（ゴム手袋）	担当課調査	箱	1,037	442	1,058	数値	
	考え方、定義、算出方法など		全庁への必要数調査による配布実績。						
4	参考	消毒物品発注実績（ぞうきん）	担当課調査	袋	1,022	425	614	数値	
	考え方、定義、算出方法など		全庁への必要数調査による配布実績。						
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,024	人件費（参考）	810	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,024	決算額の内訳 財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	2,884		地方債	0
	残額	1,140		その他 特定財源	0
	執行歩合	71.67%		一般財源	2,884

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	感染症対策関連事業（行政総務課） 【継続】	2,884	0	0	2,884	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	030100 危機管理課 430100 交通政策課 430500 基盤整備課 431500 基盤保全課 530000 上下水道局 530100 経営部 530500 技術部 560000 消防局 560100 消防総務課 560500 警防課		

事業概要	<p>○市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進めるために、危機管理課、上下水道局、消防局と連携し、集中豪雨による浸水被害の軽減や対応を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○令和4年5月9日（月）から令和4年10月24日（月）の169日間にかけて、雨（風）当番体制を実施し風災害に備えました。また、台風14号の影響により、風水害警戒体制（A-2配備）及び雨（風）当番体制をそれぞれ1回発動しました。</p> <p>○大阪府と連携し、水防ため池の点検調査を14箇所で行いました。また、ため池ハザードマップに関する住民説明会を1箇所で行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○雨（風）当番体制の発動回数が1回と少なく、職員の経験不足が懸念されます。今後、班編成を行う際には、経験値の高い職員が偏らないように配慮し、技術継承しやすい体制づくりを実施します。</p> <p>○ため池に関する防災・減災にむけ、ため池管理者や関係機関との調整及び連携の強化が必要です。今後、この調整を有効的に活用し、農業利用されていないため池の潰廃や老朽化ため池の改修を行うための協議を実施していきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	雨当番体制発動回数	基盤管理課資料	回	5	7	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,434	人件費（参考）	10,530	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,434	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	2,339		地方債	0
	残額	95		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.10%		一般財源	2,339

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	水防関連業務【継続】	2,339	0	0	2,339	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	030000 危機管理課 431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○危機管理課、上下水道局及び消防局と連携を図り、雨当番体制を充実させるため、市内水防設備等を活用し、市民への水防関連の情報提供を実施します。 また、神崎川における高潮、洪水の旧猪名川への流入防止及び内水の排除を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○千里川水位情報システム 大雨における千里川の増水状況を近隣住民へ注意を促す放送設備の維持管理業務及び放送訓練を実施しました。 ○市内水防観測設備（情報） 市内13か所の雨量計等の設備の維持管理及び運用を業務委託により実施しました。 ○旧猪名川排水機場管理 高潮、洪水対策として、神崎川から旧猪名川への排水ポンプ及び防潮水門等の設備の運転操作及び維持管理に関する委託、修繕等を実施しました。 ○千里川非常放送設備（親水公園） 集中豪雨などによる千里川の増水、気象情報を親水公園3か所の利用者に危険を知らせる放送設備の維持管理業務を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○千里川水位情報システム 近隣住民へ水位情報の注意を促すことができました。 クラウドで水位情報を監視しており、緊急時に備えることができました。 今後も近隣住民への周知徹底に取り組みます。 ○市内水防観測設備（情報） 市内の雨量、水位、樋門開閉状況を把握でき、水防のための重要な情報となりました。 関係機関に情報を幅広く活用していただき、今後も市民への雨量情報の情報提供に取り組みます。 ○旧猪名川排水機場管理 浸水被害等を防ぎました。 今後も旧猪名川の内水排除の機能保持に取り組みます。 ○千里川非常放送設備（親水公園） 事前に河川の増水を把握することで水難事故を防止しました。 今後も水難事故ゼロをめざし、設備の点検、近隣住民への情報提供に取り組みます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	旧猪名川排水機場管理排水運転時間（点検運転時間）	協定書	時間	25	23	28	数値	
	考え方、定義、算出方法など	協定書第11条操作規程に基づく月2回の点検運転時間							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	11,559	人件費（参考）	14,418	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	11,559	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	9,948		地方債	0
	残額	1,611		その他 特定財源	848
	執行歩合	86.06%		一般財源	9,100

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		千里川水位情報システム【継続】	325	0	0	325	01	水路管理費
		市内水防観測設備（情報）【継続】	3,614	0	0	3,614	01	水路管理費
		旧猪名川排水機場管理【継続】	5,511	0	0	4,663	01	水路管理費
		千里川非常放送設備（親水公園）【継続】	498	0	0	498	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（維持修繕課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	030000 危機管理課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○集中豪雨による浸水被害の対応及び軽減を図るため、危機管理課、上下水道部、消防局と連携をとりながら、市民が安心して住める、安全なまちづくりをめざします。</p>
当該年度の実績	<p>○雨当番体制をとり、集中豪雨に伴う浸水被害に備えました。 台風やゲリラ豪雨の対策として、随時土のうの貸出を行いました。 各部局連携のもと水防訓練を行いました。 機材の点検を行い、災害に備えました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○台風や集中豪雨時の災害軽減ができました。 事前の土のうの貸し出しで、浸水被害の軽減ができました。 水防訓練の実施で職員の水防意識の向上が見られました。 ここ数年台風や集中豪雨による災害が増加しているため、関連部局と連携を取りながら、浸水被害の対応を現状のまま継続していく必要があります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	土嚢貸出	土嚢貸出簿	袋	525	661	337	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	670	人件費（参考）	6,318	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	670	財源内訳の 決算額	国・府支出金	0
	決算額	667		地方債	0
	残額	3		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.55%		一般財源	667

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		水防対策業務【継続】	667	0	0	667	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防犯関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	030100 危機管理課・危機管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市民が安心・安全に暮らすことができる社会実現のため、市が設置している見守りカメラ・駅前カメラを引き続き運用・管理します。</p> <p>○地域の安全は地域で守るという意識を醸成するため、防犯協議会への活動補助や自治会防犯カメラ設置補助、青色回転灯パトロールカー助成を引き続き実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○犯罪の早期解決のため見守りカメラ等の画像データを捜査機関に提供しました。また、画像データの提供にあたっては、申請内容を厳格に審査し、適正な運用を行いました。</p> <p>○自治会に対する防犯カメラ設置補助を行いました。</p> <p>○豊中・豊中南警察署と調整を図り、豊中市安全なまちづくり推進協議会を開催しました（感染予防のため書面による開催）。</p> <p>○豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対し、自発的な防犯活動を支援するため、助成金を交付しました。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けて、防犯に関するアンケートを実施するなど検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○引き続き見守りカメラ等の運用を行い、市域の安全・安心を推進します。</p> <p>○豊中・豊中南防犯協議会、両警察署と連携し、地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けた各種調整を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値 年	1,500 令和8
1	参考	刑法犯罪発生件数	主要罪種別認知件数	件	1,870	1,614	1,736	数値 年	1,500 令和8
	考え方、定義、算出方法など	犯罪統計（大阪府警）「9. 刑法犯市区町村別主要罪種別認知件数」より							
2	目標	防犯カメラ設置団体数	担当課調査	団体	1	2	1	数値 年	3 令和8
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に防犯カメラ設置補助を受けた自治会等							
3	目標	青色回転灯パトロールカー活動団体数	担当課調査	団体	9	8	8	数値 年	10 令和8
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	保有個人情報外部提供可否決定通知件数	担当課調査	件数	806	796	802	数値 年	850 令和8
	考え方、定義、算出方法など	警察等捜査機関から受けた見守りカメラ画像申請に対する提供件数							
5								数値 年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	55,734	人件費（参考）	12,150	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	56,234	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	55,309		地方債	0
	残額	925		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.36%		一般財源	55,309

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防犯活動支援事業【継続】	0	0	0	0	01	一般管理費
	防犯関係団体補助【継続】	3,972	0	0	3,972	01	一般管理費	
	防犯設備補助【継続】	1,000	0	0	1,000	01	道路橋梁維持費	
	防犯設備管理運用事業【継続】	663	0	0	663	01	道路橋梁維持費	
	見守りカメラ事業【継続】	49,674	0	0	49,674	01	道路橋梁維持費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	暴力団排除推進事務	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○犯罪等の被害拡大防止を図るために、市の事務若しくは事業、市の区域における事業活動又は市民の生活に生じる不当な影響を排除するための総合的な企画調整を行うことにより、社会全体で暴力団の排除を推進し、もって市民生活の安全及び平穩を確保します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○豊中市暴力団排除条例に基づき、暴力団の排除に関する事務を行いました。 ○事業者から誓約書の提出があった契約の件数：18部局805件 ○警察への照会件数：6部局234件</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○豊中市暴力団排除条例に基づき、豊中警察及び豊中南警察に照会を行うことで、暴力団の排除の推進につながりました。 ○同条例の目的である市の事務及び事業からの暴力団の排除を図ります。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	協定書に基づき、警察に照会を行った件数	市政年鑑	件	257	190	234	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	協定書に基づき、暴力団排除措置を講じた件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	契約相手方から暴力団を排除するため徴収した誓約書の件数	担当課調査	件	838	702	805	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	暴力団による不当な行為の防止等に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府暴力団排除条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市暴力団排除条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	1	人件費(参考)	810	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	1	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	0		地方債	0
	残額	1		その他 特定財源	0
	執行歩合	0.00%		一般財源	0

	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	予算管理事業	暴力団排除推進事務【継続】		0	0	0	0	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消費生活事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○契約などによる消費者トラブル問題解決のために、適切な助言・あっせんを行う消費生活相談をはじめ、消費生活の基礎知識や消費者問題などについての啓発講座の実施や情報誌等による情報提供を行うことにより、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者の自立を促進します。また、警察や関係機関との連携により、悪質商法や特殊詐欺被害防止を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○消費者トラブルなどの問題解決に向けた消費生活相談は2,946件でした。また、府や国民生活センターなどが主催する消費生活相談員研修に参加し、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい相談に対応できるよう、知識のアップデートを行いました。 ○くらしの中の身近な話題などを通じた啓発講座の実施や安全で豊かなくらしのための消費生活情報誌（暮らしの情報）等の発行し、公共施設を拠点に配布するとともにHPや市公式ラインにおけるセグメント配信などを通じた情報提供を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○消費生活相談、啓発講座、情報発信等の取組みにより、消費者の自立促進、消費者被害の未然防止に一定寄与しました。 ○店舗取引での過剰要求の相談など解決が困難な相談が増え、円滑に相談が終了できない事例が増加する一方で、高齢者など、くらしに相談できない被害救済が可能な相談者の掘り起こしが課題です。 ○消費生活相談や特殊詐欺の手口など、社会情勢に応じて相談内容等が変化することが考えられることから、引き続き周知・啓発を行い、また高齢消費者等の被害を未然に防止するため関係機関等との連携の強化により高齢消費者等の見守り体制の充実を図るとともに消費者センターの認知度向上に取り組んでまいります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消費生活相談件数	くらしのレポート	件	3,177	2,914	2,946	数値	2,500
	考え方、定義、算出方法など	相談件数の合計							
2	参考	くらしの安心メール登録者数	くらしのレポート	人	3,962	4,343	4,340	数値	1,050
	考え方、定義、算出方法など	メール配信登録者数							
3	参考	講座受講者数（学校向け講座含む）	くらしのレポート	人	1,647	3,040	3,464	数値	4,000
	考え方、定義、算出方法など	講座受講者数							
4	参考	SNS等を活用したくらしの安心情報登録者数	担当課調査	人			3,759	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消費者基本法 消費者安全法など
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府消費者保護条例など
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市の消費者のくらしを守る条例 生活情報センター条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	30,963	人件費（参考）	32,967			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	170	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	31,133	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	2,771		
	決算額	29,544		地方債	0		
	残額	1,589		その他 特定財源	0		
	執行歩合	94.90%		一般財源	26,773		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
消費者活動の支援事業【継続】		1,330	0	0	1,330	01	生活情報センター費
消費者啓発事業【継続】		1,506	0	0	1,506	01	生活情報センター費
消費生活情報の提供事業【継続】		3,034	0	0	3,034	01	生活情報センター費
地方消費者行政推進事業【継続】		2,856	2,771	0	85	01	生活情報センター費
消費生活相談業務【継続】		20,818	0	0	20,818	01	生活情報センター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生活情報センター事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○くらしに関する情報の収集・提供、消費生活、地域就労支援、無料職業紹介、労働福祉などの事業が円滑に行われるため、生活情報センターくらしかんを適切に管理運営します。</p> <p>○適正計量を実現するため、はかりの定期検査等を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○生活情報センターの管理運営を行いました。</p> <p>○【新規】開館から25年が経過する中、エレベーターの改修工事に取り組み、制御盤などの更新を実施しました。</p> <p>○生活情報センター条例を改正し、くらしかんの設置目的に合致する利用を促進するため、目的利用制度を創設しました。</p> <p>○コロナ禍の状況ではありましたが、はかりの定期検査を実施するとともに、商品量目立入検査を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○くらしかんの貸室利用の稼働率向上が課題ですが、くらしかんの貸室利用を促進するため、目的利用制度を創設し、令和5年（2023年）4月から運用開始します。</p> <p>○適正計量では、他自治体において単独自治体では解決が難しい事案も発生している中、計量関係会議のネットワークを活用し、府内自治体との情報交換を図りながら事業を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	くらしかん目的利用回数	担当課調べ	回	995	1,157	1,159	数値	
	考え方、定義、算出方法など	自主事業と登録グループによる利用回数。くらしかんの設置目的に合致した利用回数							
2	参考	くらしかん利用回数	担当課調べ	回	2,258	2,275	2,553	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ミーティングルームやグループ連絡室などを含めたくらしかんの利用回数合計							
3	参考	くらしかん利用人数	担当課調べ	人	23,584	27,251	35,332	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ミーティングルームやグループ連絡室などを含めたくらしかんの利用人数合計							
4	参考	はかりの集合検査台数	担当課調べ	器	297	362	336	数値	
	考え方、定義、算出方法など	器数は、分銅を除いた数値							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	計量法など
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市立生活情報センター条例など

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	30,378	人件費（参考）	13,463	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	37,433	財源内訳	国・府支出金	52
	決算額	31,933		地方債	0
	残額	5,500		その他 特定財源	2,053
	執行歩合	85.31%		一般財源	29,828

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		生活情報センター施設管理【継続】	28,321	0	0	27,017	01	生活情報センター費
	生活情報センター車両管理【継続】	28	0	0	28	01	生活情報センター費	
	計量法等関係業務【継続】	3,462	52	0	2,783	01	生活情報センター費	
	生活情報センター施設運営【継続】	122	0	0	0	01	生活情報センター費	
	生活情報センター改修事業【新規】	0	0	0	0	01	生活情報センター整備	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	安全対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3)交通安全意識の向上を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課	030100 危機管理課 604500 児童生徒課		

事業概要	<p>○個人所有のため池における転落等の事故を未然に防止し、市民の生命の安全を図るために、注意喚起等を行います。</p> <p>○交通ルールの遵守と交通マナーの向上のために、交通安全教室や啓発行事等を通じて、市民一人一人に交通安全思想を普及徹底します。</p>
当該年度の実績	<p>○個人所有のため池の点検を行い、小学生・中学生へチラシを配布しました。</p> <p>○コロナ禍のためオンライン形式で交通安全教室を実施しました。10月以降は一部対面形式での交通安全教室も再開しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○個人所有のため池において、柵等が破損している部分の修繕を所有者に依頼し、実施していただきました。今後も点検を行い、危険な箇所については修繕の依頼を行います。</p> <p>○交通安全教室については、一部対面形式を再開することができ、受講者も増加しました。今後は全面的に対面形式を再開させ、更なる受講者の増加に努めます。</p> <p>また、交通安全教室を実施していない市立小学校については案内を送付するなど実施を促します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	個人所有ため池等箇所数	交通政策課資料	箇所	11	11	11	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	個人所有ため池等の事故件数	交通政策課資料	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	交通安全教室実施回数	交通政策課資料	回	2	33	70	数値	110
	考え方、定義、算出方法など		高等学校、小中学校、幼稚園、保育園、こども園、支援学校の交通安全教室実施回数						
4	目標	交通安全に関する講習会の実施回数	交通政策課資料	回	0	0	0	数値	60
	考え方、定義、算出方法など		高齢者向け交通安全講習会、安全運転者講習会、自治会・地域での交通安全啓発の実施回数						
5	目標	交通安全教室参加のべ人数	交通政策課資料	人	607	12,575	17,589	数値	30,000
	考え方、定義、算出方法など		高等学校、小中学校、幼稚園、保育所、こども園、支援学校の交通安全教室参加のべ人数						

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	交通安全対策基本法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府交通安全計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	ため池等の危険防止に関する条例、「交通事故をなくす運動」豊中市推進協議会設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,657	人件費（参考）	24,705	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,657	財源内訳 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,380		地方債	0
	残額	277		その他 特定財源	1,359
	執行歩合	83.28%		一般財源	21

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	交通安全啓発事業【継続】	1,359	0	0	0	01	安全都市推進費
	ため池等の安全対策【継続】	21	0	0	21	01	安全都市推進費

A large, irregular teal shape with a small notch at the top left, serving as a background for the chapter title.

第 3 章



3-1 快適な都市環境の保全・創造

良好な環境が保全され、うるおいのある自然環境や都市のみどりのもとで、心豊かな暮らしができるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます	1事業
①環境教育・学習の推進	
②環境に関する啓発活動の推進	
環境政策の推進	環境部 環境政策課
(2)自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます	11事業
①公園緑地の整備・充実	
②都市緑化の推進	
③農地の保全・活用	
④多様な生物の生息空間の保全・創造	
⑤環境美化活動の促進	
農業振興事業	都市活力部 産業振興課
美化啓発事業	環境部 美化推進課
公園運営事業	環境部 公園みどり推進課
堆肥化事業	環境部 公園みどり推進課
緑化事業	環境部 公園みどり推進課
自然環境保全事業	環境部 公園みどり推進課
河川関連業務	都市基盤部 基盤管理課
水路施設整備事業	都市基盤部 基盤保全課
水路施設管理事業	都市基盤部 基盤保全課
ホタル飼育・公開事業	都市基盤部 維持修繕課
水路の維持管理事業	都市基盤部 維持修繕課

(3)環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3事業
①環境汚染防止対策の充実・推進	
共同利用施設施設管理事業	都市活力部 空港課
空港周辺対策事業	都市活力部 空港課
環境保全対策の推進	環境部 環境政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境政策の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進め	総合計画掲載ページ	68
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○環境基本条例に掲げる4つの基本理念と6つの基本政策に沿った持続発展可能な社会を実現するため、環境基本計画で定めた環境目標の進捗状況をPDCAサイクルに基づき進行管理し、事業の推進を図ります。</p> <p>○環境基本計画と両輪の位置づけにある市民・事業者・行政の行動計画である豊中アジェンダ21の普及促進を行います。</p> <p>○環境の保全等に関する情報発信の拠点施設である環境交流センターの運営・管理を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○【拡充】「第3次豊中市環境基本計画」の中間見直しを行うとともに、年度評価書「とよなかの環境」を環境審議会を経て作成しました。</p> <p>○「地域循環型共生圏」の構築などを目的に、吹田市・能勢町と合同で「里山デイキャンプ」を実施するとともに、イベントでの燃料電池自動車の展示等、電動車の普及啓発を行いました。また、事業者・大学の協力のもと、交通環境学習「くるま大集合」を実施しました。</p> <p>○市民・事業者・行政の環境問題解決に向けての取組みの発表と交流、及び市民への環境問題の発信の場等を設けるため、「とよなか市民環境展」を「とよなか市民環境会議」等と共催で開催し、行動計画「第3次豊中アジェンダ21」の普及啓発を図りました。</p> <p>○【拡充】「第3次豊中アジェンダ21」の中間見直しに向けた検討の中で、「豊中アジェンダ21」について市民に広く知ってもらう機会として市民ワークショップや展示会を開催しました。</p> <p>○環境交流センターを起点に、地球環境保全等に関する活動のための交流の場の提供、情報の収集及び提供、講座の開催及び啓発などを実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○環境を取り巻く情勢の変化をふまえ、新たな課題に対応すべく、環境に関わる取組みの指針として、「第3次豊中市環境基本計画（改定）」を策定しました。今後は、この計画に基づき、環境施策を推進していきます。</p> <p>○「とよなか市民環境展」等イベント時に環境問題を身近に感じてもらえるよう工夫をすることで、市民の環境問題に関する意識の向上につながりました。環境学習やイベント等の内容を適宜見直しながら、子育て世代等においても参加しやすく、環境意識の向上につながる場として発展させていきます。</p> <p>○来年度に予定している「第3次豊中アジェンダ21」の改定に向けて、市民ワークショップや展示会を開催し、環境に関する行動提案について意見を聞くなど、より市民目線で分かりやすい内容となるよう工夫しました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	環境交流センター来館者数	環境報告書	人	9,822	11,900	15,763	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	とよなか市民環境展参加者数	環境報告書	人	691	1,682	2,232	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	「とよなか市民環境会議」構成団体数	担当課調査	団体	136	134	133	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	交通環境学習（教育）実施回数	担当課調査	回	0	0	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	環境基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	環境基本条例、環境交流センター条例、環境審議会規則、第3次環境基本計画、第3次豊中アジェンダ21

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	45,596	人件費（参考）	34,830	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△5,286	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	40,310	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	36,467		地方債	0
	残額	3,843		その他 特定財源	67
	執行歩合	90.47%		一般財源	36,400

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		環境基本計画の推進【拡充】	10,208	0	0	10,208	01
	環境学習の推進【拡充】	1,767	0	0	1,767	01	生活環境費
	とよなか市民環境展【継続】	1,678	0	0	1,678	01	生活環境費
	豊中アジェンダ21の普及促進【拡充】	4,277	0	0	4,277	01	生活環境費
	環境審議会【継続】	458	0	0	458	01	生活環境費
	環境交流センター運営管理【継続】	16,130	0	0	16,063	01	生活環境費
	環境交流センター施設管理【継続】	1,949	0	0	1,949	01	生活環境費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	農業振興事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 400500 都市計画課 800100 農業委員会事務局		

事業概要	豊中市都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取組みを展開します。
------	---

当該年度の実績	<p>○農業の活性化と農地の持つ多面的機能の保全・活用を図りました。</p> <p>○市民農業体験事業として、さつまいもの栽培体験、玉ねぎの栽培体験を行いました。参加実績：たまねぎ 30組（大人54人 子ども40人）さつまいも 24組（大人45人 子ども27人）</p> <p>市と貸付協定を締結した市民農園開設者に対して運営費を助成しました。実績：農園数 21 農園 区画数 824区画 面積19,520㎡ 助成金額597,700円</p> <p>○市内の300㎡以上の農地にレンゲ等の草花を栽培し、開花時に市民を対象としたイベントの場や、児童等の体験学習の場として無償で花畑を開放した農地所有者に対し助成金を交付しました。実績：助成対象農地 8件 面積 16,436.49㎡ 助成金額421,302円</p> <p>○市民と農業者の交流の場とし、市民の農業に対する理解と認識を深めるとことを目的とした「農業祭」を開催し、豊中市産野菜等の直売等を実施しました。参加実績：3,000人</p> <p>○地産地消の推進を目的として、農業祭や朝市等で豊中市産の農産物の直売、学校給食等への地産物の出荷を行った市内の農業者に対しその費用の一部を助成しました。実績：助成対象者延べ49人、3 農業団体 助成金額1,153,963円</p> <p>○豊中市農業経営者協議会及び農業協同組合等との連携・協働の強化により地産地消の推進、都市農業の啓発、緑地空間としての農地の活用を図りました。</p> <p>○農業施設等の導入により効率的な農業経営を目指すことを目的として、野菜等の栽培や出荷を行うために必要と認められる機材等の購入に対する経費を農業者に対して助成しました。実績：申請件数1件 助成金額46,000円</p> <p>○地域振興作物等を生産、販売した農家を支援しました。営農状況を把握するとともに、農業者に対して、国や大阪府の各種補助金等の制度の案内及び申請書の進達を行いました。</p> <p>○農地の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化・保全管理構想の作成活動を支援する目的で、農業団体に対し交付金を支払いました。実績：申請件数1件 交付金額95,800円</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○市民農業体験事業や市民農園事業を通して、市民の方に、都市における農業への理解を深めていただくことができました。</p> <p>○農業者の高齢化が進み、担い手不足と農地の適切な管理が困難となっているのが課題です。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○課題を解消するために、市民農業体験等の事業を通じて農業の担い手を確保するとともに、都市農地貸借法等を活用し、農業者と担い手のマッチングを行う等、農業を継続できる体制づくりに取り組みます。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民農園開設数	担当課調べ	農園	22	22	21	数値	26
	考え方、定義、算出方法など	「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づき、生産緑地を市民農園としての開設を促す。							
2	目標	豊中市産農産物を利用した商品開発	担当課調べ	種類	0	0	0	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	豊中市都市農業振興基本計画に基づくチャレンジプロジェクトの実現化							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	都市農業振興基本法・農地法・生産緑地法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市都市農業振興基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	11,325	人件費（参考）	12,960	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	11,526	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	394
	決算額	9,491		地方債	0
	残額	2,035		その他 特定財源	108
	執行歩合	82.34%		一般財源	8,989

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		農政事務【継続】	5,448	120	0	5,328	01
	市民農園【継続】	1,287	0	0	1,179	01	農業振興費
	花畑開放【継続】	491	0	0	491	01	農業振興費
	農業祭【継続】	654	0	0	654	01	農業振興費
	地産地消推進補助事業【継続】	1,154	0	0	1,154	01	農業振興費
	農業振興補助事業【継続】	84	0	0	84	01	農業振興費
	農業近代化施設等事業補助金【継続】	46	0	0	46	01	農業振興費
	経営所得安定対策【継続】	202	202	0	0	01	農業振興費
	農地維持共同活動支援事業【継続】	96	72	0	24	01	農業振興費
	都市農業振興計画【継続】	29	0	0	29	01	農業振興費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	美化啓発事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	232500 環境部・美化推進課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市内におけるポイ捨てや犬のふん放置、美観を損なう屋外広告物の表示をなくし、美しいまちをつくるため、路上喫煙の防止を含めて「ポイ捨てなどをしない人づくり・しにくい地域づくり」のための取組みを推進し、快適な生活環境を確保していきます。</p>
当該年度の実績	<p>○路上喫煙禁止区域における周知啓発活動を実施するとともに、禁止区域内に設置している屋外分煙所の維持管理を実施しました。 ○美化推進重点地区における清掃活動（141回）及び周知啓発活動を実施しました。 ○これからの次世代を担う子どもたちに対し、環境美化意識の向上を図るため、環境美化ポスター（437点）・幼児図画（515点）の募集及び出前講座（3回）を実施しました。 ○市内一円で不法投棄物及び散乱ごみの処理を実施しました。 ○市内全小学校区内を見回る青色防犯パトロールを不法投棄防止パトロールとあわせて実施しました。 ○空き地の雑草の繁茂や不法投棄物等により適正に管理されていない場合に、雑草の除草や不法投棄物の撤去と再発防止を指導しました。（要望件数118件、改善件数113件） ○市と団体が地域清掃に関する役割について覚書を締結するアダプト活動団体（26団体）の支援を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○関係部局との連携や不法投棄防止パトロールなどを実施したことで、不法投棄廃家電の処分台数や市内11駅周辺の散乱ごみの減少につながりました。 ○路上喫煙禁止区域や美化推進重点地区での周知啓発活動、これからの次世代を担う子どもたちへの環境美化学習などの美化啓発事業を引き続き実施することで、「ポイ捨てなどをしない人づくり・しにくい地域づくり」のための取組みを推進していきます。 ○地域清掃活動調査や広報とよなかを通じて呼び掛けを行った結果、市と団体が地域清掃に関する役割について覚書を締結するアダプト活動団体は前年度より2団体増加しました。 ○地域清掃活動を行っている方々の高齢化が顕著となっていることで地域清掃活動の不活性化が懸念されるが、ホームページ等の広報媒体で市民・団体に向けて、地域清掃活動のPRを行っています。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	目標
1	参考	市内11駅周辺散乱ごみ調査	担当課集計	個	1.4	1.5	1	数値年	
	考え方、定義、算出方法など	100㎡あたりのごみの量（個数）＝散乱ごみ量（個数）÷面積（㎡）×100							
2	参考	路上喫煙禁止区域周知啓発活動	担当課集計	回数	76	85	244	数値年	75 当該
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	美化ポスター応募点数	担当課集計	点数	-	602	437	数値年	700 当該
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	アダプトシステム事業締結団体	担当課集計	数	24	24	26	数値年	25 当該
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	不法投棄廃家電処分台数	担当課集計	台数	63	38	33	数値年	
	考え方、定義、算出方法など	不法投棄された家電リサイクル法対象品（エアコン、テレビ、冷凍冷蔵庫、洗濯機）の処理台数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市美しいまちづくりの推進に関する条例、豊中市屋外広告物条例、

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,393	人件費（参考）	96,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,393	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	11,377		地方債	0
	残額	7,016		その他 特定財源	60
	執行歩合	61.86%		一般財源	11,317

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		美しいまちづくりの推進に関する条例事業【継続】	254	0	0	254	01
	路上喫煙対策推進事業【継続】	4,694	0	0	4,694	01	美化推進費
	美化啓発行事【継続】	69	0	0	69	01	美化推進費
	子ども環境美化学習事業【継続】	504	0	0	504	01	美化推進費
	地域美化活動事業【継続】	4,988	0	0	4,988	01	美化推進費
	空き地管理指導対策事業【継続】	20	0	0	20	01	美化推進費
	パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業【継続】	848	0	0	788	01	美化推進費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公園運営事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	030000 危機管理課 211000 スポーツ振興課 211500 空港課 260100 財政課 262500 資産管理課 402500 開発審査課 430500 基盤整備課 431500 基盤保全課 432000 維持修繕課 53050		

事業概要	<p>○市民が安全で快適に公園を利用できる状態を維持するため、既存公園の機能保全・向上を目的とした再整備、一部改修及びその計画等を行います。また、施設の点検、植栽管理、許認可等による適正な公園管理運営を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○本町3丁目、刀根山6丁目第2、東豊中1丁目第5、城山町1丁目第2、大門公園において、遊具改修工事を行い、城山町1丁目、服部南町1丁目、穂積南、庄内幸町2丁目、庄内西町2丁目、日出町公園において、園路等の公園施設のバリアフリー化工事を行いました。</p> <p>○千里中央公園、轟木公園、幸町公園において施設の改修工事を行いました。</p> <p>○千里中央公園において公民連携による再整備事業を実施するとともに、第2フェーズ以降の整備に向けた費用対効果分析や施設改修等の実施設計を行いました。</p> <p>○名神高速道路耐震補強工事に伴い、名神小曾根広場、名神浜児童遊園の撤去を行いました。また、NEXCO西日本へ土地の返還のため、名神学園前、名神穂積、名神稲津広場児童遊園については廃止工事を実施しました。</p> <p>○公園に関する開発許可関連事務では、都市計画法や土地利用に関する条例に基づく開発協議を行いました。</p> <p>○公園みどり総合情報システム事業では、公園管理の基礎となる都市公園台帳をデジタル化し一元管理を行いました。</p> <p>○土木工事積算システムの運用を行いました。</p> <p>○公園維持管理事業では、公園等の植栽管理、施設修繕、光熱費の支払や借地公園の借上げ等の維持管理を行いました。</p> <p>○公園施設維持管理事業では、公園等にある電気施設や遊具点検の実施、砂場殺菌等を行いました。</p> <p>○公園等自主管理協定制度事業では、公園での清掃活動等に関する協定を市と地域団体等で締結し、活動内容について役割分担をし、公園の運営を行いその活動に対して交付金を支払いました。</p> <p>○ふれあい緑地主催事業では、ふれあい緑地フェスティバルを実施しました。</p> <p>○ふれあい緑地施設管理では、植栽管理、施設修繕等、ふれあい緑地の維持管理を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○公園施設の更新に伴い、より安全性の高い施設を長期にわたって使用できる公園数が増えました。今後も計画にのっとり、継続して遊具更新を実施します。</p> <p>○施設のバリアフリー化工事により、身障者をはじめ多くの市民に利用し易い公園が増えました。既存施設の改修のため設計上の制約が課題となりますが、今後も継続的に公園の利便性の向上に取り組みます。</p> <p>○借地公園の廃止・土地返還により維持管理に係る負担を低減できる見込みです。</p> <p>○公民連携事業により公園の価値を向上させ賑わいを創出することができました。市民のライフスタイルの変化に伴うニーズの多様化に対応すべく、今後も公園の利活用がより一層図られるよう、公園それぞれの特性に応じた魅力ある公園づくりを行います。</p> <p>○公園施設やみどりを適正に管理することにより、利用者が快適でうるおいのある空間を市民に提供することができました。維持管理業務の多様化などにより、事務量が增大していますが、公園樹木維持管理方針に基づき、今後も計画的な公園樹木の適正な維持管理を行います。</p> <p>○都市緑地法に基づく買入れ申し出のあった、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区内の土地2筆について、令和5年度に特別会計による先行取得を行います。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	7.17
1	目標	1人あたりの公園面積	担当課調査	m ²	7.09	7.11	7.12	数値	7.17
	考え方、定義、算出方法など	当該年度3.31時点の公園面積／翌日4.1時点の推計人口							
2	参考	開設公園数	担当課調査	箇所	479	479	479	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度3.31時点の公園数（都市計画公園+都市公園+児童遊園）							
3	参考	施設の改築・更新実施公園数（安全安心対策）	担当課調査	箇所	13	12	11	数値	
	考え方、定義、算出方法など	施設の改築・更新工事実施公園の数							
4	参考	自主管理協定箇所数	担当課調査	箇所	217	213	215	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市公園法 都市緑地法 都市計画法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市都市公園条例 豊中市都市公園条例施行規則 地域住民団体による公園等の自主管理協定に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	742,569	人件費（参考）	139,904	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	248,423	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	778,536	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	16,500
	決算額	677,200		地方債	44,000
	残額	101,336		その他 特定財源	3,059
	執行歩合	86.98%		一般財源	613,641

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
公園安全安心対策事業【継続】	113,124	16,500	44,000	52,624	01	公園整備費
公園整備・小改良事業【継続】	34,014	0	0	34,014	01	公園整備費
公園維持管理事業【継続】	388,926	0	0	388,926	01	公園維持費
公園施設維持管理事業【継続】	50,537	0	0	50,537	01	公園維持費
公園等自主管理協定制度事業【継続】	10,300	0	0	10,300	01	公園維持費
公園に関する開発許可関連事務【継続】	120	0	0	120	01	公園維持費
公園みどり総合情報システムの運用【継続】	2,018	0	0	2,018	01	公園維持費
土木工事積算システムの運用【継続】	817	0	0	817	01	公園維持費
公園管理事務所施設管理【継続】	2,214	0	0	2,214	01	公園維持費
公園管理事務所車両管理【継続】	2,401	0	0	2,401	01	公園維持費
公園等有効活用事業【継続】	28,914	0	0	28,914	01	公園整備費
公共用地先行取得事業（公園みどり推進課）【継続】	0	0	0	0	47	公共用地先行取得事業
ふれあい緑地主催事業【継続】	3,824	0	0	765	01	公園維持費
ふれあい緑地施設管理【継続】	39,991	0	0	39,991	01	公園維持費
ふれあい緑地施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	公園整備費
一般会計繰出金【継続】	0	0	0	0	47	他会計繰出金

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	堆肥化事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	232000 減量計画課 600500 学校給食課 900300 再資源・搬入課		

事業概要	<p>○持続的な循環型社会の形成のため、行政に率先垂範として、堆肥化施設「緑と食品のリサイクルプラザ」において、小学校の給食残渣と公園や街路樹の剪定枝チップを材料として、堆肥「とよっぴー」を製造します。出来上がった堆肥は、市民との協働等により、様々な資源循環啓発や環境学習等に活用します。</p>
当該年度の実績	<p>○市民等との協働によるイベント「とよっぴーフェスタ」「とよっぴー展」を開催しました。</p> <p>○緑と食品のリサイクルプラザの施設管理を行いました。</p> <p>○緑と食品のリサイクルプラザの車両管理を行いました。</p> <p>○堆肥「とよっぴー」を製造し、出来上がった「とよっぴー」を活用した資源循環啓発を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○イベントの開催により幅広い年代に向けて、地産地消や資源循環の啓発ができました。</p> <p>○堆肥「とよっぴー」を活用した「生ごみ堆肥化講習会」や「農体験」などの資源循環の啓発ができました。</p> <p>○引き続き市民との協働や委託等による資源循環啓発を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	堆肥「とよっぴー」配布量	担当課調査	トン	76	93	95	数値	
	考え方、定義、算出方法など	事業を協働する特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク提供							
2	目標	資源循環啓発学習会参加者数	担当課調査	人	649	797	1,401	数値	4000
	考え方、定義、算出方法など	講座型環境学習、農体験学習参加者数							
3	目標	生ごみ堆肥化・栽培講習会参加者数	担当課調査	人	152	207	276	数値	200
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	堆肥化施設見学者数	担当課調査	人	370	639	487	数値	500
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	とよっぴーフェスタ来場者数	担当課調査	人	0	0	350	数値	1000
	考え方、定義、算出方法など	事業を協働する特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク提供							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境基本条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	18,943	人件費 (参考)	11,169	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	2	公債費 (参考)	1,917	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	18,945	財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	17,664		地方債	0
	残額	1,281		その他 特定財源	474
	執行歩合	93.24%		一般財源	17,190

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		生ごみ・剪定枝堆肥化事業【継続】	6,965	0	0	6,965	01
	緑と食品のリサイクルプラザ施設管理【継続】	2,317	0	0	1,843	01	生ごみ・剪定枝堆肥化
	緑と食品のリサイクルプラザ車両管理【継続】	1,203	0	0	1,203	01	生ごみ・剪定枝堆肥化
	緑と食品のリサイクルプラザ主催事業【継続】	7,179	0	0	7,179	01	生ごみ・剪定枝堆肥化

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	緑化事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	230100 環境政策課 260100 財政課		

事業概要	<p>○潤いや安らぎあるみどりの創出及び保全を図るため、第2次豊中市みどりの基本計画の運用並びに進行管理を行うとともに、市民が取り組む緑化活動に対する支援や、緑化事業基金の活用等による緑化を推進します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○新たな緑化支援制度として「3軒から始まるご近所緑化支援制度」、「生垣緑化・沿道緑化助成金交付制度」を策定しました。</p> <p>○豊中みどりの交流会において「みどりのファースト」、「みどりのつどい」などのイベントを開催しました。</p> <p>○市内全域のフラワーポットの見直しを行いました。</p> <p>○令和3年度（2021年度）に実施した緑被量等調査や市民意識調査の調査結果をもとに、第2次豊中市みどりの基本計画」の中間総括を実施し、今後の5年間の施策方針について取りまとめました。</p> <p>○「第2次豊中市みどりの基本計画」の計画目標及びモニター指標を用いて、施策に基づく事業の状況把握と評価を行いました。</p> <p>○「緑化事業基金」の積立及び取崩を適正に執行し、基金の管理を行いました。また、大口の寄附金の活用について、寄付者の意向も踏まえ検討を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談業務を行うとともに、花とみどりの講習会や緑化リーダー養成講座を実施しました。また、豊中緑化リーダー会への支援や豊中緑化リーダー会との協働により緑化の推進と緑化に関する啓発を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談所の施設管理を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談所の車両管理を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新たな緑化助成制度への市民の参加により、民有地緑化の推進につながりました。</p> <p>○イベントを市南部地区で開催したことにより緑化重点地区の緑化の推進につながりました。</p> <p>○駅前等におけるフラワーポットの再配置により、管理効率や視覚効果が向上しました。</p> <p>○「第2次豊中市みどりの基本計画」に基づく具体施策等を着実に推進することができました。引き続き、中間総括で取りまとめた施策方針に基づき施策を推進するとともに、PDCAサイクルを用いた進行管理を行います。</p> <p>○運用益金により、市民との協働によりみどりの活動を推進する場の「豊中みどりの交流会」及び市と協働で緑化活動を推進する「豊中緑化リーダー会」の活動を支援することができました。次年度以降には大口の寄附金を活用し、公園の一部について整備を実施します。</p> <p>○豊中緑化リーダー会の支援及び豊中緑化リーダー会との協働により、花とみどりに関する啓発や市内の緑化に寄与することができました。</p> <p>○緑化リーダー養成講座を実施することにより、地域で緑化活動を行う人材育成を行い、また、花とみどりに関する相談や講習会の実施により、花とみどりに関する啓発活動を行いました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値 年	27.0 令和9年度
1	目標	みどり率	担当課調査	%	25.7	24.1	24.1	数値 年	27.0 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	直近の調査年度：平成27年度 みどり率：（樹林・樹木＋草地＋水面＋農地＋屋上緑化）／市域面積							
2	目標	緑被率	担当課調査	%	14.4	12.9	12.9	数値 年	15.7 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	直近の調査年度：平成27年度 緑被率：樹林・樹木／市域面積							
3	目標	緑化樹配布本数	担当課調査	本	2,303	3,270	2,064	数値 年	7000 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	豊中緑化リーダー会会員数	担当課調査	人	124	130	121	数値 年	136 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	寄付金額	担当課調査	円	3,383,617	6,999,671	14,093,032	数値 年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市公園法「都市緑地法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	みどりの大阪推進計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境基本条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	94,680	人件費（参考）	47,432	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	97,681	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	82,072		地方債	0
	残額	15,609		その他 特定財源	14,797
	執行歩合	84.02%		一般財源	67,275

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	緑化推進事業【継続】	12,646	0	0	12,586	01	緑化費
	花いっぱい運動事業【継続】	36,080	0	0	36,080	01	緑化費
	緑化事業基金事業【継続】	14,131	0	0	0	01	緑化費
	花とみどりの相談所一般事務事業【継続】	3,680	0	0	3,680	01	緑化費
	花とみどりの相談所施設管理【継続】	1,211	0	0	1,211	01	緑化費
	花とみどりの相談所車両管理【継続】	430	0	0	430	01	緑化費
	花とみどりの相談所主催事業【継続】	9,733	0	0	9,127	01	緑化費
	みどりの基本計画進行管理事業【継続】	3,244	0	0	3,244	01	緑化費
	みどりの交流会運営事業【継続】	917	0	0	917	01	緑化費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自然環境保全事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	030100 危機管理課 230100 環境政策課 432000 維持修繕課 560500 警防課		

事業概要	<p>○市内に残された貴重な自然環境を保全するため、法令や市民との協働による森林や里山などの保全活動を行うとともに自然環境についての啓発を行います。そのほか、野生鳥獣に関する相談や有害鳥獣の捕獲許可申請事務等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○コロナにより中止していたヒメボタル学習会・観察会を3年ぶりに開催しました。 ○市内の自然環境の啓発に関するイベントを111回開催し、4,306人の参加がありました。 ○風致保安林の整備工事のための調査・設計を行いました。 ○有害鳥獣の捕獲許可や相談事務等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○ヒメボタル学習会・観察会の開催により、希少な自然環境の保全意識の啓発ができました。また、ヒメボタルが生息する「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の保全を継続していく必要があります。 ○講座型や体験型など多様な自然環境学習の開催により、広い年代に向けて啓発ができました。 ○風致保安林の安全管理と保全のため、今年度を実施した設計に基づき、令和5年度に整備工事を行います。 ○野生鳥獣の相談や苦情対応により、野生鳥獣との接し方について啓発できました。 ○春日町ヒメボタル特別緑地保全地区について、整備や土地の買戻しが発生した際は、国費を活用しながら計画的に整備を行います。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	自然環境啓発イベントの参加者数	担当課調査	人	1,578	2,524	4,306	数値	1500
	考え方、定義、算出方法など	ヒメボタル（学習会、幼虫調査）、自然環境啓発（AG）、島熊山（活動、観察会）、ふれあい学習							
2	目標	ヒメボタル学習会・観察会参加者数	担当課調査	人	0	0	94	数値	200
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	保護樹指定本数	担当課調査	本	137	135	133	数値	140
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	鳥獣に関する相談件数	担当課調査	件	689	731	818	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	鳥獣捕獲許可件数	担当課調査	件	80	133	109	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市緑地法 森林法 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府環境農林水産行政事務に係る事務処理の特例に関する条例 大阪府地方分権推進制度 大阪地域森林計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境の保全等の推進に関する条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	15,995	人件費 (参考)	20,979	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	26,170	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	15,995	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	388
	決算額	13,964		地方債	0
	残額	2,031		その他 特定財源	0
	執行歩合	87.30%		一般財源	13,576

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
ヒメボタル保全事業【継続】	2,299	0	0	2,299	01	生活環境費
自然環境啓発事業【継続】	3,902	0	0	3,902	01	生活環境費
自然環境保全事業【継続】	7,097	0	0	7,097	01	生活環境費
鳥獣保護管理事業【継続】	666	388	0	278	01	生活環境費
春日町ヒメボタル特別緑地保全地区 整備事業【継続】	0	0	0	0	01	特別緑地保全地区整備

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	河川関連業務	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課			

事業概要	○市の意見聴取が法的に義務付けられているため、河川法第24条の経由事務を行います。
------	---

当該年度の実績	○河川法第24条に基づき河川管理者が占用を許可する際には、本市における地域開発計画等との整合性や住民の生活環境への影響について、意見聴取が義務付けられており、26件の経由事務を実施しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○占用許可内容を確認することで、本市における地域開発計画や住民の生活環境を把握することができました。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	河川法許可申請経由件数	市政年監	件	18	29	26	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	河川法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	100	人件費（参考）	6,642	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	100	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	96		地方債	0
	残額	4		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.00%		一般財源	96

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		河川施設維持管理事業【継続】	96	0	0	96	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○老朽化した水路施設を良好な状況に保ち長寿命化対策を図るため、計画的に施設を更新します。</p>
当該年度の実績	<p>○水路施設小改良 箕輪第9号水路外の詳細設計委託や中央幹線水路転倒ゲートの点検を実施しました。</p> <p>○深井戸点検システム整備事業 平成27年度から令和元年度にかけて深井戸遠隔監視システムを構築したことから、全13か所の10年間の賃貸借契約を継続しました。</p> <p>○深井戸ポンプ整備 蛍池深井戸ポンプの整備工事を実施しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○水路施設小改良 老朽化した水路施設の改修設計や点検整備を行うことにより、農業用施設の長寿命化が図られ、良好な機能保持ができました。 今後も老朽化した水路施設の改修や点検整備を行うことにより、農業用施設の長寿命化を図り、市内に限られた農空間の整備を実施します。</p> <p>○深井戸点検システム整備事業 農業用深井戸の運転状況等を把握することにより、施設の予防保全を実施し、ライフサイクルコストの縮減につながりました。 今後も深井戸ポンプの予防保全には必要な監視システムであるため、継続していく方向で検討を進めます。</p> <p>○深井戸ポンプ整備 深井戸ポンプを良好な状態に保ち、安定した農業用水の供給を行いました。 今後も農業用水の安定供給のため、地下水の取水施設である深井戸ポンプを良好な状態で維持管理します。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	水路施設改修箇所数	水路改修計画（案）	箇所	27	2	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	豊中市管理水路現況調査委託の健全度評価に基づく施設更新が必要な箇所数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	40,135	人件費（参考）	9,396	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	32,633	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	32,630		地方債	0
	残額	3		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.99%		一般財源	32,630

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	水路施設小改良【継続】	18,161	0	0	18,161	01	水路整備費	
	深井戸点検システム整備事業【継続】	8,133	0	0	8,133	01	水路整備費	
	急速ろ過施設再整備事業【継続】	0	0	0	0	01	水路整備費	
	深井戸ポンプ整備【継続】	6,336	0	0	6,336	01	水路整備費	
	二ノ切北深井戸改修事業【新規】	0	0	0	0	01	水路整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○水路施設及び親水水路を良好な状態に保ち長寿命化対策を図るため、適正な維持管理を行い計画的に施設を更新します。</p>
当該年度の実績	<p>○水路施設維持修繕 水路の相談を受け付け、調査し対応しました。 水路施設の機能保持のための修繕、改修を実施しました。</p> <p>○水利団体等関連事務 地元水利団体からの要望を受け付け、対応しました。 土地改良区の監事会、理事会、総会の事務支援を実施しました。</p> <p>○農業用施設管理 農業用施設（深井戸21か所、樋門及びポンプ16か所、池の曝気筒4か所）の設備の維持管理を実施しました。</p> <p>○農業用施設管理（財産区） 農業用施設（財産区から引継いだ深井戸の内7か所）の深井戸運転に伴う電気料金の支払い事務を実施しました。</p> <p>○急速ろ過施設維持管理 親水水路の新豊島川に原田処理場の処理水を送水する施設の修繕等の維持管理を実施しました。</p> <p>○親水水路緑道維持管理 親水水路における市民からの相談及び要望を受け付け、調査、対応しました。 親水水路景観施設の維持管理（園路、植樹帯等の清掃、植栽管理）を業務委託により実施しました。 親水水路施設の老朽化に対する修繕及び改修を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○水路施設維持修繕 水路施設を良好な状態にし、機能保持を図りました。 今後も水路施設の機能を保持し、市民の良好な生活環境を確保します。 市民からの通報や要望に対して、緊急度や優先度を総合的に勘案し、適切に対応します。</p> <p>○水利団体等関連事務 水利関連団体との情報共有、連携を図ることにより、水路施設を良好な状態に維持することができました。</p> <p>○農業用施設管理 農業用水の安定供給、水路の景観形成及び大雨の雨水排除、池の水質浄化ができました。</p> <p>○農業用施設管理（財産区） 財産区からの寄付金により管理している深井戸の管理を行い、耕作に必要な農業用水の安定供給ができました。</p> <p>○急速ろ過施設維持管理 親水水路の新豊島川に処理水の安定供給ができました。</p> <p>○親水水路緑道維持管理 市民に潤いのある生活環境を提供し、緑道の景観及び水と親しむ機会を与えることができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	水路要望受付件数	受付情報システム	件	46	54	36	数値	
	考え方、定義、算出方法など	水路に関する要望等の受付件数							
2	参考	親水水路要望受付件数	受付情報システム	件	16	21	20	数値	
	考え方、定義、算出方法など	親水水路に関する要望等の受付件数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	74,620	人件費(参考)	28,755	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△242	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	79,116	財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	64,768		地方債	0
	残額	14,348		その他 特定財源	2,101
	執行歩合	81.86%		一般財源	62,667

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
水利団体等関連事務【継続】	1,080	0	0	1,080	01	水路管理費
農業用施設管理【継続】	8,831	0	0	8,831	01	水路管理費
農業用施設管理(財産区)【継続】	2,101	0	0	0	01	水路管理費
急速ろ過施設維持管理【継続】	9,707	0	0	9,707	01	水路管理費
親水水路緑道維持管理【継続】	39,484	0	0	39,484	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ホタル飼育・公開事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課			

事業概要	○ほたるのタペ開催のため、ヘイケ・ゲンジホタル幼虫の飼育を行います。
当該年度の実績	○開催3日間で6,090名が鑑賞に来られました。 コロナウイルス感染拡大防止策としてほたるのタペの開催を2020年2021年の2年間の中止していた為、例年より鑑賞者数も増加しました。 来年度のほたるのタペ開催にあたり、ヘイケ・ゲンジホタルの産卵と幼虫の飼育を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○来場者の駐輪場の確保が近隣では困難な状況にあります。 親水水路からのろ過供給ポンプも故障時に水が不足し飼育にも影響があります。 警備員を配置していますが、来場者数も増加傾向にあり増員も含め検討課題です。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	ほたるのタペ鑑賞者数	管理年報	人	0	0	6,090	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	2020・2021年度	コロナウイルス感染拡大防止の為中止						
2								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,174	人件費（参考）	5,457	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,174	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2,810		地方債	0
	残額	364		その他 特定財源	0
	執行歩合	88.53%		一般財源	2,810

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	ホタル飼育・公開事業【継続】	2,810	0	0	2,810	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路の維持管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課			

事業概要	○水路に係る様々な相談に対応するため、水路の機能保持に努め、市民の良好な生活環境を確保します。
------	---

当該年度の実績	○水路の維持管理のための、清掃、修繕、改修活動をおこないました。 水路敷の除草及び樹木剪定業務の委託を行いました。
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○一部委託により、コスト削減や職員の敏速で丁寧な市民対応による効率的な業務を遂行しています。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	清掃延長距離	管理年報	m	63,467	92,720	109,807	数値	
	考え方、定義、算出方法など	清掃延長距離						年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	26,569	人件費（参考）	53,706	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	26,569	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	25,552		地方債	0
	残額	1,017		その他特定財源	123
	執行歩合	96.17%		一般財源	25,429

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		水路維持清掃【継続】	25,552	0	0	25,429	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	共同利用施設施設管理事業	区分	拡充
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課	263000 施設課		

事業概要	<p>○「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき、航空機騒音により生活が著しく阻害されている大阪国際空港周辺地域の住民の学習、保育、休養、集会の用に供するために設置した34か所の共同利用施設の維持管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】庄内市民センターの移管を受け、33施設から34施設となった設備の保守点検、植栽の管理、施設の清掃・修繕、消耗品や備品の更新等を行いました。</p> <p>○大阪国際空港周辺地域整備構想や地域コミュニティ拠点施設の再整備プラン等に基づき、共同利用施設の設備の充実と再編方針について、騒音対策区域外の11施設の管理運営委員会に説明・意見交換を行い、記録を関係部局と共有しました。</p> <p>○共同利用施設1か所の空調機器を更新しました。</p> <p>○利倉センターの駐車場・ひろばを整備しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○共同利用施設の利便性が向上しました。</p> <p>○地域コミュニティ拠点施設の再整備プラン等に基づき、施設の再編方針について検討し、管理運営委員会との意見交換を進めます。</p> <p>○個別施設計画等に基づき、施設の建替えや大規模改修に向けた取組みを進めます。</p> <p>○学校やこども園の再編に伴う共同利用施設の移設等に向けた対応を関係部局と検討し、管理運営委員会への説明・意見交換を進めます。</p> <p>○リース契約を活用した施設の照明器具のLED化や空港周辺環境整備事業助成を活用したトイレの洋式化を計画的に進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	利用者数（34施設）	担当課調査	人	53,778	67,123	111,604	数値	150,000
		考え方、定義、算出方法など						年	令和4
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	103,488	人件費(参考)	15,390	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	13,648	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	107,796	決算額の 財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	96,998		地方債	0
	残額	10,798		その他 特定財源	381
	執行歩合	89.98%		一般財源	96,617

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	共同利用施設施設管理【拡充】	76,226	0	0	75,845	01	共同利用施設費	
	共同利用施設空調和設備更新事業【継続】	2,365	0	0	2,365	01	共同利用施設整備費	
	共同利用施設改修事業【継続】	18,407	0	0	18,407	01	共同利用施設整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	空港周辺対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○大阪国際空港周辺地域の住民の生活環境の改善を図るため、航空機騒音による障害の発生を防止又は軽減するとともに、騒音防止対策として各種助成事業を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○大阪国際空港周辺都市対策協議会（10市協）や全国民間空港関係市町村協議会（全民協）を通じて安全・環境対策の徹底、利便性の向上等について国や大阪国際空港の運営者等に要望しました。 ○遅延便の低減に向けた取組みの継続を関係機関に要望するとともに、遅延便取扱いのルール化と共通理解の形成に向けて、関係機関や地元住民との協議を2回実施しました。 ○航空機公害対策推進市民運動団体に対する活動費補助（8団体 1,314,366円）や空港周辺環境整備事業助成の活用により、空港周辺対策等の推進を図りました。 ○防音工事済み住宅の空気調和機器更新工事補助金の受付（4月～10月）と補助金を交付しました（随時）。補助件数85件 補助台数111台 補助額 2,663,624円 ○生活保護等世帯の冷房電気料金助成金の受付（11月～12月）と助成金を交付しました（2月）。助成件数 563件 助成額 4,657,758円</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○補助金・助成金の交付により航空機騒音による障害の軽減に寄与しました。 ○遅延便の大幅増に伴い、空港運営者等が示す新たな遅延便対策の効果を見極めながら、関係機関や地元住民と引き続き協議します。 ○生活保護等世帯の冷房電気料金助成制度について、電力会社の多様化や領収書の電子化に伴い、領収書の提出方法が課題となっているため、算出方法等の見直しを検討します。 ○引き続き住宅等への防音関連助成を着実に実施し、生活環境の改善を図ります。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	空気調和機器更新工事補助台数	担当課調査	台	107	109	111	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	生活保護等世帯の冷房電気料金助成件数	担当課調査	件	599	564	563	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律、空港法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	住宅の航空機騒音防止対策事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市空気調和機器更新工事補助金交付要綱、豊中市生活保護等世帯空気調和機器稼働費助成金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,611	人件費（参考）	17,820
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,611	国・府支出金	0
	決算額	9,197	地方債	0
	残額	3,414	その他 特定財源	4,156
	執行歩合	72.93%	一般財源	5,041

財源内訳の

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		目
					(コード)		
防音関連事業【継続】	7,579	0	0	3,423	01		生活環境費
空港周辺対策事業【継続】	1,618	0	0	1,618	01		生活環境費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境保全対策の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課	402000 （空港課）		

事業概要	<p>○事業活動によって発生する公害を防止するため、公害関係法令に基づき、工場・事業場への規制を行います。</p> <p>○大気汚染や河川の水質、航空機騒音や道路騒音などを調査し、豊中の環境の現状を明らかにするとともに、環境基準の達成状況を把握し公表します。</p> <p>○市民から寄せられる公害苦情の解消に当たります。</p> <p>○開発事業における環境負荷の低減等のため、取組みを実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○大気汚染防止法、土壌汚染対策法、大阪府条例などの公害関係条例に基づき、工場・事業場への規制を行うとともに、市民から寄せられる公害苦情の解決に取り組みました。</p> <p>○公共用水域の水質や有害大気物質、自動車騒音など、環境の現状を調査し、環境基準の達成状況を明らかにしました。</p> <p>○（仮称）南校整備に伴い、大気汚染観測局（千成局）を菟江公園に移設する計画を立てました。</p> <p>○開発事業等による環境配慮の協議や環境影響評価などの実施に伴う届出の受付を行いました。また、環境影響評価に関わり環境保全審査会を開催しました。</p> <p>○雨水の有効利用及び下水道施設への流出抑制を図るため、雨水貯留タンク設置に係る費用の一部を助成（助成件数13件、有効容量2,140ℓ、助成金額20,800円）しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大気汚染防止法、土壌汚染対策法、大阪府条例などの公害関係条例に基づき、工場・事業場への立ち入り検査及び指導を行うことができました。また、市民から寄せられた141件の公害苦情に対応することができました。今後も、多様化傾向にある公害発生源への指導及び啓発に取り組みます。</p> <p>○豊中市で環境基準達成状況は、航空機騒音を除き、ほぼ良好な状態を保つことができました。引続き監視を行います。</p> <p>○（仮称）南校整備に伴い、大気汚染観測局（千成局）を菟江公園に令和5年3月31日付けで移設完了することができました。</p> <p>○開発事業等による環境配慮の協議や環境影響評価などの実施に伴う33件の届出を受理することができました。今後も、環境配慮指針に基づき協議を進めていきます。</p> <p>○雨水貯留タンク設置助成金については、制度開始から16年経過し、市域で一定の需要者を満たしたと考え令和4年度で廃止します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	環境配慮協議件数	担当課調査	件	30	35	33	数値	
	考え方、定義、算出方法など	環境配慮協議件数						年	
2	参考	アセス計画、準備書件数	担当課調査	件	0	0	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	アセス計画、準備書件数						年	
3	参考	公害関係苦情受付件数	担当課調査	件	152	142	141	数値	
	考え方、定義、算出方法など	公害関係苦情受付件数						年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音・振動規制法、ダイオキシン類対策特別措置法、土壤汚染対策法、工場立地
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府生活環境の保全等に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境の保全等の推進に関する条例、雨水貯留タンク設置助成金交付規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	70,004	人件費（参考）	70,065	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△729	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	89,251	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	3,212
	決算額	73,047		地方債	0
	残額	16,204		その他 特定財源	0
	執行歩合	81.84%		一般財源	69,835

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	環境保全条例推進【継続】	3,826	0	0	3,826	01	生活環境費
	雨水貯留タンク設置助成事業【継続】	210	0	0	210	01	生活環境費
	工場立地法関連届出業務【継続】	0	0	0	0	01	生活環境費
	大気汚染関係業務【継続】	36,942	3,212	0	33,730	01	生活環境費
	騒音・振動関係業務【継続】	4,200	0	0	4,200	01	生活環境費
	水質汚濁関係業務【継続】	5,920	0	0	5,920	01	生活環境費
	土壤汚染関係業務【継続】	107	0	0	107	01	生活環境費
	公害関係苦情処理業務【継続】	40	0	0	40	01	生活環境費
	公害関係窓口・相談業務【継続】	82	0	0	82	01	生活環境費
	測定局舎維持管理業務【継続】	21,720	0	0	21,720	01	生活環境費



3-2 低炭素・循環型社会の構築

市民一人ひとりが、環境にやさしいライフスタイルを実践し、協働して環境に配慮したまちづくりに取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます	1事業
①省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進	
地球温暖化防止対策の推進	環境部 環境政策課
(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	7事業
①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進	
②廃棄物の適正処理の推進	
ごみ収集運搬事業	環境部 家庭ごみ事業課
ごみ減量推進事業	環境部 家庭ごみ事業課
ごみ減量推進事業	環境部 減量計画課
クリーンランド負担金	環境部 減量計画課
環境事業所施設管理	環境部 減量計画課
ごみ減量推進事業	環境部 事業ごみ指導課
産業廃棄物関連事業	環境部 事業ごみ指導課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地球温暖化防止対策の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	72
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○2050年度までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の実現に向けて、市域における温室効果ガス排出量の抑制として、再生可能エネルギーの導入促進、一人ひとりの行動変容を促す普及啓発、カーボンオフセット等の事業を実施します。</p> <p>○市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた事業を行います。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」の活用による二酸化炭素削減につながる取組みを推進します。</p> <p>○スマートハウス等支援補助金交付制度により、家庭部門の温室効果ガス排出削減を進めます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【拡充】「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）」に基づき、自然体験学習プログラムの構築を行いました。</p> <p>○能勢町・隠岐の島町との「森林環境保全に関する自治体間連携協定」に基づき、カーボンオフセット事業、自然体験学習の実施などに取組みました。</p> <p>○【拡充】「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を見直し、改定しました。また、電力の地産地消可能性調査を実施しました。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」の積立及び取崩しを適正に執行し、基金の管理を行いました。</p> <p>○【新規】スマートハウス等支援補助金交付制度を創設し、省エネと創エネ、蓄電池の設置等に対する補助を実施しました。</p> <p>○「関連データ」の令和3年度の実績値は速報値となっています。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○構築した自然体験学習プログラムをはじめ、各種の環境学習を実施し、子どもや若年層をターゲットとした取組みを進めていきます。</p> <p>○「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画」を見直し、市の事務事業における温室効果ガスの排出量削減に向けての方向性を明らかにすることができました。計画に基づき今後の取組みを進めていきます。</p> <p>○電力の地産地消可能性調査の結果をもとに、今後の事業実施に向け検討を進めていきます。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」を活用し、引続き、自治体連携協定を締結している自治体とのカーボン・オフセット事業を進めます。</p> <p>○スマートハウス等支援補助金交付制度に基づく補助を行い、温室効果ガスの総排出量の抑制につなげました。家庭における温室効果ガスの削減についてさらに周知するため、省エネ家電買い替えキャンペーンなどにより、幅広い層の市民に対しての啓発を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	1人あたり温室効果ガス排出量 平成2年度(1990年度)比	担当課調査	%	-16.5	-17.9	-	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	家庭部門市民1人あたりエネルギー消費量	環境報告書	GJ/人	14.2	13.9	-	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	目標	市役所の温室効果ガス総排出量	担当課調査	t-co2	32,729	32,124	-	数値	26271
		考え方、定義、算出方法など						年	令和9年度
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府気候変動対策の推進に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	環境基本条例、環境の保全等の推進に関する条例、第2次地球温暖化防止地域計画（改定）、第4次豊中市地球温暖化対策実行計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	72,612	人件費（参考）	27,135	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	5,727	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	81,339	財源内訳 の 金額	国・府支出金	7,260
	決算額	62,771		地方債	0
	残額	18,568		その他 特定財源	12,273
	執行歩合	77.17%		一般財源	43,238

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
地球温暖化防止地域計画の推進【継続】	14,135	0	0	12,986	01	生活環境費
地球温暖化対策実行計画の推進【拡充】	13,092	7,260	0	5,082	01	生活環境費
地球温暖化防止基金事業【継続】	10,374	0	0	0	01	生活環境費
スマートハウス等支援補助金【新規】	25,170	0	0	25,170	01	生活環境費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ収集運搬事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	230500 環境部・家庭ごみ事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルをより一層推進していくため、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画及びごみ減量計画に基づく取組みを推進します。</p>
当該年度の実績	<p>○分別収集事業では、市内全域をごみ種別に公民が分担して効率的なごみ収集運搬業務を行うとともに、リサイクル率の向上の取組みとして、ビン回収における専用回収容器の貸出し条件を緩和しましたことにより、貸出件数が令和3年度の561件から令和4年度は、1,189件に増えました。</p> <p>○ひと声ふれあい収集事業では、対象世帯の戸別収集を行うとともに、「ひと声」かけることで安否確認を行いました。</p> <p>○臨時ごみ収集事業では、効率的な収集作業を行うとともに、費用負担の公平性を図るため臨時ごみの手数料を改定しました。</p> <p>○ごみ収集委託業務では、委託業者の円滑な業務事務を推進するため、モニタリングを454回実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○ビン専用回収容器の貸出し条件を緩和したことにより、リサイクル協力世帯が増加し、リサイクル率の向上が図られました。今後も引き続き、リサイクル協力世帯を増やすために周知していきます。</p> <p>○ひと声ふれあい収集を実施することで、高齢者や障害者の在宅生活の支援につながりました。今後も引き続き、ひと声ふれあい収集に取り組んでいきます。</p> <p>○令和5年4月に臨時ごみの手数料を改定し、令和5年10月からの実施に向け市民に周知を行います。</p> <p>○モニタリングを実施することで、委託業者における質の高い公共サービスを安定的に継続することができました。今後もモニタリングを継続していきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	
1	参考	リサイクル率	事業等報告書	%	16	16.3	16	数値	-
		考え方、定義、算出方法など						年	-
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,212,086	人件費（参考）	895,280	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,769	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,215,855	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,188,806		地方債	0
	残額	27,049		その他 特定財源	28,497
	執行歩合	97.78%		一般財源	1,160,309

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		分別収集事業【継続】	14,478	0	0	14,478	01
	ひと声ふれあい収集事業【継続】	181	0	0	181	01	ごみ処理費
	臨時ごみ収集事業【継続】	11,594	0	0	628	01	ごみ処理費
	ごみ収集業務委託事業【拡充】	1,162,553	0	0	1,145,022	01	ごみ処理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	230500 環境部・家庭ごみ事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）を推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○環境学習事業では、公立小学校40校及び公立こども園15園で環境学習を実施しました。 ○再生資源集団回収報奨金事業では、登録市民団体や登録行商者に対して、再生資源の回収量に応じた報奨金を交付しました。 ○ペットボトル分別収集事業では、ペットボトルのリサイクルを推進するため、市内245箇所での拠点回収を行いました。 ○粗大ごみ関連では、粗大ごみ受付センターによる粗大ごみ等の受付や粗大ごみ処理券の作成、粗大ごみ処理手数料収納事務にかかる受託者との調整を図るとともに、ごみの減量と粗大ごみの費用負担の公平性を図るため、粗大ごみの手数料を改定しました。 ○大規模建築物等における保管場所設置関連では、保管場所等の規模・構造・位置等の協議及び届出の指導並びに受理等を適正に行いました。 ○廃棄物減量等推進員活動支援では、地域に密着したごみの減量及び再生資源化を推進するため、市内の各地域から選出された廃棄物減量等推進員との協働による環境学習等の活動を実施しました。 ○分別周知事業では、ごみカレンダーの全戸配布や職員発意によるきめ細やかな分別周知、ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信を行いました。 ○小型家電リサイクル事業では、公共施設等25箇所に専用の回収ボックスを常設し、拠点回収を行いました。（拠点数25箇所） ○リユース事業では、廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再利用）を推進するため、民間企業（株）マーケットエンタープライズ、（株）ジモティー）と連携協定を締結しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○環境学習を行うことで、幼少期から環境にやさしい行動を自ら実践できるよう3Rについての意識を高めることができ、引き続き3Rの意識向上のため環境学習に取り組めます。 ○再生資源集団回収報奨金を交付することで、登録団体が増加し、再生資源のリサイクル活動が推進されるとともに地域コミュニティの維持・活性化が図れました。今後も登録団体を増やす取り組みを進めていきます。 ○ペットボトルの拠点回収を行うことにより、分別行動の実践を通して、環境に関する市民意識の向上につながりました。今後も引き続きペットボトルのリサイクル推進を図ります。 ○令和5年4月に粗大ごみの手数料を改定し、令和5年10月からの実施に向け市民に周知を行います。 ○廃棄物減量等推進員との協働による環境活動を実施することで、地域と行政の連携を強化することができました。今後も廃棄物減量等推進員と協働し、環境活動に取り組めます。 ○効果的な情報発信を行うことで、市民サービスの利便性が向上しました。今後も引き続き効果的な情報発信を行います。 ○小型家電の拠点回収を行うことにより、分別行動の実践を通して、環境に関する市民意識の向上につながりました。令和5年10月から、処理施設等での充電式電池を原因とする発火事故を未然に防止するため、これまでの拠点回収に加えて、2週間に1回の定期収集を開始します。 ○民間企業と連携協定を締結することで、粗大ごみ等における積極的な民間活用を含めたりユースを促進できました。今後も民間活用をふまえた公民連携に取り組んでいきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137		数値	95,368
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	参考	公立小学校・こども園等環境学習実施件数	担当課調査	件	25	41	55	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	廃棄物減量等推進員活動参加人数	担当課調査	人	146	181	138	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	出前講座実施回数	担当課調査	回	2	1	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	127,340	人件費（参考）	99,630	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△56	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	127,284	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	110,015		地方債	0
	残額	17,269		その他 特定財源	67,071
	執行歩合	86.43%		一般財源	42,944

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
環境学習事業【継続】	930	0	0	930	01	ごみ処理費
再生資源集団回収報奨金交付事業【継続】	26,460	0	0	11,398	01	ごみ処理費
ペットボトル分別収集事業【継続】	22,768	0	0	20,447	01	ごみ処理費
粗大ごみ関連【継続】	46,696	0	0	42	01	ごみ処理費
大規模建築物等における保管場所設置関連【継続】	8	0	0	8	01	清掃総務費
廃棄物減量等推進員活動支援【継続】	160	0	0	160	01	清掃総務費
分別周知事業【継続】	12,296	0	0	9,691	01	ごみ処理費
小型家電リサイクル事業【継続】	443	0	0	14	01	ごみ処理費
リユース事業【継続】	254	0	0	254	01	ごみ処理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルを推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】廃棄物関連計画の推進については、社会情勢等を踏まえ、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第4次豊中市ごみ減量計画を改定しました。</p> <p>○豊中エコショップ制度について、新たに20店舗をエコショップとして認定したほか、マチカネポイントを活用して周知・PRを図りました。</p> <p>○食品ロス対策として、フードドライブ事業では、社会福祉協議会をはじめ、(株)ダイエー、(株)光洋、生活協同組合コープこうべ協力のもと、多くの食品を子ども食堂等に届けることができました。また、市内事業者と協力し、てまえどりキャンペーンを実施しました。</p> <p>○プラスチックごみ対策として、NATS及び阪急電鉄と給水機設置にかかる実証実験を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○基本計画の改定に伴い、ごみ減量に関する新たな数値目標及び指標を設定することで、より効果的な進捗管理につながりました。</p> <p>○豊中エコショップについては、マチカネポイント付与事業により、認知度の向上を図ることができました。令和5年度もマチカネポイントを活用した一層のPRを図り、市民の行動変容を促進します。</p> <p>○フードドライブについて、市が事業所から社会福祉協議会への運送業務を担っており、引き続き業務改善に向けた検討が課題です。</p> <p>○NATS及び阪急電鉄との実証実験の結果を受け、各市の駅に給水機を設置することになり、マイボトル持参促進とプラスチックごみ削減につなげることができました。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染が少しずつ落ち着き、人びとの外出の機会が増え、事業系ごみの増加が懸念されることから、令和5年度は、ごみを分解、減量、消滅又は堆肥化する処理機を新たに設置する事業者に対して、補助金を給付します。</p> <p>○様々なごみ減量施策の実施により、ごみの焼却処理量は年度目標を達成しました。今後も発生抑制の考え方を優先しつつ、アフターコロナによる社会状況の変化に応じた施策の実施により、廃棄される手つかず食品の削減やマイボトル持参促進によるペットボトルの削減等に取り組んでいきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和9年度
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137	98,338.49	数値年	95,281 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	目標	家庭系ごみ1人1日当たり量（再生資源除く）	事業等報告書	グラム	424	419	404	数値年	394 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量（再生資源除く）の1人1日当たり量							
3	目標	事業系ごみ量（再生資源除く）	事業等報告書	トン	37,432	37,244	37,897	数値年	36,601 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源除く）の年度合計量							
4	参考	リサイクル率	事業等報告書	%	16	16.3	16	数値年	19.3 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	ごみの総量（再生資源含む）に対する家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量の割合							
5	目標	食品ロス1人1日当たり量（推計値）	事業等報告書	グラム	111.9	111.5	110.1	数値年	108.8 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	13,611	人件費（参考）	43,740	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	13,611	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	12,725		地方債	0
	残額	886		その他 特定財源	0
	執行歩合	93.49%		一般財源	12,725

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
廃棄物減量等推進審議会【継続】	592	0	0	592	01	清掃総務費
廃棄物関連計画の推進【拡充】	9,919	0	0	9,919	01	清掃総務費
エコショップ【継続】	1,429	0	0	1,429	01	清掃総務費
ごみ減量普及啓発事業【継続】	785	0	0	785	01	清掃総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	クリーンランド負担金	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	○一般廃棄物の中間処理を行うため、豊中市伊丹市クリーンランド規約に基づき、豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金を支払います。
当該年度の実績	○豊中市伊丹市クリーンランド規約に基づき、豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金を支払いました。

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	○豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金支払い業務を滞りなく実施しました。
--	-------------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、豊中市伊丹市クリーンランド規約

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,342,959	人件費（参考）	1,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,342,959	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,342,959		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	100.00%		一般財源	1,342,959

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	クリーンランド負担金【継続】	1,342,959	0	0	1,342,959	01	クリーンラ ンド負担金

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境事業所施設管理	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○施設の長寿命化や快適環境を整えるため、定期点検・修繕等、維持管理を行ないます。 ○減量計画課、美化推進課、家庭ごみ事業課及び事業ごみ指導課に属する車両の安全運行を行なうため、定期点検・整備・管理を行ないます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○定期点検・修繕等、維持管理を行ないました。 ○車両の安全運行を行なうため、定期点検・整備・管理を行ないました。</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○水道関係の配管等に経年劣化による不具合箇所が多々見られるため、長期修繕計画の内容を再検討します。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	127,963	人件費（参考）	36,490	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	2,132	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	134,496	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	124,500		地方債	0
	残額	9,996		その他 特定財源	339
	執行歩合	92.57%		一般財源	124,161

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	環境事業所施設管理【継続】	31,824	0	0	31,817	01	清掃総務費	
	車両管理（ごみ処理費）【継続】	83,324	0	0	82,992	01	ごみ処理費	
	車両管理（美化推進費）【継続】	4,456	0	0	4,456	01	美化推進費	
	車両管理（清掃総務費）【継続】	4,896	0	0	4,896	01	清掃総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	233500 環境部・事業ごみ指導課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）を推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を受け、立入調査を実施し、指導等を行いました。</p> <p>○市許可業者が豊中市伊丹市クリーンランドに搬入する一般廃棄物の展開検査及び目視検査を実施し、廃棄物の適正処理に関する許可、指導等を実施しました。</p> <p>○し尿処理受付後、円滑な業者調整を行い適正処理しました。また、伊丹市と処理委託について調整を行いました。</p> <p>○令和5年度し尿処理手数料の改定に向けて関係部局と調整を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○事業系ごみ減量の取組みについては、立入調査や研修会を通じ、事業所のごみ減量意識が高まりました。今後も引続き、事業所への立入調査や個別指導を実施するほか、事業系一般廃棄物の搬入物検査及び搬入物目視検査を充実させ、一般廃棄物収集運搬許可業者への適正指導に取組むとともに、事業所にとって2R（発生抑制・再使用）を推進する上で、取組みやすい事例やコスト削減につながる情報を提供し、ごみの減量を図ります。</p> <p>○し尿処理・運搬業務の取組みについては、一般家庭収集運搬及び事業所や工事現場の仮設トイレ等の臨時収集運搬を停滞させることなく、適正に処理できました。今後も、し尿の処理運搬について委託業者との調整や処理施設との調整を円滑に進めていきます。</p> <p>○令和5年4月にし尿処理手数料を改定し、7月からの実施に向け事業者へ周知を行います。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137		数値	95,368
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	参考	事業系ごみ量（再生資源除く）	事業等報告書	トン	37,439	37,244		数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源除く）							
3	参考	減量計画書提出件数	一般廃棄物減量計画書	件	302	300	302	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に提出された減量計画書の件数							
4	参考	立入調査件数		件	0	0	83	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に実施した立ち入り調査実施数							
5	参考	搬入物検査件数	搬入物検査	件	15	14	18	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に実施した搬入物検査実施数							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	産業廃棄物関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	233500 環境部・事業ごみ指導課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○生活環境の保全及び公衆衛生の向上を推進するため、産業廃棄物の適正処理に向けた取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○産業廃棄物の適正処理に関する指導、許可手続きを実施しました。 ○民間から発見された高濃度PCB廃棄物の処理契約について指導するとともに、環境省と情報共有を行いました。また、低濃度PCB廃棄物の処理促進についても行いました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、事業者が排出する産業廃棄物が自らの責任で適正に処理されるよう、関連する業務を的確に遂行しました。今後も引続き、事業者が排出する産業廃棄物が自らの責任で適正に処理されるよう指導等を行います。 ○市が保管する高濃度PCB廃棄物の処理完了を行うことができたとともに、事業者が保管している低濃度PCB廃棄物の処理促進についても行えました、今後も引続き、低濃度PCB廃棄物の適正処理指導を行います。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	マニフェスト報告	件	1,737	1,748	1,848	数値	
	考え方、定義、算出方法など	前年度に産業廃棄物を処分した事業者の件数							
2	参考	ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書	PCB届出	件	173	159	120	数値	
	考え方、定義、算出方法など	前年度にPCB廃棄物を保管等している事業者の件数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,793	人件費（参考）	40,743	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,793	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	3,620		地方債	0
	残額	1,173		その他 特定財源	355
	執行歩合	75.53%		一般財源	3,265

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		産業廃棄物処理業許可事務等【継続】	3,528	0	0	3,173	01
	PCB廃棄物処理事業【継続】	92	0	0	92	01	清掃総務費



3-3 都市基盤の充実

快適な暮らしを守るために、道路・上下水道などの都市基盤の充実に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)安心して暮らせる市街地の形成を進めます	2事業
①災害に強いまちづくりの推進	
②上下水道の充実	
密集市街地等整備事業	都市計画推進部 都市整備課
耐震関連事業	都市計画推進部 建築審査課
(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり・交通環境づくりを進めます	14事業
①都市を支える道路の体系的な整備と長寿命化	
②人が主役となる安全で快適な道の整備	
③交通安全対策の推進	
用地買収事業	財務部 資産管理課
自動車駐車場施設管理事業	都市計画推進部 都市整備課
放置自転車関連事業	都市基盤部 交通政策課
交通安全整備事業	都市基盤部 基盤整備課
街路整備事業	都市基盤部 基盤整備課
道路橋梁新設改良事業(基盤整備課)	都市基盤部 基盤整備課
道路橋梁新設改良事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
道路管理事業	都市基盤部 基盤管理課
道路舗装事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
交通安全施設整備事業	都市基盤部 基盤保全課
道路橋梁新設改良事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
道路橋梁維持事業	都市基盤部 基盤保全課
道路舗装事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
道路の維持管理事業	都市基盤部 維持修繕課

(3)マイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめざします	1事業
①安全で利便性の高い公共交通網の整備	
②自転車の走行・駐輪環境の改善	
交通対策事業	都市基盤部 交通政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	密集市街地等整備事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます	総合計画掲載ページ	74
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	262500 資産管理課		

事業概要	<p>○庄内・豊南町地区における密集市街地について、住環境の改善と防災性の向上に向けた取り組みを進め、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するため、整備計画に基づく道路・緑道等の公共施設整備や木造住宅等の除却補助等を行います。</p> <p>○神崎川駅周辺について地域の活性化などを図るため、令和3年度に策定した「神崎川駅周辺のまちづくりの方向性」をもとに、関係機関などと協議を行い、整備基本計画の策定に向け、検討を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○大島町地区主要生活道路整備事業につきましては、用地買収4件、物件補償6件、拡幅工事L=25mを実施しました。</p> <p>○木造住宅除却費補助につきましては、119件、245戸に対して補助を行い、老朽した木造建物を除却し、防災指標の向上を図りました。</p> <p>○令和3年度に策定した「神崎川駅周辺まちづくりの方向性」を踏まえ、関係機関と協議し、令和5年度に策定予定している整備基本計画について取組みました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大島町地区主要生活道路整備事業につきましては、引き続き積極的に沿道権利者との個別協議を進め、道路整備の完了を目指します。</p> <p>○木造住宅除却費補助につきましては、必要に応じて早期に危険密集が解消できるように制度を見直します。</p> <p>○神崎川駅周辺のまちづくり構想の具体化に向けて、関係機関と議論を重ね、地域住民などと意見交換を行いながら、令和5年度末の神崎川駅周辺整備基本計画の策定に向けて検討を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	地震時等に著しく危険な密集市街地地区数	密集市街地整備方針	地区	11	9	7	数値	0
	考え方、定義、算出方法など	想定平均焼失率が23%以上の地区							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画

【決算説明情報】

(単位:千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	397,607	人件費(参考)		61,155
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△241	公債費(参考)		0
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	366,979	財源内訳の	国・府支出金	58,791
	決算額	190,259		地方債	7,300
	残額	176,720		その他 特定財源	0
	執行歩合	51.84%		一般財源	124,168

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
市街地再開発(庄内・豊南)【継続】	15,342	0	0	15,342	01	都市再開発費
市街地整備事業【継続】	0	0	0	0	01	都市再開発事業費
土地区画整理事業認可事業【継続】	0	0	0	0	01	都市再開発費
公共用地先行取得事業(都市整備課)【継続】	4,870	0	4,800	70	47	公共用地先行取得事業
一般会計繰出金【継続】	24,509	0	0	24,509	47	他会計繰出金
庄内・豊南町地区住宅市街地総合整備事業【継続】	145,538	58,791	2,500	84,247	01	都市再開発事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	耐震関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1)安心して暮らせる市街地の形成を進めます	総合計画掲載ページ	74
担当部局・課	403000 都市計画推進部・建築審査課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○既存建築物の耐震性の向上を図り地震に強いまちづくりを行うため、「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民に耐震に関する知識の普及及び耐震補助を行い、昭和56年5月31日以前に建築された住宅・建築物の耐震化を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○平成28年度に改定した「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」及び令和2年度の間検証に基づき、耐震相談コーナーを設置するなど知識の普及に取り組みました。また、戸別訪問により市民への耐震化促進の啓発・補助制度等の周知活動を行いました。</p> <p>○原則として昭和56年（1981年）5月31日以前に建築された住宅又は特定建築物の耐震診断並びに木造住宅の耐震設計、耐震改修、除却及びブロック塀等撤去、分譲マンションの耐震改修の費用に対して補助を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○市民への耐震化促進の啓発、補助制度等を活用することで、まちの安全性の向上に寄与しました。</p> <p>○住宅の耐震化に向けた取り組みについては、法的な強制力がないことや、旧耐震基準の木造住宅の所有者が高齢化しており耐震改修工事を実施するための経済的負担が大きく、また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画的に耐震化を進めることは容易ではありません。</p> <p>○耐震化促進に関する取り組みの普及啓発は、さらに必要とする人に情報が届くように、「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」の間検証も踏まえ、ホームページを活用する等、効果的・効率的な手法で実施していきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	耐震相談コーナー開催回数	担当課調査	回	1	2	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	耐震診断補助件数	担当課調査	件	21	34	36	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	耐震改修補助件数	担当課調査	件	12	5	10	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	耐震設計補助件数	担当課調査	件	4	5	10	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	震災対策除却補助件数	担当課調査	件	35	29	26	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	建築物の耐震改修の促進に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画、豊中市既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱 外

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	95,696	人件費（参考）		23,895		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	48	公債費（参考）		0		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	95,744	財 源 内 訳 の	国・府支出金		30,600	
	決算額	51,296		地方債		0	
	残額	44,448		その他 特定財源		0	
	執行歩合	53.58%		一般財源		20,696	
	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
耐震補助事業【継続】		48,297	30,570	0	17,727	01	建築開発指 導費
耐震診断・改修促進事業【継続】		2,999	30	0	2,969	01	建築開発指 導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	用地買収事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課	430500 基盤整備課		

事業概要	○公共施設やインフラ等を整備するために、必要となる事業用地を確保します。またその事業用地に係る担当課との調整を行います。
当該年度の実績	○都市計画道路曾根島江線整備事業において、計画していた事業用地の確保にかかる契約を土地所有者と締結しました。 ○大島町主要生活道路整備事業において、各権利者と事業用地の確保にかかる調整を行い、契約を締結しました。 ○庄内さくら学園整備事業など、担当課及び各権利者と調整を行いました。

当該年度の成果・課題	○都市計画道路曾根島江線整備事業は、令和4年度に計画していた契約が成果となりますが、契約した土地にある建物解体が課題となります。 ○大島町地区主要生活道路整備事業は、令和4年度中に必要な契約の大半を締結しましたが、長屋の建物にかかる交渉が課題となります。 ○庄内さくら学園整備事業などは、契約締結が成果となります。 ○用地買収業務全般として、土木職・建築職が不在の担当課との調整や、各権利者が行う自身の解体工事等における実費と補償金との違いや、工事等の調整が課題となります。各課題に向け、その時の状況や法令に合わせた業務を行います。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	契約件数	用地補償台帳	件	41	19	42	数値	
	考え方、定義、算出方法など	寄附を除く契約書単位での契約数で計上。							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,800	人件費（参考）	41,310	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	538	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,338	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	3,709		地方債	0
	残額	629		その他 特定財源	0
	執行歩合	85.50%		一般財源	3,709

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		用地買収事務【継続】		3,709	0	0	3,709	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自動車駐車場施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課			

事業概要	○市民生活の利便性の向上のため、道路交通の円滑化及び公共交通機関の利用の促進を図ります。
当該年度の実績	○豊中駅西自動車駐車場では、貸付をしている民間事業者により、計画的な予防保全工事を行うとともに、突発的な不具合を解消するための修繕工事を行いました。 ○螢池駅西自動車駐車場では、貸付をしている民間事業者により、計画的な予防保全工事を行うとともに、突発的な不具合を解消するための修繕工事を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○長期修繕計画に基づき、予防保全工事を実施したことで、民間事業者による適切な運営ができました。 ○豊中駅西自動車駐車場では、電気料金の高騰により民間事業者の経営を圧迫しているため、既存設備の節電対策をすすめるとともに、照明設備のLED化を進めます。 ○螢池駅西自動車駐車場では、令和5年度末に貸付契約が満了となるため、新たな貸付契約に向け、条件整理を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建物の区分所有にかかる費用 (豊中駅西自動車駐車場施設)	担当課調査	千円	14,377	14,377	22,064	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	建物の区分所有にかかる費用 (螢池駅西自動車駐車場施設)	担当課調査	千円	3,856	3,856	3,856	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	駐車場法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	61,520	人件費 (参考)	7,290	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	61,520	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	58,717		地方債	0
	残額	2,803		その他 特定財源	68
	執行歩合	95.44%		一般財源	58,649

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計目	
						(コード)	
	豊中駅西自動車駐車場施設管理【継続】	23,211	0	0	23,211	01	都市再開発費
	螢池駅西自動車駐車場施設管理【継続】	35,506	0	0	35,438	01	都市再開発費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	放置自転車関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○放置自転車等を移動・保管し、速やかに返還するために適正な施設管理をします。</p> <p>○全ての人が安全で安心して道路を利用するために、道路の通行機能、防災活動やまちの美観を確保します。</p> <p>○駅周辺には必要な数の駐輪場が整備されているが、いまだ放置自転車が散見されるため、駅周辺の空き地や空き店舗を活用した民間による比較的小規模な、利用者の動線上で駅に近い駐輪場整備を促進し、放置自転車の縮減を図るために、民間駐輪場整備に対し経費の一部を助成します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○放置自転車等を移動・保管し、速やかに返還するために適正な施設管理をしました。</p> <p>○全ての人が安全で安心して道路を利用するために、道路の通行機能、防災活動やまちの美観を確保するため、道路上に放置されている自転車等の移動・保管を行いました。</p> <p>○民間駐輪場の整備助成に対する申込みはありませんでした。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○夜間の放置自転車対策として、夜間撤去の回数を増やしましたが、午後から夜間の時間帯の放置自転車が多いため、対策が必要です。</p> <p>○利便性の高い民間駐輪場を増加させるため、駐輪事業者等に民間駐輪場整備助成制度のパンフレットを送付するなど制度の周知に努めます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自転車移動保管台数	保管返還管理システム	台	3,883	3,540	3,694	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	自転車有料返還台数	保管返還管理システム	台	2,290	2,345	2,908	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	民間駐輪場整備助成台数	交通政策課資料	台	68	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市自転車等の放置の防止に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	62,492	人件費 (参考)	15,795	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	1	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	62,493	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	59,826		地方債	0
	残額	2,667		その他 特定財源	10,557
	執行歩合	95.73%		一般財源	49,269

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
	服部南自転車保管所施設管理【継続】	372	0	0	367	01	道路橋梁維持費
	豊中駅北自転車保管所施設管理【継続】	464	0	0	451	01	道路橋梁維持費
	放置自転車等保管返還管理システムの運用【継続】	2,996	0	0	2,996	01	道路橋梁維持費
	服部南自転車保管所施設運営【継続】	353	0	0	353	01	道路橋梁維持費
	豊中駅北自転車保管所施設運営【継続】	337	0	0	337	01	道路橋梁維持費
	放置自転車等防止事業【継続】	55,304	0	0	44,765	01	道路橋梁維持費
	民間駐輪場整備助成事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通安全整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが気軽に出かけられる安心・安全で快適なまちづくりのため、歩道改良実施計画に基づく歩道の改良と「自転車ネットワーク計画」に基づく自転車利用環境の整備に取り組むとともに、多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりのため、「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化の推進に取り組みます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市バリアフリー推進協議会を2回開催しました。 ・豊中市バリアフリーマスタープランに基づくバリアフリーマップを作成しました。（仮称）バリアフリーマップ等作成委託：1地区（9地区の内） ・バリアフリーチェックシステムを6件実施しました。 <p>○「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」に基づく歩道改良整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内南1号線歩道改良工事（2工区）：L=273.0m ・庄本神崎川線歩道改良工事：L=305.0m ・阪急西側南線歩道改良工事（4-1工区）：L=191.8m ・平塚熊野田線の用地買収交渉を実施しました。 <p>○「自転車ネットワーク計画」に基づく自転車通行空間整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪急西側南線自転車通行空間整備工事：L= 669m ・菅根根服部緑地線外1路線自転車通行空間整備工事：L= 624m ・勝部寺内線自転車通行空間整備工事：L= 650m ・豊中柴原線自転車通行空間整備工事（その2）：L=1,050m ・自転車通行空間整備詳細設計：L=2,993m
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○「バリアフリーマスタープラン」について協議会で調査審議するとともに、岡町駅地区のバリアフリーマップを作成し、多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりにつながりました。</p> <p>○歩道改良整備事業と自転車通行空間整備事業を実施し、だれもが気軽に出かけられる安心・安全で快適なまちづくりにつながりました。</p> <p>○「自転車ネットワーク計画」は、令和5年度（2023年度）末までに約25kmを整備する予定でしたが、国費等の財源不足のため事業の進捗に遅れが生じたことから、令和5年度（2023年度）に計画の見直しに取り組みます。（今後の方向性）</p> <p>○岡町駅地区のバリアフリーマップを公表するとともに、残る8地区のバリアフリーマップの作成と公表に取り組めます。</p> <p>○「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」「自転車ネットワーク計画」の着実な進捗を図るため、財源の確保と経済的で効果的な工事手法の実施に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標		
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年	
1	目標	歩道改良整備延長	歩道改良実施計画	km	17.6	17.9	18.7	数値	23	
	考え方、定義、算出方法など	歩道改良実施計画（当初～令和3年度改訂版）の計画年度（H7～R8年度）の延長（23km）に対する整備延長実績							年	令和8
2	目標	自転車通行空間整備延長	自転車NW計画	km	3.5	6.2	9.2	数値	25.0	
	考え方、定義、算出方法など	自転車ネットワーク計画の優先度1、2の整備計画年度（R元年～R5年度）の延長（25km）に対する整備延長実績							年	令和5
3								数値		
	考え方、定義、算出方法など								年	
4								数値		
	考え方、定義、算出方法など								年	
5								数値		
	考え方、定義、算出方法など								年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	283,312	人件費（参考）	47,719	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	256,812	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	61,105
	決算額	236,172		地方債	44,800
	残額	20,640		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.96%		一般財源	130,267

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
バリアフリー化の推進【継続】	4,555	0	0	4,555	01	道路橋梁総務費
歩道改良整備事業【継続】	182,760	47,630	34,900	100,230	01	交通安全施設整備費
自転車通行空間整備事業【継続】	48,857	13,475	9,900	25,482	01	交通安全施設整備費
バリアフリー化推進事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	街路整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが安全で安心して暮らせる、災害に強い快適なまちづくりのため、都市活動を支える道路ネットワーク、防災ネットワークの形成として、都市計画道路の体系的な整備に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○街路用地管理のため都市計画道路明示の測量を実施しました。 ○神崎刀根山線整備事業の用地買収に向けて、関係権利者との交渉を実施しました。 ○曾根島江線整備事業の工事着手に向けて、地質調査、詳細設計及び用地買収交渉を実施しました。 ○服部天神駅前広場整備事業の工事着手に向けて、府道豊中吹田線の電線共同溝の詳細設計及び街路事業による駅前広場整備の用地買収と物件移転補償を実施しました。また、沿道整備街路事業による駅前広場整備の公共施設管理者負担金を支出しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○街路用地管理及び神崎刀根山線整備事業と曾根島江線整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、災害に強く快適なみちづくりにつながりました。 ○服部天神駅前広場整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、まちのにぎわい創出につながりました。 (今後の方向性) ○神崎刀根山線と曾根島江線及び服部天神駅前広場の整備工事着手に向け、引き続き関係機関、権利者、地域市民と協力して事業に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	都市計画道路整備率	豊中市の都市計画道路	%	87.8	87.8	87.9	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	都市計画道路の計画延長（平成26年見直し）に対する完成率						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	75,387	人件費（参考）		22,680			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	82,318	財 源 内 訳 の	国・府支出金		19,682		
	決算額	55,297		地方債		3,700		
	残額	27,021		その他 特定財源		0		
	執行歩合	67.17%		一般財源		31,915		
	予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
神崎刀根山線整備事業【継続】		0	0	0	0	01	街路事業費	
街路用地管理【継続】		1,090	0	0	1,090	01	街路事業費	
曾根島江線整備事業【継続】		32,347	12,567	3,700	16,080	01	街路事業費	
服部天神駅前広場整備事業【継続】		21,860	7,115	0	14,745	01	街路事業費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤整備課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが安全で安心して暮らせる、災害に強い快適なまちづくりのため、道路や橋梁の改良整備とともに、まちのにぎわいを創出するため、地域の特色を生かした道路の景観整備に取り組みます。また、老朽化が進む都市基盤施設のライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図るため、定期的な点検調査と計画的な修繕に取り組みます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○「道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋長寿命化事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長興寺北溝橋改修設計 : L= 13.6m W=11.8m ・新勝部橋改修工事 : L= 42.2m W= 7.3m ・北新田橋改修工事 : L= 74.0m W=11.9m ・神洲橋改修工事（大阪市実施）負担金 : L=170.8m W=13.3m <p>○大阪音楽大学周辺整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内西町第3号線改良工事 : L=148.8m ・庄内中道線詳細設計 : L=250.0m W=6.0~6.7m <p>○「千里地区歩路橋長寿命化修繕計画」に基づき、千里地区歩路橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずかけ橋改修設計 : L=48.0m W=3.0m ・千里橋斜路橋改修工事 : L=40.9m W=2.4m ・きりのき橋改修工事 : L=21.0m W=3.0m <p>○新千里東町1丁目交差点改良事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計 : L=250.0m W=22.5m <p>○北新田橋整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩路橋架設詳細設計 : L=250.0m(橋長75m) W=3.5m <p>○「横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、横断歩道橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田小曾根線歩道橋改修設計 : L=25.9m W=1.9m <p>○「人道橋長寿命化修繕計画」に基づき、人道橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検調査 : N=43橋 <p>○菟江交差点改良事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電線共同溝詳細設計 : L=470.0m*2 W=37.0~45.0m <p>○水路敷道路化整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上新田線詳細設計 : L=100.0m W=6.0m
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○菟江交差点改良事業、新千里東町1丁目交差点改良事業、北新田橋整備事業、水路敷道路化整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、災害に強く快適なみちづくりにつながりました。</p> <p>○道路橋長寿命化事業、千里地区歩路橋改修事業、横断歩道橋改修事業、人道橋改修事業を実施し、都市基盤施設のライフサイクルコストの縮減と長寿命化につながりました。</p> <p>○大阪音楽大学周辺整備事業を実施し、まちのにぎわい創出につながりました。</p> <p>○各事業とも工事着手には、関係機関との協議調整、地域市民への十分な説明が必要です。（今後の取り組み）</p> <p>○菟江交差点改良事業は、大阪府と連携して電線共同溝、改良工事の着手に向け取り組みます。</p> <p>○新千里東町1丁目交差点改良事業、北新田橋整備事業は、工事着手に向け引き続き交通管理者やNEXCO西日本と協議調整に取り組みます。</p> <p>○水路敷道路化整備事業の上新田線は、工事着手に向け、雨水対策、電柱・地下埋設物の移設、工事期間中の安全対策などについて、引き続き地域市民への説明に取り組みます。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業は、URの建替え事業と連携して無電柱化と道路整備に取り組みます。</p> <p>○大阪音楽大学周辺整備事業は、引き続き音楽を楽しめる道路整備に取り組みます。</p> <p>○道路橋長寿命化事業、千里地区歩路橋改修事業、横断歩道橋改修事業、人道橋改修事業は各事業計画に基づき、予防保全の修繕、補強工事に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	道路橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	20	20	21	46	令和12
	考え方、定義、算出方法など	豊中市道路橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
2	目標	千里地区歩路橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	11	13	15	22	令和9
	考え方、定義、算出方法など	豊中市千里地区歩路橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
3	目標	横断歩道橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	10	11	11	15	令和8
	考え方、定義、算出方法など	豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
4	目標	人道橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	2	2	2	23	令和10
	考え方、定義、算出方法など	豊中市人道橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
5									
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	655,600	人件費 (参考)	45,131
	流用増減額 (予備費充当用含む)	3	公債費 (参考)	0
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	676,550	国・府支出金	110,770
	決算額	559,706	地方債	57,600
	残額	116,844	その他 特定財源	0
	執行歩合	82.73%	一般財源	391,336
			財源内訳の	

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
道路橋長寿命化事業【継続】	257,650	44,660	30,500	182,490	01	道路橋梁新設改良費
道路・橋梁小改良【継続】	5,462	0	0	5,462	01	道路橋梁新設改良費
大阪音楽大学周辺整備事業【継続】	31,486	5,500	0	25,986	01	道路橋梁新設改良費
千里地区歩路橋改修事業【継続】	156,215	41,250	27,100	87,865	01	道路橋梁新設改良費
【完了】	0	0	0	0	00	
新千里東町1丁目交差点改良事業【継続】	1,856	0	0	1,856	01	道路橋梁新設改良費
北新田橋整備事業【継続】	40,729	0	0	40,729	01	道路橋梁新設改良費
道路附属物改修事業【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
横断歩道橋改修事業【継続】	10,236	3,960	0	6,276	01	道路橋梁新設改良費
人道橋改修事業【継続】	54,842	15,400	0	39,442	01	道路橋梁新設改良費
新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)整備事業(基盤整備課)【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
菟江交差点改良事業【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
水路敷道路化整備事業【継続】	1,230	0	0	1,230	01	道路橋梁新設改良費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	400000 都市計画推進部 403000 建築審査課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○秩序ある良好な市街地を形成し、生活環境の向上と災害の防止を図るため、細街路の整備を行います。</p> <p>○道路の円滑な通行と安全性の向上を図るため、道路や橋梁の一部改良を行います。</p> <p>○市有路線網における寄附の促進を図るため、道路整備等の一部を助成します。</p> <p>○新千里東町歩第8号線を魅力的な緑道にするため、隣接する建物の建替えにあわせて一体的整備を行い地域の活性化を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○建築確認や開発行為などにおいて細街路計画路線の後退指導や建築基準法に定める基準以上の後退用地の買収について協議を実施しました。</p> <p>○道路・小改良において、公共測量に基づく基準点を208点設置しました。</p> <p>○寄附道路整備助成事業において、助成金を19件交付しました。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業について、UR都市機構や自治協議会を含めた地元三団体と再整備工事の実施に関する協議、調整を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○細街路計画における後退用地の買収について沿道土地利用者と協議を行ったことで、後退用地を考慮した土地利用計画の実施につながりました。引き続き、後退用地の買収について、協議を実施します。</p> <p>○道路・小改良において、本町5丁目外5地区の内、0.31km²について公共測量に基づく基準点網を整備することができました。今後、この整備を進めるうえで、必要な既知点が不足している地区があるため、その対応を検討する必要があります。</p> <p>○寄附道路整備助成事業を実施し、21筆の道路敷を寄附受理したほか、舗装面積1,182m²及び側溝延長287mの整備につながりました。今後、市有道路網における寄附の促進を図るため、本事業の周知方法を検討する必要があります。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業について、再整備工事の実施にむけた基本協定書及び負担金協定書を締結しました。今後、本路線における残る1・3工区の整備に向け、関係機関との協議・調整を行う必要があります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路整備助成金	市政年監	件	25	24	19	数値	
		考え方、定義、算出方法など	助成金支払い件数						
2	参考	基準点整備測量	基盤管理課資料	点	0	248	208	数値	
		考え方、定義、算出方法など	基準点整備点数						
3	参考	細街路整備	市政年監	件	1	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 230000 環境部 232500 美化推進課 233000 公園みどり推進課 260500 固定資産税課 262500 資産管理課 400000 都市計画推進部 402500 開発審査課 430100		

事業概要	<p>○道路・水路の機能維持を図るために、法的及び財産的管理を行います。</p> <p>○業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上を図るため、道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用した道路管理業務を行います。</p> <p>○道路・水路における構造の保全や安全で円滑な通行を確保するため、ライフライン等の占用や承認工事等に対する許認可事務のほか、不正使用に対する是正指導などの監視事務を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○道路・水路の機能維持を図るために、法的及び財産的管理を行いました。</p> <p>○業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上を図るため、道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用し、36件の道路区域の決定及び変更を行ったほか、50件の寄附による新たな道路敷の確保、59路線のデータ更新を行いました。</p> <p>○道路・水路における構造の保全や安全で円滑な通行を確保するため、ライフライン等の占用や承認工事等に対する許認可事務のほか、占用工事連絡協議会を12回開催しました。また、道路・水路の不正使用に対してのべ3,189件の是正指導を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○法的及び財産的管理を実施し、道路・水路の機能維持の確保につながりました。</p> <p>○道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用した道路管理業務を行い、業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上につながりました。</p> <p>○占用や施行承認工事等に対する許認可事務を実施したことで、道路空間の有効活用及び道路構造の保全が図られ、安全で円滑な通行を確保することができました。</p> <p>○道路・水路の不正使用に対する是正指導を繰り返し行うことで、安全で円滑な通行環境の確保につながりました。今後、不正使用の増加・長期化が予想されるため、より効率的に業務を進める必要があります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路管理瑕疵談話締結件数	市政年監	件	3	4	6	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	道路占用許可件数	市政年監	件	256	356	457	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路舗装事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	431500 基盤保全課		

事業概要	○生活環境の向上と交通安全の確保を図るために、私道整備工事費の一部を助成します。
当該年度の実績	○私道助成事業において、私道整備工事を12件助成しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○私道整備助成事業により、延長588m、舗装面積2,058㎡の私道整備につながりました。私道の整備や管理に困っている私道所有者に対し、本事業の周知方法を検討する必要があります。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	私道整備工事助成件数	基盤管理課資料	件	5	6	12	数値	
		考え方、定義、算出方法など	助成金支払い件数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通安全施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	430100 交通政策課 430500 基盤整備課		

事業概要	<p>○車両の円滑な交通及び歩行者の安全を確保するため、防護柵、カーブミラー等交通安全施設の設置及び更新や通学路の安全対策、並びに道路照明LED灯具及び道路アンダーパスにおける排水機場非常用発電機の賃貸借や、路面標示の設置並びに更新、道路照明施設の更新やLED化を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○路面標示設置事業 市内一円の区画線設置や更新を実施しました。</p> <p>○一般交通安全施設整備事業 防護柵・カーブミラー等交通安全施設の設置や更新を実施しました。 道路アンダーパスにおける寺内排水機場非常用発電機の賃貸借契約を継続しました。 庄内さくら学園の通学路における安全対策工事を実施しました。 東豊中町第146号線の安全対策工事を実施しました。</p> <p>○道路照明改修 新千里2号線の照明改修工事を実施しました。</p> <p>○道路照明LED化事業 平成26年度から3か年で既存灯具（水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯など）をリース方式によるLED灯具に取替えたことから、10年間の賃貸借契約を継続しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○路面標示設置事業 道路利用者に対して必要な案内、警戒、指示等を路面に標示することにより、車両の安全かつ円滑な交通を確保することができました。 幹線道路での区画線の摩耗が散見されることから、修繕計画を策定し計画的な更新に取り組みます。</p> <p>○一般交通安全施設整備事業 交通安全施設の整備を図ることにより、車両の円滑な通行及び歩行者の安全を確保することができました。</p> <p>○道路照明改修 老朽化した市内道路照明施設の修繕を行うことにより、市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保することができました。</p> <p>○道路照明LED化事業 市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保するとともに、LED照明の導入促進により、省電力化並びにCO2排出量削減による環境負荷低減を図りました。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	照明施設更新施設数	豊中市街路灯修繕計画	基	32	14	10	数値	
	考え方、定義、算出方法など	道路照明施設点検の総合評価に基づく倒壊の恐れや連続性の観点から施設更新が必要な施設数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 430500 基盤整備課 431000 基盤管理課		

事業概要	○道路利用者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、道路や橋梁の新設及び改良を行い、法面・擁壁や街路樹等の道路附属物の予防的かつ計画的な維持修繕を実施します。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○道路附属物改修事業 東豊中町第37号線（三ツ池）の法面改修工事を実施しました。 ○街路樹更新事業 街路樹の植替工事を実施しました。 街路樹の5年に1度の間点検を実施しました。 ○道路・橋梁小改良 長興寺排水機場非常用発電設備のエンジン点検整備を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○道路附属物改修事業 法面改修工事の実施により、道路利用者に対する安全・安心な通行を確保することができました。 ○街路樹更新事業 街路樹の定期的な点検・診断の実施により、倒伏による事故を未然に防止し、道路利用者に対する安全・安心な通行を確保することができました。 街路樹の計画的な植替工事の実施により、並木の景観保全を向上することができました。 中間点検を踏まえた計画の見直しを行い、歩行者等通行の安全対策や危険木の撤去等に取り組みます。 ○道路・橋梁小改良 長興寺排水機場非常用発電設備のエンジン点検整備の実施により、道路アンダーパスにおける車両の安全な通行の確保につなげることができました。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	再整備（更新・撤去）計画植替本数	街路樹維持管理方針	本	29	39	91	数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市街路樹再整備（更新・撤去）10年計画に基づく植替本数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	105,000	人件費（参考）	12,474			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	97,550	財源内訳の	国・府支出金	0		
	決算額	85,833		地方債	0		
	残額	11,717		その他 特定財源	0		
	執行歩合	87.99%		一般財源	85,833		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
道路・橋梁小改良【継続】		4,950	0	0	4,950	01	道路橋梁新 設改良費
道路附属物改修事業【継続】		36,759	0	0	36,759	01	道路橋梁新 設改良費
街路樹更新事業【継続】		44,124	0	0	44,124	01	道路橋梁新 設改良費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁維持事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	○道路の安全で快適な通行を確保するため、道路・橋梁及び道路附属施設の修繕工事、保守点検、街路灯等施設の公共料金、街路樹の剪定・伐採、道路の除草・清掃等、道路・橋梁に関する日常的な維持管理を実施します。
当該年度の実績	○維持補修事業 道路・橋梁及び道路附属施設の修繕工事、保守点検、街路灯等施設の公共料金、街路樹の剪定・伐採、道路の除草・清掃等、道路・橋梁に関する日常的な維持管理を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○維持補修事業 市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保することができました。 今後も市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保するとともに、緊急時における即応体制の充実を図ります。 市民からの通報や要望に対して、緊急度や優先度を総合的に勘案し、適切に対応します。
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路要望受付件数	受付情報システム	件	1,881	2,131	1,680	数値	
	考え方、定義、算出方法など	道路施設や道路附属施設に関する要望等の受付件数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	577,268	人件費（参考）	50,139	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,664	公債費（参考）	451,346	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	590,429	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	540,833		地方債	0
	残額	49,596		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.60%		一般財源	540,833

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	予算管理事業	維持補修事業【継続】	540,833	0	0	540,833	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路舗装事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○道路の安全で快適な通行を確保するため、舗装の計画的かつ効率的な維持修繕を実施します。また、陥没事故を未然に防止するため、路面下空洞調査を実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○路面下空洞調査事業 平成26年度に調査した幹線道路（歩道）の2回目の調査を実施しました。</p> <p>○主要道路舗装事業 「豊中市舗装修繕計画」に基づき、緑丘上野坂線、原田神崎川線、千里西町外回り線、千里園熊野田線、原田伊丹線、大阪国際空港線、刀根山線、新千里5号線、利倉園田線、今在家線の舗装工事を実施しました。</p> <p>○生活道路舗装事業 生活道路の舗装工事を実施しました。 境界標復元測量委託を実施しました。 上下水道事業に伴う復旧範囲外の舗装工事を負担金にて実施しました。</p> <p>○神崎刀根山線舗装事業 「豊中市舗装修繕計画」に基づき、緊急交通路である神崎刀根山線の舗装工事を実施しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○路面下空洞調査事業 平成26年度歩道部調査における2回目の調査であり、経過観察箇所の変状確認や新規異常箇所を抽出し、陥没の危険がある箇所について即時に対応することにより、市民の安全・安心な通行を確保することができました。</p> <p>○主要道路舗装事業 老朽化した主要道路の舗装を更新することにより、車両交通の安全かつ円滑な通行を確保することができました。</p> <p>○生活道路舗装事業 老朽化した生活道路の舗装を更新することにより、車両交通の安全かつ円滑な通行を確保することができました。 膨大な管理延長を保有している生活道路の老朽化が進行していることから、修繕計画を策定し計画的な舗装更新に取り組みます。</p> <p>○神崎刀根山線舗装事業 老朽化した緊急交通路である神崎刀根山線を更新することにより、安全で快適な車両通行を確保することができました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和7年度
1	目標	主要道路対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	1,075	1,570	2,284	数値年	8800 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
2	目標	生活道路対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	1,203	1,395	2,197	数値年	5123 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
3	目標	神崎刀根山線対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	205	184	558	数値年	2200 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市舗装修繕計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	424,000	人件費（参考）	29,970	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,109	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	422,891	財源内訳	国・府支出金	19,478
	決算額	344,262		地方債	103,000
	残額	78,629		その他 特定財源	5,651
	執行歩合	81.41%		一般財源	216,133

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	路面下空洞調査事業【継続】	16,952	0	0	11,301	01	道路舗装事業費
	生活道路舗装事業【継続】	111,368	0	69,300	42,068	01	道路舗装事業費
	主要道路舗装事業【継続】	164,350	10,000	25,200	129,150	01	道路舗装事業費
	神崎刀根山線舗装事業【継続】	51,592	9,478	8,500	33,614	01	道路舗装事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路の維持管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	431500 基盤保全課		

事業概要	○安全で快適な交通環境を確保するため、円滑な車両走行を確保し集中豪雨による浸水被害の対応及び軽減をめざします。
当該年度の実績	○公共側溝施設を人力及び特殊車両等により清掃を実施し、常に良好な状態で維持管理しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○集中豪雨による浸水被害の軽減になりました。 特殊車両での街渠柵清掃、人力での目皿、スクリーン、アンダーパス、路面等の清掃により浸水被害軽減出来ました。 課題としては豊中市全域を少ない職員では対応しきれてない現状があります。 落葉の時期には苦情も非常に多くあるので俊敏に対応出来るようにすると苦情がよくある場所は苦情がある前に清掃に入る等で対応していきます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	側溝清掃延長	管理年報	m	45,971	60,204	62,027	数値	
	考え方、定義、算出方法など	側溝清掃延長距離						数値	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	206,145	人件費（参考）	161,392	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,845	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	209,181	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	207,239		地方債	0
	残額	1,942		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.07%		一般財源	207,239

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
予算管理事業	道路側溝清掃維持管理【継続】	2,941	0	0	2,941	01	水路管理費
	維持補修事業【継続】	94,580	0	0	94,580	01	道路橋梁維持費
	維持修繕事務所施設管理【継続】	9,539	0	0	9,539	01	水路管理費
	道路舗装事業【継続】	100,179	0	0	100,179	01	道路舗装事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3)マイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめ	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課	230100 環境政策課 401000 都市整備課 403000 建築審査課 430500 基盤整備課 431000 基盤管理課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○交通体系の円滑化を進めるために、関係機関との連携・調整を図ります。</p> <p>○市民生活の利便に資するとともに、路上駐車を解消するために、道路交通の安全と円滑化を図ります。</p> <p>○鉄軌道駅で、視覚障害者等鉄道利用者がホームから転落することを防止するために、可動式ホーム柵及びホームドアの整備を促進します。</p> <p>○北大阪急行延伸線開業に合わせ、千里中央地区活性化ビジョンの実現をめざす動きの中で、当該地区が抱える交通問題の解決するために、将来の交通需要を考慮した安全で快適な駅前空間の実現に向けた駅前広場再整備を実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○【拡充】豊中市地域公共交通協議会を開催し、関係機関との連携・調整を図りました。</p> <p>○路外駐車場の整備等について事業者と協議を行い、路上駐車の解消を図りました。</p> <p>○可動式ホーム柵及びホームドアの整備について、事業者と協議を行いました。</p> <p>○千里中央駅前広場再整備に向けた基本設計を実施するとともに、事業者や関係者と協議を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○関係機関との連携・調整を図りながら、豊中東西線バスや乗合タクシーの運行内容を改善し、利用者が増加しました。</p> <p>○事業者と協議し、路外駐車場設置届出を受理しました。</p> <p>○阪急電鉄宝塚線の可動式ホーム柵及びホームドアの整備について、バリアフリー料金制度を導入し推進することになりました。</p> <p>○千里中央駅前広場再整備事業を推進するために、各種関係者等と調整を行い、事業計画の早期確定に向けて取り組みます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	バス利用者一人当たりの補助額 (豊中市東西線)	阪急バス実績報告	円/人		310	202	数値	787
	考え方、定義、算出方法など	市補助額(年間運行経費89,000千円)÷(年間利用者数310人×365日)=787円/人							
2	参考	乗合タクシー利用者数(西部路線)	受託事業者報告	人/日	7.7	8.9	12	数値	20
	考え方、定義、算出方法など	年間利用者数(実施計画における目標値 20人/日)							
3	参考	乗合タクシー利用者数(南部路線)	受託事業者報告	人/日		2.8	2.7	数値	20
	考え方、定義、算出方法など	年間利用者数(実施計画における目標値 20人/日)							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府鉄道駅可動式ホーム柵整備事業費補助金交付要綱、大阪府福祉まちづくり条例 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、豊中市公共交通改善計画 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	111,094	人件費（参考）	33,308
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	111,094	国・府支出金	0
	決算額	76,179	地方債	0
	残額	34,915	財源内訳の その他 特定財源	108
	執行歩合	68.57%	一般財源	76,071

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
交通対策事業【拡充】	70,673	0	0	70,565	01	土木総務費
路外駐車場管理事業【継続】	6	0	0	6	01	土木総務費
鉄道駅安全対策事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費
千里中央駅前広場再整備事業【継続】	5,500	0	0	5,500	01	道路橋梁新設改良費



3-4 魅力的な住環境の形成

良好な住環境を保全・継承し、誰もが快適に暮らしやすい魅力的なまちづくりに取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます	4事業
①千里中央駅周辺の活性化	
②中心市街地の活性化	
③大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進	
空港を活かしたまちづくり推進事業	都市活力部 空港課
都市計画調整	都市計画推進部 都市計画課
千里ニュータウン再生推進事業	都市計画推進部 都市整備課
都市・地域拠点の活性化推進事業	都市計画推進部 都市整備課
(2)社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	2事業
①良質な住宅ストック形成の促進	
②市営住宅の適切な管理	
住宅施策関連事業	都市計画推進部 住宅課
市営住宅施設運営管理	都市計画推進部 住宅課

(3)まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	7事業
①良好な住環境の維持・継承	
②適切な規制誘導による土地利用の推進	
③空き家対策の推進	
④バリアフリー化の推進	
境界確定事業	財務部 資産管理課
開発・建築行政にかかる審査会の運営	都市計画推進部 都市計画課
開発審査・指導事業	都市計画推進部 開発審査課
建築基準法審査・指導関連事業	都市計画推進部 建築審査課
違反建築物等指導事業	都市計画推進部 建築安全課
中高層建築等調整事業	都市計画推進部 中高層建築調整課
住民主体のまちづくりの推進	都市計画推進部 都市計画課

(4)まちの魅力を高める都市景観づくりを進めます	1事業
①良質な都市景観の保全・創造	
都市景観形成の推進	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	空港を活かしたまちづくり推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課	230000 環境部 430000 都市基盤部		

事業概要	<p>○大阪国際空港周辺地域の活性化を図るため、空港周辺場外用地の利活用や空港を活かしたまちづくりの取組みを進めます。</p> <p>○大阪国際空港周辺緑地事業の緩衝緑地Ⅱ期事業の計画地で、隣接する千里川土手が観光スポットとなっていることから、大阪国際空港周辺地域の活性化を目的に、千里川土手と一体的な空間として魅力的なスポットとするため、（仮称）原田緩衝緑地の整備を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】原田緑地整備・管理運営事業に向けて、市民や空港周辺地域住民を対象にワークショップを開催しました。</p> <p>○【拡充】原田緑地整備・管理運営事業（DBO方式）の募集要項等の資料作成、条例改正、事業者選定委員会の運営等を行いました。</p> <p>○【拡充】千里川土手の整備に向けて、関係機関と協議を進め、CVM評価を行うとともに、かわまちづくり協議会を発足しました。</p> <p>○移転補償跡地の防火水槽用地（1件 消防局）の買取りを行うとともに、空港運営者と連携し、移転補償跡地（2件）の売却を進めました。</p> <p>○走井地区内緩衝緑地において、地元住民や航空会社、空港運営者と連携し、開放イベントを実施しました。</p> <p>○コロナ禍による制限の解除に伴い、航空需要の回復も見られ、これまで実施を見送っていた神楽公演や就航都市事務担当者会議等の交流事業を実施しました。</p> <p>○益田市、隠岐の島町の2就航都市での「クラダシチャレンジ」事業の実現に向けて、協議を進めました。</p> <p>○ふるさと納税について、空港のあるまちならではの返礼品として、池田市、伊丹市、日本航空株式会社大阪空港支店と協力し、JAL「大阪国際空港施設見学ツアー」の実施に向けて取り組みました。</p> <p>○【新規】他部局や関係機関、周辺住民との緊密な連絡調整を行いながら、原田緑地整備・管理運営事業に向けた事前調査を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大阪国際空港周辺地域整備構想の具体化が進みました。</p> <p>○原田緑地整備・管理運営事業（DBO方式）の公募に至りました。</p> <p>○かわまちづくり協議会を発足し、千里川土手の整備に向けた取組みが進みました。</p> <p>○移転補償跡地の有効活用が進みました。</p> <p>○走井地区内緩衝緑地の有効活用と内容の充実が進みました。</p> <p>○引き続き就航都市交流事業や活性化イベントに取り組むとともに、交流都市の拡大や交流範囲を市民レベルへと広げるための取組みを進めます。</p> <p>○益田市、隠岐の島町の2就航都市での「クラダシチャレンジ」実施について、共催する事業者の取扱い可能な人数に上限があることから、9月頃に益田市で実施し、冬場以降に隠岐の島町で実施するよう協議を進めます。</p> <p>○ふるさと納税返礼品について、円滑に事業を進めるとともに、新たな可能性を検討します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	目標
1	目標	緩衝緑地の整備率	担当課調査	%	46	46	46	数値年	61 令和7
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	利用緑地の整備率	担当課調査	%	99	99	99	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	就航都市との交流事業数	担当課調査	件	1	3	12	数値年	12 令和4
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	大阪国際空港周辺地域活性化連絡会事業数	担当課調査	件	2	2	4	数値年	8 令和4
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	移転補償跡地利活用面積割合	担当課調査	%	88	88	88	数値年	90 令和7
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪国際空港周辺整備計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	空港で結ぶ友好都市提携に関する協定、災害時の相互応援に関する協定、大阪国際空港周辺地域整備構想

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	24,164	人件費（参考）	22,275	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	40	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	24,259	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	15,749		地方債	0
	残額	8,510		その他 特定財源	7
	執行歩合	64.92%		一般財源	15,742

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	大阪国際空港周辺場外用地利活用事業【拡充】	12,401	0	0	12,401	01	生活環境費	
	空港を活かしたまちづくり推進事業【継続】	1,921	0	0	1,914	01	生活環境費	
	大阪国際空港周辺地域整備事業【完了】	0	0	0	0	01	生活環境費	
	(仮称)原田緩衝緑地整備事業【新規】	1,427	0	0	1,427	01	空港周辺地域整備事業	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市計画調整	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	67
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○第2次都市計画マスタープランで示す都市空間の将来像の実現に向けて、都市づくりを進めるため、都市計画に関する調査及び分析を行い、都市計画制度を適切に運用し、施策の検討及び立案を行います。また、都市計画に関する情報発信を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画審議会を2回開催し、都市計画変更を3件（新千里北住宅地区地区計画、特別用途地区、生産緑地地区）行うとともに、特定生産緑地の指定を行いました。 ○土地利用調査及び都市計画現況調査をそれぞれ1回ずつ実施しました。 ○都市計画の情報提供に関するサービスについて、都市計画証明の発行やホームページの随時更新を行うとともに、窓口システムの運用を開始しました。 ○立地適正化計画の中間評価及び見直しに向け、公募型プロポーザルにより契約候補者を選定しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○現状の土地利用の状況変化や社会経済状況の変化等を踏まえ、都市計画変更等により第2次都市計画マスタープランで示す都市空間の将来像の実現に寄与しました。今後も継続的に実施します。 ○土地利用調査や都市計画現況調査等を行い、都市計画変更等の基礎となるデータの整備を行いました。今後も継続的に実施します。 ○これまでのホームページに加え、窓口システムによる情報提供を開始し、市民が都市計画情報を確認する機会を充実させました。引き続き、ホームページや窓口システムによる情報提供を行ってまいります。 ○立地適正化計画の改定にかかる契約候補者の選定を行い、令和5年度当初に着手できることとなりました。引き続き改定作業を進め、当年度中に計画を公表します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	都市計画審議会諮問・付議件数	担当課調査	件	4	7	4	数値	5
		考え方、定義、算出方法など	見込					年	2022
2	参考	窓口システムの都市計画情報出力件数	担当課調査	件			2,345	数値	
		考え方、定義、算出方法など	実績					年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市土地利用の調整に関する条例、第2次都市計画マスタープラン、立地適正化計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	3,105	人件費 (参考)	41,310	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	3,105	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	377
	決算額	2,399		地方債	0
	残額	706		その他 特定財源	127
	執行歩合	77.26%		一般財源	1,895

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	都市計画調整事業【継続】	2,084	377	0	1,580	01	都市計画総務費	
	都市計画策定事業【継続】	291	0	0	291	01	都市計画総務費	
	都市計画マスタープランの推進【継続】	24	0	0	24	01	都市計画総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	千里ニュータウン再生推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	300100 コミュニティ政策課		

事業概要	<p>○「千里ニュータウン再生指針2018」に基づき、千里ニュータウン再生を推進する取組みを進めるために、千里ニュータウンの整った都市基盤や周辺の高度な都市機能を活かし、市民・事業者・行政が連携してまちの活性化を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議において、千里ニュータウンに関する情報交換、行政間の調整、調査研究、資料収集・整理、千里ニュータウンポータルサイトの運営等に関する会議を12回開催しました。</p> <p>○千里市民フォーラム、千里キャンドルロード、せんちゅう芝生ナイトシアター、SENRI PARK LIFE DESIGNの開催に向けた活動支援として、月1回程度の会議の出席などを行いました。</p> <p>○「千里ニュータウン再生指針2018」の実現に向けて、大阪大学と新千里南町近隣センターの活性化の取組み（ワークショップ）を行いました。</p> <p>○千里中央地区東町中央ゾーン再整備検討会において、令和5年度中の事業認可を目標として土地区画整理事業の概略検討を行いました。</p> <p>○千里中央地区活性化協議会の運営を行うとともに、エリアマネジメントの実施に向けた検討を行う会議を8回開催しました。</p> <p>○新千里東町近隣センター地区市街地再開発組合において、地区会館棟を竣工しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議で、千里ニュータウンまちびらき60周年に関するロゴマークの募集や巡回写真展を実施したことにより、千里ニュータウンへの情報発信につながりました。</p> <p>○市民活動の支援を図った結果、地元事業者も巻き込んで、産官民連携した賑わいづくりに寄与しました。</p> <p>○新千里南町近隣センターで大阪大学と作業や、ワークショップなどの実施により、多くの住民の目に触れることができ、地域の活性化に繋がりました。</p> <p>○千里中央地区東町中央ゾーン再整備検討会により、民間事業者のアフターコロナの事業計画見直しが進捗につながりました。ただし、今般の建設費の高騰など新たな課題が出てきており、引き続き検討を行い、早期の事業計画の決定に努めます。</p> <p>○防災ワーキングや景観ワーキングの実施により、地区内の各事業者の課題共有が図られ、課題解決に向けた関連事業者間での連携によるエリアマネジメントの検討が進みました。</p> <p>○地区会館棟の完成により、地区会館棟と郵便局の移転ができ、地域拠点としての機能更新が図られ、地域の活性化に繋がりました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	千里ニュータウン内の人口（豊中市域）	担当課調査	人	101,551	103,262	103,055	数値	
	考え方、定義、算出方法など	住民基本台帳（10月1日時点）の新千里北町・新千里東町・新千里西町・新千里南町の人口							
2	参考	再整備に関する協議回数	担当課調査	回	40	40	50	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	再生連絡協議会の開催回数	担当課調査	回	2	2	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	連絡会議の開催回数	担当課調査	回	8	10	9	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	基本方針による行政指導件数	担当課調査	件	29			数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法、建築基準法、土地区画整理法、都市開発法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	千里ニュータウン再生指針2018、千里中央地区活性化ビジョン、千里中央地区活性化基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	34,031	人件費（参考）	42,525	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	38,031	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	29,408		地方債	0
	残額	8,623		その他 特定財源	517
	執行歩合	77.33%		一般財源	28,891

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		千里ニュータウンまちづくりの推進【継続】	240	0	0	240	01	都市計画総務費
	近隣センターの活性化【継続】	591	0	0	591	01	都市計画総務費	
	千里中央地区再整備【継続】	9,250	0	0	8,733	01	都市計画総務費	
	新千里東町近隣センター整備事業【継続】	18,000	0	0	18,000	01	都市再開発事業費	
	千里ニュータウンの再生【継続】	33	0	0	33	01	都市計画総務費	
	千里中央地区再整備事業【継続】	1,294	0	0	1,294	01	都市再開発事業費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市・地域拠点の活性化推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	200100 経営計画課 262500 資産管理課 400500 都市計画課 430500 基盤整備課		

事業概要	<p>○都市・地域拠点の活性化の推進のため、にぎわいと魅力ある都市空間の形成をめざします</p> <p>○服部天神駅周辺地区において市民の日常生活拠点の確保のため、整備を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○【新規】服部天神駅前広場の整備に向け、関係地権者の9割と補償契約を締結しました。</p> <p>○豊中地区において、「豊中駅周辺再整備構想」の実現に向け、市民参加型ワークショップを3回開催しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○移転補償交渉対象者の約9割と補償契約を締結することで、事業の推進につながりました。今後は関係地権者の全員と補償契約の締結を進めます。</p> <p>○事業地内の一部の道路を整備することで、通行人の安全性の確保につながりました。</p> <p>○豊中地区では、市民参加型ワークショップの実施により、地域が主体となったまちづくり活動のきっかけにつながりました。</p> <p>○豊中駅周辺再整備構想の実現に向け、引き続き、市民参加型ワークショップを開催しながら、魅力あるまちづくりに向けた合意形成に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中駅乗降客数（通年平均）	豊中市統計書	人	47,483	36,191	36,843	数値	
		考え方、定義、算出方法など	前年度調査						
2	参考	服部天神駅乗降客数（通年平均）	豊中市統計書	人	23,920	18,505	18,505	数値	
		考え方、定義、算出方法など	前年度調査						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法、土地区画整理法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	中心市街地活性化基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	316,984	人件費（参考）	42,525																																																																																																																																																																										
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0																																																																																																																																																																										
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	380,628	決算額の 財源内訳	国・府支出金	0																																																																																																																																																																									
	決算額	360,362		地方債	209,000																																																																																																																																																																									
	残額	20,266		その他 特定財源	925																																																																																																																																																																									
	執行歩合	94.68%		一般財源	150,437																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市・地域拠点の活性化の推進【継続】</td> <td>4,359</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,359</td> <td>01</td> <td>都市計画総務費</td> </tr> <tr> <td>服部天神駅周辺地区整備（都市再開発事業費）【継続】</td> <td>146,935</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>146,010</td> <td>01</td> <td>都市再開発事業費</td> </tr> <tr> <td>公共用地先行取得事業（服部天神）【新規】</td> <td>209,068</td> <td>0</td> <td>209,000</td> <td>68</td> <td>47</td> <td>公共用地先行取得事業</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>							予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	都市・地域拠点の活性化の推進【継続】	4,359	0	0	4,359	01	都市計画総務費	服部天神駅周辺地区整備（都市再開発事業費）【継続】	146,935	0	0	146,010	01	都市再開発事業費	公共用地先行取得事業（服部天神）【新規】	209,068	0	209,000	68	47	公共用地先行取得事業																																																																																																																																											
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																																																								
都市・地域拠点の活性化の推進【継続】	4,359	0	0	4,359	01	都市計画総務費																																																																																																																																																																								
服部天神駅周辺地区整備（都市再開発事業費）【継続】	146,935	0	0	146,010	01	都市再開発事業費																																																																																																																																																																								
公共用地先行取得事業（服部天神）【新規】	209,068	0	209,000	68	47	公共用地先行取得事業																																																																																																																																																																								
予算管理事業																																																																																																																																																																														

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	住宅施策関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400100 都市計画推進部・住宅課		
関連部局・課	260500 固定資産税課 330000 福祉部		

事業概要	<p>○豊中市における魅力的な住環境の形成を推進するため、市の各部局が実施している様々な住宅関連施策・事業についての総合企画及び庁内関係部局等との調整を行います。また、年度を通して、市民等に対し適切な情報提供を行います（広報とよなか、市ホームページ、その他の広報媒体）。</p>
当該年度の実績	<p>○サービス付き高齢者向け住宅の新規登録1件・更新登録5件・変更手続き等の受付86件、登録物件への立入検査10件を実施しました。 ○【新規】分譲マンションの管理適正化に向けてアドバイザー派遣制度や管理組合用郵便受け設置補助制度を開始しました。また、マンション管理セミナーの実施やマンション管理組合に向けて管理状況等の実態の把握を目的としたアンケート調査を行いました。 ○NPO法人等との共催で「住まい」や「暮らし」に関するイベント等を実施しました（住宅フェア1回、住まいと暮らしの相談は随時対応、不動産相談会4回）。 ○総合的な空き家対策方針に基づき、空き家の家財整理・相続セミナーを実施しました。また、固定資産税納税通知書に相続登記の啓発チラシを同封しました。 ○空家等対策計画を作成するための基礎調査として、市内全域における空家実態調査を実施し、本市の空き家の状況把握と分析を行いました。 ○租税特別措置法に基づく被相続人居住用家屋等確認書55件、低未利用土地等確認書3件を交付しました。 ○居住支援協議会において、不動産事業者団体・福祉事業者団体・庁内関係部局と連携し、セーフティネット住宅の登録促進、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援しました。 ○市外在住の子育て世帯が市内に住む親世帯と同居・近居するための住宅の取得費用やリフォーム費用の一部を補助しました（60件）。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数は順調に増加しており、引き続き、福祉部局と連携し、サービス付き高齢者向け住宅の普及促進を図ります。 ○市内分譲マンションの管理に関するアンケート調査の結果から、本市のマンションの大半は適切に管理されていると考えられますが、未回答のマンションの中には適正な管理が行われていないものが存在する可能性があるため、管理状況の把握を継続的に進める必要があります。 ○マンション管理適正化推進計画に基づき、マンションの管理水準の維持向上を図るため、管理計画認定制度の普及促進を行います。また、管理組合が自主的かつ適切にマンションの管理運営に取り組むための支援として、引き続きセミナーの開催やアドバイザー派遣等を実施します。 ○三世帯同居・近居を促進する補助事業では、多くの子育て世帯の転入・定住の促進、世代間の助け合いにつなげてきましたが、事業開始から3年目となる今年度で終了し、今後はセーフティネットづくりの視点から子育て・介護施策との連携や既存住宅の流通促進等の取組みを引き続き進めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中市内のサービス付き高齢者向け住宅の登録住戸数	担当課調査	戸	1,532	1,575	1,605	数値	1,700
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
2	参考	分譲マンション管理セミナー参加者数	担当課調査	人	-	43	48	数値	100
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
3	参考	住まいと暮らしの相談件数	担当課調査	人	211	117	50	数値	20
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
4	参考	住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録戸数	担当課調査	戸	1,168	1,222	1,273	数値	1500
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市営住宅施設運営管理	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400100 都市計画推進部・住宅課		
関連部局・課	103000 法務・コンプライアンス課 262000 債権管理課 263000 施設課 330500 福祉事務所 331000 障害福祉課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○住宅に困窮している低額所得者等を対象とする市営住宅の適切な運営管理を図ります。</p> <p>○市営住宅の適切な維持管理、居住性が低下した住宅の改善、ユニバーサルデザインやバリアフリー化の推進等を図ります。</p> <p>○市営住宅等の施設の効用を最大限に発揮するために、施設の効率的・効果的な運営を図ります。</p> <p>○豊中市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の効率的な維持・更新を行うとともに、市営住宅の既存ストックを長期的に有効かつ適切に活用するため、長寿命化を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市営住宅の適切な維持管理（随時）、入居者募集（5・9・1月実施）、家賃の決定（2月実施）・徴収（随時実施）、入居者の異動管理（随時実施）を行いました。</p> <p>○指定管理者において、基本協定・年度協定に基づく業務が適正に行われるよう調整等を行うとともに、多様化する管理業務をより効率的かつ適正に行いました（随時実施）。</p> <p>○市営住宅の家賃滞納者について、建物明渡し等を求める訴訟提起1件行い、和解となりました。</p> <p>○市営住宅の相続人不存在である单身死亡者について、建物明渡し等を求める訴訟1件提起し、強制執行を行いました。</p> <p>○居住環境の維持と安全性を確保するため、予防保全を目的とする改修工事及び緊急的な修繕を適切に行いました。（市：三国住宅（第Ⅲ期）、小曽根住宅、二葉第2住宅の外装工事、岡町北住宅3棟のEV改修工事、螢池北住宅のEV改修設計委託、指定管理者：随時実施）</p> <p>○【新規】西谷住宅建替事業の実施に向けて、公民連携手法アドバイザー業務委託（令和4・5年度）を実施し、当年度は、実施方針の公表及び事業者選定に向けた要求水準書（案）の作成を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○指定管理者による運営管理を実施することで、状況に応じた修繕や自治会等からの要望などに柔軟に対応することができました。また、住宅確保に特に配慮が必要と思われる子育て世帯などに対しては、入居予定選定時の抽選において優遇措置を講じました。指定管理者制度の活用により、民間の住宅管理に関するノウハウを吸収するとともに、市民サービスの向上と経費の抑制に努めることで、引き続き効率的・効果的な市営住宅の運営管理を図ります。</p> <p>○早い段階での納付指導の成果で訴訟等に至る前に解決するケースが多く、訴訟等の件数は減少しています。口座振替や住宅扶助費の代理納付を促進するとともに、催告書等の毎月送付や面談による聞き取り調査等で把握できた生活・収入状況を踏まえた納付指導を行うことにより、納付意識の向上に取り組みます。これらの取組みにもかかわらず滞納の解消が見込めない場合には、訴訟等法的措置を取ります。</p> <p>○優先順位をつけて計画修繕を実施しましたが、本来の長期修繕計画より遅延しています。「豊中市営住宅長寿命化計画」に基づき、年次計画通りに事業を推進し、事業の平準化、緊急対応的な事後保全の回避、予防保全を目的とする改修・改善を行うとともに、建替事業を適切に実施することで、建替えによる集約化も視野に入れながら、長期的な市営住宅の維持管理費の抑制を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	家賃収納率（現年度分）	担当課調査	%	99.58	99.79	99.43	数値	99.8
	考え方、定義、算出方法など	目標値：指定管理者にインセンティブ（報奨金）を与える水準として設定した数値							
2	参考	明渡し訴訟件数	担当課調査	件	1	2	2	数値	3
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	生活保護受給者家賃代理納付率	担当課調査	%	62	81	79	数値	82
	考え方、定義、算出方法など	数式：代理納付件数÷生活保護受給者数（小数点以下四捨五入）							
4	参考	家賃口座振替加入率	担当課調査	%	61	64	64	数値	65
	考え方、定義、算出方法など	数式：家賃口座振替件数÷入居者数（小数点以下四捨五入） 【参考】入居者の14%は代理納付者（納付書払い）							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公営住宅法、住宅地区改良法、住生活基本計画（全国計画）等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	市営住宅条例、市営住宅条例施行規則、豊中市営住宅長寿命化計画、市営住宅家賃等滞納整理要領 等

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	965, 229	人件費（参考）	43, 821				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	991	公債費（参考）	67, 560				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	978, 119	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	79, 951			
	決算額	849, 799		地方債	0			
	残額	128, 320		その他 特定財源	420, 426			
	執行歩合	86. 88%		一般財源	349, 422			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 （コード）	目
市営住宅施設運営管理【継続】		443, 637	24, 854	0	7	01	住宅管理費	
市営住宅施設管理【継続】		1, 415	0	0	660	01	住宅管理費	
市営住宅長寿命化計画の推進【継続】		895	0	0	0	01	住宅管理費	
市営住宅施設運営管理（訴訟費）【継続】		464	0	0	464	01	訴訟費	
市営岡町北住宅1・2棟整備事業【完了】		0	0	0	0	01	住宅整備費	
市営住宅整備事業【継続】		396, 470	51, 898	0	344, 572	01	住宅整備費	
事務費（住宅整備費）【継続】		1, 365	0	0	1, 365	01	住宅整備費	
市営西谷住宅整備事業【新規】		5, 553	3, 199	0	2, 354	01	住宅整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	境界確定事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 431000 基盤管理課 600400 学校施設管理課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○公共用地と民有地の境界を確定することにより、公共用地の適切な管理や有効活用に貢献します。 ○地籍調査事業を実施することにより、災害復旧時の迅速化や測量費用軽減等の市民サービスの向上を図ります。 ○公共用地の境界確定や地籍調査事業に関する情報を管理・更新するために、適切なシステムの運用を行います。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○公共用地との境界確定事業については、336件行いました。 ○地籍調査事業については、第七次国土調査事業十箇年計画（国土調査促進特別措置法）に基づき、小学校用地を含む大黒町1丁目（0.11km²）において実施しました。 ○システムを活用し、境界確定図の写しを6,351件発行しました。

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○境界確定事業により、公共用地の適切な管理や有効活用に貢献しました。 ○地籍調査事業の成果を利活用することにより、災害復旧時の迅速化や市民サービスの向上につなげるとともに、学校用地の測量費の低減を行いました。引き続き、第七次国土調査事業十箇年計画や庄内地域における魅力ある学校づくり計画と連携しながら、事業を実施します。また、成果の利活用の促進のため、新たなシステムを導入します。 ○専門的な業務であることから、職員の人材育成や技術の継承が課題です。
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	地籍調査の地区面積	第七次十箇年基本計画	Km ²	0.08	0.11	0.11	数値	1.13
		考え方、定義、算出方法など						年	2029
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国土調査法、地籍調査作業規程準則
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	公共用地境界確定協議事務取扱要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,731	人件費（参考）	60,183
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,731	国・府支出金	9,887
	決算額	15,053	地方債	0
	残額	3,678	その他 特定財源	1,759
	執行歩合	80.36%	一般財源	3,407
			決算額の内訳	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	境界確定事業【継続】	413	0	0	0	01	財産管理費
	地籍調査【継続】	12,814	9,887	0	2,927	01	財産管理費
	明示システムの運用【継続】	1,826	0	0	480	01	財産管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	開発・建築行政にかかる審査会の運営	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課	402500 開発審査課 403000 建築審査課		

事業概要	<p>○開発許可等への不服申し立てを審理し裁決を行うために、開発審査会の事務局として、運営に係る事務を行います。</p> <p>○建築許可に関する同意や建築確認等への不服申し立てを審理し裁決を行うために、建築審査会の事務局として、運営に係る事務を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画法に基づく審査請求がなかったため、開発審査会の開催はありませんでした。</p> <p>○建築審査会を3回開催し、建築基準法の規定により同意を求められた案件と審査請求の審理、裁決を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○開発許可行政の適正な運営の確保に寄与しています。</p> <p>○開発審査会は都市計画法第78条第1項に基づき設置された市の附属機関であり、事務局として運営に係る事務を円滑に進めていきます。</p> <p>○建築確認行政の適正な運営の確保に寄与しています。</p> <p>○建築審査会は建築基準法第78条第1項に基づき設置された市の附属機関であり、事務局として運営に係る事務を円滑に進めていきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建築審査会開催数	担当課調査	回	3	4	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	建築許可に関する同意や建築確認等への不服申し立てを審理し裁決を行うもの。							
2	参考	開発審査会開催数	担当課調査	回	0	1	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	開発許可等への不服申し立てを審理し裁決を行うもの。							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	建築基準法、都市計画法、都市計画法施行令
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市建築審査会条例、豊中市建築審査会議事規則、豊中市開発審査会条例、豊中市開発審査会規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	1,597	人件費 (参考)	3,240	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	1,597	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	439		地方債	0
	残額	1,158		その他 特定財源	0
	執行歩合	27.49%		一般財源	439

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		開発審査会【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指 導費
	建築審査会【継続】	439	0	0	439	01	建築開発指 導費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	開発審査・指導事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	402500 都市計画推進部・開発審査課		
関連部局・課	200100 経営計画課 212000 産業振興課 230100 環境政策課 230500 家庭ごみ事業課 233000 公園みどり推進課 233500 事業ごみ指導課 332300 (保健所衛生管理課) 400500 都市計		

事業概要	<p>○地域の特性を踏まえた土地利用・住環境整備の総合的・計画的推進のため、開発事業等の協議・指導、許可・検査を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画施設等の事業の円滑な施行を確保するため、建築行為等に対し、法律等に定められている許可基準の審査を行いました。</p> <p>○都市計画法や豊中市土地利用の調整に関する条例に定められているまちづくりの基準、開発許可基準の指導及び審査を行い、現場確認や完了検査で安全な宅地が形成されているか確認を行いました。</p> <p>○宅地造成等規制法に定められている許可基準の指導及び審査を行い、完了検査等で安全な宅地が形成されているか確認を行いました。</p> <p>○建築基準法に定められている位置指定道路の指定基準の指導及び審査を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○民間事業者等の建築行為等に対し、都市計画施設の整備等と併せて一体的に取り組んでいきます。</p> <p>○民間事業者等の開発行為等に対し、良好な都市環境整備を誘導するために指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p> <p>○安全な宅地形成と宅地災害のない安全なまちづくりを推進し、良好な宅地の供給に寄与するため、指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p> <p>○危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するための宅地造成等規制法の法改正がされるため、このことに伴う諸手続きを関係部局と共に進めていきます。</p> <p>○未接道の敷地に対し位置指定道路の構築を誘導することにより土地の有効利用が図れ、市街地の整備、まちの活性化に寄与するため、指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	都市計画法53条許可件数		件	11	10	9	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	都市計画法29条許可件数		件	35	34	28	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	宅地造成等規制法8条許可件数		件	5	11	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	道路位置指定件数		件	4	8	5	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法・施行令、宅地造成等規制法・施行令、建築基準法・施行令、租税特別措置法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市土地利用の調整に関する条例、豊中市宅地造成等規制法施行細則、豊中市道路位置指定申請のしおり

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	786	人件費 (参考)	85,860	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	786	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	574		地方債	0
	残額	212		その他 特定財源	574
	執行歩合	73.03%		一般財源	0

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
都市計画法 (53条・65条) 許可事業【継続】	5	0	0	0	01	建築開発指導費
開発行為等 (条例、都市計画法29条・34条の2等) 許可事業【継続】	555	0	0	0	01	建築開発指導費
宅地造成法 (8条・11条等) 許可事業【継続】	10	0	0	0	01	建築開発指導費
道路位置指定事業【継続】	4	0	0	0	01	建築開発指導費
優良宅地認定事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	建築基準法審査・指導関連事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	403000 都市計画推進部・建築審査課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○「住んでみたい、住み続けたいまちづくり」の実現に向け、良質な住宅ストック、良好な市街地環境の維持・継承を推進するため、建築基準法等の法令や条例に基づく制度を適正に運用し、また市民や事業者等に対する助言・指導を通じて、市民の生命、健康及び財産の保護を図るとともに、周辺環境と調和した秩序ある土地利用を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○土地利用の更新や建築の機会をとらえてまちづくりに関する助言・指導を行いました。 ○長期優良住宅の認定申請された建築計画に対して、認定基準に基づき審査を行い、認定しました。 ○建築物省エネ法に基づく届出された計画に対して、建築物エネルギー消費性能基準に基づき審査し、受理しました。 ○吹付けアスベスト調査及び除去補助の申請はありませんでした。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○まちづくりに関する助言・指導を行い、良好な住環境の形成につながりました。 ○長期優良住宅の認定を行うことで、良質な住宅ストックの確保につながりました。 ○建築物省エネ法に基づく届出を審査し、受理することで建築物のエネルギー消費性能の向上につながりました。 ○吹付けアスベスト補助制度の申請者が手続きの際、何度も来庁する必要があることが、申請件数の少なさに至る課題の一つと捉え、電子申込システムで提出できるようにしました。また、引き続きホームページを利用しての周知を行っていきます。</p>
----------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建築行為等届出件数	担当課調査	件	1,286	1,308	1,191	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	土地利用の調整に関する条例による手続き。届出計画に対して必要な措置を助言・指導することができる。						
2	参考	長期優良住宅建築等計画の認定件数	担当課調査	件	360	446	472	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の建築や維持保全計画を認定するもの。						
3	参考	建築物省エネ法に基づく届出件数	担当課調査	件	107	74	62	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	建築物省エネ法に基づく手続き。建築物の省エネ性能の向上を図るためのもの。						
4	参考	吹付けアスベスト調査補助件数	担当課調査	件	0	2	0	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	アスベスト調査にかかる費用の補助を行うことにより、吹付けアスベスト飛散防止対策の推進を図るもの。						
5	参考	吹付けアスベスト除去補助件数	担当課調査	件	1	0	0	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	吹付けアスベスト除去工事の費用の補助を行うことにより、吹付けアスベスト飛散防止対策の推進を図るもの。						

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	建築基準法、長期優良住宅の普及の促進に関する法律、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	土地利用の調整に関する条例、吹付けアスベスト調査補助金交付要綱、吹付けアスベスト除去補助金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	7,974	人件費（参考）	109,350	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	74	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	8,048	財源内訳 の	国・府支出金	0
	決算額	6,278		地方債	0
	残額	1,770		その他 特定財源	6,269
	執行歩合	78.01%		一般財源	9

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		建築基準法審査等事業【継続】	1,491	0	0	0	01	建築開発指 導費
	アスベスト対策事業【継続】	9	0	0	9	01	建築開発指 導費	
	建築指導事業【継続】	4,778	0	0	0	01	建築総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	違反建築物等指導事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	403500 都市計画推進部・建築安全課		
関連部局・課	030100 危機管理課 232500 美化推進課 233000 公園みどり推進課 400100 住宅課 400500 都市計画課 403000 建築審査課 431000 基盤管理課 431500 基盤保全課 562000 予防課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な住環境を形成、継承するために、違反建築等の未然防止、啓発、早期発見、是正指導等を行うことで秩序ある土地利用を誘導します。また、周辺の住環境に影響を及ぼす管理不全空き家について適切な維持管理の啓発、助言、指導を行い安全安心なまちづくりをめざします。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による届出書を提出させることにより、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進める取組みに寄与します。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○定期パトロールを実施し、中間・完了検査の受検、違反建築等の未然防止の啓発を行いました。また、通報や相談等により確知した管理不全空き家について、所有者等に適切な維持管理の助言、指導を行いました。 ○課税通知書に啓発チラシを同封することで、空き家の適切な維持管理の啓発を行いました。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出の受付業務や無届工事等の違反行為の指導等を行いました。また、環境関連部局と年2回の合同パトロール、庁舎ロビーでのパネル展を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○建築現場の定期パトロールを実施することで、中間・完了検査受検の啓発、違反建築等の発生抑止を図りました。また通報や相談等により確知した管理不全空き家について、所有者等に適切な維持管理の助言や指導を行うことで、管理不全空き家の改善、解消を図りました。今後も、定期パトロール等を通じ、中間・完了検査受検や、無確認増築等法的手続きの遵守を啓発し、良好な住環境の整備を進めるとともに、管理不全空き家の改善、解消に向け関係部局と情報共有や連携を図りながら啓発、助言、指導を行い、安全安心なまちづくりをめざします。 ○課税通知書に啓発チラシを同封することで空き家の適切な維持管理の啓発を促しました。今後も空き家所有者の意識啓発を継続して取り組みます。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出の受付業務や無届工事等の違反行為の指導、環境部局との合同パトロールやパネル展を行うことで、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進める取組みを行いました。今後も、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出事務を通じ、環境部局と連携しながら年2回の合同パトロール、パネル展を行うとともに、無届工事等の違反行為の指導等を行い、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進めるよう取り組みます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	違反建築物等の発生抑止に資するパトロールの実施件数	担当課調査	件	464	457	342	数値	500
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	違反建築防止週間パトロール件数	担当課調査	件	60	62	33	数値	60
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
3	参考	建設リサイクル届出件数	担当課調査	件	762	745	746	数値	650
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	建築基準法、空家等対策の推進に関する特別措置法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市空家等対策の推進に関する特別措置法施行細則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,381	人件費（参考）	42,930	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,381	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	654		地方債	0
	残額	727		その他 特定財源	0
	執行歩合	47.36%		一般財源	654

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		違反建築物等指導業務【継続】		641	0	0	641	01
	建設リサイクル届出事業【継続】		13	0	0	13	01	建築開発指 導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	中高層建築等調整事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	404000 都市計画推進部・中高層建築調整課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○良好な近隣関係を保持し、地域における住環境の保全及び形成に資するために、中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づき中高層建築物等の建物の概要や工事中の対策などの情報を提供させるとともに助言・指導を行います。</p> <p>○自立支援型福祉社会の実現に資するために、大阪府福祉のまちづくり条例に基づき、高齢者等が安全かつ容易に利用できる都市施設に整備されるよう事前協議を行います。</p> <p>○公共の福祉の増進に資するために、バリアフリー法に基づき、高齢者等の施設利用の利便性や安全性の向上を促進する認定を行います。</p> <p>○良好な生活環境の保全に寄与するため、ラブホテル建築規制条例に基づきラブホテルの建築規制に関して助言・指導を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○中高層建築物等を建築する建築主に、近隣住民に対する建築計画等の事前説明を十分に行わせるとともに、円滑な話し合いを促進させるために指導・調整を行ないました。あっせんの申出件数は0件でした。</p> <p>○大阪府福祉のまちづくり条例に規定する都市施設を設置する事業者と、すべての人たちにとって安全で利用しやすい施設をめざし事前協議を行いました。</p> <p>○バリアフリー法に基づく認定申請は0件でした。</p> <p>○ラブホテル建築規制条例に基づく旅館等建築計画届出は0件でした。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○中高層建築物等の事前説明等を親切・丁寧で、的確に行わせることにより双方の話し合いが促進され、紛争の未然防止が図られました。条例に規定する届出等の手続きとともに、紛争を未然に防止するための調整や指導などの業務を継続して行います。</p> <p>○大阪府福祉のまちづくり条例に基づく建築物移動等円滑化基準に沿って、都市施設の整備について事前協議を行うことにより、高齢者等の日常生活などの移動に対する安全性や施設の利便性の向上を促すことができました。自立支援型福祉社会の実現に資する事前協議を継続して行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	標識設置届出書件数	担当課調査	件	30	42	43	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づく標識設置届出書							
2	参考	あっせん申出件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づくあっせんの申出							
3	参考	都市施設設置工事事前協議書件数	担当課調査	件	5	7	8	数値	
	考え方、定義、算出方法など	大阪府福祉のまちづくり条例に基づく事前協議書							
4	参考	認定申請書件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	バリアフリー法に基づく認定申請書							
5	参考	旅館等建築計画届出書件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ラブホテル建築規制条例に基づく旅館等建築計画届出書							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例、豊中市ラブホテル建築規制条例

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	1,143	人件費（参考）	37,503
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,143	国・府支出金	0
	決算額	8	地方債	0
	残額	1,135	その他 特定財源	0
	執行歩合	0.70%	一般財源	8
			財源内訳	

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		中高層建築物調整事業【継続】	8	0	0	8	01	建築開発指 導費
	ラブホテル建築規制事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指 導費	
	大阪府福祉のまちづくり関連事業【 継続】	0	0	0	0	01	建築開発指 導費	
	バリアフリー法認定事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指 導費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	住民主体のまちづくりの推進	区分	拡充
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域におけるまちづくりの必要性やその取り組みへの理解を深めるため、まちづくりに関する情報提供や啓発を行います。</p> <p>○住民等が自発的に取り組むまちづくり活動の支援を行います。</p> <p>○まちづくり協議会が提案したまちづくり構想の実現にむけた活動の支援を行います。</p> <p>○地区の特性に応じたまちづくりを誘導するため、地区計画制度等の活用を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○まちづくりセミナーをオンラインで2回開催しました。情報誌「まちづくり手帖」を3回発行しました。</p> <p>○まちづくりセミナーのオンライン開催により、第33回まちづくりセミナーでは過去最高の参加者数170名を記録しました。当日参加できなかった申込者を対象にYouTubeで動画の限定配信を行いました。</p> <p>○【拡充】住民主体の地区まちづくり活動を推進し、良好な住環境の保全・形成につながりました。新支援制度を活用し、地区まちづくり活動団体の登録および地区まちづくりルールの登録を各1件行いました。</p> <p>○まちづくり協議会（豊中・岡町）の運営委員会に出席するなどの活動支援を行いました。</p> <p>○まちづくり協議会等まちづくりに係る活動を行っている団体を対象とした「まちづくり懇話会」を開催し、団体間のつながりの醸成を行いました。</p> <p>○新千里北住宅地区の地区計画を変更し、建築条例を改正しました。</p> <p>○既存の地区計画によりグループホームの立地ができなくなっている2地区で住民説明会を開催しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○まちづくりセミナーや情報誌の自治会回覧などにより、より多くの人へまちづくりの情報提供を行うことで、より身近な事例を広く市民に紹介し、まちづくりへの意識向上につながり、まちづくりに関する制度の活用が促進されました。</p> <p>○永楽荘地区の地区まちづくりルールの登録により、住環境の保全およびまちの景観の保全に寄与しました。</p> <p>○住民が主体となる地区まちづくり活動を促進するために、市民への情報提供や啓発を継続的に実施します。特に、地域の新たなまちづくり活動の担い手となる人材の発掘につながるよう、わかりやすく身近な内容の情報誌やセミナーの企画を行います。</p> <p>○今後もまちづくり構想の実現化に向けた取組や、良好な住環境の維持形成に向けた取組を支援します。</p> <p>○関係部局と連携し新支援制度を広く周知し、多様な地区まちづくり活動の支援や啓発活動とあわせて市民主体のまちづくり活動の推進に取り組みます。</p> <p>○既存の地区計画によりグループホームの立地ができなくなっている4地区の地区計画の変更及び建築条例の改正に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	まちづくり活動団体数	担当課調査	組織	3	3	4	数値	5
	考え方、定義、算出方法など	地区まちづくり条例に規定された登録団体等の数							
2	目標	まちづくりセミナー参加者数	担当課調査	人	65	144	244	数値	200
	考え方、定義、算出方法など	延べ参加人数							
3	目標	まちづくりのルール件数	担当課調査	地区	44	45	45	数値	46
	考え方、定義、算出方法など	地域特性を活かした秩序あるまちづくりのルールの策定件数(新規策定のみ区域拡大は件数含まない)							
4	目標	まちづくりのルール区域面積	担当課調査	ha	322.63	332.93	337.66	数値	340
	考え方、定義、算出方法など	地区計画や都市景観形成推進地区などの土地利用に関するまちのルールが定められた地区の区域面積							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地区まちづくり条例、豊中市土地利用の調整に関する条例、豊中市地区まちづくり推進助成要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	6,298	人件費（参考）	35,640	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	6,298	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,360		地方債	0
	残額	4,938		その他 特定財源	0
	執行歩合	21.59%		一般財源	1,360

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		まちづくり団体活動支援事業【拡充】	427	0	0	427	01
	まちづくり啓発活動事業【継続】	933	0	0	933	01	都市計画総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市景観形成の推進	区分	継続
施策の方向性	(4) まちの魅力を高める都市景観づくりを進めます	総合計画掲載ページ	78
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課	230100 環境政策課 403000 建築審査課		

事業概要	<p>○良好な都市景観づくりを推進するため、景観計画、都市景観条例、風致地区内における建築等の規制に関する条例、屋外広告物条例及びこれらの関係法令に基づき指導、監督を行います。</p> <p>また、都市景観形成マスタープランに基づき、豊中市の景観スポットの発信と共有、景観に関心を持つ人材の育成に向け啓発活動、重点地区指定に向けた地元啓発・支援を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○景観法・都市景観条例に基づく景観指導について、建築物151件、工作物9件、広告物1件、開発行為23件、合計184件の届出対象行為に対して、指導、助言を行いました。</p> <p>○都市景観デザイン相談について、4月、5月、9月、10月の計4回実施し、7件の事業者に対して助言指導を行いました。</p> <p>○風致地区内の許可申請対象行為42件に対して、許可を行いました。</p> <p>○屋外広告物許可申請435件に対して助言指導の上、許可を行いました。</p> <p>○景観形成推進事業について、3年ぶりに新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた中高生景観まちあるきを再開し、中学生78名、高校生13名の参加がありました。また、令和3年度に実施した都市景観表彰事業の都市デザイン賞・まちなみ市民賞受賞物件の巡回パネル展を市有施設6か所で実施しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○景観法・都市景観条例に基づく景観指導を215項目実施した結果、60項目の改善がありました。引き続き事業者による届出対象行為について、積極的に助言指導を実施して、周辺景観に配慮した計画の誘導を行ってまいります。</p> <p>○都市景観デザイン相談の開催回数について、令和3年度の9回に対して、令和4年度は大規模計画や、周辺景観に大きな影響を及ぼす計画が少なかったため4回の開催となりました。今後においても、事業規模に依らず、計画内容や周辺景観の状況から必要に応じて専門家であるデザイン相談員の知見を活用して、周辺景観に配慮した事業計画となるよう誘導してまいります。</p> <p>○風致地区内における建築等の許可について42件許可を行いました。規制・基準の審査と併せて適切に指導・監督を実施することで、風致の維持だけでなく周辺景観に配慮した事業計画の誘導につながりました。</p> <p>○屋外広告物許可申請435件について許可を行い、適正な屋外広告物の設置を誘導して、良好な都市の景観の形成につなげました。</p> <p>○景観啓発について、表彰事業巡回パネル展を実施した他、中高生景観まちあるき（中学生78名、高校生13名）や景観スケッチ講座スケッチ展（講座14名、スケッチ展319名）を実施し合計424名の参加者数を数え、新型コロナウイルス感染拡大がつづく社会情勢のもと、これまでの景観啓発の効果を維持して、効果的に豊中市の景観をつくり、まもり、そだて、いかす取り組みにつなげました。今後は、次年度から新たな参加型イベントを実施し、幅広い世代への景観啓発を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	景観計画区域内の行為の届出件数	担当課調査	件	80	140	184	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	届出件数						年	2022
2	目標	都市景観デザイン相談	担当課調査	回	6	9	4	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	デザイン相談開催回数						年	2022
3	目標	風致地区内行為許可件数	担当課調査	件	59	54	42	数値	50
	考え方、定義、算出方法など	許可件数						年	2022
4	目標	屋外広告物許可申請件数	担当課調査	件	481	393	435	数値	300
	考え方、定義、算出方法など	許可件数						年	2022
5	目標	景観意識啓発イベント参加者数	担当課調査	人	349	1,261	424	数値	350
	考え方、定義、算出方法など	イベント参加者数						年	2022

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,120	人件費（参考）	48,600	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,120	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2,487		地方債	0
	残額	1,633		その他 特定財源	2,217
	執行歩合	60.36%		一般財源	270

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		景観法・都市景観条例に基づく景観 指導【継続】	236	0	0	236	01	建築開発指 導費
	都市景観デザイン相談【継続】	166	0	0	0	01	建築開発指 導費	
	風致地区内行為許可業務【継続】	34	0	0	34	01	建築開発指 導費	
	屋外広告物許可申請事業【継続】	698	0	0	0	01	建築開発指 導費	
	都市景観形成推進事業【継続】	1,353	0	0	0	01	建築開発指 導費	



3-5 産業振興の充実

地域社会を支えてきた産業のさらなる振興を図るとともに、企業立地の促進に取り組めます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます	1事業
①産業振興のための企業立地の促進	
②事業者ごとの強みを活かしたビジネスモデルの構築支援	
③地域での連携を活かした中小企業の経営基盤の強化	
産業振興事業	都市活力部 産業振興課
(2)新たな事業の創出や担い手の育成を支援します	1事業
①地域産業の活性化に向けた起業・創業支援	
創業支援事業	都市活力部 産業振興課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	産業振興事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めま	総合計画掲載ページ	80
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	030100 危機管理課 104500 デジタル戦略課 160100 人権政策課 201500 創造改革課 210100 魅力文化創造課 211500 空港課 230100 環境政策課 233000 公園みどり推進課 260500 固		

事業概要	<p>○新・産業振興ビジョンでは、「産業が地域社会を支え、生活を豊かにする好循環を生むまち」を本市産業のめざす姿としています。これは、市内産業のさらなる集積に加え、個々の事業者と労働者一人ひとりの生産性や事業所の経営力、商業集積地の集客力の向上を図ることで地域経済の好循環を形成し、自律発展・成長する都市をめざすものです。</p> <p>○本市では、この産業のめざす姿を実現するために、①「産業の集積をつくる」、②「地域経済の好循環をつくる」、③「まちに活力とにぎわいを生み出す」の三つの基本方針に基づき、施策展開を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>[大規模小売店舗立地法関係] ○大規模小売店舗立地審議会：1回</p> <p>[企業人権啓発関係] ○豊中企業人権啓発推進員協議会総会・講演会：1回、とよなか人権文化まちづくり協会との交流会：1回</p> <p>[企業立地促進事業] ○立地促進奨励金：25件、産業振興を図る重点エリアの拡大（令和5年4月指定）、人材確保促進補助金の創設、チャレンジ事業補助金の人材確保促進環境整備費の上乗せ補助の新設</p> <p>[産業振興・消費喚起関係] ○BCP（事業継続計画）作成に係る事業者向けセミナー：1回、ITコンシェルジュ派遣：220回</p> <p>○特定中小企業者の認定書：737件、資金繰りの負担軽減及び市内商業団体の事業支援を図る各種補助の実施</p> <p>○産業振興審議会：2回、売上アップ応援金：55件、【新規】商品高付加価値化応援金：29件、【新規】IT機器導入補助金：15件、【新規】ものづくり人材育成支援補助金：申込みなし</p> <p>○【新規】プレミアム付家計応援券（紙・デジタル）の発行、【拡充】デジタル地域ポイント事業：11月開始</p> <p>[情報提供関係] ○メールマガジン等による国・府・市などの施策の情報発信</p> <p>[中小企業チャレンジ関係] ○【拡充】チャレンジ事業補助金：4件、展示会等出展支援補助金：16件、経営状況等を把握する事業者向けアンケート：1回</p> <p>○産業フェア：中止（新型コロナウイルス感染拡大のため）</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○前年度に続いて、2か所目の重点エリアの指定にかかる合意形成を図りました。事業所の安定的な操業環境を維持・形成するとともに、住工混在問題を防止するため、今後も重点エリアの拡大の取組みを推進します。</p> <p>○プレミアム付家計応援券（紙・デジタル）を活用した消費喚起により、約38億円が市内還流するなど地域経済の活性化につながりました。一方、商品券（応援券）を利用した事業は期間限定の取組みのため持続的な産業振興につながらないことから、今後は市独自の地域通貨（マチカネポイント）を活用し、継続的な地域経済の活性化とキャッシュレス化の促進、市民の市政参加意識の向上に取り組めます。</p> <p>○豊中商工会議所と連携して実施したITコンシェルジュ派遣の事業では、相談のあった事業者に220回派遣し、ITの専門家であるITコンシェルジュが解決策を提案することで、事業者の抱えるIT課題の解決やデジタル化の促進につながりました。しかし、当該派遣事業と連動するIT機器導入補助金においては、IT機器導入に向けた事業者ニーズと補助内容に乖離があったため利用件数は15件に留まったことから、事業者にとって利用しやすい補助金となるよう制度を見直します。事業者のより良い業務遂行環境の構築にIT化は必要不可欠であることから、引き続き、事業者のIT化促進に向けた取組みを推進します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	企業立地奨励金の新規指定件数	担当課調べ	件	5	4	2	数値	5
	考え方、定義、算出方法など	「企業立地施策」による成果を図る指標							
2	参考	マチカネポイントの付与総額	担当課調べ	円	-	-	9,827,230	数値	
	考え方、定義、算出方法など	デジタル地域ポイント事業（令和4年度開始）におけるマチカネポイント付与総額							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新・産業振興ビジョン・豊中市企業立地促進計画・豊中市企業立地促進条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	609,206	人件費（参考）	73,710	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△18	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,824,161	財源内訳の	国・府支出金	1,386,546
	決算額	1,673,277		地方債	0
	残額	150,884		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.73%		一般財源	286,731

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		豊中商工会議所関係業務【継続】	17,250	64	0	17,186	01
	企業立地促進事業【継続】	117,343	0	0	117,343	01	商工業振興費
	情報調査提供事業(産業関連)【継続】	657	0	0	657	01	商工業振興費
	企業人権啓発事業【継続】	1,973	0	0	1,973	01	商工業振興費
	大規模小売店舗立地法関係事業【継続】	2,576	909	0	1,667	01	商工総務費
	とよなか産業フェア【継続】	0	0	0	0	01	商工業振興費
	チャレンジ事業補助関係【拡充】	7,245	0	0	7,245	01	商工業振興費
	産業フェア(ビジネスマッチング関連)【継続】	1,635	0	0	1,635	01	商工業振興費
	中小企業チャレンジ支援事業【継続】	8,447	0	0	8,447	01	商工業振興費
	産業振興補助金事業【継続】	3,541	0	0	3,541	01	商工業振興費
	金融支援事業【継続】	2,533	0	0	2,533	01	中小企業金融対策費
	産業振興事業【継続】	251	0	0	251	01	商工業振興費
	売上アップ応援事業【継続】	18,123	14,065	0	4,058	01	商工業振興費
	消費喚起事業【拡充】	291,449	289,988	0	1,461	01	商工業振興費
	商品高付加価値化応援事業【新規】	7,681	0	0	7,681	01	商工業振興費
	ものづくり人材育成支援事業【新規】	0	0	0	0	01	商工業振興費
	IT機器導入補助金事業【新規】	1,375	0	0	1,375	01	商工業振興費
	プレミアム付家計応援券【新規】	1,191,198	1,081,520	0	109,678	01	商工業振興費
	デジタル商品券(家計応援券)【新規】	0	0	0	0	01	商工業振興費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	創業支援事業	区分	新規
施策の方向性	(2) 新たな事業の創出や担い手の育成を支援します	総合計画掲載ページ	81
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	300500 くらし支援課		

事業概要	<p>○新・産業振興ビジョンの基本方針③「まちに活力とにぎわいを生み出す」に基づき、コロナ禍の影響により変容した生活様式や働き方にも対応しながら、市場ニーズ・動向を踏まえた商品開発や販売戦略など事業者の新たなチャレンジを応援するとともに、起業支援体制の充実、フリーランスといった多様な働き方の支援等により、「個が活躍する場づくり」を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○地域の中小企業者等を支援する拠点であるとよなか起業・チャレンジセンターの運営を通じて、会員起業家を支援するとともに、起業を志す人への創業支援、セミナーの開催（2回）、相談対応（157回）等を実施しました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンター運営業務の委託先事業者を公募し、令和5年度の新たな運営事業者を選定しました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンターを庄内駅前庁舎に移転しました（令和5年4月運用開始）。</p> <p>○創業後間もない事業者及び創業予定者の新たなビジネスチャレンジを支援するため、チャレンジ事業補助金にスタートアップ支援コースを新設しました（令和5年4月制度開始）。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○とよなか起業・チャレンジセンターでは、起業や経営に関する相談を受けるとともに、各種セミナーを開催することで起業を志す人や事業者への支援につながりました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンターについては、令和5年度から庄内駅前庁舎に移転し、新たな事業者への運営委託を開始するなど体制を一新します。運営体制は変わりますが、これまでの寄り添い型の創業支援を維持しつつ、新たに少人数制の経営塾の実施や次世代の起業家育成のための子ども起業体験などを取り入れながら、今後も引き続き事業者のチャレンジの応援や起業支援に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	180 令和9年度
1	目標	相談対応件数	担当課調べ	件	103	125	157	数値年	180 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	「とよなか起業・チャレンジセンター」で実施した支援策の成果を図る指標							
2	目標	セミナー開催回数	担当課調べ	回	12	2	2	数値年	12 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	「とよなか起業・チャレンジセンター」で実施した支援策の成果を図る指標							
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新・産業振興ビジョン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	15,795	人件費（参考）	4,536
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	15,795	国・府支出金	0
	決算額	15,723	地方債	0
	残額	72	その他 特定財源	0
	執行歩合	99.54%	一般財源	15,723
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		とよなか起業・チャレンジセンター 【継続】	15,723	0	0	15,723	01



第4章



4-1 共に生きる平和なまちづくり

年齢や性別、国籍などのちがいにとらわれず、お互いの存在を理解し尊重しあって、共に生きる平和な社会の実現に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)非核平和都市の実現をめざします	1事業
①非核平和意識の高揚	
非核平和事業	人権政策課 人権政策課
(2)同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関する差別の解消を図り、人権文化の創造を進めます	2事業
①人権教育・啓発の推進	
②相談・支援体制の充実	
③虐待予防・防止対策の充実	
人権平和センター運営・管理事業	人権政策課 人権政策課
人権施策の推進	人権政策課 人権政策課
(3)男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めます	1事業
①すべての人へのエンパワーメントの支援	
②あらゆる分野での女性活躍の推進	
男女共同参画計画の推進	人権政策課 人権政策課
(4)多文化共生のまちづくりを進めます	1事業
①多文化共生施策の充実	
②国際交流・国際協力活動の推進	
多文化共生施策の推進	人権政策課 人権政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	非核平和事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 非核平和都市の実現をめざします	総合計画掲載ページ	84
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○非核平和都市宣言の啓発普及を図るとともに、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議と連携した活動に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○日本非核宣言自治体協議会の第39回総会及び役員会（5月・長崎市）、役員会（2月・書面開催）に出席し、会員都市との交流により情報収集などを行い、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めました。</p> <p>○設立から40周年を迎えた平和首長会議の第10回総会及び第10回国内加盟都市会議総会（10月・広島市）に市長が出席し、加盟都市との交流により情報収集などを行い、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めました。</p> <p>○非核平和宣言都市として、令和3年6月・9月に実施されたアメリカ合衆国の臨界前核実験に対する抗議文（4月）、長期化するロシアによるウクライナの一連の行為に対する抗議文（2月）を発出し、平和の大切さや核兵器の廃絶を訴えました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○日本非核宣言自治体協議会（昭和59年(1984年)8月5日加盟）、平和長会議（平成22年(2010年)3月1日加盟）の一員としての活動を通して、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めることができました。引き続き、両団体の一員として取り組んでいきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自治体間ネットワーク活動参加回数	館内資料	回	3	3	4	数値	4
		考え方、定義、算出方法など	日本非核宣言自治体協議会および平和首長会議の総会、役員会・研修会等への参加回数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	日本国憲法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府平和ビジョン、大阪府平和教育基本方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	非核平和都市宣言、平和都市宣言、豊中市世界連邦運動補助金交付要綱、平和教育推進のための基本指針

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	409	人件費 (参考)	1,620	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	409	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	93		地方債	0
	残額	316		その他 特定財源	0
	執行歩合	22.74%		一般財源	93

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	非核平和事業【継続】	93	0	0	93	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	人権平和センター運営・管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関わる差別の	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○人権平和センターで、相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所づくり事業、こども多世代ふれあい事業を実施します。また、登録サークル等の文化活動発表会等を、地域交流事業として行います。</p> <p>○市民一人ひとりの人権が尊重され、人権に根ざした文化の広がったまちを築いていくため、さまざまな人権啓発事業を実施するとともに、民間のボランティアである人権擁護委員との連携・活動協力や支援を行います。</p> <p>○平和で平等な社会づくりをめざしていくため、平和展示室を中心に、平和啓発事業を行います。</p> <p>○施設での事業の運営が円滑に進められるよう、施設の維持・管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所事業、こども多世代ふれあい事業を実施し、人権平和センターの施設管理および車両管理を行いました。また、人権平和センター一帯の老朽化した空調設備の更新に係る設計委託を行いました。</p> <p>○人権文化のまちづくりフェスタ（2～3月）を開催し、地域の人が出会い、人権文化のまちづくりを進める機会となりました。</p> <p>○豊中市立人権平和センター業務委託事業者選定評価委員会を開催しました。</p> <p>○人権パネル展（5月・11月）を開催し、市民の人権に対する理解や関心を高めることに寄与しました。既存の人権啓発パネルの追加として、新たに2テーマ制作しました。</p> <p>○市の受託事業者を対象に、企業内の自主的な研修を促進する一助として人権問題学習会（8月）を開催し、人権問題について理解と認識を深める学習の場を提供しました。</p> <p>○12月10日の「人権デー」や世界人権宣言、人権文化のまちづくりをすすめる条例などの普及活動を行い、市民の人権に対する理解や関心を高めることに寄与しました。</p> <p>○人権擁護委員による人権相談（毎月2回）や人権啓発活動を実施しました。</p> <p>○平和展示室での常設・企画展のほか、市が定める8月の平和月間に講演会等を開催し、平和の大切さや核兵器の廃絶を広く訴え、市民の平和意識の醸成を図りました。</p> <p>○豊中空襲等の体験者の証言を映像資料として記録（7組・8人分）したほか、市民から戦争遺品の寄贈を受け付け、戦争を知らない世代へ平和の大切さなどを語り継いでいくことにつながりました。</p> <p>○平和展示室ボランティア「語り継ぐ会」および大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室との連携により、収蔵品資料の読み解き等を行い企画展を実施したほか、兄弟都市沖縄市との交流事業としてオンライン講演会を開催し、市民の平和意識醸成につながりました。</p> <p>○市内の公園内にその地域の空襲被害を伝える説明板を設置し、市民がその歴史を通じて平和の大切さを考えることにつながりました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○人権平和センターでは、相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所事業、こども多世代ふれあい事業を実施することで、人権情報発信の拠点として、人権などに係る相談や多様化・複合化する人権課題及び非核平和にかかる啓発を推進し、人権文化のまちづくりをすすめることができました。今後、相談事業については、相談内容の複雑化・多様化に対応するため、関係機関との連携強化を図るとともに、生涯学習事業を通して、参加者への平和・人権尊重の精神の視点の共有化を図ります。また、こども事業については、子どもたちの安全・安心無き場所づくりや学習支援の場を進めていくにあたり、小中学校や関係部局等と連携していきます。</p> <p>○登録サークル等の文化活動発表会等を通じて、地域の人が集い、出会うことにより、つながりを深め人権文化のまちづくりを共にすすめることができました。今後は事業の参加者へ平和・人権尊重の視点の共有化を図ります。</p> <p>○市民向けの講演会やパネル展、事業者向けの学習会を開催するなどし、人権に対する理解や関心を高めることにつながりました。今後も興味・関心をもって参加してもらえるよう、事業内容を工夫し、啓発事業を継続していきます。</p> <p>○豊中空襲等の体験者の証言を映像資料として記録したほか、公園内に空襲被害の説明板を設置、戦争遺品の寄贈を受け付けるなどし、失われつつある戦争体験を次世代へ継承する一助としました。また、平和展示室での展示や平和月間事業の実施、市民ボランティアや大阪大学との連携により、平和の大切さや核兵器の廃絶を訴え、市民の平和意識の醸成を図ることにつながりました。戦争体験者が減少していく中、語り継いでいく取組みを継続します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	500
1	目標	相談件数（人権相談、総合生活相談）	担当館調べ	回	323	348	183	数値	500
	考え方、定義、算出方法など	人権侵害や地域住民の生活上のさまざまな課題や問題について受けた相談件数							
2	目標	平和展示室来場者数	担当館調べ	人	699	2,902	2,581	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など	平和展示室（常設展示・映像室・企画展示）への来場者数							
3	目標	こどもの学び・居場所事業」事業回数	担当館調べ	回	300	377	391	数値	400
	考え方、定義、算出方法など	学びの場づくり事業、見守り・寄り添い活動の場事業の実施回数							
4	目標	「こども多世代ふれあい事業」事業回数	担当館調べ	回	479	637	675	数値	550
	考え方、定義、算出方法など	学習クラブ、交流・体験学習、多世代ふれあい事業の実施回数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	世界人権宣言、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権教育・啓発に関する基本計画、ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府人権尊重の社会づくり条例、大阪府人権施策推進基本方針、大阪府人権教育推進計画、ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人権擁護都市宣言、人権文化のまちづくりをすすめる条例、豊中市人権行政基本方針、ほか

【決算説明情報】

(単位:千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	77,734	人件費(参考)	44,345			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	18,043			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	81,683	財源内訳	国・府支出金	21,536		
	決算額	75,731		地方債	0		
	残額	5,952		その他 特定財源	485		
	執行歩合	92.71%		一般財源	53,710		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
人権平和センター豊中改修事業【継続】		0	0	0	0	01	人権平和センター整備
相談及び人権平和啓発事業【継続】		24,318	17,853	0	6,465	01	人権平和センター費
学び・居場所事業【継続】		14,321	0	0	14,321	01	人権平和センター費
こども多世代ふれあい事業【継続】		12,683	0	0	12,683	01	人権平和センター費
人権平和センター豊中施設管理【継続】		10,024	0	0	9,634	01	人権平和センター費
人権平和センター豊中車両管理【継続】		191	0	0	191	01	人権平和センター費
地域交流事業【継続】		39	0	0	39	01	人権平和センター費
人権平和センター螢池施設管理【継続】		9,011	2,558	0	6,358	01	人権平和センター費
人権平和センター螢池車両管理【継続】		195	0	0	195	01	人権平和センター費
人権啓発事業【継続】		314	23	0	291	01	一般管理費
人権擁護委員【継続】		1,456	1,102	0	354	01	一般管理費
人権平和センター螢池改修事業【新規】		3,179	0	0	3,179	01	人権平和センター整備

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	人権施策の推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関わる差別の	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる条例や豊中市人権行政基本方針等に基づき、すべての行政分野が基本的な人権の尊重と深くかかわっているとの認識のもと、市の日常業務の遂行にあたって、人権尊重の視点の意識化を図るとともに、さまざまな事業を通して、人権文化のまちづくりをすすめます。</p>
当該年度の実績	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる協議会の開催（6月・2月） ○同和問題解決推進協議会の開催（9月・1月・2月） ○人権月間事業として講演会を開催（11月。新型コロナウイルス感染症の影響により5月の憲法月間事業を中止）し、憲法の精神などの普及啓発を図り、市民が憲法の理念である平和主義、国民主権、基本的人権の尊重を考えるきっかけとなりました。 ○市と市教育委員会、市民団体等で構成する実行委員会形式により「ひゅうまんプラザ」を企画、開催（2月）し、市民と行政の協働による人権啓発の推進を図り、同和問題をはじめとした人権課題の解決に向けて寄与しました。 ○市民団体等への事業補助や大阪府内自治体との連携をすすめるとともに、人材育成のため全国集会等の研修会へ職員を派遣し、人権文化のまちづくりに寄与しました。 ○前年度改定した同和行政基本方針を周知するとともに、職員向けに、同和問題をテーマとした研修教材及び部落差別事象発生時の対応マニュアルを作成し、同和問題に対する理解と認識を深めることに寄与しました。 ○店舗・作業所の適切な管理運営を図るため、施設の維持管理を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる協議会及び同和問題解決推進協議会を開催し、人権文化のまちづくりをすすめるための方向性を確認することができました。引き続き、社会情勢や市内の課題に応じた意見聴取を行い、今後の市の取組みに生かしていきます。 ○同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決に向けて、人権月間事業や「ひゅうまんプラザ」講演会を開催するなどし、人権課題に対する市民の関心と理解を深めることに寄与しました。より多くの人に関心をもってもらうことが課題であり、今後も企画内容を工夫するとともに、適切な情報発信を行います。 ○前年度改定した同和行政基本方針を周知するとともに、職員向けの研修教材や部落差別事象発生時の対応マニュアルを作成し、職員の同和問題に対する理解と認識を深めることに寄与しました。若い世代の職員の中には、学校教育で同和問題を十分に学んでいない職員もいることから、基本的なことから学べるような研修のしくみと市民啓発の手法について検討を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	
1	目標	人権文化のまちづくりをすすめる協議会開催回数	市政年鑑	回	2	2	2	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	人権文化のまちづくりをすすめる協議会の開催回数							
2	目標	同和問題解決推進協議会開催回数	市政年鑑	回	2	3	3	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	同和問題解決推進協議会の開催回数							
3	目標	「憲法記念市民のつどい」参加者数	市政年鑑	人	181	156	160	数値	490
	考え方、定義、算出方法など	「憲法記念市民のつどい」への参加者数							
4	目標	「ひゅうまんプラザ」参加者数	市政年鑑	人	66	51	97	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	「ひゅうまんプラザ」への参加者数。同和問題解決に向けての議論の場や交流の場を積極的に設けます。							
5	目標	全国集会等派遣職員数	担当課調べ	人	5	4	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	部落解放研究全国集会、部落解放・人権夏期講座、人権啓発研究会等への参加職員数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	日本国憲法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、部落差別の解消の推進に関する法律、ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府人権尊重の社会づくり条例、大阪府部落差別事象等に係る調査等の規制等に関する条例、ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人権擁護宣言都市、人権文化のまちづくりをすすめる条例、小集落地区改良事業店舗・作業所施設条例、ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,022	人件費（参考）	17,415	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,022	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	518
	決算額	2,634		地方債	0
	残額	388		その他 特定財源	440
	執行歩合	87.16%		一般財源	1,676

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	人権施策の推進【継続】	1,332	0	0	998	01	一般管理費
	同和問題解決推進協議会【継続】	284	0	0	284	01	一般管理費
	店舗・作業所施設管理【継続】	106	0	0	0	01	一般管理費
	憲法記念事業【継続】	682	493	0	189	01	一般管理費
	同和問題啓発事業【継続】	25	25	0	0	01	一般管理費
	人権文化のまちづくりをすすめる協議会【継続】	205	0	0	205	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	男女共同参画計画の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○一人ひとりの人権を尊重し合いながら、男女が社会のあらゆる分野に対等に参画し、性別にかかわらずなく、その個性と能力を十分に発揮することのできる「男女共同参画社会の実現」をめざすために、次の取組みを進めます。</p> <p>○人権尊重と男女共同参画への意識改革のために、男女共同参画の教育・学習の推進及び理解促進・啓発を行います。</p> <p>○あらゆる暴力の根絶のために、相談窓口の充実と暴力防止啓発、DV相談体制の充実と連携・協力を進めます。</p> <p>○すべての人へのエンパワーメントの支援のために、さまざまな困難を抱える人々への支援を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○豊中市女性の活躍促進支援事業の実施（経営者・管理職を対象とした連続セミナー計4回 参加延べ人数29人、女性社員を対象とした連続セミナー計4回 参加延べ人数26人、事業者へのアドバイザー派遣 6事業者）</p> <p>○女性の活躍推進を促す事業所等の登録・認証制度の設計</p> <p>○【拡充】小・中学生を対象としたジェンダー平等教育啓発教材「With you」の作成</p> <p>○暴力被害女性等緊急一時保護事業の検討</p> <p>○就職面接用スーツの貸出事業</p> <p>○生理用品の購入が困難な女性の窓口</p> <p>○とよなか男女共同参画推進センター事業（男女共同参画に関する情報の収集・提供、相談、交流の場の提供、講座等の開催、調査・研究など）について、指定管理業務のモニタリングや指定管理者との協議、連絡、調整</p> <p>○男女共同参画推進センターの施設管理</p> <p>○男女共同参画推進センター空調設備更新工事</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○経営者・管理職、及び女性社員向けセミナーの開催、各事業所へのアドバイザー派遣により、市内事業所における女性の活躍促進支援を図りました。今後は女性社員だけでなく男性社員も女性の活躍促進支援に取り組んでいただくために社員向けの対象を広げていきます。</p> <p>○市内事業所等に女性の活躍推進を促すことを目的に、女性の活躍推進を促す事業所等の登録・認証制度を設計しました。</p> <p>○小・中学生を対象としたジェンダー平等教育啓発教材「With you」を作成し、若年層に対するジェンダー平等教育を推進しました。</p> <p>○暴力被害女性等緊急一時保護事業の検討により、様々な事情を抱えるDV被害者等の安全を確保し、新たな生活の再開に向けた準備を行いました。</p> <p>○就職面接用スーツの貸出事業、生理用品の購入が困難な女性の窓口の設置により、困難な問題を抱える女性の生活支援を行いました。</p> <p>○男女共同参画推進センター空調設備更新工事により、利用者のサービスの向上を図りました。</p> <p>○とよなか男女共同参画推進センターすてつ指定管理業務締結の中間年を迎えるため、選定評価委員会を設置し、評価業務を行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	審議会等の女性委員の割合	担当課調査	%	29.9	31.5	32.8	数値	40
	考え方、定義、算出方法など	政策・方針決定過程への女性の参画促進は、男女共同参画の現状を示す重要な指標であるから。							
2	目標	女性委員のいない審議会等の数	担当課調査		5	2	0	数値	0
	考え方、定義、算出方法など	政策・方針決定過程への女性の参画促進は、男女共同参画の現状を示す重要な指標であるから。							
3	目標	市民、市職員などを対象とした件数の実施回数	担当課調査	回	12	6	10	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	男女共同参画への意識の改革に取り組むため、教育・学習や周知・啓発活動を行うため。							
4	参考	DV相談件数	担当課調査	件	835	860	690	数値	—
	考え方、定義、算出方法など	誰もが相談しやすい場づくりや、相談するという行為への抵抗なくすような理解を広める必要があるため。							
5	目標	男女共同参画推進センターの男女共同参画目的利用者数	すてつによる調査	人	18,009	10,392	8,421	数値	10,000
	考え方、定義、算出方法など	すてつは地域において男女共同参画を推進するための重要な役割を担っているから。							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府男女共同参画推進条例、おおさか男女共同参画プラン（2021-2025）、ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市男女共同参画推進条例、第3次豊中市男女共同参画計画、ほか

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	313,225	人件費（参考）	28,350				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	2,057				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	363,551	国・府支出金	2,500				
	決算額	353,655	地方債	145,850				
	残額	9,896	その他 特定財源	2,294				
	執行歩合	97.28%	一般財源	203,011				
	財源内訳							
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	男女共同参画計画の推進【継続】	1,293	0	0	1,293	01	男女共同参画推進費	
	DV対策基本計画の推進【継続】	14,020	0	0	14,020	01	男女共同参画推進費	
	男女共同参画審議会【継続】	256	0	0	256	01	男女共同参画推進費	
	男女共同参画に関する啓発・研修事業【拡充】	7,241	2,500	0	4,741	01	男女共同参画推進費	
	男女共同参画推進センターすてっぷ施設運営管理【継続】	133,984	0	0	133,984	01	男女共同参画推進セン	
	男女共同参画推進センターすてっぷ施設管理【継続】	33,573	0	0	31,279	01	男女共同参画推進セン	
	男女共同参画苦情処理制度の運用【継続】	1,181	0	0	1,181	01	男女共同参画推進費	
	男女共同参画推進センターすてっぷ改修事業【継続】	162,107	0	145,850	16,257	01	男女共同参画推進セン	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	多文化共生施策の推進	区分	継続
施策の方向性	(4) 多文化共生のまちづくりを進めます	総合計画掲載ページ	86
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○多文化共生指針に基づき、関係各課との連携を深めながら、外国人も誰もが住みやすいまちづくりをすすめるために、外国人市民のニーズに応じた施策を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○多文化共生に関する市民アンケート調査の実施 ○多文化共生のネットワーク会議の設置 ○【新規】ウクライナ避難者支援事業の実施 ○外国人市民会議の運営 ○外国人向け市政案内・相談窓口での案内・相談の実施 ○多文化共生施策推進連絡会議の運営 ○国際交流センター事業（国際交流に関する情報の収集及び提供、国際交流活動への住民の参加促進、国際理解推進、在住外国人に対する相談・支援など）について、指定管理業務のモニタリングや指定管理者との協議、連絡、調整などの実施 ○国際交流センターの維持管理 ○国際交流センター空調設備更新工事 ○広域連携（NATS）による講演会の実施など</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○多文化共生に関する市民アンケート調査結果から外国人市民と日本人市民の実態や意識、考え方などを分析し、外国人市民が病院へ行ったときに医師や看護師の説明がわからないと答えた人が2割弱いることや住んでいるまちの人たちと積極的に交流したいと考えている人が7割近くいるなどを把握することができました。今後は、アンケート結果を基礎資料とし、多文化共生指針の改訂を行う予定です。また、外国人市民に通訳を派遣し、生活支援を行っている外国人市民団体等へ補助金事業を行う予定です。 ○多文化共生のネットワーク会議を新たに設置し、地域で活動する外国人支援団体や外国人当事者などをつなぎ、今後の多文化共生のまちづくりについて意見交換を行うことができました。 ○外国人市民会議において地域で外国人市民が活躍するためのイベントやしぐみなどの具体的な方策について意見交換を行うことができました。今後、意見交換の内容を報告書にとりまとめ、市民委員から市長へ報告を行い、施策の検討を行います。 ○ウクライナからの避難者の受け入れ及び生活支援を行い、避難者が豊中市で安心して安全に生活することができました。 ○国際交流センター空調設備更新工事を完了し、市民へセンターの施設利用を安全・快適に再開することができました。 ○国際交流センター指定管理業務締結の中間年を迎えるため、選定評価委員会を設置し、評価業務を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	外国人市民会議開催回数	市政年鑑	回	3	3	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の会議実施回数							
2	目標	外国人向け市政案内・相談窓口相談件数	市政年鑑	件	1,769	1,493	2,697	数値	2,000
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の相談件数							
3	目標	国流センター事業の利用者満足度で大いに満足割合	指定管理者年度評価	%	83.1	84.1	91.9	数値	85
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。施設指定管理者の自己モニタリングより算定。							
4	目標	国流センター管理状況利用者満足度で大いに満足、満足の割合	指定管理者年度評価	%	76	81	92.3	数値	75
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。施設指定管理者の自己モニタリングより算定。							
5	目標	多文化共生施策推進連絡会議開催回数	担当課調査	回	2	2	1	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の会議実施回数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地域における多文化共生推進プラン、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府在日外国人施策に関する指針、大阪府在日外国人施策有識者会議設置要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市多文化共生指針、豊中市外国人市民会議設置要綱、とよなか国際交流センター条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	229,191	人件費（参考）	16,200
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2	公債費（参考）	1,935
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	286,244	国・府支出金	9,688
	決算額	274,555	地方債	137,450
	残額	11,689	その他 特定財源	514
	執行歩合	95.92%	一般財源	126,903
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		外国人市民会議【継続】	120	0	0	120	01
	外国人向け市政案内・相談窓口【継続】	3,842	1,844	0	1,998	01	一般管理費
	国際交流センター施設運営管理【継続】	84,423	6,132	0	78,291	01	国際交流センター費
	国際交流センター施設管理【継続】	25,595	1,712	0	23,369	01	国際交流センター費
	多文化共生施策の推進【継続】	4,391	0	0	4,391	01	一般管理費
	国際交流センター改修事業【継続】	152,830	0	137,450	15,380	01	国際交流センター整備
	ウクライナ避難者支援事業【新規】	3,354	0	0	3,354	01	一般管理費



4-2 市民文化の創造

文化芸術活動の場や機会を充実させ、歴史・文化遺産を大切に受け継ぎ、魅力あふれる市民文化の創造に取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます	5事業
①文化・芸術にふれる機会や活動の場の提供	
②文化芸術センターの活用	
③“音楽あふれるまち豊中”の推進	
④歴史・文化遺産の保護・保存と活用	
⑤姉妹都市・兄弟都市との交流促進	
表彰・顕彰事業	都市経営部 秘書課
姉妹都市・兄弟都市交流事業	都市活力部 魅力文化創造課
市民ホール等運営管理事業	都市活力部 魅力文化創造課
文化行政の推進	都市活力部 魅力文化創造課
文化財保護事業	教育委員会 社会教育課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	表彰・顕彰事業	区分	継続
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	200200 都市経営部・秘書課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊中市に対する市民の愛着と誇りの高揚を図るため、市政の振興等に顕著な功績のあった者、市民の模範となるすぐれた善行若しくは市にとって榮譽となる功績のあった者を表彰します。また、社会の発展に卓越した功績があり、広く市民が郷土の誇りとして敬愛する者を名誉市民として選定するとともに、その功績等を顕彰します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○憲法記念日市長表彰式を教育表彰式と同時に実施するとともに、豊中かがやき大賞として、市にとって名誉となる功績のあった方を表彰しました。また、イベント等で出張名誉市民コーナーを出展するなど名誉市民の功績を顕彰しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○表彰や顕彰を通じて、市民の豊中に対する愛着と誇りの高揚を図るとともに、それらを広く発信することで、市の魅力向上を図りました。今後も規程に基づき、着実に進めていくとともに、顕著な活躍をした個人・団体には随時表彰していきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中かがやき大賞		件	3	2	4	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,285	人件費（参考）	16,200	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,285	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,269		地方債	0
	残額	16		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.75%		一般財源	1,269

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	表彰・顕彰事務【継続】	1,269	0	0	1,269	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	姉妹都市・兄弟都市交流事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	89
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○アメリカ・サンマテオ市および沖縄市との姉妹都市・兄弟都市交流を推進し、友好を深めます。また、他都市との都市間交流事業を推進し、本市の魅力を発信します。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】サンマテオ市姉妹都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の姉妹都市提携60周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げ、会議を2回開催しました。 ・サンマテオ姉妹都市協会と連携し、周年事業に関わるサポートスタッフを募集し、8人の応募がありました。 ・英語弁論大会を開催し、令和6年度の親善使節を2名選出しました。 ・サンマテオ市やサンマテオ市の協会とオンライン交流会を開催しました。 <p>○沖縄市兄弟都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市で開催されるピースフル・ラブロックフェスティバルや産業まつりに参加しました。 <p>○【拡充】山形市との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市で開催される世界の芋煮会フェスティバルに参加し、市のキャラクターマチカネくんのPRや市の魅力発信を行っている市公式Instagramのフォロワー数拡大に取り組みました。また、ストリートピアノを使用した「ふれあい緑地コンサート」では、山形市のPRブースを設け、山形市職員による市のPRや観光協会による芋煮の物販などの出店を行いました。 ・本市のセンチュリー交響楽団と山形交響楽団とのコラボ企画を山形市で開催しました。また、本市出身でストリートピアノ親善大使の西村由紀江さんが山形市の音楽イベントや動画作成に出演する際にマチカネくんも共演し、豊中市とのつながりをPRしました。

当該年度の成果・課題	<p>○サンマテオ市姉妹都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンマテオ市姉妹都市協会やボランティアスタッフなどと連携したことで、サンマテオと事業の方向性など調整が図れました。 ・60周年記念事業の実施に向けた事業内容を関連団体と連携して確定します。 <p>○沖縄市兄弟都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業を実施するとともに対面での調整が図れたことで、周年事業に向けた方向性が確認できました。 ・引き続き、オンラインや対面での打合せを行い、周年記念事業の概要をまとめるとともに記念冊子や動画の制作準備に取り掛かります。 <p>○山形市との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市で本市のPRを行うことで、豊中への関心を高め、訪れる機会の創出が図れました。 ・引き続き、本市の魅力を市外の方に発信する機会を継続・拡充していきます。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	目標	交流事業数	担当課調査	回	1			数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	英語弁論大会、親善使節受入、スポーツ交流（野球、サッカー等）、産業まつりの出展など実施した事業数							
2	参考	豊中・サンマテオ姉妹都市協会 会員数	担当課調査	人	69			数値	80
	考え方、定義、算出方法など	市民主体の交流を促進するため、新規会員の獲得を図る							
3	参考	沖縄市訪問回数	担当課調査	回	-			数値	2
	考え方、定義、算出方法など	市民交流を通じて両市の相互理解と信頼関係を築く							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,093	人件費（参考）	4,860			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,093	財源内訳の	国・府支出金	0		
	決算額	872		地方債	0		
	残額	221		その他 特定財源	0		
	執行歩合	79.78%		一般財源	872		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	サンマテオ市姉妹都市交流【完了】	0	0	0	0	01	都市魅力創造費
	都市間交流事業【継続】	872	0	0	872	01	都市魅力創造費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市民ホール等運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○指定管理者制度を導入し、文化芸術センター、ローズ文化ホール、伝統芸能館、市民ギャラリーの4館を一体的に管理運営することで、文化芸術活動に取り組む市民の発表や舞台芸術の鑑賞の機会を提供し、市民とともに文化芸術を新たに創造・発信していくことをとおして、心豊かな市民生活や活力ある地域社会の実現に寄与する拠点施設となることをめざします。</p> <p>○各施設の保全計画等に基づき、計画的な施設の改修を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市民ホール等指定管理者による多種多様な文化芸術分野の自主事業を実施しました。</p> <p>○指定管理者と毎月1回、合計年12回モニタリング会議を実施しました。</p> <p>○指定管理業務にかかる年度評価を行い8月31日にHPにて公開しました。</p> <p>○ローズ文化ホールの改修工事設計を行いました。</p> <p>○伝統芸能館でパニックオープン自動ドアの修繕を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○市民ホール等指定管理者による民間のノウハウを活かした多種多様な文化芸術分野の自主事業を実施し、音楽イベントを中心に豊かな市民生活に寄与する事業を行うことができました。</p> <p>○モニタリング会議を行うことによって定期的に指定管理者と情報交換し、円滑な文化ホール等施設の運営を行うことができました。</p> <p>○新・豊中市指定管理者制度導入に関する指針に基づき、社労士や税理士の審査とともに指定管理業務評価を行うことで適切な指定管理業務運営ができました。</p> <p>○ローズ文化ホールは昭和63年オープン以来老朽化がすすんでおり、今年度工事設計等改修計画をすすめたことで令和5年の大規模改修工事実施につなげました。</p> <p>○伝統芸能館は老朽化がすすんでおり、災害時に自動的に開くパニックオープンドア機能の修繕を行い利用者の安全の確保を図りました。</p> <p>○市民ホール等指定管理者による、安全な施設運営と「豊中ならではの」事業展開を今後も引き続き実施します。現在の指定管理期間は令和8年3月までのため、令和7年度中に次期指定管理者の選定を行う予定です。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	文化芸術基本法、劇場音楽堂等の活性化に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	文化芸術振興条例、文化芸術推進基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	455,763	人件費 (参考)	4,860	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	288,482	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	469,370	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	445,250		地方債	0
	残額	24,120		その他 特定財源	3,100
	執行歩合	94.86%		一般財源	442,150

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
市民ホール等施設運営管理【継続】	431,693	0	0	428,593	01	文化施設費
文化芸術センター施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	文化施設整備費
ローズ文化ホール施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	文化施設整備費
伝統芸能館施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	伝統芸能館整備費
市民ギャラリー施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	文化施設整備費
ローズ文化ホール施設整備事業【新規】	6,393	0	0	6,393	01	文化施設整備費
伝統芸能館施設整備事業【新規】	0	0	0	0	01	文化施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	文化行政の推進	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課	210100 魅力文化創造課		

事業概要	<p>○「人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち豊中」の実現のため、市民が文化芸術に触れることができる機会を提供するとともに、文化芸術による都市魅力の創造や、次代を担う子どもへの事業展開など、文化芸術推進基本計画に基づく取組を推進していきます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○所蔵作品展「豊中と四人の画家」を開催し、1,121人の来場がありました。</p> <p>○豊中市美術展を開催し、応募者が373人あり、うち247人が入選しました。また、展覧会には3,246人の来場がありました。</p> <p>○豊中市文化芸術祭を開催し、949人の来場がありました。</p> <p>○企画展「こどもかるたづくり」を開催し、講座26人、展覧会51人の参加者がありました。</p> <p>○文化芸術振興審議会を2回、助成金審査部会を2回開催しました。</p> <p>○市内の高校を対象に軽音楽フェスティバルを開催し参加8校、631人の来場がありました。</p> <p>○【拡充】市内の小学4年生、中学1年生を対象に舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ」を開催し、小学校35校、3,421人、中学校12校、1,825人の参加がありました。</p> <p>○こども園アーティスト派遣事業を1園、13回開催しました。</p> <p>○文化芸術振興助成金を9団体に助成しました。</p> <p>○【拡充】とよなか音楽月間（とよなか音楽月間10周年記念事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校、高等学校1校と日本センチュリー交響楽団によるコラボ演奏会を開催し、950人の来場がありました。 ・市内飲食店と演奏会を開催し、2店舗のべ100人の来場がありました。 ・「0さいからのコンサート」を開催し、165人の来場がありました。 ・子ども向け音楽イベント10件に助成しました。 ・まちなかクラシックを10会場12公演開催し、のべ933人の来場がありました。 <p>○世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭を開催し、ワークショップのべ91人、音楽祭120人の参加がありました。</p> <p>○似顔絵ジャパングランプリを開催し、441人の来場がありました。</p> <p>○障害者授産施設施設商品化事業としてワークショップ等をのべ5回実施しました。</p> <p>○豊中まつりを開催し、のべ約21万人の来場がありました。</p> <p>○【拡充】NFTアートイベント「Toyonaka Art Connection」を開催し、200人の参加があり</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○所蔵作品展、豊中市美術展、企画展、文化芸術祭を実施した結果、多くの方にアートに触れる、また、文化芸術に触れるきっかけづくりが出来ました。引き続き機会を創出していきます。</p> <p>○文化芸術振興審議会では今後の市の助成金の在り方や課題につき意見をいただきました。より効果的な助成金事業に向けて意見を反映させていきます。</p> <p>○小中学生舞台芸術体験事業、高校生軽音楽フェスティバルを実施することで、音楽に親しむ、取り組むきっかけづくりが出来ました。次代を担う人材を育成していくため継続して実施していきます。</p> <p>○こども園アーティスト派遣では5歳児クラスに1年を通してレッジョレミア教育を取り入れた幼児教育を行いました。引き続き実施していきます。</p> <p>○文化芸術振興助成金では当市の文化芸術活動を振興する活動につき助成金を支給しました。令和5年度は子どもがより主体となるような事業や文化芸術の新たな魅力を発見する事業を支援します。</p> <p>○とよなか音楽月間では、10周年記念として大々的にPR活動を行い、多くの事業を実施した結果、市内外に「音楽あふれるまち とよなか」をアピールし、また、音楽を親しむ機会を多く創出出来ました。今後も「音楽あふれるまち とよなか」を推進していきます。</p> <p>○世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭では、岩手県大槌町から大槌こどもオーケストラの参加があり、新たな繋がりが出来ました。今後も様々な主体と協働し、庄内地域の活性化をめざします。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	目標	とよなか音楽月間の参加人数（オンライン視聴者数含む）	担当者集計	人	54,103			数値	増加
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市文化芸術振興条例、豊中市文化芸術推進基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	119,745	人件費（参考）	47,790	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	143,745	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	118,029		地方債	0
	残額	25,716		その他 特定財源	73,093
	執行歩合	82.11%		一般財源	44,936

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	地域資源の活用と発信事業【拡充】	11,811	0	0	11,040	01	文化振興費
	文化芸術振興審議会【継続】	243	0	0	243	01	文化振興費
	人材の育成と活動の支援事業【継続】	28,913	0	0	0	01	文化振興費
	音楽あふれるまち推進事業【拡充】	39,721	0	0	15,988	01	文化振興費
	豊中まつり【継続】	15,057	0	0	15,057	01	文化振興費
	文化芸術振興基金【継続】	19,376	0	0	0	01	文化振興費
	文化芸術の力を活かしたまちづくり 推進事業【拡充】	2,908	0	0	2,608	01	文化振興費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	文化財保護事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課	100102 文書館 210100 魅力文化創造課		

事業概要	<p>○市内の文化財の保護のため、国史跡桜塚古墳群や春日大社南郷目代今西氏屋敷、国名勝西山氏庭園などの維持管理を行います。</p> <p>○郷土の歴史・文化財に対する市民の理解と関心を深め、次世代へ継承するために発掘調査や、古文書・民俗資料などの収集・調査・整理等を行います。</p> <p>○豊中市の歴史・文化を広く親しめる場として、豊中市立郷土資料館を開設し、管理・運営します。</p> <p>○豊中市文化財保護条例に基づき、文化財保護審議会を運営します。</p> <p>○国名勝西山氏庭園の保存・活用の方向性を検討するため、国名勝西山氏庭園保存整備委員会を運営します。</p>
当該年度の実績	<p>○国史跡桜塚古墳群や春日大社南郷目代今西氏屋敷、国名勝西山氏庭園等、市内の文化財及び施設14か所の維持管理を実施しました。また、国史跡小石塚古墳において、危険木伐採を実施しました。</p> <p>○市内の埋蔵文化財包蔵地において、3件の緊急発掘調査を実施しました。このうち、本町遺跡第45次発掘調査の現地説明会では、1800人が見学に訪れました。</p> <p>○郷土資料館の開設に先立つプレ展示を文化芸術センターで行い、236人の入場者がありました。</p> <p>○【新規】郷土資料館について、4月より建物等の修繕や設備の更新及び展示設備等の設置を行い、11月に開館しました。開館後は、開館記念講演会や学芸員による展示解説、企画展示等を行い、3月末までに3,138人の入場者がありました。</p> <p>○市内の文化財に親しむ機会として、国名勝西山氏庭園・府指定旧新田小学校校舎において、一般公開を実施しました。この他出前講座や文化財施設の見学対応を随時実施しました。</p> <p>○豊中市文化財保護審議会を開催しました。</p> <p>○西福寺所蔵絵画の伊藤若冲筆「山水図」が国重要文化財追加指定とする答申が国文化審議会より出されたことにより、次年度以降、同図を国補助事業として修復するため、文化庁・大阪府と協議調整しました。</p> <p>○【拡充】国名勝西山氏庭園については、保存整備委員会及び建造物部会を計5回開催し、その審議に基づき、『名勝西山氏庭園（青龍庭）整備基本計画』を策定しました。</p> <p>また、同庭園及び国登録文化財西山家住宅について、これまでの災害及び経年劣化による損傷のうち、特に著しい箇所について緊急の保存修理を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○郷土資料館のより効率的な運営のためには、市内で分散収蔵されている様々な文化財を一元的に保存・管理が可能となる施設を、市南部の施設再編にあわせて確保する必要があります。</p> <p>○郷土資料館を広く活用されるようになるため、学校教育機関、社会教育施設、市内外の博物館施設・文化財行政機関、市民団体と共に積極的な連携を図りつつ、継続的に事業を実施していきます。</p> <p>また、愛称やロゴの募集とともに、ボランティア募集・育成も進めていくようにします。</p> <p>○国名勝西山氏庭園の本格的な活用には、その担い手の育成が必要です。</p> <p>○同庭園内建造物の緊急の保存修理が完了し、今後は「保存活用計画」及び「整備基本計画」に基づき、耐震補強を盛り込んだ基本設計・実施設計に取り組みます。</p> <p>実施設計策定後、庭園及び建造物の公開・活用のための整備事業に着手し、事業完了後、順次公開します。</p> <p>○市指定史跡原田城跡の安全対策事業を実施します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	参考	指定・登録文化財の件数	教育行政方針	件	127	127	130	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
2	目標	文化財関連事業参加者数	教育行政方針	人	3,917	4,227	9,447	数値	15000
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
3	参考	文化財関連事業参加者のうち、「郷土資料館」の利用人数	教育行政方針	人	-	-	3,138	数値	9000
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
4	参考	啓発事業（主催・共催）実施件数	教育行政方針	件	14	46	76	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	文化財保護法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府文化財保護条例・大阪府文化財保護条例施行規則
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市文化財保護条例・豊中市文化財保護条例施行規則・名勝西山氏庭園保存活用計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	329,221	人件費（参考）	58,580	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△4,644	公債費（参考）	4,648	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	278,736	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	23,697
	決算額	265,930		地方債	16,800
	残額	12,806		その他 特定財源	284
	執行歩合	95.41%		一般財源	225,149

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		文化財の保護【継続】	8,472	1,544	0	6,928	01
	市有文化財等の維持管理【継続】	41,767	0	0	41,767	01	文化財保護費
	埋蔵文化財（補助）【完了】	0	0	0	0	01	文化財保護費
	文化財保護審議会【継続】	147	0	0	147	01	文化財保護費
	文化財調査【継続】	12,683	3,713	0	8,970	01	文化財保護費
	史跡今西氏屋敷整備【継続】	0	0	0	0	01	史跡環境整備費
	名勝西山氏庭園整備事業【拡充】	36,880	18,440	16,800	1,640	01	史跡環境整備費
	文化財保存修理事業【継続】	0	0	0	0	01	史跡環境整備費
	（仮称）郷土資料館施設運営【新規】	13,234	0	0	12,950	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館施設管理【新規】	26,793	0	0	26,793	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館車両管理【新規】	141	0	0	141	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館整備事業【新規】	125,813	0	0	125,813	01	（仮称）郷土資料館整



4-3 健康と生きがいづくりの推進

誰もが学びや運動などの生きがいを通して、地域とつながり健やかで心豊かに暮らせるよう取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)生涯を通した学びの機会の充実と成果を活かせる場や機会づくりを進めます	5事業
①学びの支援と学習機会の充実	
②地域における学習活動などの推進	
生涯学習事業	教育委員会 社会教育課
地域の知の拠点事業	教育委員会 読書振興課
コミュニティプラザ等施設管理	教育委員会 中央公民館
公民分館活動支援事業	教育委員会 中央公民館
公民館管理運営事業	教育委員会 中央公民館
(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます	4事業
①食育の推進	
②スポーツの推進	
③高齢者の介護予防の推進	
④高齢者の社会参加の促進	
スポーツの推進事業	都市活力部 スポーツ振興課
体育施設運営管理事業	都市活力部 スポーツ振興課
シルバー人材センター関連業務	市民協働部 くらし支援課
社会参加・生きがい推進事業	福祉部 長寿安心課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生涯学習事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課	160000 人権政策課 331000 障害福祉課 602100 中央公民館		

事業概要	<p>○すべての市民が人生を豊かに生きられるよう、市民の多様な学習意欲に対応し、生涯を通して学ぶことができる機会を充実させるとともに、それぞれの学びの成果を社会で活かす機会の創出や、社会教育に関わる団体・グループの人材育成を支援します。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者施設等における音楽・体育・書道・リズム体操・パソコン講習・華道・茶道・陶芸・絵画等の学習活動を支援するため、障害者青年教室補助事業を実施しました。</p> <p>○豊中・螢池の両人権平和センターで「識字教室」を、中央公民館で「学びの場」を実施しました。</p> <p>○豊中市人権教育推進委員協議会、豊中市PTA連合協議会及び豊中市婦人団体連絡協議会の活動を支援しました。</p> <p>○社会教育委員会議で「豊中市の社会教育のあり方検討」について議論・意見をいただき集約しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○障害者青年教室補助事業は、障害のある青年の学習活動を側面的に支援しました。今後も継続し、障害のある青年の文化教養の向上と生活に必要な知識・技術の習得に側面的に貢献します。</p> <p>○識字教室は、すべての人の人権が尊重される社会の確立と、生活と文化の向上を図る一助となりました。今後も継続実施していきますが、学習者の背景や年齢・国籍などが異なるため、それぞれのニーズに応じた効果的な教材の提供が必要です。また、受講者同士、講師同士が情報交換・交流を深め、課題解決に向けた意見交換する場として、識字・日本語豊中連絡会を継続的に開催する必要があります。</p> <p>○社会教育団体の活動を支援することにより、各団体及びその構成員による学習活動や社会貢献活動が促され、地域における社会教育活動が推進されました。今後も時代の要請にあった活動と自主的な団体運営ができるよう、引き続き助言と支援を行います。</p> <p>○集約した「豊中市の社会教育のあり方」に基づき、社会教育のコーディネーターとして、情報の集約と拡散を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	障害者青年教室補助事業	担当課調査	団体	17	16	18	数値	
		考え方、定義、算出方法など	対象団体を支援する数値						
2	参考	識字・日本語豊中連絡会開催回数	担当課調査	回	0	0	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	社会教育委員会議実施回数	担当課調査	回	2	2	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	教育基本法、社会教育法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市教育振興計画、豊中市社会教育委員条例

【決算説明情報】

(単位:千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	7,169	人件費(参考)	9,477			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	7,169	財源内訳	国・府支出金	0		
	決算額	6,382		地方債	0		
	残額	787		その他 特定財源	0		
	執行歩合	89.02%		一般財源	6,382		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
障害者青年教室補助事業【継続】		999	0	0	999	01	社会教育総務費
識字教室・識字連絡会【継続】		880	0	0	880	01	社会教育総務費
社会教育団体育成事業【継続】		4,354	0	0	4,354	01	社会教育総務費
社会教育委員会議【継続】		149	0	0	149	01	社会教育総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域の知の拠点事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	601700 教育委員会・読書振興課		
関連部局・課	360100 こども政策課		

事業概要	<p>○すべての市民に知る自由を保障するため地域の知の拠点としての役割を果たします。</p> <p>○読書を通じて豊かな感性と自ら学び主体的に生きる力を育てよう、子どもの読書環境を整備します。</p> <p>○「協働とパートナーシップに基づくまちづくり」に取り組む観点から、地域社会の課題解決とコミュニティの活性化に寄与するため市民と協働して事業に取り組みます。</p> <p>○全地域で図書館サービスを実現するため、動く図書館車などの車両を適切に管理します。</p> <p>○社会状況やニーズの変化に対応した持続可能な図書館サービスを提供するため、(仮称)中央図書館基本構想をふまえ、中央図書館の候補地および事業手法、図書館の効率的・効率的運営や市内図書館の新たなネットワーク再編について具体的に検討を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○地域の知の拠点として、あらゆる世代の学びを支える資料の充実と情報提供に取り組むとともに、暮らしの課題解決に役立つ資料・情報の提供を行いました。</p> <p>○【拡充】電子書籍貸出サービスを開始し、図書館への来館が困難な市民に対しても図書館の利便性を高めるとともに、音声読み上げ対応のコンテンツ等の導入により読書バリアフリー法に対応した資料・情報提供に取り組みました。</p> <p>○関係部局や複合施設内で連携して関連資料の紹介・展示を実施し、市立図書館における情報リテラシー支援に取り組みました。</p> <p>○ボランティアによる対面朗読や音点訳の障害者サービス、北摂アーカイブスやしようないREK、地域教育協議会等との協働・連携事業を実施しました。</p> <p>○豊中市立図書館みらいプランの策定に向けて、(仮称)中央図書館の候補地を3か所選定しました。また、市民ワークショップを全4回実施し各回約25人、シンポジウムを開催し会場62人、オンライン46人の計108人参加しました。さらに、パブリックコメントを実施し203人・681件の意見をいただき、みらいプランに反映し策定しました。</p> <p>○【拡充】蛸池図書館に予約照会機を追加導入し、予約資料受取コーナーを開設しました。</p> <p>○庄内・庄内幸町図書館の図書などを庄内コラボセンターに移設し、リニューアル開館をしました。</p> <p>○岡町、野畑図書館の空調の不具合により、一部のエリアにおいて臨時休室の措置や扇風機を使う、利用時間の短縮を呼びかけるなどを行い、夏や冬の冷暖房時を乗り越えました。</p> <p>○図書館協議会を3回開催し、図書館の読書バリアフリーの取組みについて審議しました。また図書館協議会の評価部会を4回実施し、5年に1度の図書館評価に係る審議を行いました。</p> <p>○「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を豊子連と共催で開催しました。</p> <p>○ブックスタート事業のボランティアスタッフ研修と懇談会、新しい施設の見学とスタッフミーティングを実施し情報共有しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○電子書籍貸出サービスの利用状況やニーズを把握し、サービスの充実を図ります。児童向けや外国語資料等のコンテンツの更なる充実をめざします。</p> <p>○市民の学びを支援するための学習の場や、地域のつながりの創出、地域の生涯学習の担い手を育てる仕組みの構築等推進するとともに、学んだ成果を主体的に地域づくりや市民活動に活かす取組みを進めます。</p> <p>○今後の図書館について、様々な機会において市民から多くの意見をいただくとともに、市の考え方を周知することができました。今後も豊中市立図書館みらいプランに基づいて、市民と共有を図るとともに、(仮称)中央図書館の整備に向け取組みを進めます。</p> <p>○岡町、野畑にかかる空調の不具合に対して、7月臨時会、9月定例会にそれぞれ必要な補正予算を計上しました。また、空調更新工事に先立ち、必要な外壁材調査も実施しました。空調更新工事は岡町は5月末、野畑は7月中旬を目途に実施し、工事期間中は休館しますが、資料の受取・返却などの可能なサービスを継続します。</p> <p>○セルフ機器をはじめとしたICTの活用による業務の効率化と利用者の利便性の向上を進めます。</p> <p>○新しく図書館を開館し来館者数も増えましたが、施設内の各団体と連携をはかり事業を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民一人当たり貸出冊数	豊中市の図書館活動	冊	6.7	7.9		9	令和4
	考え方、定義、算出方法など	住民の知る権利を保障し、住民の学ぶ意欲を示す図書館における代表指標。自治体間比較ができる指標							
2	目標	図書館Webサイトの公開トップページのアクセス件数	豊中市の図書館活動	件	2,224,637	2,489,071		2,500,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	高度情報社会で図書館が提供するデジタル情報の活用を示す一指標							
3	目標	児童書の蔵書数	豊中市の図書館活動	冊	302,495			330,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	乳幼児・学童期・青年期の読書活動と子どもたちの読書活動を支える住民等への情報資源							
4	目標	地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数	図書館評価システム	回	169			760	令和4
	考え方、定義、算出方法など	協働により地域ニーズを把握しておこなう事業数							
5	目標	「とよ1ぶつくる」 出動実績	担当課調査	箇所	265		232	300	令和4
	考え方、定義、算出方法など	図書館におけるアウトリーチサービス（全域サービス）を示す一指標							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	図書館法 文字・活字文化振興法 子どもの読書活動の推進に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府子ども読書活動推進計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	図書館条例 図書館規則 豊中市教育振興計画 (仮称)中央図書館基本構想 豊中市子ども健やか育み条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	459,133	人件費（参考）	408,570	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	12,388	公債費（参考）	18,782	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	522,758	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	1,812
	決算額	487,775		地方債	12,500
	残額	34,983		その他 特定財源	14,911
	執行歩合	93.31%		一般財源	458,552

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		図書館活動・すべての人への資料提供事業【拡充】	224,486	0	0	224,402	01
	図書館システムの運用【拡充】	100,069	0	0	99,999	01	図書館費
	図書館施設運営【継続】	2,080	0	0	1,871	01	図書館費
	子どもをとりまく読書環境整備の取り組み【継続】	1,928	1,812	0	116	01	図書館費
	地域・市民との協働事業【継続】	987	0	0	987	01	図書館費
	図書館車両管理【継続】	3,800	0	0	3,739	01	図書館費
	図書館施設管理【継続】	119,118	0	0	104,631	01	図書館費
	(仮称)中央図書館基本構想の推進【継続】	9,361	0	0	9,361	01	図書館費
	図書館設備更新工事【継続】	16,729	0	12,500	4,229	01	図書館整備費
	図書館施設改修事業【継続】	0	0	0	0	01	図書館整備費
	(仮称)南部コラボセンター準備事業(読書振興課)【新規】	9,217	0	0	9,217	01	図書館費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コミュニティプラザ等施設管理	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	<p>コミュニティプラザにおいては、地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供し、生涯学習の振興を図ります。 コミュニティルームにおいては、学校の余裕教室を地域の諸活動の場として活用することにより、地域諸団体の活動拠点を確保し、併せて生涯学習・コミュニティ活動の推進を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後も、地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供し、生涯学習の一層の振興を図る必要があります。</p>
----------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	大池コミュニティプラザ利用回数	市政年鑑	回	671	489	688	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	中豊島コミュニティプラザ利用回数	市政年鑑	回	58	55	78	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令・計画等	社会教育法
	□大阪府条例・規則・要綱・計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱・計画等	豊中市コミュニティプラザ条例・施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	5,659	人件費 (参考)	4,687	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	341	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	5,759	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	5,082		地方債	0
	残額	677		その他 特定財源	371
	執行歩合	88.24%		一般財源	4,711

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
中豊島コミュニティプラザ施設管理【継続】	1,135	0	0	1,123	01	コミュニティプラザ費
大池コミュニティプラザ施設管理【継続】	3,939	0	0	3,588	01	コミュニティプラザ費
コミュニティルーム施設管理【継続】	8	0	0	0	01	コミュニティプラザ費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公民分館活動支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	公民分館が主催する文化祭・体育祭などの行事や各種講座の実施、市ホームページを活用した取組内容の発信など、公民分館活動全般への支援を行います。 また、全公民分館で組織された公民分館協議会の事務局を担い、公民分館間の情報共有や意見交換の推進を支援します。
当該年度の実績	○公民分館が実施する文化祭、体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○次の担い手の不足や、企画運営に携わる人材が固定化されてきています。
------------------------------	------------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	公民分館行事・講座実施回数	市政年鑑	回	10,653	101	293	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	関連会議実施回数	市政年鑑	回	5	7	13	数値	
	考え方、定義、算出方法など 公民分館協議会、公民分館協議会役員会、研究大会・研修会の合計回数								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	社会教育法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	公民館条例、施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	43,682	人件費（参考）		13,126			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△727	公債費（参考）		0			
予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	42,955	財源内訳の	国・府支出金		0			
決算額	33,436		地方債		0			
残額	9,519		その他 特定財源		352			
執行歩合	77.84%		一般財源		33,084			
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	公民分館事業【継続】	33,399	0	0	33,047	01	公民館費	
	公民分館協議会【継続】	37	0	0	37	01	公民館費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公民館管理運営事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	全ての市民を対象に社会教育の推進と生涯学習の振興を図るため、市民一人ひとりの教養の向上・健康の増進・生きがいつくりなどに接する機会を提供するとともに、社会教育関係団体、地域諸団体、自主学習グループなどの活動の場と機会を提供します。また、これらの活動の場を維持するため、公民館施設の管理を行います。
------	--

当該年度の実績	<p>○公民館の施設等の運営管理を円滑に行うことにより、社会教育の推進と生涯学習の振興を図りました。</p> <p>○【新規】中学生を対象に生徒一人ひとりの学習理解状況に応じた個別最適な学びを実現するため、放課後や土日を活用しながら自宅学習を支援する放課後・土日学習支援モデル事業を、民間教育機関の社会資源を活用し中央、千里、庄内の公民館3館で実施しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○経年劣化がある施設については、設備更新が必要です。</p> <p>○中学生を対象とした放課後・土日学習支援事業について、令和5年度は対象を市立全中学校及び義務教育学校後期課程に拡大し、1人あたりの支援回数を増やします。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	参考	公民館利用者数	市政年鑑	人	162,611	204,595	296,881	数値年	440,000 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	点検及び評価報告書（令和4年度実施分）に記載の目標（数値・年度）とした。							
2								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会教育法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	公民館条例、施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	124,498	人件費（参考）	72,646	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	732	公債費（参考）	7,786	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	141,927	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	131,348		地方債	0
	残額	10,579		その他 特定財源	34,861
	執行歩合	92.55%		一般財源	96,487

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		社会教育関係団体の支援【継続】	743	0	0	743	01
	課題別講座【継続】	722	0	0	722	01	公民館費
	次世代育成講座【継続】	311	0	0	310	01	公民館費
	地域魅力発信・地域連携講座【拡充】	5,519	0	0	523	01	公民館費
	中央公民館施設管理【継続】	41,873	0	0	26,607	01	公民館費
	螢池公民館施設管理【継続】	63,438	0	0	52,077	01	公民館費
	庄内公民館施設管理【継続】	7,770	0	0	6,666	01	公民館費
	千里公民館施設管理【継続】	0	0	0	0	01	公民館費
	中央公民館車両管理【継続】	189	0	0	189	01	公民館費
	庄内公民館車両管理【継続】	211	0	0	211	01	公民館費
	千里公民館車両管理【継続】	213	0	0	0	01	公民館費
	螢池公民館車両管理【継続】	217	0	0	217	01	公民館費
	中央公民館施設運営【継続】	2,365	0	0	2,144	01	公民館費
	螢池公民館施設運営【継続】	1,487	0	0	728	01	公民館費
	庄内公民館施設運営【継続】	613	0	0	598	01	公民館費
	千里公民館施設運営【継続】	949	0	0	24	01	公民館費
	中央公民館設備更新事業【新規】	4,256	0	0	4,256	01	公民館整備費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（庄内公民館）【新規】	472	0	0	472	01	公民館費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	スポーツの推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	211000 都市活力部・スポーツ振興課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市のスポーツを推進するために、スポーツ推進審議会を設置し、スポーツに関する重要事項を調査審議します。</p> <p>○市民がスポーツの多様な効果・効用を一層享受し、豊かな生活を営むことに資するために、市民の参画と多様な主体との協働により、効果的な取り組みを実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○スポーツ推進審議会を3回実施し、第2期スポーツ推進計画を策定しました。</p> <p>○豊中スポーツ魅力発信事業を実施した体育連盟の各競技団体ほか18団体に対して、900,000円の補助金を支給しました。</p> <p>○国際および全国スポーツ大会参加報奨金支給申込が73件あり、1,030,000円の報奨金を支給しました。</p> <p>○【拡充】スポーツ指導者養成講習会に20人、バスケットボールフェスタに51人、とよなかチャレンジスポーツフェスタに119人の参加がありました。また、子どもの基礎体力の向上をめざした「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」を市内4小学校で37回実施し、185人の申込がありました。</p> <p>○ニュースポーツデーを25回実施し、776人の参加がありました。</p> <p>○スポーツ施設情報システムで使用料金の設定変更を行いました。</p> <p>○スポーツ振興基金を活用し、「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」を実施しました。また、スポーツ振興基金を紹介するチラシやうちわを作成し、イベント等で配付しました。</p> <p>○旧庄内温水プール代替水泳教室事業は、経過措置として当時の受講者が一定期間、継続できるように始めたものですが、10年以上経過したことから、令和4年度末をもって終了しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○策定した第2期スポーツ推進計画に沿って、子どもが継続して取り組めるスポーツを体験する場等について審議していきます。</p> <p>○豊中スポーツ魅力発信事業を体育連盟の各競技団体などが実施し、若年層への競技スポーツの普及・振興、また、スポーツで本市の魅力を発信することができました。</p> <p>○国際および全国スポーツ大会参加報奨金の周知について、より効果的な方法を検討していきます。</p> <p>○指導者の養成や誰もがスポーツに親しむ機会の提供につながりました。また、「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」では、多様な運動プログラムを実践することで、子どもたちが楽しみながら体を動かす機会の提供につながりました。</p> <p>○誰もが気軽に参加できるニュースポーツの普及・振興につながりました。</p> <p>○引き続き、スポーツ施設情報システム利用者の利便性向上に向けて、システムの改修等を行っていきます。</p> <p>○チラシやうちわで「高校野球発祥の地豊中」をPRし、本市の魅力を発信することができました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	種目別講習会参加者数	担当課調べ	人	14	669	2,011	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
2	参考	報奨金支給件数	担当課調べ	件	24	51	73	数値	
	考え方、定義、算出方法など		台帳による						
3	参考	市民大会、後援事業の延べ利用者数	担当課調べ	人	7,236	17,651	23,078	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
4	参考	スポーツ振興会の実施事業の延べ利用者数	担当課調べ	人	1,158	1,261	1,844	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
5	参考	システムの延べ利用者数	担当課調べ	人	1,832,457	2,163,153	1,996,406	数値	
	考え方、定義、算出方法など		システムより出力						

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	スポーツ基本法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	59,008	人件費(参考)	34,425	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△13	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	60,395	財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	47,911		地方債	0
	残額	12,484		その他 特定財源	15,509
	執行歩合	79.33%	一般財源	32,402	

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	スポーツ推進審議会【継続】	3,851	0	0	3,851	01	スポーツ振興費	
	スポーツ団体の支援と指導者の育成・確保【継続】	3,263	0	0	2,463	01	スポーツ振興費	
	国内・国際スポーツ大会の参加奨励事業【継続】	1,030	0	0	1,030	01	スポーツ振興費	
	生涯スポーツ振興事業【拡充】	14,855	0	0	6,776	01	スポーツ振興費	
	地域スポーツの振興【継続】	3,501	0	0	3,501	01	スポーツ振興費	
	スポーツ施設情報システムの運用【継続】	8,333	0	0	8,333	01	スポーツ振興費	
	スポーツ振興基金【継続】	5,078	0	0	163	01	スポーツ振興費	
	旧庄内温水プール代替水泳教室事業【継続】	8,000	0	0	6,285	01	スポーツ振興費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	体育施設運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	211000 都市活力部・スポーツ振興課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課		

事業概要	<p>○スポーツ活動の場を提供することを通して、市民の健康といきがいに寄与するために、屋内及び屋外体育施設に係る指定管理者を通じた適切な管理運営並びに同施設の建物や設備の維持補修・工事等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○指定管理者との連絡調整やモニタリング、評価を行いました。 ○グリスポピア2022では、グリスポMAX（スポーツイベント）、お城造りのワークショップ、建築模型ワークショップ、籠城キャンプ、朱雀大風展、施設のライトアップなどを実施しました。また母の日似顔絵展、クリスマスリース作りなどのシーズンイベントも実施しました。 ○体育施設の修繕等を行いました。 ○武道館ひびき整備事業において弓道場防矢ネット設置工事を実施しました。 ○柴原体育館整備事業において特定天井の耐震化工事を実施しました。 ○庄内体育館整備事業において空調等設置工事に向けた実施設計を行いました。 ○豊中ローズ球場整備事業において大規模改修工事に向けた実施設計を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○民間活力を導入することで、指定管理者から利用者の声を反映する提案（教室のWEB申込みや、プール混雑時の待ち時間の表示など）を実施し、利用者サービスの向上につながりました。また、小学生の体育施設の個人使用料を無償にするなど、体育施設の利用を促進し、子どもの運動機会の増加に取り組みます。 ○グリーンスポーツセンターにおいては、大学や企業、地元団体と協力し様々な知見を得たことで、グリスポピア2022だけでなく、シーズンイベントを実施し、一年を通じた地域の賑わいを創出できました。 ○体育施設の修繕を行い、安心・安全な環境を整えました。 ○武道館ひびき整備事業における弓道場防矢ネット設置により近隣への矢の飛出しを防止することができました。 ○柴原体育館整備事業における特定天井の耐震化工事により施設利用時の安全性の向上を図ることができました。 ○庄内体育館整備事業、豊中ローズ球場整備事業については、令和6年12月の供用開始に向けて令和5年11月から工事に着手します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	屋内体育施設延べ利用者数	担当課調べ	人	470,385	476,567	767,734	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	屋外体育施設延べ利用者数	担当課調べ	人	255,617	288,393	322,057	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令・計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱・計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱・計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,019,633	人件費（参考）	25,110	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	149,376	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	981,693	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	914,126		地方債	30,700
	残額	67,567		その他 特定財源	116,198
	執行歩合	93.12%		一般財源	767,228

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		屋外体育施設運営管理【継続】	121,087	0	0	76,286	01
	屋外体育施設管理【継続】	27,893	0	0	26,807	01	体育施設費
	屋内体育施設運営管理【継続】	673,337	0	0	604,152	01	体育施設費
	屋内体育施設管理【継続】	14,321	0	0	13,195	01	体育施設費
	二ノ切温水プール整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	屋外体育施設整備事業【新規】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	豊島温水プール整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	ふれあい緑地球技場整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	ふれあい緑地少年野球場整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	柴原体育館整備事業【継続】	34,205	0	30,700	3,505	01	体育施設整備費
	庄内体育館整備事業【継続】	12,637	0	0	12,637	01	体育施設整備費
	豊中ローズ球場整備事業【継続】	26,620	0	0	26,620	01	体育施設整備費
	武道館ひびき整備事業【継続】	4,026	0	0	4,026	01	体育施設整備費
	高川スポーツルーム整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	【新規】	0	0	0	0	00	
	千里東町公園庭球場整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費
	豊島体育館整備事業【継続】	0	0	0	0	01	体育施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	シルバー人材センター関連業務	区分	継続
施策の方向性	(2) 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が培ってきた経験や能力を生かせるために、就労の機会を創出し、生涯を通じて健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○市の労働政策と整合を図ったシルバー人材センターの事業運営に対する補助を行いました。</p> <p>○定年年齢の引き上げによる会員の高齢化やインボイス制度など、社会情勢の変化に伴う対応について、シルバー人材センターと意見交換を行い、今後の支援策を検討しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○定年年齢の引き上げによる会員の高齢化やインボイス制度など、社会情勢の変化に伴う対応がシルバー人材センターに求められていることから、同センターが今後の方向性を決定するにあたり、支援や意見交換を行いました。</p> <p>○今後も引き続き、デジタル化の推進など事務の効率化や就業開拓強化等に向けた支援を行ってまいります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	就業延べ人数	シルバー人材センター	人	177,965	181,768	175,138	数値	
	考え方、定義、算出方法など	就業に結び付いた延べ人数							
2	参考	契約件数	シルバー人材センター	件	4,000	3,894	3,728	数値	
	考え方、定義、算出方法など	会員の就業先となる事業者との契約件数							
3	参考	会員数	会員数	人	1,726	1,613	1,646	数値	
	考え方、定義、算出方法など	センター会員数							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市高齢者労働能力活用事業費補助金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	33,255	人件費（参考）	1,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	33,255	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	33,230		地方債	0
	残額	25		その他 特定財源	16
	執行歩合	99.92%		一般財源	33,214

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
予算管理事業	シルバー人材センター補助金業務【継続】	33,230	0	0	33,214	01	労働総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	社会参加・生きがい推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が地域社会とつながり活躍できるよう、生活機能レベルやニーズ等に応じた多様な社会参加を促進するとともに、地域活動の担い手となるボランティア・社会貢献活動を支援することで、高齢者の生きがいづくりに寄与します。</p>
当該年度の実績	<p>○施設の管理、保全を行うとともに、地域団体等(社会福祉協議会・老人クラブ・住民参加型NPO)への運営費用に関する補助を行い、活動を支援しました。 ○美化活動、雑巾づくり、友愛訪問の社会奉仕活動を行う団体に助成しました。 ○公衆浴場や障害福祉センターひまわりなど、介護予防に資する健康体操等の事業を実施しました。 ○南部コラボセンター開設にむけて、介護予防センターの移転作業を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○高齢者の多様な活動を支援することで、社会参加を促進するとともに、生きがいづくりにつなげることができました。 ○介護予防事業の整理を行い、街かどデイハウス介護予防教室は令和4年度末で終了しました。 ○今後も事業の見直しを行うとともに、高齢者の社会参加につながる多様な活動を支援していきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	老人憩の家指定箇所（施設）	担当課調査	団体	16	16	15	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	単位老人クラブ会員数	担当課調査	人	7,684	7,016	6,141	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	敬老の集い参加者数	豊中市社会福祉協議会	人	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	金婚祝意事業対象者数	担当課調査	組	255	151	231	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	老人憩の家運営補助金交付事業要綱 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	133,140	人件費（参考）	10,880	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	42	公債費（参考）	3,519	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	135,008	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	6,908
	決算額	105,025		地方債	0
	残額	29,983		その他 特定財源	6,951
	執行歩合	77.79%		一般財源	91,166

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		老人憩の家施設管理【継続】	46,944	0	0	46,589	01
	老人クラブ支援業務【継続】	15,961	1,810	0	14,151	01	老人福祉費
	敬老の集い事業補助【継続】	6,989	0	0	6,989	01	老人福祉費
	金婚祝意事業【継続】	942	0	0	942	01	老人福祉費
	街かどデイハウス事業運営補助【継続】	19,002	0	0	19,002	01	老人福祉費
	ぬくもりサロンとよなか事業【継続】	8,220	3,136	0	1,027	17	一般介護予防事業費
	老人憩の家整備事業【継続】	1,155	0	0	1,155	01	老人憩の家整備費
	街かどデイハウス介護予防教室【継続】	1,345	513	0	168	17	一般介護予防事業費
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・生きがいづくり事業分）【継続】	3,798	1,449	0	474	01	社会福祉総務費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（長寿安心課）【新規】	669	0	0	669	01	老人福祉費



第5章



5-1 情報共有・参画・協働に基づくまちづくり

人と人、人と地域、地域と地域が支えあいながら安心して暮らせる地域コミュニティを形成し、市民・事業者・行政が目標を共有し、それぞれの役割を意識してまちづくりに取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)市政情報の発信・提供・公開を推進します	4事業	
①広報機能の充実		
文書管理事業		総務部 行政総務課
統計調査事業		総務部 行政総務課
情報公開の推進事業		総務部 法務・コンプライアンス課
市政情報の発信		都市経営部 広報戦略課
(2)市民が参画できる機会の充実を図ります	1事業	
①市民意識・意見の把握機会の充実		
②市政への市民参画機会の充実		
広聴事業		都市経営部 広報戦略課
(3)地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進します	9事業	
①協働事業の充実		
②市民が主役のまちづくりの推進		
コミュニティ助成事業		市民協働部 コミュニティ政策課
協働推進関連事業		市民協働部 コミュニティ政策課
自治会活動支援事業		市民協働部 コミュニティ政策課
(仮称)南部コラボセンター関連事業		市民協働部 コミュニティ政策課
コラボ事業		市民協働部 千里地域連携センター
地域連携センター事業		市民協働部 中部地域連携センター
地域連携センター事業		市民協働部 北部地域連携センター
地域連携センター事業		市民協働部 南部地域連携センター
教育表彰事業		教育委員会 教育総務課

(4)多様な人たちが関わる地域自治を推進します	1事業
①地域自治組織の設立および活動支援	
②地域活動の担い手の発掘・育成支援	
地域づくりの取組み支援	市民協働部 コミュニティ政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	文書管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 市政情報の発信・提供・公開を推進します	総合計画掲載ページ	94
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○行政文書の適正な管理を行うために、業務の適正な執行及び効率化を図ります。</p> <p>○文書管理を円滑に行うために、行政文書の作成、管理及び廃棄について総合的な企画調整を行いながら、文書管理システムの運用を行います。</p> <p>○本市の歴史や文化への理解を深め、わがまちに対する愛着及び誇りを培い、市民主体のまちづくりの推進に寄与するため、歴史的文化的文書を管理します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○歴史的文化的文書の選別・整理を行いました。</p> <p>○歴史的文化的文書のマイクロフィルム化等を進めました。</p> <p>○市内の歴史を知ってもらうための取組みとして古文書等のパネル展示を行うとともに、歴史講座を開催しました。（パネル展示：1回・90人来館 歴史講座：1回・29人参加）</p> <p>○職員の市の歴史に関する理解を深めるため、研修を実施しました。（研修：1回・26人参加）</p> <p>○上記の歴史講座・職員研修とともに、より多くの市民に受講してもらえるよう、動画配信を行いました。（動画配信：2本 申込者：62人）</p> <p>○市内外へ市史をPRするため、令和4年10月より、新修豊中市史をふるさと納税の返礼品として、提供を開始しました。（返礼品件数：3件）</p> <p>○行政文書等の管理についての重要事項を審議する行政文書等審議会を設置し、デジタル技術を踏まえた行政文書等の適正な管理について諮問しました。（開催回数：1回）</p> <p>○文書事務に関する現場調査を行い、各課に助言を行いました。</p> <p>○文書管理システムのリプレイスに向けたプロポーザルを実施し、事業者を決定しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○引き続き、歴史的文化的文書を、選別基準を基に、収集・選別していきます。</p> <p>○歴史的文化的文書の利活用について、歴史講座やパネル展などの機会を活用して広く市民に周知します。</p> <p>○歴史的文化的文書の適正な保存に向けて、データ化等を進めていきます。データ化等の手法について、検討課題です。</p> <p>○適正かつ合理的な文書事務を遂行していくため、研修等を通じて職員のスキル向上を図るとともに、社会情勢の変化等に合わせて適宜ルールの見直しを行っていきます。</p> <p>○永年文書の電子化及び公印を押印する起案文書の電子決裁の導入に向けて、運用方法を検討します。</p> <p>○永年保存文書の取扱いとデジタル化及び歴史的文化的文書のデジタル化について、行政文書等審議会の議論を踏まえて検討します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	歴史的文化的文書（古文書）のマイクロ化	担当課調査	%	56	56	56	数値	
	考え方、定義、算出方法など	文書館に保存している歴史的文化的文書（古文書）の内、マイクロ化が完了している割合。							
2	参考	歴史的文化的文書（行政文書）のマイクロ化執行率	担当課調査	%	14	15	16	数値	
	考え方、定義、算出方法など	文書館に保存している歴史的文化的文書（行政文書）の内、マイクロ化が完了している割合。							
3	参考	文書館に保存している永年保存文書の累計数	担当課調査	冊	30,388	31,073	32,091	数値	
	考え方、定義、算出方法など	文書館に保存している永年保存文書の累計数。							
4	参考	機密溶解処理	担当課調査	kg	78,990	80,040	72,960	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年4回分の排出量の総計。							
5	目標	電子決裁率	担当課調査	%		59.9	73.03	数値	80
	考え方、定義、算出方法など	電子決裁の実施を市役所の風土として定着させるため。							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市行政文書管理規則・豊中市歴史的文化的文書の保存及び利用等に関する規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	15,073	人件費(参考)	9,170	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	55	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	15,128	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	12,505		地方債	0
	残額	2,623		その他 特定財源	788
	執行歩合	82.66%		一般財源	11,717

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		歴史的文化的文書の収集・保存・利用【継続】	9,826	0	0	9,571	01
	行政文書の管理に関する総括事務【継続】	2,679	0	0	2,146	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	統計調査事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 市政情報の発信・提供・公開を推進します	総合計画掲載ページ	94
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○行政施策の企画立案に供するとともに、事業所・企業や一般の方にも情報提供するために、市勢の現況並びにその推移等を統計書として体系的に編集します。</p> <p>○人口の状況、経済活動や産業構造などを明らかにし各種統計調査の母集団情報や各種行政施策立案の基礎資料を得るため、また、学術研究の利用に資するために、統計法で定められた統計調査である基幹統計調査を実施します。</p> <p>○実地調査にあたる登録調査員を確保するとともに、育成を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○令和4年度版豊中市統計書を作成しました。</p> <p>○令和4年就業構造基本調査を実施しました。</p> <p>○令和5年住宅・土地統計調査調査区設定を実施しました。</p> <p>○市登録調査員の確保を図りました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○令和4年度版豊中市統計書を作成し、市勢の現況並びにその推移等を示すことができました。</p> <p>○令和4年就業構造基本調査を実施することで、各種行政施策立案や学術研究の利用に資することなどの基礎資料を得ました。</p> <p>○令和5年住宅・土地統計調査調査区設定を実施し、令和5年度に実施する本調査に向けて準備することができました。</p> <p>○市登録調査員の確保を図ることで、基幹統計調査を円滑に進めることができました。</p> <p>○登録調査員については、令和7年国勢調査実施に向けて、既調査員から紹介を募るとともに、市内外の高齢者や子育て世代、また市内在学の大学生への募集を行い、引き続き確保に努めます。</p> <p>○豊中市ホームページに公表している豊中市統計書のエクセルデータを、計算式等を用いて加工及び活用しやすいデータに修正します。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	統計書製本数	担当課調査	部	29	26	24	数値	25
	考え方、定義、算出方法など	市政情報コーナー(12)、関西エアポート(株)(1)、大阪府総務部統計課(1)、議会図書室(2)など							
2	目標	登録調査員数	担当課調査	人	478	477	486	数値	480
	考え方、定義、算出方法など	統計調査員確保対策事業の目標値である経済センサスの調査区数448の1/2以上、かつ前年度数超。							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	統計法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	統計調査員確保対策事業委託要綱
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市統計調査員の登録制度に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	10,341	人件費(参考)	24,300	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	1	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	10,342	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	4,415
	決算額	8,941		地方債	0
	残額	1,401		その他 特定財源	0
	執行歩合	86.45%		一般財源	4,526

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	統計書作成事務【継続】		2,575	0	0	2,575	01	統計調査総務費
	基幹統計調査【継続】		6,366	4,415	0	1,951	01	統計調査総務費
	国勢調査【継続】		0	0	0	0	01	国勢調査費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	情報公開の推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 市政情報の発信・提供・公開を推進します	総合計画掲載ページ	94
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市政情報の公開を推進するために、市政のあらましをまとめた市政年鑑を作成します。</p> <p>○政治倫理確立のために、市長の資産公開を行います。</p> <p>○情報公開制度の理解を進め行政情報の公開を推進するとともに、豊中市情報公開条例に基づく行政文書の開示請求制度を適正に運用します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○市政年鑑を作成しました。</p> <p>○市長の資産公開を行いました。</p> <p>○行政文書開示請求の受付及び各課からの相談に対応するとともに、市民が求める情報の把握に取り組みました。</p> <p>○市政情報コーナーの資料等を配架及び管理をしました。</p> <p>○令和5年2月 市政資料の整理完了</p> <p>令和5年3月 各部局へ市政資料の返還</p> <p>令和5年3月 市政情報コーナーのあり方方向性検討</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○各部局に対し、市政情報コーナーに配架している資料の要不要について照会をし、資料整理を行うことで、市政情報コーナーの役割の適正化につながりました。</p> <p>今後も、市政情報コーナーでの紙媒体で閲覧が必要なものを割り出し、省スペースを進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	市政年鑑作成	担当課調査	部	14	1	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	市政情報コーナー利用者数	情報公開制度等	人	1,435	1,293	942	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	行政文書開示請求等件数	情報公開制度等	件	411	451	625	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市情報公開条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,485	人件費（参考）	8,424	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,485	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	2,999		地方債	0
	残額	486		その他 特定財源	0
	執行歩合	86.05%		一般財源	2,999

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	市政年鑑作成【継続】	0	0	0	0	01	文書広報費
	市長の資産公開【継続】	0	0	0	0	01	文書広報費
	情報公開制度の運用【継続】	2,999	0	0	2,999	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市政情報の発信	区分	継続
施策の方向性	(1) 市政情報の発信・提供・公開を推進します	総合計画掲載ページ	94
担当部局・課	200300 都市経営部・広報戦略課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市への興味、関心を高めるとともに、市民と行政のコミュニケーションや信頼関係を深めるために、政策・施策・事業等の情報を、インターネットや広報誌、報道機関を通じて、市民などへ発信・提供します。</p>
当該年度の実績	<p>○広報誌を毎月発行し、市内全世帯・全事業所に配布しました。 ○リニューアルした広報誌を発行しました。誌面をフルカラー化、文字サイズを大きく、表紙の目次機能を充実、2次元コードを活用しました。 ○報道機関に対し、市政やイベント、地域情報などを提供しました。 ○ニュースリリース配信サービス「PRTIMES」により、オンラインメディアへのリリース配信を行い、リリースした案件が、6,543件のオンラインメディアに掲載されました。 ○ホームページ、ソーシャルメディアにより情報発信を行いました。 ○ホームページへのアクセスが瞬間的に増大した場合に備え、CDN（Contents Delivery Network）を導入しました。 ○ホームページのトップページにページ番号検索機能を追加、各ページに印刷ボタンを設置しました。 ○YouTubeの収益化を行い、31,500円の歳入を確保しました。 ○情報発信に関する手引きを策定しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○広報誌誌面のフルカラー化や文字サイズを大きくすることでより読みやすく、表紙への目次機能を充実し2次元コードを活用することでより探しやすくなりました。 ○ニュースリリース配信サービス「PRTIMES」により、オンラインメディアへのリリース配信を行うことで、認知度の向上につながりました。 ○ホームページへのアクセスが瞬間的に増大した場合に備え、CDN（Contents Delivery Network）を導入したことで、アクセス負荷が軽減され、安定的な運用ができるようになりました。 ○ホームページのトップページにページ番号検索機能を追加、各ページに印刷ボタンを設置したことで、利用者の検索性・利便性が向上しました。 ○YouTubeの収益化により歳入を確保しました。 ○情報発信に関する手引きを策定し、市が所有する各情報発信媒体の活用方法やソーシャルメディアのアカウント開設基準が明確になり、市民へ適切な情報発信を行うことができました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後の方向性としては、より市民からの共感を得るために、ホームページ、広報誌、市公式ソーシャルメディア、リリースなどの各種媒体をその特性に応じて活用し、適切な手法・タイミングで効果的な情報発信を行っていきます。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	広報誌の発行部数	出典：担当課調査	部	204,042	205,458	206,325	数値	
	考え方、定義、算出方法など	広報誌発行部数の月平均値							
2	参考	報道機関等への情報提供数	出典：担当課調査	件	321	359	298	数値	
	考え方、定義、算出方法など	記者会見・メディアリリース・報道提供資料・各種媒体への情報提供数の合計値							
3	参考	市ホームページのコンテンツ数	出典：担当課調査	ページ	12,899	13,643	9,912	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市ホームページにおける公開総コンテンツ数の月平均値							
4	参考	市ホームページへのアクセス数	出典：担当課調査	件	31,065,380	34,443,774	24,828,907	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市ホームページでのページビュー数の年間合計値							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	167,168	人件費（参考）	63,180	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	167,168	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	152,091		地方債	0
	残額	15,077		その他 特定財源	6,896
	執行歩合	90.98%		一般財源	145,195

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
広報とよなか等の発行【継続】	139,323	0	0	132,613	01	文書広報費
パブリシティ（報道機関への情報提供）【継続】	3,998	0	0	3,998	01	文書広報費
インターネットを活用した情報発信等【継続】	8,770	0	0	8,584	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	広聴事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 市民が参画できる機会の充実を図ります	総合計画掲載ページ	94
担当部局・課	200300 都市経営部・広報戦略課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市民の意識や意見を広く把握し、市の取り組みなどに生かすため、多様な立場の人が市政に参画しやすい機会づくりを進めます。</p> <p>○市民の日常生活に起因する様々な問題の解決に向けた糸口としていただくため、内容の整理や情報提供などを行います。</p>
当該年度の実績	<p>○意見公募手続の取りまとめを行うとともにLINEで募集案件の情報を発信しました。</p> <p>○市民の声をメール、投書などにより受け付け、市長及び庁内へ情報共有しました。また、公開可能な意見と回答は市ホームページで公表しました。</p> <p>○市長ふれあいトークを実施し、市民や団体との交流によりいただいたご意見を市ホームページやソーシャルメディアで情報発信しました。</p> <p>○すべての専門相談でオンライン相談を実施しました。また、電子申込システムを利用して専門相談利用者へのアンケート調査を行い、273件の回答をいただきました。</p> <p>○出前講座のすべてのテーマでオンライン対応を実施しました。</p> <p>○総合コールセンターの運用を行い、FAQ（よくある質問と回答）を整備しました。</p> <p>○総合コールセンターで受け付けた市への意見や実績を庁内へ情報共有しました。</p> <p>○総合コールセンターの契約更改に向けて、電子申込システムを利用したニーズ調査を行い、155件の回答をいただきました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○意見公募手続により市民の意見を募ることで、市民の意向を考慮した計画や条例などの策定が可能となり、市民の市政への参画にもつながりました。</p> <p>○市民の声や要望、質問などに誠実・真摯に対応することにより、市の事業や市政全般に対する市民の理解を深めることにつながりました。また、市民の声を市長、庁内へ情報共有することで、市民の意見を市の取り組みや業務運営に生かすことにつながりました。</p> <p>○市長ふれあいトークは市民や団体との交流や意見交換の場づくりにつながりました。</p> <p>○専門相談を行うことにより、身近な相談窓口を求める市民ニーズに応えることができました。また、オンライン相談を可能としており、利便性の向上にもつながりました。</p> <p>○出前講座で市の事業や制度についての説明を行うことにより、市民の市政に対する認識・理解を深めることにつながりました。また、オンライン講座を行うことで市民の利便性を高めることができました。</p> <p>○総合コールセンターを365日稼働させ、休日や夜間でも市民からの簡易・定型的な問い合わせに一元的に回答することにより市民の利便性を向上させるとともに、職員の電話対応時間を軽減し、市全体の業務改善を図ることができました。</p> <p>○今後も各広聴事業において引き続きデジタルの活用を進め、市民の利便性を高めます。</p> <p>○今後の総合コールセンター事業については、FAQ検索チャットボットの導入により、利便性の向上を図るとともに、災害等によりコールセンターが使用できなくなった場合に業務を継続できるサブセンターを開設するなど「災害に強いコールセンター」を構築します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	意見公募手続（パブリックコメント）における提出意見数	担当課調査	件	492	252	878	数値	
	考え方、定義、算出方法など	実施案件の素案に対して提出された意見の総数							
2	参考	市民の声の件数	担当課調査	件	898	1,059	966	数値	
	考え方、定義、算出方法など	広報戦略課が受領した市政に対する意見・要望の件数							
3	参考	出前講座の実施件数	担当課調査	件	21	52	69	数値	
	考え方、定義、算出方法など	広報戦略課が受け付け、実施された出前講座の件数							
4	参考	FAQ件数	担当課調査	件	2,819	2,647	2,637	数値	
	考え方、定義、算出方法など	毎年4月1日現在のFAQ件数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	豊中市意見公募手続に関する条例、豊中市市民の声の処理に関する要綱、専門相談実施要領ほか	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	64,934	人件費（参考）	32,515	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	64,934	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	64,713		地方債	0
	残額	221		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.66%		一般財源	64,713

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	専門相談等相談業務【継続】	7,392	0	0	7,392	01	一般管理費	
	総合コールセンター運用事業【継続】	57,236	0	0	57,236	01	一般管理費	
	広聴事業【継続】	85	0	0	85	01	一般管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コミュニティ助成事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	300100 市民協働部・コミュニティ政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○協働によるまちづくりを推進していくため、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与します。</p>
当該年度の実績	<p>○一般財団法人自治総合センターからの募集に伴い、コミュニティ組織に内容の周知を行い今年度は、1件の助成金の申請があり承認されました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○助成金を活用することで、地域コミュニティの充実・強化につながりました。</p> <p>○募集要項をホームページに掲載するとともに、自治会に周知していきます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	決定を受けた事業数	担当課調査	団体	1	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	一般財団法人自治総合センターが決定した事業数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市補助金交付規則・豊中市コミュニティ助成金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,562	人件費（参考）				405
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）				0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,562	財源内訳	国・府支出金			0
	決算額	2,517		地方債			0
	残額	45		その他 特定財源			2,500
	執行歩合	98.24%		一般財源			17
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
コミュニティ助成事業【継続】		2,517	0	0	17	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	協働推進関連事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	300100 市民協働部・コミュニティ政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進するため、協働への理解を深め、地域課題の共有を図りながら、市民・事業者・行政など、多様な主体による協働をより一層進めます。また、多様な分野で市民・事業者が主体的に市民公益活動に取り組み、継続的に展開できるように支援します。さらに、情報発信や交流事業などによる活動間の連携促進を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市民公益活動推進助成金制度では、環境や子育て支援など諸課題解決の一助となるよう、市民公益活動団体に対し、初動コース、自主事業コースあわせて合計18事業に助成金を交付しました。</p> <p>○協働事業市民提案制度では、2事業を採択し、庄内コラボセンターのにぎわいづくり等を目的に、カフェやリサイクル本販売等を実施いたしました。</p> <p>○【拡充】市民活動情報サロンの機能を移転し、市民公益活動を推進するための施設として豊中市立市民公益活動支援センターを開設するとともに、市民公益活動団体とフォーラム等様々なイベントを実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○市民公益活動団体が助成金制度を活用し、段階的に自立発展しています。事業計画や予算書、事業報告書、報告会での発表など、制度のプロセスを踏むことにより、団体の使命の確認や活動のふりかえりにつながっています。</p> <p>○市民活動情報サロンの機能が、庄内コラボセンター内の市民公益活動支援センターに移転しましたが、4公民館（地域連携課）との連携を図り、市民公益活動支援センターの取組みの全市的な展開を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民公益活動推進助成金助成事業数	実施状況報告書	事業	11	34	18	数値	13
	考え方、定義、算出方法など	市民公益活動推進助成金制度による助成事業数							
2	目標	市民公益活動基金寄附件数	実施状況報告書	件数	133	166	173	数値	150
	考え方、定義、算出方法など	市民公益活動基金への寄附件数							
3	目標	市民活動情報サロン利用人数	実施状況報告書	人	4,679	4,568	4,296	数値	10000
	考え方、定義、算出方法など	市民活動情報サロンの利用人数							
4	目標	協働事業市民提案数	実施状況報告書	事業	0	0	2	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	協働事業市民提案制度に基づく市民提案数							
5	参考	NPO法人数	実施状況報告書	法人	98	95	97	数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市に主たる事務所を置き、豊中市が事務を所管しているNPO法人数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	特定非営利活動促進法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府特定非営利活動促進法施行条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市市民公益活動推進条例及び施行規則、市民公益活動基金積立条例、豊中市市民公益活動推進委員会規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	38,847	人件費（参考）	35,721				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,615	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	43,962	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	1,635			
	決算額	41,224		地方債	0			
	残額	2,738		その他 特定財源	7,061			
	執行歩合	93.77%		一般財源	32,528			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
市民公益活動推進助成金制度【継続】		2,284	0	0	47	01	一般管理費	
協働推進の公募制度【継続】		0	0	0	0	01	一般管理費	
市民活動情報サロン施設管理【継続】		10,955	0	0	10,955	01	一般管理費	
市民公益活動基金（とよなか夢基金）【継続】		5,024	0	0	200	01	一般管理費	
協働の推進体制の整備【継続】		350	0	0	350	01	一般管理費	
パートナーシップ構築に向けた情報共有・発信事業【継続】		5,890	0	0	5,890	01	一般管理費	
市民公益活動推進委員会【継続】		838	0	0	838	01	一般管理費	
市民活動情報サロン主催事業【継続】		10,076	0	0	10,076	01	一般管理費	
NPO法人認証事務【継続】		2,197	1,635	0	562	01	一般管理費	
(仮称)市民活動支援センター運営管理事業【拡充】		3,610	0	0	3,610	01	一般管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自治会活動支援事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	300100 市民協働部・コミュニティ政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○協働によるまちづくりを推進していくために、自治会の結成や活動、組織運営を側面的に支援し、安心して発展的な活動ができるようにします。また、自治会活動や地域コミュニティ活動に使用する施設を自ら確保、維持できるようにします。</p>
当該年度の実績	<p>○自治会掲示板配付、自治会相談、連絡調整、認可地縁団体に関する事務を行いました。 ○自治会ガイドブックの配布、自治会長7人に感謝状を贈呈しました。 ○自治会活動等災害補償保険に加入しました。 ○自治会加入奨励のポスターを3,000部・チラシを10,000部を作成し配布しました。 ○新築・増改築・修繕助成金の相談対応及び交付金事務並びに地代助成金5件、修繕助成1件の交付事務を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○自治会活動の維持、発展や地域コミュニティの活性化につながるとともに、自治会活動等、地域住民の定期的、継続的なコミュニティ活動が促進できました。今後も自治会が活発に活動をするために側面的な支援を継続します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	自治会加入率	担当課調査	%	39	38	38	数値	
	考え方、定義、算出方法など	自治会世帯数÷全世帯数*100							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	豊中市コミュニティ基本方針、豊中市地域自治推進条例、豊中市自治会館整備等助成金交付要綱	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	14,201	人件費（参考）	6,399	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△205	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	13,996	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	5,798		地方債	0
	残額	8,198		その他 特定財源	0
	執行歩合	41.43%		一般財源	5,798

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	予算管理事業	自治会活動支援【継続】	3,471	0	0	3,471	01	一般管理費
自治会館整備等助成【継続】		2,327	0	0	2,327	01	地方振興費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	(仮称) 南部コラボセンター関連事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	300100 市民協働部・コミュニティ政策課		
関連部局・課	300500 くらし支援課 302000 庄内出張所 304500 南部地域連携センター 332000 長寿安心課 342500 保険資格課 361500 こども相談課 601700 読書振興課 602100 中央公民館 60370		

事業概要	<p>○公民館、市民活動センター（市民公益活動支援センター）、図書館、介護予防センター、市役所出張所、キャリアセンター（豊申しごと・くらしセンター）、保健センター、子育て支援センター、児童生徒支援機能の9施設で構成される(仮称)南部コラボセンターの多機能を活かし、施設の一体的で効果的・効率的な施設運営を行います。</p> <p>○南部地域の賑わい創出と市民相互及び世代間の交流のために、地域の団体や企業との公民連携のもとにさまざまなイベントを企画・実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○地域連携拠点の充実を図るため、庄内出張所をはじめ9施設機能が入居する庄内コラボセンターを開所し、令和5年(2023年)2月20日から全施設の稼働を開始しました。</p> <p>※(仮称)南部コラボセンターの正式名称の「庄内コラボセンター」については、令和4年(2022年)7月市議会で承認され、正式に決定しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○(仮称)南部コラボセンター基本構想をもとに、南部地域の活性化に資する拠点施設を設立しました。</p> <p>○今後、館内施設や市民、事業者等と協議し、地域の活性化や課題解決に資する取り組みを行います。また、地域連携の拠点として、地域づくり、人づくり、つながりづくりに係る事業の充実を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	施設利用者数	都市再生整備計画	人	0	0	46,059	数値	440,000
	考え方、定義、算出方法など	親子向けの講座や子育てに関する相談、防災講座の開催などによる施設利用者の増加							
2	目標	施設利用率	都市再生整備計画	%	0	0	18	数値	70.0
	考え方、定義、算出方法など	世代間交流やコミュニティ活動などの活発化による貸室利用率の向上							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		(仮称) 南部コラボセンター基本構想 都市再生整備計画(庄内駅西地区)

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,874,307	人件費（参考）	10,773
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△12,978	公債費（参考）	12,941
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,884,347	財源内訳の 国・府支出金 地方債 その他 特定財源 一般財源	507,428
	決算額	2,848,121		457,700
	残額	36,226		122
	執行歩合	98.74%		1,882,871

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
(仮称) 南部コラボセンター基本構想の推進(コミュニティ政策課)【	2,311	0	0	2,311	01	地域連携センター費
(仮称) 南部コラボセンター整備事業【継続】	2,826,085	507,428	457,700	1,860,835	01	地域連携センター整備
(仮称) 南部コラボセンター施設管理【新規】	10,836	0	0	10,836	01	南部コラボセンター費
(仮称) 南部コラボセンター車両管理【新規】	0	0	0	0	01	南部コラボセンター費
(仮称) 南部コラボセンター連携事業【新規】	230	0	0	230	01	南部コラボセンター費
(仮称) 南部コラボセンター準備事業(コミュニティ政策課)【新規】	8,659	0	0	8,659	01	南部コラボセンター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コラボ事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	305500 市民協働部・千里地域連携センター		
関連部局・課	302500 新千里出張所 332000 長寿安心課 333500 (保険資格課) 341500 母子保健課 601700 読書振興課 602100 中央公民館		

事業概要	<p>○出張所、介護予防センター、保健センター、図書館、公民館の5施設で構成される千里文化センターの多機能を活かし、施設の一体的で効果的・効率的な運営管理を行います。</p> <p>○千里地域の賑わい創出や地域課題の解消ならびに地域交流の活性化に寄与するさまざまなイベントを市民団体や事業者との公民連携のもとに企画・実施をします。</p> <p>○情報の受発信や案内、交流の拠点となる「多目的スペース」と「屋上庭園」を活用し、市民団体、事業者との協働や施設間の連携により、事業の企画・実施をします。</p> <p>○協働事業市民提案制度を活用した「ディスカバー千里」事業で、千里地区での生活や暮らしのインタビュー、同地区初期の写真の記録をまとめ、ホームページで公表します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○施設管理について、日常的な業務を行い、円滑な施設運営に資することによって市民サービスの向上を図りました。</p> <p>○車両管理について、施設内で業務に使用する車両の駐車場借り上げの一元化を行い事務の効率化を図ることができました。また、施設内で使用する駐車場および車両の管理について適切に行いました。</p> <p>○連携事業について、地域団体や府、企業と協働し、千里地域の賑わい創出と地域課題の解消に向けた事業に取り組みました。</p> <p>今年度行った事業の中には、千里ニュータウン60周年記念事業として近隣の施設6か所を巡回し写真展を開催し1,964人が来館されました。</p> <p>また9月には千里キャンドルロード10周年展として動画および活動紹介パネル等を展示し合わせてリサイクルキャンドルや名刺作りなどワークショップ等の催しを行い332人が来館されました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○連携事業の推進により、多くの市民が参加することで、千里地域の賑わい、地域交流の活性化につながりました。</p> <p>○避難訓練などを実施するにあたり、来館者の協力が必要ですが、日ごろからつながりのある市民が限定されていることが課題です。</p> <p>○多様な市民活動団体や企業とのネットワーク化や新たな人材育成・発掘のための効果的な手法を検討します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防訓練の実施回数	担当課調査	回数	2	2	1	数値	2
		考え方、定義、算出方法など	複合施設として、組織が連携できるように毎年実施しています。						
2	参考	連携事業の実施回数	担当課調査	回数	22	35	56	数値	50
		考え方、定義、算出方法など	コラボの基本理念である「市民団体や事業者との協働」を実践しています。						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		コラボセンター条例、コラボセンター条例施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	100,060	人件費（参考）	21,465	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	114,410	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	104,320		地方債	0
	残額	10,090		その他 特定財源	8,395
	執行歩合	91.18%		一般財源	95,925

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	千里文化センター施設管理【継続】	101,133	0	0	92,756	01	千里文化センター費	
	千里文化センター車両管理【継続】	1,820	0	0	1,820	01	千里文化センター費	
	連携事業【継続】	1,367	0	0	1,349	01	千里文化センター費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域連携センター事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	304000 市民協働部・中部地域連携センター		
関連部局・課	602100 中央公民館		

事業概要	○中部地域の賑わい創出や地域課題の解決のために、地域の公共施設、地域諸団体、事業者等と連携した事業を展開します。
当該年度の実績	○中部地域の賑わい創出を目的として、大阪大学や大阪音楽大学等との連携事業を7回実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○新型コロナウイルス感染症の影響による制約がある中でも、細心の注意を払いながら連携事業を開催することで、中部地域の地域交流を継続しました。 ○今後とも、連携事業を継続しつつ中部地域において、公民館、公民分館を基軸とした地域づくり、地域活性化に向けた取組みの一つとして、地域と大学・高校とのマッチングに取り組めます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	地域連携センター事業実施回数	事業報告書（内部資料）	回	0	3	7	数値	
	考え方、定義、算出方法など	事業報告書で計上した事業の実施回数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市事務分掌規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	131	人件費（参考）	2,268	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	131	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	101		地方債	0
	残額	30		その他 特定財源	0
	執行歩合	77.10%		一般財源	101

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	地域連携センター事業【継続】	101	0	0	101	01	地域連携センター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域連携センター事業	区分	新規
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	305000 市民協働部・北部地域連携センター		
関連部局・課			

事業概要	○北部地域の賑わい創出や地域課題の解決のために、地域の公共施設、地域諸団体、事業者等と連携した事業を展開します。
当該年度の実績	○今年度もコロナのため開催回数は例年より減りましたが、地域の子育て団体と「公園de青空time」を開催、また、刀根山高校と連携して「里山シリーズ」を行ったり、地域の音楽サークル「アンサンブルサビーナ」と共催でまちづくりコンサートを行いました。また、ルシオーレ公共施設内で必要に応じ相互連絡調整を行い、スムーズな施設管理運営に努め、合同での消防訓練を行うとともに、より効果的な事業・業務の展開にかかわる各施設間の協力のあり方について検討を行いました。 ○また、コロナ感染拡大に細心の注意を払いながら公民館講座の企画・実施を通じて北部地域内の公共施設や地域の諸団体との連携を維持してきました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○コロナ禍を超えて、地域諸団体や近隣の刀根山高校、ルシオーレビル内の公共施設との連携事業を行うことにより、地域の人々どうしの交流や、地域の担い手どうしの連携協力関係を継続することが出来ました。 ○令和5年度の組織機構改革により、課相当の4つの地域連携センターが「地域連携課」として一つの課となったため、このことにより、全市的な視点での課としての地域連携に関する調整、バランスを考慮していく必要がありつつも、引き続き、4地域の特性や地域の事情、ニーズに応じた取り組みを進めていきます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	事業のべ参加者数	事業報告書	人	187	546	702	数値	870
		考え方、定義、算出方法など	事業報告書の参加者数を積算。						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	232	人件費 (参考)	2,780	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	232	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	218		地方債	0
	残額	14		その他 特定財源	0
	執行歩合	93.97%		一般財源	218

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		地域連携センター事業【継続】		218	0	0	218	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域連携センター事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	304500 市民協働部・南部地域連携センター		
関連部局・課	602100 中央公民館		

事業概要	○南部地域の賑わい創出や地域課題の解決のために、地域の公共施設、地域諸団体、事業者等と連携した事業を展開します。
------	--

当該年度の実績	○中学生を対象にした「日曜学習」や乳幼児の保護者を対象としたベビーマッサージ・ベビーマッサージ・夏休みには小学生を対象にした「夏休み学習サポート」、地元企業の協力による「おやこ木工教室」、子どもを対象にした「キッズランドしょうない」、庄内コラボセンター開設後は各種オープニング事業など48回の事業を行いました。 ※関連事業「(仮称)南部コラボセンター関連事業」については令和3年度12月に完了事業となり、「地域連携センター事業」が新設されたため、表示される指標が令和2年度実績が最後となっています。
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和5年2月に新施設への移転・開設準備等で事業が実施できない時期はありましたが、おおむね順調に予定していた事業が実施できました。 庄内コラボセンター移転後も引き続き、館内施設や市民、事業者等との連携により地域の活性化や課題解決に向けた取組みを行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	(仮称)南部コラボセンター連携モデル事業回数	市政年鑑	回	41			数値	45
	考え方、定義、算出方法など	(仮称)南部コラボセンター連携モデル事業回数						年	2022
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会教育法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	公民館条例・施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	1,596	人件費(参考)	5,670	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	1,596	財 源 内 訳 の 決 算 額	国・府支出金	0
	決算額	1,005		地方債	0
	残額	591		その他 特定財源	0
	執行歩合	62.97%		一般財源	1,005

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
地域連携センター事業【継続】	1,005	0	0	1,005	01	地域連携センター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	教育表彰事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域課題の共有を図り、協働によるまちづくりを推進し	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	600100 教育委員会・教育総務課		
関連部局・課			

事業概要	○被表彰者の今後ますますの本市教育行政への貢献と参画や各種大会での活躍等を促進するために、教育表彰を行います。
当該年度の実績	○憲法記念日市長表彰と合同で開催し、教育行政に貢献された方や団体の表彰を実施しました（24名3団体）。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○本市における教育文化の発展に顕著な功績を収めた個人及び団体を表彰することにより、受賞者の栄誉を称えることが出来ました。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	表彰件数	担当課推計	件	31	33	27	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市教育委員会表彰規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	592	人件費（参考）	1,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	592	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	431		地方債	0
	残額	161		その他 特定財源	0
	執行歩合	72.80%		一般財源	431

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		教育表彰関係【継続】	431	0	0	431	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域づくりの取組み支援	区分	継続
施策の方向性	(4)多様な人たちが関わる地域自治の推進を図ります	総合計画掲載ページ	95
担当部局・課	300100 市民協働部・コミュニティ政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域自治の推進を図るために、地域コミュニティの活性化や地域自治組織の形成に向けた地域での取組みを推進し、地域自治組織の設立につなげるとともに、地域自治組織の活動の自立・発展を促進することにより、地域自治組織と市の連携・協働を推進します。</p>
当該年度の実績	<p>○各地域自治組織の活動や取組み事例等を掲載した情報誌を1,200部作成し、自治会等に配布しました。 ○校区別データベースを更新しました。 ○地域自治組織の活動を支援しました。（助言・指導・情報提供・助成、地域づくり活動計画策定支援） ○各地域の現状や課題等を共有するために、地域自治組織の交流会及び人権研修を開催しました。 ○地域自治推進条例施行後10年の経過に伴い、これまでの取組みを振り返り、成果と課題をふまえて、改善や新たな取組みに活かすため、市民公益活動推進委員会へ諮問し、公民分館へのヒアリング調査等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○地域コミュニティが活性化し、地域団体の協力連携が進みました。 ○地域自治により、地域のニーズにあった活動をより効果的・効率的に実施できました。 ○地域団体の会議やイベント等に参加し、団体代表など地域住民の声を聞くことで地域の状況を把握し、意見交換をしながら地域自治の取組みへの機運を高め、校区別説明会を順次実施し、地域自治についての理解を促進します。 ○各校区での地域自治組織の取組みに対し、担当職員が助言や支援を行います。 ○地域自治推進条例施行10年の成果と課題を踏まえ、今後の地域自治推進の方向について検討を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	地域自治組織数	担当課調査	校区	8	8	8	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	地域自治組織設立数							
2	参考	地域自治組織の設立に向けた検討会数	担当課調査	校区	1	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	地域自治組織立ち上げに向けた検討会数							
3	参考	地域自治組織の新規結成数	担当課調査	校区	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	地域自治組織が新たに結成された校区数							
4	参考	地域自治組織の地域づくり活動計画数	担当課調査	校区	1	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	地域づくり活動計画策定数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市コミュニティ基本方針、豊中市自治基本条例、豊中市地域自治推進条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	37,727	人件費（参考）	33,777	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△22	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	37,705	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	20,716		地方債	0
	残額	16,989		その他 特定財源	0
	執行歩合	54.94%		一般財源	20,716

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目	
						(コード)		
予算管理事業	地域自治システムの運用【継続】	15,077	0	0	15,077	01	一般管理費	
	地域自治組織の形成支援【継続】	5,639	0	0	5,639	01	一般管理費	



5-2 持続可能な行財政運営の推進

効果的・効率的に施策を展開し、都市の価値を高めながら、持続可能な行財政運営を推進します

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	41事業
①適正性・公正性・公平性を確保した業務執行	
②行政評価制度に基づく総合的な施策推進	
③人材育成の推進	
④財政健全化の推進	
⑤新たな歳入の創出など財源の確保	
⑥民間資源の活用	
⑦効果的・効率的な市民サービスの提供	
庁舎等管理事業	総務部 行政総務課
行政管理事業	総務部 行政総務課
車両管理事業	総務部 行政総務課
人事関連事業	総務部 人事課
職員研修事業	総務部 人事課
職員厚生事業	総務部 職員課
職員勤務条件事業	総務部 職員課
契約事務等事業	総務部 契約検査課
コンプライアンス関連事務	総務部 法務・コンプライアンス課
争訟対応事務	総務部 法務・コンプライアンス課
個人情報保護の推進事業	総務部 法務・コンプライアンス課
政策法務推進事務	総務部 法務・コンプライアンス課
デジタル化推進事業	総務部 デジタル戦略課
情報システム運営事業	総務部 デジタル戦略課
総合教育会議の運営	都市経営部 経営計画課

総合計画等の推進	都市経営部 経営計画課
特別職秘書事業	都市経営部 秘書課
都市政策調査研究事業	都市経営部 とよなか都市創造研究 所
政策会議	都市経営部 創造改革課
経営戦略会議	都市経営部 創造改革課
行政改革の推進	都市経営部 創造改革課
寄附によるまちづくり推進事業	財務部 財政課
財政管理事業	財務部 財政課
固定資産税等課税事業	財務部 固定資産税課
市税収納管理事業	財務部 税務管理課
税制関連事業	財務部 税務管理課
市民税等課税事業	財務部 市民税課
債権管理事業	財務部 債権管理課
市税収納管理事業	財務部 債権管理課
公有財産管理事業	財務部 資産管理課
包括施設管理事業	財務部 資産管理課
地区会館等関連事業	財務部 資産管理課
普通財産等管理事業	財務部 資産管理課
財産区財産管理事業	財務部 資産管理課
戸籍・住民基本台帳事業	市民協働部 市民課
旅券発給関連事業	市民協働部 市民課
窓口関連事業	市民協働部 市民課
庄内出張所関連事業	市民協働部 庄内出張所
新千里出張所関連事業	市民協働部 新千里出張所
特別会計の健全化	都市基盤部 基盤整備課
会計管理事業	会計課 会計課

(2)適切な公共施設マネジメントを進めます	2事業
①施設総量フレーム内での公共施設の適正配置	
公共施設の有効活用	
市有施設管理事業	都市経営部 創造改革課 財務部 施設課
(3)都市の価値の創造と魅力の発信を進めます	1事業
①魅力創造の推進	
②シティプロモーションの推進	
魅力創造・発信の企画調整事業	都市活力部 魅力文化創造課
(4)多角的な連携に取り組みます	3事業
①事業者や大学などとの連携の推進	
②都市間連携の推進	
被災地復興支援事業	危機管理課 危機管理課
都市間連携事業	都市経営部 創造改革課
大阪府豊能地区教職員人事協議会事務	教育委員会 教職員課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	庁舎等管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市民サービスの向上及び公務の円滑且つ適正な執行を確保するために、適正な管理を通じてハード・ソフト両面における安心・安全の確保、秩序の維持及び災害の防止に努めました。また、市組織全体の総合力を高めるために、市長の基本政策実現に結び付く本庁舎内の執務室等配置を行いました。</p>
当該年度の実績	<p>○本庁舎・豊中市役所別館・文書館等庄内駅前庁舎の維持管理を行いました。 ○効率的な本庁舎内の執務室等の配置を検討・調整しました。 ○庁舎等の改修工事及び設計委託を行いました。 ・第一庁舎・議会棟トイレ改修工事 ・第一庁舎・第二庁舎及び議会棟排水ポンプ設備改修工事 ・議会棟議場内装改修工事 ・第一庁舎地下通用口段差解消機設置工事 ・第二庁舎エレベーター更新工事設計委託 ○ESCO事業を開始しました。 ・実施（15年間） ○行政財産の使用許可を適切に実施し、庁舎等の有効活用を図りました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>〈当該年度の成果〉 本庁舎等の適正な維持管理を行ったことにより、市民サービスの向上及び公務の円滑且つ適正な執行を確保できました。 〈今後の方向性〉 令和5年度 ○本庁舎等の長寿命化 ・エレベーター・トイレ・中央監視設備改修工事（第二庁舎） ・議員室間仕切壁・階段室壁面改修工事（議会棟） ・床点検・修繕（第一庁舎、第二庁舎） ・エレベーター改修工事設計委託（別館） ○授乳室（mamaro）2か所設置</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	行政財産の使用許可数		件	30	30	26	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	335,402	人件費（参考）	38,475	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△2,115	公債費（参考）	60,019	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	480,228	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	415,562		地方債	0
	残額	64,666		その他 特定財源	4,449
	執行歩合	86.53%		一般財源	411,113

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		本庁舎管理事業【継続】	213,077	0	0	208,628	01
	市役所別館管理業務【継続】	4,243	0	0	4,243	01	一般管理費
	旧子育て支援センター施設管理【完了】	0	0	0	0	01	一般管理費
	文書館等施設管理【継続】	2,238	0	0	2,238	01	一般管理費
	本庁舎レイアウト業務【継続】	29,197	0	0	29,197	01	一般管理費
	庄内駅前庁舎管理業務【継続】	4,396	0	0	4,396	01	一般管理費
	本庁舎整備事業【継続】	162,411	0	0	162,411	01	庁舎整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	行政管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課	760100 監査委員事務局 999999 全部局		

事業概要	<p>○市政運営における公平性の確保及び透明性の向上のために、行政内部事務の効率化にかかる調整・しくみづくり・運用を行います。</p> <p>○行政需要の高度化への対応や業務の効率化に資するため、行政組織のあり方を常に見直すなど、組織機構を適切に管理します。</p> <p>○地方自治法が掲げる、住民の福祉の増進に努めるため、行政外部の視点で監査を受けます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○審査基準及び処分基準を市ホームページに掲載しました。</p> <p>○内部統制制度を運用しました。（共通リスク：37 個別リスク：75 全庁的な内部統制：不備なし 業務レベルの内部統制：重大な不備なし）</p> <p>○審議会等の委員名簿を集約し、市民公募の有無等について確認を行いました。</p> <p>○市の基本政策の推進を図るため、組織機構の見直しを行いました。</p> <p>○庁内の業務執行に関わる共通ルールの管理・調整を行いました。</p> <p>○全庁共通の定期・定例的な支出事務を一元的に行いました。</p> <p>○事務機・椅子の配置調整、旧用品に係る各部の総務事務の支援を行いました。</p> <p>○文書送達業務委託について運行ルート等の調整を行いました。（111施設）</p> <p>○郵便の收受・発送業務を一元的に実施するとともに、カラープリンタを導入し、庁内印刷を促進しました。また、郵便の收受・発送方法について周知を行いました。</p> <p>○「豊中市強靱化地域計画に関する施策に係る財務事務の執行について」をテーマに包括外部監査を実施しました。過年度の監査結果に対する措置について、関係部局と調整を行いました。</p> <p>○公印押印時の審査や印刷発注用の印影の貸出のほか、各課で管理している副印に係る相談や調製等の手続きを随時行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○行政手続きの適正化については、公正性・透明性のより一層の確保に向けて、各課との調整を行っていきます。</p> <p>○内部統制については、全職員によって遂行される取組みとして定着させるとともに、PDCAサイクルに基づき有機的に機能させます。</p> <p>○開かれた市政の推進と市民の市政への信頼を確保するべく、重複選任・長期選任のないよう「審議会等委員の選任に関する指針」等について必要に応じて改正するとともに、総務担当課を通じ、引き続き周知徹底していきます。</p> <p>○新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応するため、必要に応じて組織機構の見直しを行います。</p> <p>○より効率的に総務業務が実施できるよう、引き続き全庁にかかる共通事務について総合調整、仕組みづくりを行っていきます。</p> <p>○郵送物については、発送元の各種事情にあわせ、より適正かつ効率的に郵送物の発送・受領が実施できるよう、また、郵便に係る費用削減のため、引き続き総合調整と更なる仕組みの改善を検討していきます。</p> <p>○印刷業務については、限られた台数の機器を適正かつ有効に活用できるよう、引き続き総合調整を行っていきます。</p> <p>○包括外部監査等の結果を踏まえ、事務の適正化と職員の意識の改革につなげていきます。</p> <p>○押印については、行政文書の信頼性が保たれる一方、事務効率の観点で課題があるため、電子署名のさらなる活用を含め、押印の省略など公印の取扱いについて検討していきます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	審査基準設定件数	担当課調査	件	647	634	654	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	目標	市民公募を行っている審議会（付属機関）の割合	担当課調査	%	53	51	51	数値	50
		考え方、定義、算出方法など						年	令和4年度
3	参考	発送件数	市政年鑑	件	3,305,802	5,705,197	4,894,489	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	目標	外部監査により指摘された事案の改善割合	担当課調査	%	98.4	98.1	96.8	数値	95
		考え方、定義、算出方法など						年	令和4年度
5	参考	公印台帳登録印数	担当課調査	個	132	126	125	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法、行政手続法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市行政手続条例、豊中市外部監査契約に基づく監査に関する条例、豊中市公印規則

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	30,044	人件費(参考)	27,557	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△74	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	29,970	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	28,836		地方債	0
	残額	1,134		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.22%		一般財源	28,836

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		行政手続きの適正化【継続】	10	0	0	10	01	一般管理費
	審議会委員等の市民公募推進【継続】	1	0	0	1	01	一般管理費	
	組織機構管理【継続】	1	0	0	1	01	一般管理費	
	総務業務の支援【継続】	4,970	0	0	4,970	01	一般管理費	
	郵便印刷業務【継続】	10,930	0	0	10,930	01	一般管理費	
	包括外部監査制度【継続】	12,923	0	0	12,923	01	一般管理費	
	公印管守事務【継続】	1	0	0	1	01	一般管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	車両管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	○集中的な公用車の運行・管理を通じて、公用車両を適正かつ効率的に管理しました。
当該年度の実績	<p>○管理する公用車について、効率的な車両運行及び安全運転を推進しました。</p> <p>○車両貸出、配車、保守、点検及び保険の加入・解約・異動・保険金の請求に係る事務を集約し、効率的に行いました。</p> <p>○公用車のEV化を検討するとともに、一部車両のEV化及びEV車両用充電設備の整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EV車両（シーポッド）2台導入 ・EV車両用充電設備を設置（第二庁舎地下1カ所）

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p><当該年度の成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中的な公用車の運行・管理を通じて、公用車両を適正かつ効率的に管理できました。 ・地球温暖化防止対策のため、公用車の電動車導入を進めました。 <p><今後の方向性></p> <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公用車の電動化 <ul style="list-style-type: none"> ・EV車両3台導入及び充電設備3カ所設置 ・EV車両用充電設備増設の検討 ○車両管理の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・車両運行・管理業務委託の更新（公募型プロポーザル） ・車両事故防止対策の検討
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	一般・長期貸出車両台数（EV車含む）		台	64	64	66	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	EV車		台	0	0	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	人事関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	100500 総務部・人事課		
関連部局・課	100500 人事課 101000 職員課		

事業概要	<p>○職員の意欲と能力を最大限に引き出す人事制度の効果的な運用を推進するため、人材育成基本方針【第4版】＜平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）＞及び豊中市人材戦略＜令和元年度（2019年度）～令和4年度（2022年度）＞に基づき、人材の獲得、育成を進めます。また、効果的・効率的な職員体制の構築に向けて、業務内容を精査するとともに、必要な人材の配置をすることにより、最適な職員定数の設定と職員配置に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○職員人事の各種制度を適切に運用しました。 ○民間企業等との人事交流など人材戦略を推進しました。 ○人材戦略＜2023年～2025年＞を策定しました。 ○人事評価制度の改正及び特別昇格等の要件緩和を行いました。 ○各所属とのヒアリングを通じて、業務量に対応した適切な人員を配置しました。 ○【拡充】職員採用試験事務について、受験者数の拡大等を目的として、採用専用サイトの設置や説明会の実施等の採用広報を行いました。 ○チャレンジ雇用等の障害者の採用を行いました。 ○女性職員の意欲や能力に応じた管理監督職への積極的登用を行いました。 ○地方公務員法改正に伴う定年引上げについて、制度構築を行いました。 ○議会の議員の議員報酬及び期末手当並びに市長及び副市長の給料、期末手当及び退職手当の額並びに議会における政務活動費の額について、調査・審議しました。 ○人給・庶務事務システムにおいてシステム管理、制度変更・不具合への対応を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○民間企業等との人事交流を行うことにより、派遣した職員の人材育成及び組織への新しい価値観の共有につながりました。 ○特別昇格制度を拡大し、能力に見合った配置を行うことにより、組織の活性化につながりました。 ○業務量に応じた人員を配置を行い、職員を増員しました。 ○職員採用試験における応募者数は減少しましたが、適切な能力実証を行い、一定水準以上の職員を採用しました。 ○女性管理職比率は微減していますが、能力に基づく適正な配置を行いました。 ○地方公務員法改正に伴う定年引上げについて、条例・規則を改正しました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	職員の削減数	担当課調査	人	-8	-10	-8	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2	目標	採用試験応募者数	担当課調査	人	3,882	2,185	1,957	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3	目標	障害者雇用率	障害者任免状況通報	%	2.67	3.03	2.94	数値	2.60
	考え方、定義、算出方法など							年	令和5
4	参考	女性管理職比率	担当課調査	%	24.4	25.4	24.2	数値	30
	考え方、定義、算出方法など							年	令和7
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方公務員法、地方自治法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	勤務時間及び休暇に関する条例、一般職の職員の給与に関する条例、職員定数条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	74,992	人件費（参考）	104,895	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2,404	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	77,396	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	65,839		地方債	0
	残額	11,557		その他 特定財源	1,199
	執行歩合	85.07%		一般財源	64,640

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	人事管理関連事務【継続】	17,759	0	0	16,560	01	一般管理費	
	定数管理事務【継続】	0	0	0	0	01	一般管理費	
	採用試験事務【拡充】	12,560	0	0	12,560	01	一般管理費	
	人事企画関連事務【継続】	0	0	0	0	01	一般管理費	
	特別職報酬等審議会【継続】	78	0	0	78	01	一般管理費	
	人事給与・出退勤システム関係事務【継続】	35,442	0	0	35,442	01	一般管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	職員研修事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	100500 総務部・人事課		
関連部局・課	100500 人事課 101000 職員課		

事業概要	<p>○質の高い市民サービスの提供とだれもが”住んでみたい””住み続けたい”と思えるまちづくりを推進するため、人材育成基本方針【第4版】<平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）>及び豊中市人材戦略<令和元年度（2019年度）～令和4年度（2022年度）>に基づき、職階や経験年数、行政課題等に応じた研修を実施するほか、職場研修への支援、外部専門機関への派遣等、多様な形式・手法を活用しながら、職員のキャリア形成推進と組織力向上に取り組みます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○人材育成基本方針【第4版】に基づく人材育成実施プラン2（2021年度～2023年度）の進捗管理を行いました。また、人材戦略（2019～2022）の取組みを総括し、人材戦略（2023～2025）を策定しました。</p> <p>○職階や経験年数等に応じた事務遂行能力、マネジメント力等の向上を推進するため、研修計画に基づき、市職員研修を実施しました。（新規採用職員研修、新任課長級研修等）また、市民活動への参加や民間企業等との地域交流研修を実施しました。</p> <p>○外部専門機関の研修受講や先進自治体等への職員派遣の支援、職場の課題解決等に向けた研修実施の支援、さらり・チャレンジ応援制度の運用（業務改善の取組みの支援）などに取り組みました。</p> <p>○民間企業が提供するEラーニングのほか、Eラーニング管理システムを活用して職員が自主的にカリキュラム選択できる環境を整えました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○人材育成実施プラン2（2021年度～2023年度）や人材戦略（2019～2022）の取組みを総括し、人材戦略（2023～2025）を策定することができました。今後は新たな人材戦略に基づく取組みを、計画的に実施していきます。</p> <p>○職員が職階等に応じた役割を踏まえながら、職務遂行に必要な知識や技術の習得及び職場での実践にむけた取組みを進めました。今後は体験型アウトリーチ型研修やデジタル能力の向上の取組みを進めていきます。</p> <p>○職員及び職場の課題対応力、職務遂行力の向上をめざした支援を進めました。また、職員及び職場の主体的な業務改善の取組みを全庁的に共有しました。今後も新たな仕事へのチャレンジの機会を設定します。</p> <p>○職員の主体的な能力開発、キャリア形成に対する取組みを支援しました。今後も職員の意欲を引き出し、能力開発と総合的な人材育成を推進します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	基本研修受講者満足度	担当課調査	点	97.5	98.2	97.7	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	受講者全員が研修について満足した場合を100とする							
2	目標	課題研修受講者数	担当課調査	人	1,210	987	1,370	数値	1,400
	考え方、定義、算出方法など	任意受講の課題研修の受講者数総計。（目標）新型コロナ流行前の令和元年度水準（十の位を四捨五入）							
3	参考	職員派遣・職場研修等支援活用率	担当課調査	%	17	18	18	数値	
	考え方、定義、算出方法など	（【A】職場研修・庁内出前・派遣研修支援の利用課数（重複削除））÷（【B】全職場数）							
4	参考	自主研修・自主研究参加人数	担当課調査	人	291	562	370	数値	
	考え方、定義、算出方法など	自主研修・自主研究に参加した人数の総計							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方公務員法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人材育成基本方針

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	11,292	人件費 (参考)	28,350	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	11,292	財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	8,189		地方債	0
	残額	3,103		その他 特定財源	0
	執行歩合	72.52%		一般財源	8,189

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
	人材育成基本方針推進事務【継続】	0	0	0	0	01	職員研修費
	市主催研修【継続】	6,939	0	0	6,939	01	職員研修費
	職員派遣・職場研修等支援【継続】	737	0	0	737	01	職員研修費
	自主研修・研究支援【継続】	513	0	0	513	01	職員研修費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	職員厚生事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	101000 総務部・職員課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境を形成するため、メンタルヘルス対策をはじめとした安全衛生に取り組みます。</p> <p>○職員の疾病を早期に発見するとともに、その進行や増悪を防止するため、職員の健康状態を把握し、健康を回復するための措置を行います。</p> <p>○職員が公務（通勤）災害にあった場合、被災職員等の援護を図るため、災害補償を行います。</p> <p>○職員が健やかに働くため、大阪府市町村職員共済組合への各種給付金請求など、福利厚生に関わる事務を実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○健康相談、安全衛生研修の開催・派遣、ストレスチェック、新型コロナウイルス感染防止に向けた取組みの実施など職員の安全衛生管理に取り組みました。</p> <p>○職員の定期健康診断等を実施しました。</p> <p>○職員の公務（通勤）災害に係る療養費等を支払いました。</p> <p>○大阪府市町村職員共済組合への給付金請求等、職員の福利厚生に係る事務を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○安全衛生研修に職員を派遣することで、職員の安全衛生知識の向上につながりました。また、健康相談事業を医務室において実施し、職員の心身の安全衛生管理を行うことができました。今後は増加傾向にあるメンタルヘルス疾患に対し、一次予防（予防対策）を中心に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○定期健康診断を実施し、職員の健康管理を行うことができました。（定期健康診断未受診者は人間ドックを受診し、定期健康診断受診者と同様に健康管理を実施。）引き続き受診勧奨に努めていきます。</p> <p>○公務（通勤）災害について未然防止活動に取り組んできた結果、認定請求件数の減少につながりました。引き続き啓発活動等に努め、現在の件数を維持・抑制することが必要です。</p> <p>○令和4年10月1日より非常勤職員が大阪府市町村職員共済組合の短期組合員として適用対象になるにあたり、事前の制度周知を丁寧に行い、各種給付金請求事務を迅速に行うことができました。採用退職の多い短期組合員に対して今後も制度周知を行うとともに、各部局総務担当課への支援も強化していきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	健康相談件数	担当課調査	件	1,152	1,118	1,254	数値	1800
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	定期健康診断受診率	担当課調査	%	85	89	88	数値	90
		考え方、定義、算出方法など	小数点以下は四捨五入					年	
3	参考	定期健康診断有所見率	担当課調査	%	88	87	87	数値	84
		考え方、定義、算出方法など	小数点以下は四捨五入					年	
4	参考	公務（通勤）災害認定請求件数	担当課調査	件	90	65	55	数値	80
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	労働安全衛生法、地方公務員災害補償法、労働者災害補償保険法、地方公務員等共済組合法など
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市職員安全衛生管理規則、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例など

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	56,062	人件費(参考)	38,880	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	1	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	71,063	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	63,440		地方債	0
	残額	7,623		その他 特定財源	1,042
	執行歩合	89.27%		一般財源	62,398

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
労働安全衛生管理事務【継続】	18,774	0	0	18,189	01	職員厚生費
健康診断事務【継続】	28,309	0	0	27,852	01	職員厚生費
公務災害補償事務【継続】	16,357	0	0	16,357	01	一般管理費
福利厚生事務【継続】	0	0	0	0	01	職員厚生費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	職員勤務条件事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	101000 総務部・職員課		
関連部局・課	100500 人事課		

事業概要	<p>○職員の意欲を引き出し、公正な人事・給与制度を構築するために、職員の給与、報酬及び退職手当その他勤務条件の計画立案を行います。</p> <p>○職場環境の向上や人材育成を推進するために、職場の人間関係や職員の相談に対応するとともに、管理監督者をサポートします。</p>
当該年度の実績	<p>○給与等の支払いや各種制度を適切に運用するとともに、定年引上げや子育て部分休暇等の制度を創設しました。</p> <p>○職員の間関係等の相談や管理監督者へのヒアリング等を実施しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○新たな勤務労働条件の制度構築をし、子育て・介護等と仕事の両立やワークライフバランスを推進することができました。</p> <p>○職員相談事業をはじめ、職員が職務に専念できる環境づくりを支援しました。</p> <p>○職員ニーズや社会経済環境の変化に対応した勤務労働条件の企画立案が引き続き必要です。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	支給人数	担当課調査	人	6,735	6,871	6,903	数値	6500
	考え方、定義、算出方法など	4月から3月までに支給実績のある職員の1か月当たりの平均人数							
2	参考	職員相談件数	担当課調査	人	57	68	70	数値	60
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方公務員法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	一般職の職員の給与に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	61,539	人件費（参考）	63,700	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	61,539	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	54,517		地方債	0
	残額	7,022		その他 特定財源	0
	執行歩合	88.59%		一般財源	54,517

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		給与関係事務【継続】	54,517	0	0	54,517	01
	総合相談業務【継続】	0	0	0	0	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	契約事務等事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	102000 総務部・契約検査課		
関連部局・課	999999 全部局		

事業概要	<p>○物品・工事等の調達のために、入札契約手続きにおける公正性・透明性・競争性・公平性の確保を図るための総合企画調整を行い、適正な入札・契約・検査等の事務を実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○物品購入契約、複写機及びファクシミリ借入契約等を実施するにあたり、地方自治法をはじめ関係法令の規定に基づき適正に入札契約事務を行いました。また、物品購入において一般競争入札適用範囲拡大を図りました。</p> <p>○工事請負契約、工事に係る設計業務委託等の実施にあたり、地方自治法をはじめ関係法令に基づき、競争入札方式（一般競争・指名競争）による電子入札を実施、適正に入札契約事務を行いました。また、総合評価一般競争入札（特別簡易型）を7月より本格実施するとともに、一部案件を対象として低入札価格調査制度を導入し、一般競争入札適用範囲拡大を図りました。</p> <p>○【拡充】契約における押印見直しとオンライン化対応として4月に電子契約を導入しました。</p> <p>○豊中市業務委託契約総合評価一般競争入札を実施するにあたり、豊中市労務提供型契約検討会を2回、豊中市総合評価一般競争入札評価委員会を2回開催しました。</p> <p>○市が行う物品購入、工事請負契約、測量及び建設コンサルタント業務委託契約、その他委託契約等及び小規模修繕契約の入札参加資格登録業者の認定及びシステムへの登録を行いました。また、電子申込システムによる受付を導入しました。</p> <p>有効期間：物品・業務委託等及び小規模修繕分野2,469件（和5年度～令和7年度）、工事分野85件（令和5年度～令和6年度）、コンサル分野41件（令和5年度）</p> <p>○契約検査課の職員が行う直接検査と工事主管部課の所属職員が行う指定検査を併用しながら、市が発注した建設工事の支払いや部分引渡し等を行う際に、市が指定した仕様どおりに施工されているかの確認を行いました。</p> <p>○統合型データベースシステムのうち、入札参加資格登録業者を管理する業者管理システム、契約事務を管理する契約管理システム及び契約管理システムにより契約事務を行った案件の検査事務を管理する検査管理システムの運用を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○入札契約手続の公平性、競争性、透明性、公正性の確保を図り、地方自治法の理念である「最小の経費で最大の効果」を発揮し、コストの削減に寄与しました。</p> <p>○電子入札システムによる入札事務と導入した電子契約による契約事務について、オンライン化により事務作業の負担を軽減できました。</p> <p>○総合評価一般競争入札方式で受託者を決定することにより、女性や障害者等の雇用機会の確保、環境への配慮や男女共同参画社会の実現など市の施策の実現を図りました。</p> <p>○入札参加資格登録業者の新規及び更新登録により入札参加登録業者を確保し、市が行う契約事務の業者指名等に寄与しました。</p> <p>○市が発注した建設工事の各種検査を行うことにより、設計図書等において市が指定した仕様で施工されているかの確認を行い、品質確保や受注業者の技術力の向上につながりました。</p> <p>○入札契約事務手続きのオンライン化や入札参加業者登録における資格審査の効率化に向けた見直しのほか、物品等調達における電子入札の導入や、業者登録システムの完全デジタル化の可能性について引き続き検討します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	市内業者物品契約状況 (件数割合)		%	63.8	64.7	69.9	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市内(件数)/全体(件数) ※契約検査課契約(需用費、原材料費、備品購入費)							
2	参考	市内業者物品契約状況 (金額割合)		%	33.3	39.8	39.1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市内(金額)/全体(金額) ※契約検査課契約(需用費、原材料費、備品購入費)							
3	参考	市内業者工事契約状況 (件数割合)		%	80.1	81.3	84.1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市内(件数)/全体(件数) ※契約検査課契約 ※上下水道局、病院、クリーンランドを含む。							
4	参考	市内業者工事契約状況 (金額割合)		%	47.1	27.5	30.3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市内(金額)/全体(金額) ※契約検査課契約 ※上下水道局、病院、クリーンランドを含む。							
5	参考	工事入札 (落札率)		%	90.3	90.3	89.9	数値	
	考え方、定義、算出方法など	落札金額/予定価格 ※随契除く、総合評価含む。 ※上下水道局、病院、クリーンランドを含む。							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法、地方自治法施行令、公共工事の入札及び契約の適正化の推進に関する法律等
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市財務規則、豊中市建設工事一般競争入札実施要領、豊中市工事検査要領等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	13,641	人件費（参考）	73,970	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	13,641	財源内訳の 内訳	国・府支出金	0
	決算額	11,341		地方債	0
	残額	2,300		その他 特定財源	2,363
	執行歩合	83.14%		一般財源	8,978

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					（コード）	目
物品等契約事務【継続】	32	0	0	32	01	一般管理費
工事等契約事務【継続】	208	0	0	208	01	一般管理費
総合評価入札関連事務【継続】	58	0	0	58	01	一般管理費
業者登録事務【継続】	1,430	0	0	1,430	01	一般管理費
工事検査事務【継続】	2,072	0	0	2,072	01	一般管理費
電子入札システム、電子申込（業者登録）システムの運用【拡充】	6,668	0	0	4,305	01	一般管理費
業者・契約・検査管理システムの運用【継続】	873	0	0	873	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コンプライアンス関連事務	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	94-95
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	○庁内コンプライアンスを推進し、市政運営における公正の確保と透明性の向上を図ります。
当該年度の実績	○外部公益通報、内部公益通報、不当要求行為等及び公職者からの提言等に関する事務を行いました。 ○コンプライアンス研修の実施 対象：管理監督職員 ○不当要求防止責任者選任時講習の実施 対象：課長

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○公益通報者保護法の改正に伴う要綱改正を6月に実施したほか、内部公益通報に関する弁護士による外部窓口の設置の案内等周知をすることで、適切な公益通報の体制につながりました。 ○豊中市自治基本条例第18条の規定の趣旨に則り、職員一人ひとりが、法令遵守はもとより、常に市民の信頼と期待に応え日々職務を遂行するため、組織全体でコンプライアンスに取り組めます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	公益通報の内、是正措置等の必要があると認められた件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	4
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市外部公益通報に関する事務要領等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	526	人件費（参考）	2,025		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	526	財源内訳の	国・府支出金	0	
	決算額	471		地方債	0	
	残額	55		その他 特定財源	0	
	執行歩合	89.54%		一般財源	471	
	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
コンプライアンス関連事務【継続】	471	0	0	471	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	争訟対応事務	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	94-95
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公正な市政運営を進めるために、行政争訟に的確に対応します。</p> <p>○公正な市政運営を進めるために、適正な行政執行を確保するとともに、行政争訟を未然に防止します。</p> <p>○公正な市政運営を進めるために、行政不服審査法に基づき審査請求に係る事件について調査審議を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○訴訟・不服申立て等の争訟等に担当部局及び弁護士と連携して対応しました。</p> <p>○各部局からの法律相談に対応するとともに、弁護士との連絡調整を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○庁内各課からの法律相談についてデジエに集約することを継続することで、法務相談に関する類似案件の法律上の課題に関する業務の効率化につながりました。</p> <p>○公正な市政運営を進めるため、庁内各課からの行政争訟、審査請求についての相談・対応を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訴訟の件数	予算参考資料	件	22	22	18	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	不服申立ての件数	行服法等に関する調査等	件	7	0	4	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	4
3	参考	弁護士相談回数	決算参考資料	回	82	109	116	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	答申の件数	決算参考資料	件	1	1	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	4
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	行政不服審査法等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市行政不服審査会条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	13,828	人件費（参考）	27,783	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	13,828	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	7,479		地方債	0
	残額	6,349		その他 特定財源	0
	執行歩合	54.09%		一般財源	7,479

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	訴訟・不服申立て等の総括事務【継続】	3,858	0	0	3,858	01	訴訟費
	法律相談事務【継続】	3,564	0	0	3,564	01	訴訟費
	豊中市行政不服審査会【継続】	57	0	0	57	01	訴訟費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	個人情報保護の推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊中市情報公開条例及び豊中市個人情報保護条例に基づく実施機関からの諮問に対する審査を行います。</p> <p>○個人情報保護を推進するために、情報公開制度及び個人情報保護制度の適正かつ円滑な運営を図ります。</p> <p>○個人の権利利益の保護のために、個人情報を適正に管理し、豊中市個人情報保護条例に基づく自己情報の開示等請求制度を適正に運用します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○審査庁の諮問に応じ、会議を開催しました。</p> <p>○実施機関の諮問に応じ、会議を開催しました。</p> <p>○情報公開制度及び個人情報保護制度について審議しました。</p> <p>○自己情報開示請求の受付及び各課からの相談に応じました。</p> <p>○令和4年4月～10月 情報公開・個人情報保護運営委員会で審議・答申</p> <p>令和4年11月 パブリックコメントの実施</p> <p>令和4年12月 条例の議会提案・議決</p> <p>令和5年1月～ 規則等の検討、事務遂行に必要な事項の整理</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○情報公開制度については精査の結果、制度改正は不要でした。</p> <p>○令和5年4月1日の個人情報保護法改正法の施行に伴い、新たに条例、規則を策定しました。市議会、クリーンランドについても適宜情報提供等を行い、新制度の運用につながりました。</p> <p>○法改正に伴い変更した内容について円滑な運用ができるよう、継続した研修の実施や各部局からの相談等に対応します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	審査会開催回数	情報公開制度等	回	6	6	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	運営委員会開催回数	情報公開制度等	回	5	4	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	開示請求件数	情報公開制度等	件	118	130	160	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市情報公開・個人情報保護審査会条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,068	人件費（参考）	13,932	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,068	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,281		地方債	0
	残額	787		その他 特定財源	0
	執行歩合	61.94%		一般財源	1,281

	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	予算管理事業	豊中市情報公開・個人情報保護審査会【継続】		657	0	0	657	01	文書広報費
豊中市情報公開・個人情報保護運営委員会【継続】		539	0	0	539	01	文書広報費		
個人情報保護制度の運用【継続】		85	0	0	85	01	文書広報費		

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	政策法務推進事務	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	94-95
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公正で効果的・効率的な市政運営を進めるために、法令に基づく行政事務を適正に執行するための根拠規定を整備します。</p> <p>○公正で効果的・効率的な市政運営を進めるために、例規情報の管理及び市民等への情報提供並びに各部局の条例等立案事務への支援を行います。</p> <p>○地方分権時代に対応するために、自治立法権等を活用した政策法務を推進します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○条例の立案、規則等の審査、条例等の公布、原義の保管等に関する事務を行いました。</p> <p>○例規データを定期的に更新しました。</p> <p>○法務研修の実施並びに法務主任の育成及び支援等を行いました。</p> <p>○法務・コンプライアンス課だよりリニューアルし、情報を一元化しました。</p> <p>○法務相談内容の共有については、横断的に共有可能なものを「よくある質問」としてまとめました。</p> <p>○課員による職員研修と外部講師による研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内研修：係長級・技能長昇格前研修等 ・庁外研修：法務スキルアップ動画研修、法制執務研修等 <p>○外部講師の研修について、著作権をテーマで実施しました。講師と調整し庁内LANに期間限定で掲載することで庁内の理解を深めることに役立てました。</p> <p>○政策法務研修、インターネットと法研修、民法ケーススタディ研修の実施。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○ツールの提供と内容の充実進めることで「自分で考える」職員の育成につながりました。</p> <p>○法務・コンプライアンス課だよりの内容の充実を図り、職員に対して研修等を実施し、法務能力の向上を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	条例、規則及び訓令の制定改廃件数	市政年鑑	件	228	217	299	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	例規制定文の登録件数	決算参考資料	件	293	294	376	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	庁内研修の受講延べ人数	決算参考資料	人	110	103	101	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	庁外研修への派遣延べ人数	決算参考資料	人	24	36	45	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,201	人件費（参考）	22,275	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,201	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	3,160		地方債	0
	残額	41		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.72%		一般財源	3,160

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	条例の立案及び規則等の審査事務【 継続】	0	0	0	0	01	文書広報費
	例規情報システムの運用【継続】	3,080	0	0	3,080	01	文書広報費
	政策法務推進事務【継続】	80	0	0	80	01	文書広報費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	デジタル化推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	104500 総務部・デジタル戦略課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○令和2年度(2020年度)に発出した[とよなかデジタル・ガバメント宣言]及び[とよなかデジタル・ガバメント戦略]にもとづき、デジタル技術を活用し、行政サービスの向上を図るために、総合的な企画調整及び事業推進に取り組みます。</p> <p>○デジタル化を推進するための基盤として、豊中版セキュリティマネジメントシステムを運用するとともに、技術的・物理的・人的な側面から情報セキュリティ対策を徹底します。</p> <p>○誰もがデジタルの恩恵を享受できるようになるために、講習会等の開催を通じてデジタル活用を支援します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【拡充】「デジタル・ガバメント戦略」の後継戦略「デジタル・ガバメント戦略2.0」を策定しました。</p> <p>○【拡充】庁内データ活用のための環境整備や、BIツール・ノーコードツールの実証試験を行いました。</p> <p>○【拡充】行政手続きのオンライン化に取組み、100%実施しました。</p> <p>○【拡充】RPA/AI-OCRの利用業務を23業務追加しました。</p> <p>○【拡充】市有施設10施設に公衆Wifiの整備を進めました。</p> <p>○【拡充】本予約やキャッシュレス決済等に対応する新たな「公共施設案内予約システム」の運用を始めました。</p> <p>○セキュリティポリシーに基づく情報セキュリティ監査を10課に実施しました。</p> <p>○国のセキュリティポリシーガイドライン改定を受け、市のセキュリティポリシーを改訂しました。</p> <p>○全職員向けのセキュリティ研修を実施し、約3,300人が受講しました。</p> <p>○【拡充】職員によるスマホ相談会を17回、民間事業者と連携したスマホ等教室を40回新たに開催しました。</p> <p>○地域ITリーダーが実施する「パソコン教室、相談」を「パソコン・スマホ教室、相談」に名称変更し活動を再開し、3拠点で181回の相談、56回の講習を実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○後継戦略を策定することで、次年度以降の取組みや目標を内外に明らかにすることができました。今後は、当該戦略に基づき市民の実感・共感につなげます。</p> <p>○データ利活用の環境整備やBIツールの実証により業務活用の有効性等が認識でき、課題やスケジュール等を整理することができました。今後個人情報データの利活用の課題整理やBIツールの全庁展開・活用を進めます。</p> <p>○行政手続きのオンライン化やワンストップサービスを導入し、市民サービスの向上を図りました。今後は、上記後継戦略に基づき市民の実感・共感につなげます。</p> <p>○RPA/AI-OCRの業務追加により業務効率・生産性が向上しました。更なる拡大を進めます。</p> <p>○市有施設10施設への整備により、主要な施設への整備は完了しました。引き続き新規施設や未整備施設への整備を進めます。</p> <p>○新「公共施設案内予約システム」の運用により、市民サービスの向上を図りました。</p> <p>○情報セキュリティ監査の実施により、各課のセキュリティ向上につなげました。</p> <p>○市のセキュリティポリシーを改訂し、現状との齟齬を解消しました。</p> <p>○全職員向けのセキュリティ研修を実施し、情報セキュリティ意識の向上を図りました。人的セキュリティの更なる徹底を進めます。</p> <p>○職員によるスマホ相談会等の開催により、デバインド対策の充実やニーズを把握することができました。今後より身近な環境での実施を進めます。</p> <p>○地域ITリーダーの継続的や相談事業の充実、庄内公民館での活動など、デジタルに不慣れな方への対応を充実させました。ボランティアの確保、継続的な実施を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	行政手続き等の電子化	スマートとよなかプロジェクト	%	20	50	100	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	オンライン申請及びキャッシュレス決済							
2	目標	RPA、AI-OCR等の導入	スマートとよなかプロジェクト	業務数	25	54	77	数値	35
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	AIの導入	スマートとよなかプロジェクト	業務数	1	4	4	数値	3
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	スマホ・タブレット等講習会の開催回数	担当課調べ	回	-	4	40	数値	
	考え方、定義、算出方法など	スマホ教室、タブレットでの講習などの開催回数							
5	参考	地域ITリーダー	担当課調べ	人	86	79	59	数値	80
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	デジタル改革関連法、自治体DX推進計画
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪スマートシティ戦略
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	とよなかデジタル・ガバメント戦略、情報セキュリティポリシー

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	104,055	人件費（参考）	73,710	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△3,928	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	100,127	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	79,812		地方債	0
	残額	20,315		その他 特定財源	325
	執行歩合	79.71%		一般財源	79,487

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	デジタル化施策の推進【拡充】	39,683	0	0	39,683	01	一般管理費
	情報セキュリティの推進【継続】	1,772	0	0	1,772	01	一般管理費
	地域情報システムの運用【拡充】	32,053	0	0	31,728	01	一般管理費
	エキスタとよなか関連事業【継続】	6,304	0	0	6,304	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	情報システム運営事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	104500 総務部・デジタル戦略課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市民サービスの根幹となる住民記録情報を基礎とした住民情報系システム（住基・税・保険システム等）、番号制度にかかる情報連携システムの安定稼働や制度改正等への迅速な対応、デジタルガバメントの推進のために、システムの適切な運用管理や最適化に取り組みます。</p> <p>○庁内の各種業務システムを活用し、職員が業務を効果的かつ効果的に実施するために、庁内のネットワークやセキュリティ機器、端末、プリンターなど、業務インフラの適正な配置や運用管理、時代に即した最適なデジタル基盤の構築を行います。</p> <p>○住民情報システム及び庁内情報システム等の運用管理のために、デジタル戦略課のサーバ室、開発室及び開発調整室等並びに公用車の維持管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】端末やネットワーク・サーバの統合・仮想化など、利便性・セキュリティを両立させた新たなデジタル基盤の構築に取り組みました。</p> <p>○【拡充】住民情報系システムの標準化に向けた各業務の運用・システムの整合性の確認や税総合システムのクラウド化に取り組みました。</p> <p>○【拡充】引越しワンストップサービスの実現に必要な申請管理システムの導入を行いました。</p> <p>○【拡充】拠点施設（くらしかん・市役所別館・千里文化センター「コラボ」・庄内コラボセンター）の行政情報系ネットワークの無線化を行いました。</p> <p>○【拡充】庄内コラボのネットワーク整備・端末設置等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○デジタル基盤の構築に取り組みましたが、半導体不足の影響で機器の調達が遅れ年度内の完成ができませんでした。令和5年度の完成に向け整備を進めます。</p> <p>○システム標準化のための課題や工程の整理を行い、計画的・確実にシステム標準化を進めるための標準化基本方針を策定しました。R7年度までに20業務の標準化を進めます。</p> <p>○申請管理システムの導入により、転出届の提出や転入予約がオンラインでできるようになりました。今後システム標準化にあわせた調整が必要となります。</p> <p>○拠点施設の行政情報系ネットワークの無線化により、利便性の向上、業務の効率化を図りました。引き続き残拠点の整備を進めます。</p> <p>○庄内コラボへのLAN敷設・端末設置等を行い、2月の竣工、サービス開始につなげました。引き続き統廃合施設や新規施設の対応を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	目標
1	目標	拠点の無線化	決算書	拠点	2	2	6	数値年	8 令和7
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	公衆無線LAN設置施設数						数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	仮想化基盤取込数		システム	26	27	28	数値年	45 令和8
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	仮想化基盤端末数		台	3,640	3,873		数値年	4000 令和9
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	デジタル改革関連法、番号法、自治体DX推進計画
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	とよなかデジタル・ガバメント戦略、豊中市情報セキュリティポリシー

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,611,310	人件費（参考）	89,910	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	730	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,628,266	財源内訳の	国・府支出金	62,187
	決算額	1,340,861		地方債	0
	残額	287,405		その他 特定財源	0
	執行歩合	82.35%		一般財源	1,278,674

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	住民情報システムの運用【拡充】	741,622	62,187	0	679,435	01	一般管理費
	庁内情報システムの運用【拡充】	531,868	0	0	531,868	01	一般管理費
	電子計算機室施設等管理【継続】	67,371	0	0	67,371	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	総合教育会議の運営	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	200100 都市経営部・経営計画課		
関連部局・課	600100 教育総務課		

事業概要	<p>○市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策や、児童・生徒等の生命・身体の保護等、緊急の場合に講ずべき措置などを協議し調整します。</p>
当該年度の実績	<p>○市長が教育政策に対して、公の場で議論し、市長と教育委員会が方向性を一致させて取組みを進めるための総合教育会議（全3回）を実施しました。議題として「コロナ禍における小中学校の状況」「不登校支援の取組み」「今後の豊中市図書館について」などを取り上げ、教育施策の進め方について確認・調整を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○総合教育会議で議題とした内容について、全市的な教育行政の方向性を決定しました。 ○社会状況の変化スピードが早くなり、教育現場の課題も日々変化していくため、教育委員会との情報連携を密にしつつ、総合教育会議で協議を続けます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	総合教育会議開催回数	担当課調査	回	3	2	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など	年3回の開催を基本とする。						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	34	人件費（参考）	8,505
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	34	財源内訳の 国・府支出金 地方債 その他 特定財源 一般財源	0
	決算額	6		0
	残額	28		0
	執行歩合	17.65%		6

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
総合教育会議の運営【継続】	6	0	0	6	01	企画費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	総合計画等の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	200100 都市経営部・経営計画課		
関連部局・課	999999 全部局		

事業概要	<p>○市の最上位計画である第4次豊中市総合計画基本構想に掲げる「まちの将来像」を実現するため、前期基本計画のほか、全庁横断的な計画であるまち・ひと・しごと創生総合戦略、強靱化地域計画等に掲げる施策を推進します。</p> <p>○成果重視の行政運営や市民への説明責任を果たすため、政策評価、事務事業評価などの行政評価の運用を行います。</p> <p>○SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを進めるため、多様なステークホルダーと連携し、普及・啓発を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○行政評価（政策評価）については、政策評価結果の公表・事務事業評価の公表を行いました。</p> <p>○豊中市自治基本条例について小学校高学年を対象にわかりやすく解説した「誰もが暮らしやすいまち豊中 自治基本条例・豊中市総合計画の手引き【子ども版】」を校長会においてデータ配布を行い周知しました。また職員研修で条例の内容や趣旨を説明し、職員の業務における条例の意識づけを行いました。</p> <p>○まち・ひと・しごと創生総合戦略については、令和2年（2020年）に策定した第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、総合戦略委員会で検証を行いました。また、次期の戦略となるデジタル田園都市国家構想の実現に向けた豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。</p> <p>○【拡充】第4次豊中市総合計画の推進については、前期基本計画の進捗を図るために、総合計画審議会等を実施しました。また、後期基本計画の策定を行いました。</p> <p>○豊中市強靱化地域計画に基づく取組みの進捗状況を取りまとめ、公表しました。進捗状況を可視化するために、指標に関する標記方法を変更しました。</p> <p>○豊中SDGsパートナー登録制度を運用しつつ、公民学連携プラットフォームとの統合を行いました。また、豊中市版SDGs学習ゲームを製作し、完成披露会を開催するなど、SDGsの普及・啓発を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○政策評価などの行政評価は、市民に対して、行政運営の進捗状況を説明するツールの1つとして、わかりやすく伝わりやすくしていく必要があります。今後、行政評価指針の見直しの中で、市民に向けてより伝わりやすい評価内容になるよう改善していきます。</p> <p>○市内小学生生に向けて周知啓発を実施しています。今後は、親和性の高いSDGsとも連携しながら、出前講座で内容を組み合わせるなどして、引き続き条例の趣旨である市民主権の考え方を周知していきます。</p> <p>○まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会では、設定したKPIなどについて「おおむね順調に進んでいる」という評価をいただきました。一方で、人口社会増の要因分析のため転出入者向けアンケートの回答数の確保が必要と指摘されており、回答率の向上を図りつつ要因分析を進めていきます。</p> <p>○後期基本計画の策定にあたっては、施策ごとに関連するSDGsのゴールを表示するなど、新しい要素を加え、計画内容を充実させました。今後は、政策評価にて前期計画の評価を行い、後期基本計画で掲げる施策を推進していきます。</p> <p>○豊中市強靱化地域計画については、指標達成率37.5%となりました。引き続き進捗状況の管理を行いつつ、次期計画策定のための検討を行います。</p> <p>○より多くのステークホルダーとの連携による地域課題の解決をめざして、豊中SDGsパートナー登録制度と公民学連携プラットフォームとの統合を行いました。今後、公民学連携フォーラムなどを実施して公民学連携の機会を創出します。また、SDGs学習ゲームなども活用しつつ教育機関と連携していきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	政策評価の施策指標の達成度	政策評価	%	38.9	66.6	72.2	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	17施策＋リーディングプロジェクトにおける「A」評価の割合							
2	目標	まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるKGI達成度	創生総合戦略	%	100.5	100.3	100	数値	100%
	考え方、定義、算出方法など	3つのKGIの達成度の平均値（計画期間…第2期：2020年度～2022年度）							
3	参考	強靱化地域計画の指標達成度	強靱化地域計画	%	0	37.5	37.5	数値	
	考え方、定義、算出方法など	設定した指標のうち「達成」となった指標の割合（計画期間…2020年度～2024年度）							
4	参考	SDGs未来都市計画KPI達成度	SDGs未来都市計画	%	11.1	38.8	-	数値	
	考え方、定義、算出方法など	2022年度に目標値を掲げる全体計画のKPIのうち達成したKPIの割合							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市自治基本条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	17,140	人件費（参考）	45,360	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	17,142	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	15,530		地方債	0
	残額	1,612		その他 特定財源	0
	執行歩合	90.60%		一般財源	15,530

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	行政評価【継続】	4,402	0	0	4,402	01	企画費
	自治基本条例に基づく取組みの推進【継続】	6	0	0	6	01	企画費
	各施策の企画・調整【継続】	26	0	0	26	01	企画費
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進【継続】	377	0	0	377	01	企画費
	第4次豊中市総合計画の推進【拡充】	7,748	0	0	7,748	01	企画費
	豊中市強靱化地域計画に基づく取組みの推進【継続】	9	0	0	9	01	企画費
	SDGs未来都市計画の推進【継続】	2,962	0	0	2,962	01	企画費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	特別職秘書事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	200200 都市経営部・秘書課		
関連部局・課			

事業概要	○市長・副市長の職務を円滑に進め、市政の円滑な運営と進展を図るため、予定管理や他市等との連絡調整を行います。
当該年度の実績	○市長・副市長の予定管理、国や他市との連絡調整を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○市長・副市長の職務を円滑に進め、市政の円滑な運営と進展を図ることができました。今後も、タブレット端末などを活用して効率的なスケジュール管理を行っていきます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	7,196	人件費（参考）	20,250	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	77	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	7,273	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	6,214		地方債	0
	残額	1,059		その他 特定財源	0
	執行歩合	85.44%		一般財源	6,214

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	市長・副市長秘書事業【継続】	6,214	0	0	6,214	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市政策調査研究事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	201000 都市経営部・とよなか都市創造研究所		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市の持続的な発展と計画的な市政の推進に資するために、中長期的な視点に立った都市政策に関する調査及び研究、調査研究の成果に関する普及啓発、地域課題の解決を実践する人材育成を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市政策に関する3つの研究テーマについて、とよなか都市創造研究所運営委員会の意見を聴きながら、調査研究を実施しました。 ○令和3年度の調査研究等について、市民及び職員を対象とした報告会（対面及びZOOMによる）を開催しました。 ○都市政策に関して専門家が寄稿した論文と、令和4年度の調査研究報告を併せて掲載した機関誌「とよなか都市創造」を発行しました（210部）。 ○調査研究テーマに関する公開セミナー（1回）及び職員向けの講座（3回）・研修（3回）を開催しました。 ○「とよなか地域創生塾」第6期を開校しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○都市に関する問題や市の課題について調査・研究し、その成果を市の政策形成に活かすことができました。今後も中長期的な視点に立った都市政策に関する研究を行い、その成果を関係部局に提供することで組織に還元します。 ○市職員の政策形成能力の向上や市民のまちづくりに対する意識の醸成につながりました。今後も共同研究や職員研修等をととして、市職員の政策形成能力の向上に取り組みます。 ○市民活動の担いが育ち、地域の課題解決に向けた取組みが促進されました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	調査研究報告会の参加者数	開催状況	人	41	21	21	数値	50
		考え方、定義、算出方法など	調査研究報告会の開催20						
2	参考	とよなか地域創生塾生数	開催状況	人	13	15	19	数値	20
		考え方、定義、算出方法など	「とよなか地域創生塾」塾生数						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,821	人件費（参考）	9,630	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△2	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,819	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	10,597		地方債	0
	残額	2,222		その他 特定財源	360
	執行歩合	82.67%		一般財源	10,237

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	都市政策研究事業【継続】	3,873	0	0	3,873	01	企画費
	都市政策に関する普及啓発事業【継続】	973	0	0	973	01	企画費
	都市政策に関する人材育成事業【継続】	5,751	0	0	5,391	01	企画費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	政策会議	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課			

事業概要	○基本政策・総合計画の施策を推進するため、事業の方向性や内容等について審議し、円滑な施策の推進を図ります。
当該年度の実績	○政策会議を4回開催し、基本政策・総合計画の施策を推進するため、事業の方向性や内容等について審議しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○施策の推進を図るために取り組む事業の方向性を決定することで、円滑な事業実施を図っていきます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	政策会議	担当課調査	回	5	3	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など	会議開催数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市政策会議設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	30	人件費 (参考)	8,100	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	30	財源内額の	国・府支出金	0
	決算額	5		地方債	0
	残額	25		その他 特定財源	0
	執行歩合	16.67%		一般財源	5

予算管理事業	決算額					
	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	目
	政策会議【継続】	5	0	0	5	01 企画費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	経営戦略会議	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○トップマネジメントにより経営に関わる方針等を審議するため、識見を有する専門家の助言をいただきながら、経営的視点に立って、スクラップ・ビルド両面の観点から議論を行い、検討が必要な事項（経営戦略方針、経営改革に関する内容等）について、方向性を決定します。</p>
当該年度の実績	<p>○経営戦略会議を3回開催し、経営改革に関する方針や具体的な取組みなどについて議論を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○効果的な市政運営が実施できるよう、経営的視点に立った議論を行います。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	経営戦略会議	担当課調査	回	4	3	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	会議開催数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市経営戦略会議設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	852	人件費（参考）	6,480	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	852	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	581		地方債	0
	残額	271		その他 特定財源	0
	執行歩合	68.19%		一般財源	581

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	経営戦略会議【継続】	581	0	0	581	01	企画費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	行政改革の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○限りある行政資源を有効活用しながら、効果的・効率的に行財政運営を進めるため、行政改革の取組みの総合調整及び仕組みづくり並びにその進行管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○市の地域課題を解決するため、民間事業者等のノウハウを活用し、協働で実証実験を実施する「地域課題解決支援事業」を実施しました。 ○指定管理者制度について、制度を導入する部局の支援を行いました。 ○公民学連携を強く推進する市の姿勢や考え方を広く周知するため、公民学連携フォーラムを実施し、98名に参加いただきました。 ○出資法人等見直し指針に基づく運用について、庁内調整を行いました。 ○新たに「経営戦略方針2023～2025」を策定するとともに、旧経営戦略方針の取り組み状況を踏まえ、単年度版「経営戦略方針2023」を策定しました。 ○【拡充】ICT技術を活用した見守りサービスについて、高齢者向け実証実験を実施しました。 ○スマートシティ実現に向けた機運を高めることを目的とする「デジタルエキスポ」を開催し、約400名に参加いただきました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○地域課題解決支援事業において、5件の課題の実証実験を行い、3件が実装につながりました。今後も、市民サービスの向上やイノベーションによる新たなビジネスの創造に向け、民間事業者等と協働して地域課題の解決に向けた実証実験を実施します。 ○公民学連携フォーラムについては、民間事業者や大学等の多様な主体に参加いただくことで、地域課題の解決に取り組む機会の創出につなげます。 ○外部活力の活用に関して、特性を活かしあえる新たな協働関係を構築し、市政の透明性を確保につなげるため、出資法人等見直し指針に基づく運用を行います。 ○経営戦略方針に基づき、基本政策を着実かつ迅速に推進します。 ○スマートシティ実現については、住民の生活の質（QoL）向上に向けた機運醸成を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	連携事業実施数	担当課調査	事業	10	12	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など	事業実施数						
2	参考	公民学連携プラットフォーム登録数	担当課調査	団体	7	19	6	数値	
		考え方、定義、算出方法など	登録団体数						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市出資法人等改革連絡調整会議設置要綱、豊中市指定管理者制度連絡会議設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	10,696	人件費（参考）	26,730	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	10,696	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	9,964		地方債	0
	残額	732		その他 特定財源	0
	執行歩合	93.16%		一般財源	9,964

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	公民学連携の推進【継続】	9,789	0	0	9,789	01	企画費	
	出資法人関連【継続】	0	0	0	0	01	企画費	
	行政改革の推進【継続】	1	0	0	1	01	企画費	
	ICT利活用推進【拡充】	174	0	0	174	01	企画費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	寄附によるまちづくり推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	260100 財務部・財政課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○寄附やふるさと納税制度を広く普及させるため、ホームページの更新・報告書の作成などの広報活動や、寄附募集の促進策の検討を行います。</p> <p>○公共施設等整備基金、豊中市まちづくり応援基金、とよなか新型コロナウイルス対策基金の管理を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○さらなる寄附募集の促進のため、ふるさと納税に係るワンストップ特例申請のオンラインによる受付を開始しました。</p> <p>○また、令和3年度寄附者へ実績報告書の作成を行ったほか、広報誌などを用いて寄附の積極的な発信を行いました。</p> <p>○市独自サイトや外部サイトを活用したクラウドファンディングを実施しました。</p> <p>○公共施設等整備基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 1,142,384千円 【内訳】 利子積立2,432千円、その他積立1,139,952千円 ・取崩 0千円 ・令和4年度末残高 9,470,524千円 <p>○豊中市まちづくり応援基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 17,994千円 【内訳】 利子積立18千円、その他積立17,976千円 ・取崩 0千円 ・令和4年度末残高 80,945千円 <p>○とよなか新型コロナウイルス対策基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 22,950千円 【内訳】 利子積立12千円、その他積立22,938千円 ・取崩 24,710千円 ・令和4年度末残高 40,583千円
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○ふるさと納税に係るワンストップ特例申請のオンライン受付を開始したこと、実績報告書の送付や広報誌での発信を行った結果、寄附件数の増加につながりました。</p> <p>○公共施設等整備基金、豊中市まちづくり応援基金、とよなか新型コロナウイルス対策基金について、適切に基金を運用しました。</p> <p>○引き続き、寄附件数及び寄附金額の増加に向けて取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	目標
1	目標	寄附件数（返礼品分）	担当課調査	件	2,043	5,238	6,923	数値年	4,100件以上 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	寄附金額（返礼品分）	担当課調査	円	61,466,350	160,613,000	145,562,000	数値年	2億円以上 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	クラウドファンディング実施件数	担当課調査	件	4	3	6	数値年	5件以上 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方税法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	関係基金積立条例（公共施設等整備基金、豊中市まちづくり応援基金、とよなか新型コロナウイルス対策基金）

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	174,150	人件費（参考）	12,174	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,311,740	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,262,364		地方債	0
	残額	49,376		その他 特定財源	168,617
	執行歩合	96.24%		一般財源	1,093,747

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	寄附によるまちづくり推進事業【継続】	79,036	0	0	79,036	01	一般管理費
	豊中市まちづくり応援基金積立金【継続】	17,994	0	0	0	01	一般管理費
	公共施設等整備基金積立金【継続】	1,142,384	0	0	1,014,710	01	一般管理費
	とよなか新型コロナウイルス対策基金積立金【継続】	22,950	0	0	1	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	財政管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	260100 財務部・財政課		
関連部局・課			

事業概要	<p>中長期的視点をふまえた財務マネジメントを適切に行うため、以下の事務を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議会へ提出する議案書の作成 ○予算編成及び決算統計等の財政事務 ○各特別会計並びに各企業会計への繰出金の支出 ○財政調整基金及び減債基金の管理 ○公債費の借入及び償還 ○一時借入金利子および繰入運用 ○予備費の管理
------	---

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○議会へ提出する議案書の作成を行いました。 ○【拡充】令和5年3月定例会から、これまで紙ベースで作成していた予算書などをより分かりやすく、使いやすくするとともに、予算・決算情報を積極的に公開することで市民の市政への関心を高めることを目的として、デジタル予算書を運用開始しました。 ○各特別会計へ繰出金を支出しました。 ○各企業会計へ負担金・補助金を支出しました。 ○財政調整基金 <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 5,119,560千円 【内訳】 利子積立3,849千円、その他積立5,115,711千円 ・取崩 5,430,650千円 ・令和4年度末残高 12,870,886千円 ○減債基金 <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 17,490千円 【内訳】 利子積立1,124千円、その他積立16,366千円 ・取崩 157,090千円 ・令和4年度末残高 3,711,000千円 ○地方債に対する元金及び利子を償還しました。 ○基金からの一時繰替金に係る一時繰入金利子の執行を行いました。 ○予備費について、台風14号接近に伴う災害対応に係る経費や岡町北住宅1・2棟建替工事にかかる補償金支払いに充当しました。
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル予算書の運用開始により、財政運営の透明性をより高めるとともに、中長期的な視点をふまえた予算編成、執行管理を通して、財務マネジメントを適切に行いました。 ○各特別会計への繰出しにより特別会計の安定的な運営が図られました。 ○各企業会計への負担金・補助金について、予定通り支出しました。 ○財政調整基金及び減債基金について、適切に基金を運用しました。 ○地方債に対する元金及び利子について、予定通り償還を行いました。 ○予備費について、予算に計上されていなかったが支出不可避な経費に充てることにより、財政の安定的な運営が図られました。 ○引き続き、中長期的視点をふまえた適切な財務マネジメントを行うべく、各事業を実施いたします。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	財政調整基金積立残高	担当課調査	千円	8,481,096	13,181,976	12,870,886	数値	5,000,000
	考え方、定義、算出方法など	目標値としては50億円を維持							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法、地方財政法、地方公営企業法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	財政調整基金積立条例、減債基金積立条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	26,976,059	人件費（参考）	85,964	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△14,237	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	32,113,786	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	3,201,753
	決算額	31,071,966		地方債	90,700
	残額	1,041,820		その他 特定財源	145,256
	執行歩合	96.76%		一般財源	27,634,257

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
後期高齢者医療事業費繰出金【継続】	1,198,960	827,967	0	370,993	01	後期高齢者 医療事業費
元金（一般会計）【継続】	8,868,583	0	0	8,728,513	01	元金
利子（一般会計）【継続】	252,170	0	0	252,170	01	利子
利子（一時借入金利子および繰入運用金利子）【継続】	39	0	0	39	01	利子
病院事業会計への繰出【継続】	2,356,010	0	0	2,355,797	01	病院費
水道事業会計への繰出【継続】	297,995	3,718	90,700	203,577	01	水道費
公共下水道事業会計への繰出【継続】	2,946,953	0	0	2,946,953	01	下水道費
減債基金積立事業【継続】	1,124	0	0	0	01	減債基金積立 金
財政調整基金積立金【継続】	5,119,560	0	0	5,115,711	01	財政調整基金積立 金
財政管理事業（一般管理費）【継続】	0	0	0	0	01	一般管理費
元金（公共用地先行取得事業特別会計）【継続】	163,733	0	0	163,733	47	元金
利子（公共用地先行取得事業特別会計）【継続】	1,536	0	0	1,536	47	利子
公共用地先行取得事業費繰出金【継続】	24,793	0	0	24,793	01	公共用地先行 取得事業
国民健康保険事業費繰出金【継続】	3,845,152	1,941,347	0	1,903,805	01	国民健康保 険事業費繰 出金
介護保険事業費繰出金【継続】	5,953,882	428,721	0	5,525,161	01	介護保 険事業費繰 出金
財政管理事業（財政管理費）【継続】	1,388	0	0	1,388	01	財政管理費
予備費【継続】	0	0	0	0	01	予備費
予算編成システムの運用【拡充】	23,722	0	0	23,722	01	財政管理費
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費繰出金【継続】	0	0	0	0	01	母子父子寡 婦福祉資金
減債基金積立事業【継続】	16,366	0	0	16,366	47	減債基金積立 金
公債諸費【継続】	0	0	0	0	01	公債諸費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	固定資産税等課税事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	260500 財務部・固定資産税課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○土地・家屋について、適正かつ公平に課税するために、土地・家屋の資産価値に着目した評価を行います。また償却資産についても、適正かつ公平に課税するために、事業者の申告に基づき、価格決定を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○評価・課税業務及び評価補助業務を適正かつ効率的に行うためシステム改修及び保守を行うとともに、航空写真等のデータ整備を行いました。 ○令和7年1月に予定されている税システム標準化に向け、システムの仕様について検討を行いました。 ○評価及び課税事務の一部に業務委託を活用しました。 ○市民にとって見やすくわかりやすい情報提供をめざし、納税義務者への送付物や市ホームページの掲載内容の見直しを行いました。 ○災害発生時の被害認定調査について、職員への研修を実施しました。また、被害認定調査や罹災証明書発行事務効率化に向けた検討を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各システム及び業務委託の活用を通じて、適正かつ効率的な評価・課税を行うことができました。 ○納税義務者へ送付する文書の構成・内容を見直すとともに、QRコードを掲載し市ホームページへアクセスしやすくしたことにより、ホームページの閲覧数の増加につながり、ホームページを閲覧した上での問合せも増加しました。 ○税システムの標準化を控え、引き続きシステムの仕様について検討を進めるとともに、新システムに対応した評価・課税事務の見直しを行う必要があります。 ○被災者支援システムを更新し、災害発生時において被害認定調査や罹災証明書発行を効率的に行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	固定資産税土地納税義務者数	市税概要	義務者数	106,650	107,494	108,385	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	固定資産税家屋納税義務者数	市税概要	義務者数	110,583	110,992	112,162	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	固定資産税償却資産納税義務者数	市税概要	義務者数	3,613	3,386	3,765	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市税収納管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	261000 財務部・税務管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市税の収納を推進し、安定的な税務行政に資するために、納付方法の整備・運用を行い、収納した市税を適正に管理します。</p>
当該年度の実績	<p>○収納管理業務においては、全国共通の取組事項である地方税共通納税システムの税目拡大に対応すべくシステム改修等の整備を行いました。 また、過誤納還付金の電子請求受付システムの構築に取り組み、令和4年10月より運用を開始しました。</p> <p>○納税システムの運用においても、共通納税システムの税目拡大に伴い発生する納付書等の各種帳票に対する校正に取り組みました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○共通納税システムの税目拡大に当たり、システム・帳票を含む運用面の各種準備を行った結果、令和5年4月からの地方税統一QRコードを用いた収納の実現に向け準備を整えることができました。</p> <p>また、公金受取口座登録法の施行にあわせて、過誤納還付金の電子請求受付システムの運用を開始することができました。</p> <p>当面は地方税統一QRコードによる収納事務の安定稼働が課題となると考えられるため、デジタル戦略課、税務各課及び事業者と緊密に連携することで不測の事態に備えていきます。</p> <p>また、過誤納還付金電子請求の周知及び利用の拡大を進めていきます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	督促状発付件数	担当課	件	84,638	79,515	79,393	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	督促状発付件数の減少は市税の収納を推進した結果と捉えられる。数値は市税徴収事務処理状況P.12より。							
2								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方税法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市市税条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	411,839	人件費（参考）	84,240
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△22,898	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	388,941	財源内訳の 国・府支出金 地方債 その他 特定財源 一般財源	65,569
	決算額	376,621		0
	残額	12,320		0
	執行歩合	96.83%		311,052

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	収納管理業務【継続】	23,615	0	0	23,615	01	賦課徴収費
	納税システムの運用【継続】	13,272	0	0	13,272	01	賦課徴収費
	過誤納還付金及び還付加算金【継続】	339,734	65,569	0	274,165	01	諸費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	税制関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	261000 財務部・税務管理課		
関連部局・課			

事業概要	○公平で適正な課税・徴収業務実施のために、税務担当課に共通する業務の実施・調整を行います。
当該年度の実績	○市税条例の改正や市税収入見込み額の算出、税務職員研修を行いました。 ○税務担当課に共通する税総合システムの宛名管理、過年度データ（オンライン保存年度超過分）に関する調整、管理運営及びエルタックスに係る契約業務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○課税・徴収業務の公平化・適正化・効率化につながりました。 ○税総合システムの宛名管理については、運用マニュアルを適宜見直すなど税務担当課で適正に運用できるよう工夫する必要があります。 ○エルタックスにおいては、今後も更に地方税の電子化の推進が見込まれることから、システム更改や運用見直しの必要がある場合は、関係課や事業者と緊密に連携しながら環境を整備し、適正に運用することが求められます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	税務職員研修	担当課	回	2	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	財務部新規職員研修及び担当課主催研修							
2	参考	エルタックス利用件数	地方税共同機構	件	44,515	46,350	54,258	数値	
	考え方、定義、算出方法など	地方税申告及び申請・届出件数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	地方税法
		市税条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	33,980	人件費（参考）	32,530	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	33,980	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	33,727		地方債	0
	残額	253		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.26%		一般財源	33,727

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	税制関係業務【継続】	1,388	0	0	1,388	01	賦課徴収費
	税制関係システムの運用【継続】	32,339	0	0	32,339	01	賦課徴収費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市民税等課税事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	261500 財務部・市民税課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公平・公正な課税による税収を確保し、市政運営に貢献するため、課税資料の収集や申告等により地方税法等に定められている納税義務者を正確に把握し、適正な課税の推進に取り組みます。</p> <p>○歳入確保戦略に資するための個人所得や法人課税の内容を分析します。</p>
当該年度の実績	<p>○適正な課税の推進にあたり、課税客体の把握のため、個人市民税未申告者（5,182件）・未申告法人（26件）に対する申告勧奨を実施しました。</p> <p>○部の税データ分析・活用プロジェクトに参画し、市民税部会として施策立案の礎となりうる税データを選定し、分析を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○各種調査を継続するとともに、より効率的な手法を追求していきます。</p> <p>○税データ分析については、引き続き部のプロジェクトに参画し、施策の特質に合ったデータの抽出および分析手法などを検討します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	事業所税納税義務者	市政年鑑	件	386	395	373	数値	373
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	市民税納税義務者	市税概要	人	183,082	183,237	186,305	数値	186305
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	軽自動車税納税義務者	市税概要	件	63,804	63,913	64,160	数値	64160
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方税法等
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市市税条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	239,708	人件費（参考）	181,440
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,899	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	243,607	国・府支出金	0
	決算額	212,489	地方債	0
	残額	31,118	その他 特定財源	8,772
	執行歩合	87.23%	一般財源	203,717
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	事業所税課税事務【継続】	1,135	0	0	1,135	01	賦課徴収費	
	市民税課税システムの運用【継続】	49,108	0	0	49,108	01	賦課徴収費	
	市民税課税事務【継続】	137,054	0	0	128,282	01	賦課徴収費	
	軽自動車税等課税事務【継続】	25,192	0	0	25,192	01	賦課徴収費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	債権管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	262000 財務部・債権管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市の債権管理の適正化を目的として、全庁的な徴収事務の効率化や電話等による納付勧奨、所管部課からの引継債権に係る訴訟事務などを行います。また、納付方法の拡充などにより市民の利便性を向上させます。</p>
当該年度の実績	<p>○債権回収体制整備支援を実施しました。 豊中市債権回収対策会議及び徴収事務に関する研修会の開催 各債権担当課での督促、催告、納付に関する相談の実施 債権回収・整理計画の策定 納付環境の整備の推進 遅延損害金の適正徴収に係る条例及び規則改正</p> <p>○電話勧奨コールセンター業務を実施しました。 コールセンターの利用促進及び質の向上のための取組みの実施 財産調査補助業務及び口座振替の利用勧奨</p> <p>○滞納整理システムの運用を実施しました。 滞納整理システムの整備及び庁内調整の実施 新たな収納チャネルへの対応 コールセンター事業、各債権所管課滞納整理業務などを踏まえた次期システムの検討</p> <p>○滞納整理事務関連（訴訟費）を実施しました。 引継債権（私債権）に対する滞納整理の実施</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○債権回収体制整備支援を実施しました。 (成果) 債権回収対策会議や研修会を通じた全庁的な債権管理事務水準の向上 担当課からの相談対応による債権管理の適正化 債権回収・整理計画の策定による目標管理と課題の見える化 コンビニ収納の拡充等の納付環境の整備による利便性の向上 延滞金及び遅延損害金の適正徴収の実施による滞納の未然防止及び早期完納の促進</p> <p>(課題) 多様な収納環境の変化への対応 債権管理の一元化に向けた環境整備</p> <p>○電話勧奨コールセンター業務を実施しました。 (成果) コールセンターの活用による未納債権の早期回収及び滞納の長期化防止 財産調査補助業務の委託化による事務効率の向上</p> <p>(課題) 一次受電対応等の委託対象業務の拡充検討</p> <p>○滞納整理システムの運用を実施しました。 (成果) システムによる未収債権の適正管理と滞納整理事務効率の向上</p> <p>(課題) 次期システム調達に係る各種調整</p> <p>○滞納整理事務関連（訴訟費）を実施しました。 (成果) 引継債権（私債権）の滞納整理による未納債権の早期回収及び滞納の長期化防止</p> <p>(課題) 訴訟による債務名義取得後の実質的な債権回収</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	引継債権の整理率	担当課調査	%	97.5	97.7	98.2	数値	95
	考え方、定義、算出方法など	95%以上を維持							
2	目標	所管課からの債権引継件数	担当課調査	件	629	503	415	数値	900
	考え方、定義、算出方法など	900件程度を維持							
3	目標	コールセンターによる電話・文書催告の合計件数	担当課調査	件	17,529	9,381	12,542	数値	30000
	考え方、定義、算出方法など	30000件程度を維持							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市債権の管理に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	24,794	人件費 (参考)	72,900	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	24,794	財 源 内 訳	国・府支出金	0
	決算額	19,685		地方債	0
	残額	5,109		その他 特定財源	0
	執行歩合	79.39%		一般財源	19,685

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	債権回収体制整備支援【継続】	72	0	0	72	01	一般管理費	
	電話勧奨コールセンター業務【継続】	14,259	0	0	14,259	01	一般管理費	
	滞納整理システムの運用【継続】	5,354	0	0	5,354	01	一般管理費	
	滞納整理事務関連【完了】	0	0	0	0	01	一般管理費	
	滞納整理事務関連 (訴訟費)【継続】	0	0	0	0	01	訴訟費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市税収納管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	262000 財務部・債権管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○行政運営基盤となる税収入を確保し、また税負担の公平性を確保することを目的として、催告や滞納処分等の適正な実施により、市税の収納推進を図ります。これらの事務を効率よく推進するためICT技術の積極的な活用に取り組めます。</p>
当該年度の実績	<p>○徴税事務を実施しました。 市税納付に向けた適正かつ効率的な催告、折衝の実施 AIを活用した架電応答率及び徴収金額の向上 事案により調査、滞納処分、公売、滞納処分の執行停止の実施 財産調査の電子化に向けた先進自治体への視察の実施</p>

当該年度の成果・課題	<p>○市税現年度収納率99.4%、滞納繰越収納率32.2% ○徴税事務を実施しました。 (成果) 催告や滞納処分等の適正実施による市税収納率の維持向上 AIの活用によるコールセンターにおける架電応答率の改善 (課題) 財産調査等の徴税事務における更なるデジタル化</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市税収納率	担当課及び税務管理課	%	96.9	97.9	98.1	数値	98.4
		考え方、定義、算出方法など						年	2026
2	参考	滞納繰越分市税収納率	担当課及び税務管理課	%	28.1	48.4	32.2	数値	32
		考え方、定義、算出方法など						年	2026
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地方税法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市市税条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	16,935	人件費（参考）	149,850	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	16,935	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	13,573		地方債	0
	残額	3,362		その他 特定財源	0
	執行歩合	80.15%		一般財源	13,573

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		徴税事務【継続】	13,573	0	0	13,573	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公有財産管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市が所有する土地・建物の円滑な管理を行うため、土地・建物のデータを公有財産管理システムにより管理します。</p> <p>○突発的な災害や事故による市の財政的な負担が生じる場合に備えて各種保険の加入手続きを行い、対象となる事案が生じた際に請求手続きを行います。</p>
当該年度の実績	<p>○公有財産管理システムにより、市が所有する土地・建物の適正な管理を行いました。</p> <p>○建物総合損害共済や市民総合賠償補償保険等、対象となる事案についての各部局からの相談受付、保険金の請求を行いました。</p> <p>○【新規】金坂池跡地の公園整備に向けて、ワークショップを実施し、基本設計を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○金坂池跡地の公園整備に向けて、実施設計及び工事を行う上での地域の理解・協力を得ることが必要</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建物総合共済保険金額（収入）	資産管理課調べ	千円	30,460	0	9,196	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	市民総合賠償補償保険金額（収入）	資産管理課調べ	千円	391	581	402	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	土地面積	財産に関する調書	m ²	2,935,156.97	2,932,378.71	2,958,889.46	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	建物延床面積	財産に関する調書	m ²	916,985.51	903,596.26	929,782.49	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	5,749	人件費（参考）	36,569	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	392,770	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	362,671		地方債	0
	残額	30,099		その他 特定財源	0
	執行歩合	92.34%		一般財源	362,671

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	公有財産の管理【継続】	768	0	0	768	01	財産管理費	
	保険業務【継続】	4,840	0	0	4,840	01	財産管理費	
	金坂池跡地公園整備事業【新規】	357,063	0	0	357,063	01	公園整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	包括施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課			

事業概要	○公共施設管理業務の効率化と質の向上を図ることを目的に、各施設所管課が契約・執行する施設の管理業務、修繕について包括的に委託を行い、今後の持続可能な公共施設の管理運営につなげます。
当該年度の実績	○市有施設153施設を対象として包括施設管理業務委託事業を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○包括施設管理業務委託事業を実施し、公共施設管理業務の効率化と施設管理の質の向上につながりました。引続き包括施設管理業務委託事業を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	包括施設管理対象施設数	資産管理課調べ	施設	-	149	153	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	電力調達対象施設数（高圧）	資産管理課調べ	施設	97	97	98	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	910,437	人件費（参考）	40,905	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	910,437	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	873,233		地方債	0
	残額	37,204		その他 特定財源	37,357
	執行歩合	95.91%		一般財源	835,876

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		市有施設建築保全事業【継続】	11	0	0	11	01
	包括施設管理事業【継続】	153,070	0	0	152,630	01	一般管理費
	包括施設管理委託事業（総務管理費）【継続】	200,107	0	0	198,985	01	総務管理関係施設包括
	包括施設管理委託事業（選挙費）【継続】	1,608	0	0	1,608	01	選挙関係施設包括管理
	包括施設管理委託事業（社会福祉費）【継続】	78,815	0	0	73,649	01	社会福祉関係施設包括
	包括施設管理委託事業（児童福祉費）【継続】	60,371	0	0	60,371	01	児童福祉関係施設包括
	包括施設管理委託事業（保健衛生費）【継続】	16,018	0	0	14,705	01	保健衛生関係施設包括
	包括施設管理委託事業（清掃費）【継続】	3,389	0	0	3,389	01	清掃関係施設包括管理
	包括施設管理委託事業（労働諸費）【継続】	3,700	0	0	3,700	01	労働関係施設包括管理
	包括施設管理委託事業（消防費）【継続】	12,920	0	0	12,920	01	消防関係施設包括管理
	包括施設管理委託事業（教育総務費）【継続】	1,098	0	0	1,088	01	教育総務関係施設包括
	包括施設管理委託事業（小学校費）【継続】	174,628	0	0	174,441	01	小学校包括管理費
	包括施設管理委託事業（中学校費）【継続】	33,597	0	0	32,082	01	中学校包括管理費
	包括施設管理委託事業（社会教育費）【継続】	132,851	0	0	105,247	01	社会教育関係施設包括
	包括施設管理委託事業（都市計画費）【継続】	1,050	0	0	1,050	01	都市計画関係施設包括

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地区会館等関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課			

事業概要	○地域住民の社会福祉増進及び生涯学習の場を提供する目的で地区会館等を維持管理します。
当該年度の実績	○野畑第二会館の外壁改修工事を行いました。 ○各地区会館及びひろばの維持・修繕を行いました。 ○コロナ感染拡大防止のための注意喚起・周知を各会館の管理運営者に行いました。

当該年度の成果・課題	○野畑第二会館の外壁改修工事を行いました。 ○各地区会館及びひろばの維持・修繕を行いました。 ○地区会館の躯体及び設備の老朽化への対応 ○地区会館の床面積削減（廃止・統合）の推進
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	地区会館数	資産管理課調べ	館	55	55	55	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令・計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱・計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱・計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	89,524	人件費（参考）	23,512	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	828	公債費（参考）	2,260	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	90,352	財源内訳 の	国・府支出金	0
	決算額	47,073		地方債	0
	残額	43,279		その他 特定財源	42,744
	執行歩合	52.10%		一般財源	4,329

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		地区会館等管理【継続】	8,106	0	0	4,329	01
	地区会館等管理（地方振興費）【継続】	38,967	0	0	0	01	地方振興費
	事務費（地方振興事業費）【継続】	0	0	0	0	01	地方振興事業費
	事務費（地方振興事業費・地区会館等）【継続】	0	0	0	0	01	地方振興事業費
	地区会館等整備事業（地方振興事業）【継続】	0	0	0	0	01	地方振興事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	普通財産等管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○財源確保のため普通財産の利活用を図ります。 ○普通財産の売却や貸付を行います。 ○資産管理課所管の普通財産の維持管理を行います。 ○小、中学校用地の借入を行います。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○資産流動化による財産活用など普通財産の利活用について検討を行いました。 ○普通財産の売却については入札案件はありませんでした。 ○普通財産の貸し付けについては新規案件はありませんでした。 ○資産管理課所管の普通財産の維持管理を行いました。 ○引き続き小、中学校用地の借入を行いました。

当該年度の成果・課題	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先進事例が少ないことから新たな財源創出の検討に苦慮しています。 ○行政財産から普通財産への引継ぎ状況の整理が必要です。 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな財源創出として、不動産証券化手法を用いた市有地の利活用に取り組みます。 ○学校跡地について、実効性のある活用方法を検討します。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	参考	資産管理課調べ	貸付一覧表	千円	51,064	52,587	45,056	数値年	45,000 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など							数値年	
2								数値年	
	考え方、定義、算出方法など							数値年	
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など							数値年	
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など							数値年	
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など							数値年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	75,187	人件費 (参考)	42,040	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	75,187	決算額の 財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	47,758		地方債	0
	残額	27,429		その他 特定財源	0
	執行歩合	63.52%		一般財源	47,758

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		普通財産有効活用【継続】	6,293	0	0	6,293	01
	普通財産管理【継続】	5,764	0	0	5,764	01	財産管理費
	小学校用地借入【継続】	27,015	0	0	27,015	01	財産管理費
	中学校用地借入【継続】	626	0	0	626	01	財産管理費
	普通財産有効活用 (訴訟費)【継続】	8,060	0	0	8,060	01	訴訟費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	財産区財産管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課			

事業概要	○財産区が保有する土地の管理と貸付、財産区積立金の管理を行います。
------	-----------------------------------

当該年度の実績	<p>○各財産区所有の池・土地の管理と貸付、財産区積立金の管理を行いました。</p> <p>○豊中市大字北刀根山財産区所有の金坂池跡地の残置部分について豊中市に売却しました。</p> <p>○赤坂下池に大量発生したユスリカの対応策を検討し、除草を行いました。</p> <p>○豊洲池の今後のあり方について関係部局と検討を進めました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○豊洲池のあり方について、売却を含めた具体的な対応についての結論を出し、実施する必要があります。</p> <p>○赤坂下池のユスリカ発生状況について注視します。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	財産区特別会計	資産管理課調べ	会計	23	23	23	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	160,515	人件費（参考）	0	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	534,915	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	429,202		地方債	0
	残額	105,713		その他 特定財源	429,206
	執行歩合	80.24%		一般財源	△4

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		財産区財産の管理（豊中市（旧熊野田村）財産区）【継続】	21,590	0	0	0	55
	財産区財産の管理（大字野畑財産区）【継続】	25,958	0	0	0	55	大字野畑財産区費
	財産区財産の管理（大字少路財産区）【継続】	3,365	0	0	△1	55	大字少路財産区費
	財産区財産の管理（大字内田財産区）【継続】	1,182	0	0	0	55	大字内田財産区費
	財産区財産の管理（大字柴原財産区）【継続】	568	0	0	0	55	大字柴原財産区費
	財産区財産の管理（大字柴原大字内田大字野畑大字少路財産区）【継続】	4,587	0	0	0	55	大字柴原大字内田大字
	財産区財産の管理（大字北刀根山財産区）【継続】	350,149	0	0	0	55	大字北刀根山財産区費
	財産区財産の管理（大字南刀根山財産区）【継続】	426	0	0	0	55	大字南刀根山財産区費
	財産区財産の管理（大字麻田財産区）【継続】	3,950	0	0	0	55	大字麻田財産区費
	財産区財産の管理（大字箕輪財産区）【継続】	70	0	0	0	55	大字箕輪財産区費
	財産区財産の管理（大字走井財産区）【継続】	505	0	0	0	55	大字走井財産区費
	財産区財産の管理（大字桜塚大字原田財産区）【継続】	4,883	0	0	0	55	大字桜塚大字原田財産
	財産区財産の管理（大字上新田財産区）【継続】	5,341	0	0	0	55	大字上新田財産区費
	財産区財産の管理（大字長興寺財産区）【継続】	577	0	0	0	55	大字長興寺財産区費
	財産区財産の管理（大字曾根財産区）【継続】	1,084	0	0	△1	55	大字曾根財産区費
	財産区財産の管理（大字穂積財産区）【継続】	66	0	0	0	55	大字穂積財産区費
	財産区財産の管理（大字利倉財産区）【継続】	3,436	0	0	△1	55	大字利倉財産区費
	財産区財産の管理（大字上津島財産区）【継続】	20	0	0	0	55	大字上津島財産区費
	財産区財産の管理（大字野田財産区）【継続】	28	0	0	0	55	大字野田財産区費
	財産区財産の管理（大字福井大字曾根財産区）【継続】	1,284	0	0	0	55	大字福井大字曾根財産
	財産区財産の管理（大字小曾根財産区）【継続】	71	0	0	0	55	大字小曾根財産区費
	財産区財産の管理（大字福井財産区）【継続】	44	0	0	△1	55	大字福井財産区費

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	財産区財産の管理（大字山ノ上財産区）【継続】	18	0	0	0	55	大字山ノ上 財産区費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	戸籍・住民基本台帳事業	区分	継続
施策の方向性	(1)公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	301000 市民協働部・市民課		
関連部局・課	301000 市民課 302000 庄内出張所 302500 新千里出張所		

事業概要	○関係法令を遵守しながら住民票・戸籍等の管理を行うとともに、請求に基づく証明書の発行事務を適切に行います。
当該年度の実績	○戸籍届書の受理、記載及び関連する事務を行いました。 ○住民異動、外国人住民の住居地、特別永住者、住民登録等、住居表示の届出受付等を行いました。 ○住民票の写し・戸籍謄抄本・印鑑証明・その他の証明・年金現況証明等の交付を行いました。 ○コンビニエンスストアのマルチコピー機での証明書交付サービスを実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○住民票・戸籍等の管理及び証明書の発行事務を適正に行いました。 ○マイナンバーカードを利用した「引っ越しワンストップサービス」を開始しました。様々な形で市民にお知らせし、さらなる周知および利用率の向上を図ってまいります。 ○「戸籍法の一部を改正する法律」等の施行に伴う戸籍事務のマイナンバー制度参加について、システム変更作業を実施しました。今後はシステムの全国テストを経て、令和6年3月施行予定の本格運用に向けて、戸籍の広域交付等が適正に行えるように準備を行います。 ○海外からの証明書の郵送請求が増えており、手数料納付について現在の為替による納付以外の方法の導入を検討します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	戸籍届出事件数	市政年鑑	件	17,851	17,416	17,979	数値	
	考え方、定義、算出方法など	戸籍届出事件数							
2	参考	住民異動件数	市政年鑑	件	41,671	40,572	41,036	数値	
	考え方、定義、算出方法など	住民異動件数							
3	参考	証明書交付件数	市政年鑑	件	210,510	186,345	177,409	数値	
	考え方、定義、算出方法など	証明書交付件数							
4	参考	コンビニエンスストア証明書交付件数	市政年鑑	件	73,140	90,459	112,703	数値	
	考え方、定義、算出方法など	コンビニエンスストア証明書交付件数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令・計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱・計画等 <input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱・計画等	戸籍法、住民基本台帳法等
		印鑑条例、住居表示に関する条例、手数料条例、住民基本台帳カードの利用に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	211,236	人件費（参考）	137,700	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△162	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	211,774	財源内訳	国・府支出金	9,849
	決算額	210,087		地方債	0
	残額	1,687		その他特定財源	91,937
	執行歩合	99.20%		一般財源	108,301

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
戸籍事業【継続】	21,600	7,568	0	13,106	01	戸籍住民基本台帳費
住民基本台帳事業【継続】	45,319	2,281	0	41,400	01	戸籍住民基本台帳費
証明書発行事業【継続】	120,022	0	0	52,706	01	戸籍住民基本台帳費
証明書コンビニ交付事業（戸籍住民基本台帳費）【継続】	23,146	0	0	1,089	01	戸籍住民基本台帳費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	旅券発給関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	301000 市民協働部・市民課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○大阪府から権限移譲された、一般旅券の発給事務を行っています。</p> <p>○日本国籍を有し、当市に住居登録の有る方又は住民登録を有しないが当市に住居を有する方を対象に、その利便性を資するため、10年、5年（12歳未満も含む）の新規及び切替新規（更新）のほか残存有効期間同一などの旅券申請の受付と交付に関する事務を取り扱っています。</p>
当該年度の実績	<p>○公用車の維持管理について、リース元指定先の工場で定期点検を遅滞なく行い、適正に管理したほか、交通法規に従い慎重な運転を心掛けて事故の無いよう、安全運転に徹しました。</p> <p>○施設の維持管理について、包括施設管理業務を通して適正に行い、ルシオーレ内の公共施設間での協議のもと歳出等においても遅滞なく処理を行いました。</p> <p>○旅券発給事務について、今年度に開始された電子申請に関して、パイロットプロジェクトを実施した他の旅券事務所から、問題点や注意点など細部にわたり情報収集を行いました。このことで、齟齬粗漏の無いよう業務の安定化を図ることができ、また従前の紙申請との輻輳する業務の整理を行なうことができました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○コロナ禍における感染防止策などの対応の変化（閉塞感からの解放）や潜在的な海外旅行への需要の高まりから、年末から年度末にかけて申請者が一気に増加傾向となったため、今年度は5,811件の交付件数に達しました（前年度比 約194%増）。</p> <p>○今後においては、令和5年度に実施予定のクレジット収納や戸籍システムとの情報連携後の新たな電子申請への対応（種類拡充）による業務量の増加が見込まれます。このため、体制の見直し等その対応に備えます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	パスポートセンター事務取扱件数		件	3,005	1,979	5,811	数値	
	考え方、定義、算出方法など	権限移譲元の大阪府の見込みを参考に、当市の実績を踏まえて算出。							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	旅券法及び旅券法施行規則、一般旅券事務処理について（処理基準）
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府旅券法関係事務に係る事務処理の特例に関する条例、旅券事務の手引き
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市パスポートセンター設置規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	88,326	人件費（参考）	19,700	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	88,763	財源内訳の	国・府支出金	5,449
	決算額	77,257		地方債	0
	残額	11,506		その他 特定財源	68,793
	執行歩合	87.04%		一般財源	3,015

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	パスポートセンター車両管理【継続】	194	0	0	194	01	一般管理費
	パスポートセンター施設管理【継続】	5,689	2,868	0	2,821	01	一般管理費
	旅券発給事務【継続】	71,374	2,581	0	0	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	窓口関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	301000 市民協働部・市民課		
関連部局・課	301000 市民課 302000 庄内出張所 302500 新千里出張所		

事業概要	<p>○「豊中市窓口サービス基本方針」に基づき計画的に窓口サービス向上を進めます。</p> <p>○個人番号カードの交付等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○モニタリング評価、委託事業者の再選定を行いました。</p> <p>○市府民税課税証明書の交付を行いました。</p> <p>○コンビニエンスストアのマルチコピー機での証明書交付サービスを実施しました。</p> <p>○個人番号カードの交付円滑化計画に基づき、交付促進に取り組むとともに、カード交付並びに電子証明書の発行等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○モニタリング評価、委託事業者の再選定を行い、窓口サービス向上に努めました。</p> <p>○市府民税課税証明書の発行事務を適正に行いました。</p> <p>○個人番号カードの交付及び申請受付事務や暗証番号変更、他市継続利用等各種届出に伴う事務を行いました。あわせて特設会場を設置し、受託事業者と共同で個人番号カードの交付業務および申請補助業務を行いました。</p> <p>○個人番号カードの取得率が上がるにつれ、住民異動時および5年ごとの電子証明書の更新時、必然的に手続きが発生するため、非常に多くの市民が来庁される可能性があります。市民がより手続きしやすい方法を検討していく必要があり、電子証明書更新手続方法の変更についての要望を国にあげ、動向を注視していきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	個人番号カード交付件数	市政年鑑（R2年度から）	件	40,279	45,783	60,067	数値	
		考え方、定義、算出方法など	個人番号カード交付件数						
2	参考	証明書交付件数（賦課徴収費）	市政年鑑	件	24,024	22,327	24,115	数値	
		考え方、定義、算出方法など	課税証明書交付件数						
3	参考	コンビニエンスストア証明書交付件数（賦課徴収費）	市政年鑑	件	4,668	6,605	9,321	数値	
		考え方、定義、算出方法など	課税証明書のコンビニエンスストア交付件数						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	庄内出張所関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	302000 市民協働部・庄内出張所		
関連部局・課	261000 税務管理課 301000 市民課 302500 新千里出張所		

事業概要	南部地域における行政サービスの拠点施設として、住民基本台帳法及び戸籍法に基づく事務、個人番号カードに関する事務、他部局との取次業務や公金収納等を行います。
当該年度の実績	<p>○南部地域における行政サービスの拠点施設として、住民基本台帳法及び戸籍法に基づく事務、個人番号カードに関する事務、他部局との取次業務や公金収納等を行いました。</p> <p>○【新規】新たに建設される庄内コラボセンターへの移転について、令和5年2月13日の開庁を目標に、関係課と連携しながら、建物や設備に関する設計事務所との調整、事務機器などの備品の調達及び業務に必要なシステム端末の設置調整などの移転作業を行いました。</p> <p>○国のマイナンバーカード交付円滑化計画及び本市デジタル・ガバメント戦略に基づき、近隣の自治会や老人クラブ及び市主催のイベントに出向いての出張申請サポートを15回実施するとともに、電子申請専用端末を導入し、窓口での申請サポートを行いました。</p> <p>○個人番号カードの申請件数の増加に伴い、交付件数が増加したことから、窓口の混雑の緩和及び通常開庁時に来庁が困難な方への対応措置として、夜間臨時開庁を7回、休日臨時開庁を3回実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○庄内コラボセンターへの移転作業を無事終え、令和5年2月13日より、これまでと同様の市民サービスを維持しつつ、南部地域における行政サービスの拠点施設の一つとしての新たなスタートをきることができました。今後は、複合施設の1機関となったことから、同施設内の関係課との連携による、市民サービスの向上が期待できます。</p> <p>○国によるマイナンバーカード交付促進の取組や本市における窓口での申請サポートや出張申請サポートなどの取組みにより、本市が目標とする交付率60%を超え、令和5年3月末時点で66%を達成することができました。</p> <p>○個人番号カード交付件数の増加による窓口の混雑対策として実施した臨時開庁により、市民の利便性が向上し、窓口の混雑緩和につながったことから、引き続き、窓口状況に応じた対策を講じます。また、個人番号カード保有者の増加に伴い、今後、電子証明書の更新手続きなどの各種手続きの増加が想定されることから、窓口の円滑な運営体制の構築に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	住民異動件数	担当課調べ	件	5,189	4,746	4,920	数値	
	考え方、定義、算出方法など	住民異動届等に基づくシステム処理件数							
2	参考	戸籍届出件数	担当課調べ	件	1,221	1,291	1,296	数値	
	考え方、定義、算出方法など	戸籍に関する届出の受付件数							
3	参考	各種証明書発行等処理件数	担当課調べ	件	62,841	51,883	47,893	数値	
	考え方、定義、算出方法など	各種証明書発行、個人番号カード電子証明書（新規除く）発行、印鑑登録及び廃止の処理件数							
4	参考	個人番号カード交付数	担当課調べ	枚	5,291	7,405	11,196	数値	
	考え方、定義、算出方法など	個人番号カードの新規、更新及び再発行による交付枚数							
5	参考	公金収納件数	担当課調べ	件	18,473	17,434	15,554	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市税等の公金の収納件数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	住民基本台帳法、戸籍法、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	手数料条例、印鑑条例、個人番号カードの交付等に関する要綱、公共施設等総合管理計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	87,479	人件費（参考）	32,400	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△496	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	88,309	財源内訳 の	国・府支出金	14,251
	決算額	83,785		地方債	0
	残額	4,524		その他 特定財源	14,232
	執行歩合	94.88%		一般財源	55,302

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		戸籍事業【継続】	2,457	0	0	222	01
	証明書発行事業【継続】	34,834	0	0	29,290	01	戸籍住民基本台帳費
	住民基本台帳事業【継続】	17,391	0	0	12,617	01	戸籍住民基本台帳費
	庄内出張所施設管理【継続】	3,897	0	0	3,897	01	一般管理費
	庄内出張所車両管理【継続】	196	0	0	196	01	一般管理費
	庄内市民センター施設管理【完了】	0	0	0	0	01	共同利用施設費
	庄内市民センター施設運営【完了】	0	0	0	0	01	共同利用施設費
	税証明発行事業（庄内出張所）【継続】	5,121	0	0	3,442	01	賦課徴収費
	個人番号カード事業【継続】	15,542	14,251	0	1,291	01	戸籍住民基本台帳費
	庄内出張所施設運営【継続】	1,308	0	0	1,308	01	一般管理費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（庄内出張所）【新規】	3,039	0	0	3,039	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	新千里出張所関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1)公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	302500 市民協働部・新千里出張所		
関連部局・課	261000 税務管理課 301000 市民課 302000 庄内出張所		

事業概要	○北部地域における行政サービスの拠点施設として、住民基本台帳法及び戸籍法に基づく事務、個人番号カードに関する事務、他部局との取次業務や公金収納等を行います。
当該年度の実績	○北部地域における行政サービスの拠点施設として、住民基本台帳法及び戸籍法に基づく事務、個人番号カードに関する事務、他部局との取次業務や公金収納等を行いました。 ○国の「マイナンバーカード交付円滑化計画」及び本市デジタル・ガバメント戦略に基づき、商業施設において、出張申請サポートを1回実施するとともに、電子申請専用端末を使用して窓口での申請サポートを行いました。 ○個人番号カードの申請件数の増加に伴い、交付件数が増加したことから、窓口の混雑緩和及び通常開庁時に来庁が困難な方への対応措置として休日開庁を2回実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○国による個人番号カード交付促進の取り組みや本市における窓口での申請サポート、出張申請サポートなどの取り組みにより、令和5年3月末時点において、本市が目標とする交付率60%を超える66%を達成しました。 ○個人番号カード交付件数の増加による窓口の混雑対策として実施した臨時開庁により、市民の利便性が向上し、窓口の混雑緩和につながったことから、引き続き、窓口状況に応じた対策を講じます。また、個人番号カード保有者の増加に伴い、今後、電子証明書の更新手続きなどの各種手続きの増加が想定されることから、窓口の円滑な運営体制の構築に取り組みます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	住民異動届件数	担当課調べ	件	7,145	7,048	6,357	数値	
	考え方、定義、算出方法など	住民異動届等に基づくシステム処理件数							
2	参考	戸籍届出件数	担当課調べ	件	816	803	858	数値	
	考え方、定義、算出方法など	戸籍に関する届出の受付件数							
3	参考	各種証明書等発行処理件数	担当課調べ	枚	77,511	70,234	64,442	数値	
	考え方、定義、算出方法など	各種証明書発行、個人番号カード電子証明書発行(新規除く)印鑑登録及び廃止の処理件数							
4	参考	個人番号カード交付数	担当課調べ	件	9,360	9,893	12,275	数値	
	考え方、定義、算出方法など	個人番号カードの新規、更新及び再発行による交付枚数							
5	参考	公金収納件数	担当課調べ	件	3,626	3,087	2,870	数値	
	考え方、定義、算出方法など	市税等の公金の収納件数。(国民健康保険料は除く)							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	特別会計の健全化	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○道路事業の円滑で効率的な執行と適正な土地利用を図るため、将来、道路に供する用地の先行取得に取り組みます。また、公共用地先行取得事業特別会計の安定的な運営を図るため、用地の先行取得に必要な経費に対して一般会計から繰入した経費について、一般会計の土地買戻しに伴い、相当額を公共用地先行取得事業特別会計から一般会計へ繰出すものです。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○都市計画道路曾根島江線整備事業の用地買収を実施しました。 用地買収：A=618.12m² 物件補償：11件 ○一般会計から公共用地先行取得事業特別会計に繰出金を執行しました。</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○都市計画道路曾根島江線の整備工事着手に向けて用地買収を実施し、災害に強く快適なみちづくりにつながりました。 ○用地買収のため、関係権利者との交渉を円滑に進めることが重要です。 (今後の方向性) ○都市計画道路曾根島江線の整備工事着手に向けて、引き続き用地買収に取り組みます。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	参考	用地取得率（面積）	曾根島江線整備事業	%	2	0	74	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	事業実施中の都市計画道路曾根島江線に関する事業用地先行取得の面積率						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	509,500	人件費（参考）		0		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		0		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	509,500	財源内訳の	国・府支出金	0		
	決算額	305,611		地方債	305,500		
	残額	203,889		その他特定財源	0		
	執行歩合	59.98%		一般財源	111		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	公共用地先行取得事業（基盤整備課）【継続】	305,611	0	305,500	111	47	公共用地先行取得事業
	一般会計繰出金【継続】	0	0	0	0	47	他会計繰出金

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	会計管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます	総合計画掲載ページ	96
担当部局・課	460100 会計課・会計課		
関連部局・課	260100 財政課		

事業概要	<p>○支出命令書など支払帳票を審査して債権者に支払いを行い、市税や保険料等の収納金の受け入れを行います。</p> <p>○適正な支払い事務にあたり、法令等に基づき帳票の審査を行います。</p> <p>○支払準備金を確保するため資金収支見通しを立て、歳計現金や基金について安全性を確保しながら効率的な運用を行います。</p> <p>○その他、決算の調製・備品台帳の管理・所得税法に基づき、市から支払われる委員謝礼や謝礼金に係る所得税の源泉徴収と納付を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○市税や国・府からの補助金などを収入する歳入事務、また、支出命令書により正当債権者へ支払う歳出事務を行いました。</p> <p>○支出命令書等の帳票について、当該支出負担行為は法令又は予算に違反していないこと及び当該支出に係る債務が確定していることを審査しました。</p> <p>○支払準備金の確保と保管現金の安全かつ有利な運用を行いました。</p> <p>○歳入歳出決算書・事項別明細書等を作成し、市長へ提出しました。</p> <p>○備品台帳を整備するとともに不用品の売却を行いました。また備品管理アプリを導入しました。</p> <p>○市から支払われる報酬、謝礼金等に係る所得税の源泉徴収及び納付並びに源泉徴収票の作成を行いました。</p> <p>○財務会計システムの電子決裁化に向け関係課及びシステム事業者との協議・検討、課題に対する事前調整及び予算化を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○公金等の適正な収納・支出により、市民等の信頼に応えることができました。</p> <p>○法令等に準拠した公金の適正な支出を行い市民等の信頼に応えることができました。</p> <p>○市民等の貴重な財産である公金を適正に管理することができました。</p> <p>○当該年度の歳入歳出予算執行状況の結果を明確にすることにより、当該年度以降における予算執行の指針とすることができました。</p> <p>○市民等の貴重な財産でもある備品等を適正に管理することにより、市民等の信頼に応えることができました。また備品管理アプリの導入により、画像を添付できるなど効率的な管理が行えるようになりました。引き続き、次年度も費用対効果を見極めながら導入課の拡大を図ります。</p> <p>○所得税法に定められた源泉徴収義務者としての責務を果たすことができました。</p> <p>○財務会計システムの電子決裁化に向け、令和5年度中の導入準備を整えることができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	支払件数		件	856,855	703,888	687,499	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	支出命令書枚数		枚	75,430	76,747	75,176	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法第170条 地方自治法第235条の4及び第241条 所得税法第183条他
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市公金の管理に関する基本方針、豊中市公金管理基準、豊中市債権運用規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	50,882	人件費（参考）	75,265	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	671	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	51,647	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	49,700		地方債	0
	残額	1,947		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.23%		一般財源	49,700

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	決算調製事務【継続】	0	0	0	0	01	会計管理費
	出納事務【継続】	44,731	0	0	44,731	01	会計管理費
	支出命令審査業務【継続】	0	0	0	0	01	会計管理費
	所得税源泉徴収・納付事務【継続】	0	0	0	0	01	会計管理費
	備品管理業務【継続】	830	0	0	830	01	会計管理費
	備品管理支援システムの運用【継続】	321	0	0	321	01	会計管理費
	予算執行支援／金銭会計支援システムの運用【継続】	3,818	0	0	3,818	01	会計管理費
	資金管理業務【継続】	0	0	0	0	01	会計管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公共施設の有効活用	区分	継続
施策の方向性	(2) 適正な公共施設マネジメントを進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○財政負担の軽減・平準化、公共施設等の最適な配置、市民サービスの向上を実現するため、平成28年度に策定した「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の更新・統廃合・長寿命化などに取組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○公共施設等有効活用委員会を2回開催し、豊中市公共施設等総合管理計画の改訂、南部地域活性化に向けた取組み状況について専門的知見から様々な助言等を受けました。 ○公共施設等のマネジメント推進のため、公共施設等総合管理計画推進会議を2回開催し、豊中市公共施設等総合管理計画に基づいた、総合管理計画の進行管理や見直しに関して議論しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○公共施設等有効活用委員会を開催することで、公平・公正、透明性のある公共施設等の利活用方策を決定に寄与していきます。 ○公共施設等総合管理計画推進会議を開催することで、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置に繋がります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中市公共施設等有効活用委員会	担当課調査	回	4	2	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など	委員会開催数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		執行機関の付属機関に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	272	人件費（参考）	14,580	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	272	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	130		地方債	0
	残額	142		その他 特定財源	0
	執行歩合	47.79%		一般財源	130

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	豊中市公共施設等有効活用委員会【 継続】	86	0	0	86	01	企画費	
	公共施設等総合管理計画の推進【 継続】	44	0	0	44	01	企画費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市有施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 適正な公共施設マネジメントを進めます	総合計画掲載ページ	97
担当部局・課	263000 財務部・施設課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市有施設の耐震化を計画的に促進するため、市有施設の耐震化や非構造部材の耐震化を行います。</p> <p>○各部局から依頼を受け、市有施設の工事や修繕を行います。</p> <p>○建設事業をDB（デザインビルド）やPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）などで実施する場合の事業者を選定する調査審議の事務を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○特定天井の耐震化を計画的に実施しました。</p> <p>○小中学校の開放型渡り廊下および外階段の耐震化を計画的に実施しました。</p> <p>○市有施設について各部局から依頼を受けた工事や修繕を行うとともに、設計図面等のデータを整理活用し、施設の安全確保や健全化を図りました。</p> <p>○（仮称）原田緩衝緑地整備・管理運営事業の事業者選定委員会を開催しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○各市有施設の耐震化や改修工事を行うことにより、施設の安全確保や健全化を図ることができました。</p> <p>○特定天井、小中学校の開放型渡り廊下および外階段の耐震化を計画的に実施します。</p> <p>○市有施設の工事や修繕については、コスト意識に加え、環境にも配慮しながら設計・積算を行います。</p> <p>○最適な市建築物の整備を図るため、豊中市公民連携手法による公共施設整備等事業者選定委員会に諮問します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市有施設耐震化の周知回数	担当課調査	回	1			数値	1
	考え方、定義、算出方法など							年	2020
2	目標	耐震化率	担当課調査	%	1			数値	100
	考え方、定義、算出方法など							年	2020
3	目標	非構造部材（特定天井）耐震化設計	担当課調査	個所	1	1	2	数値	8
	考え方、定義、算出方法など							年	2025
4	目標	非構造部材（特定天井）耐震化施工	担当課調査	個所		3	1	数値	8
	考え方、定義、算出方法など							年	2026
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	魅力創造・発信の企画調整事業	区分	拡充
施策の方向性	(3) 都市の価値の創造と魅力の発信を進めます	総合計画掲載ページ	98
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課	211000 スポーツ振興課 211500 空港課 212000 産業振興課 601300 社会教育課		

事業概要	<p>○豊中ブランド戦略に基づき、「『暮らしの舞台』として豊中が選ばれる」ことを目標に、様々な人がつながり、新たな視点が生まれるきっかけとなる出会いや交流、学びの機会の充実を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○ストリートピアノプロジェクトとして、親善大使の西村由紀江さんコンサートを3回実施しました。また、親善大使のアトリエヤマダ・山田龍太さんを講師に子どもたちがアートに触れる機会として段ボール装飾を制作しました。また、ストリートピアノ（緑）の巡回先である大阪モノレール大阪空港駅において、ユーザーや本市にゆかりのある著名人等によるミニコンサートを毎月1回実施しました。さらに、巡回しているストリートピアノ（宙）を市民団体等に2件貸出し、イベントの実施を支援しました。</p> <p>○【拡充】南部地域で開催しているサウンドステーションと共催し、ピアノ等のコンサートを3回実施しました。</p> <p>○【拡充】市公式インスタグラムを運用・管理するとともに市の魅力等を141件発信しました。また、市内等のイベントにPRブースを8回出店し、フォロワー数が約1,377人増加しました。</p> <p>○とよなか創造界隈・アートプロジェクト、きむらとしろうじんじん「野点」の実施に関り、まちあるきを6回、本番を2回実施しました。</p> <p>○阪急沿線観光あるき事業の開催に関り、本市のPRを阪急大阪梅田駅で実施するとともにまちあるきを4回開催しました。</p> <p>○文化芸術創造都市の推進を図るため、豊中の魅力に訪ねる感動体験として、子どもと大人のクリエイティブガーデンを9回実施しました。</p> <p>○豊中市キャラクターマチカネくんのイラスト使用を適正に管理しました。</p> <p>○【拡充】市PR冊子を更新するとともにブランドデザインマニュアルを作成しました。</p> <p>○市ホームページ内の魅力発信サイトの構成を見直しました。</p> <p>○豊中市まちづくりにぎわい事業助成金は、13団体の事業を支援しました。また、豊中市魅力アップ助成金は、6団体の事業を支援しました（クラウドファンディング1団体含む）。</p> <p>○豊中ブランド戦略の進行管理や次期計画の策定に向けた考え方の整理など、豊中ブランド戦略審議会を2回開催しました。また、豊中市魅力アップ助成金の審査を行う部会を1回開催</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○豊中ストリートピアノプロジェクトでは、ストリートピアノの巡回や地域団体へ貸し出しを行ったことで、より多くの市民へ「音楽あふれるまち」のイメージアップにつながりました。引き続き、音楽やアートなどのイベントを実施します。</p> <p>○市公式インスタグラムでは、市内外のイベントでインスタグラムのPRブースを出店したことに関係人口・交流人口の増加に寄与できました。引き続き、フォロワー数増に向けて、市内外のさまざまなイベントへPRブースを出店するとともに豊中の魅力を発信します。</p> <p>○「野点」は、10年間続けてきた人気の高い事業であり、市民と一体となって作り上げていくイベントであることから、引き続き、きむらとしろうじんじん「野点」を開催します。</p> <p>○「豊中市魅力アップ助成金」では、市民団体主催事業を支援したことで、本市の魅力創造やにぎわいづくりにつながりました。引き続き、本市の魅力の創造・向上及び発信に関する事業を支援します。</p> <p>○豊中市キャラクターを活用することで、市民等が市や市域への関心・興味の向上を図ることができた。引き続き、豊中市キャラクターを活用するとともに、本市をPRするためのグッズ制作やブランドデザインの運営・管理を行います。</p> <p>○大阪・関西万博の機運醸成に向けた取組みを実施します。</p> <p>○豊中ブランド戦略審議会や部会を開催することで、市域の魅力を再認識するとともに新たな魅力創出に向けた検討が図れました。また、第2期豊中ブランド戦略の進行管理及び総括を行うとともに（仮称）第3期豊中ブランド戦略を策定します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	豊中に住み続けたいと感じる市民の割合	豊中市市民意識調査	%	-			数値	85.0
	考え方、定義、算出方法など	豊中ブランド戦略における全体を図る指標							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	被災地復興支援事業	区分	継続
施策の方向性	(4) 多角的な連携に取り組みます	総合計画掲載ページ	98
担当部局・課	030100 危機管理課・危機管理課		
関連部局・課			

事業概要	○被災地からの要請に基づき復興支援のため、職員の派遣や物資・資機材の提供等を行います。
当該年度の実績	○市内へ避難している方に対して被災自治体からの情報提供を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○引続き、市内へ避難している方に対して被災自治体からの情報提供を行います。 ○被災地からの要請があった際、職員の派遣や物資・資器材の提供等を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被災地派遣職員数	担当課調査	人	1	1	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	災害救助法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	13	人件費 (参考)	810	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	13	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	4		地方債	0
	残額	9		その他 特定財源	0
	執行歩合	30.77%		一般財源	4

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		東日本大震災復興支援事業【継続】		4	0	0	4	01
	被災地復興支援事業【継続】		0	0	0	0	01	災害対策費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市間連携事業	区分	継続
施策の方向性	(4) 多角的な連携に取り組みます	総合計画掲載ページ	98
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地方分権推進のため、国・府からの権限移譲に関する調整を進めるとともに、各自治体共通の課題について、国・府や自治体間で連携しながら協議・調査研究を行うことによりその解決を図り、効果的・効率的な行政運営を行います。</p> <p>○構成各市間の連絡調整を図り、自治体間の連携・交流の活性化をめざします。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○各自治体共通の課題について、関係する自治体との協議や連絡調整等を行い、国や府への提言及び要望等を行いました。</p> <p>○NATS（西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市）の枠組みで地球温暖化対策の自治体間連携広域事業を実施しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各自治体共通の課題解決に向けた取組みを行うことで、より効率的な行政運営につなげます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	中核市市長会	担当課調査	回	3	3	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など	会参加数						
2	参考	豊能地区市長・町長連絡会議	担当課調査	回	1	1	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など	会議参加数						
3	参考	北摂市長会	担当課調査	回	2	2	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など	会参加数						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	大阪府豊能地区教職員人事協議会事務	区分	継続
施策の方向性	(4) 多角的な連携に取り組みます	総合計画掲載ページ	98
担当部局・課	603300 教育委員会・教職員課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊能地区3市2町（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）の教育活動の推進のため、府費負担教職員の採用選考及び管理職等にかかる選考、初任者研修、給与算定などに関する事務やそれら関わる連絡調整を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○6月の一次筆頭試験を皮切りに9月の二次面接まで採用選考テストを実施し、小学校2.8倍、中学校4.9倍の倍率となりました。</p> <p>○令和5年度正規教員採用数は、小学校59名・中学校30名と退職者と比べ大幅な採用を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○今後は加配の定数化にも対応した採用人数の見直しを図ります。また、管理職への推薦など人事の活性化を進めることで、採用においても持続的な募集を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	教員採用選考テスト合格倍率	豊能地区人事協議会HP	倍	4.2	4.8	3.7	数値	4.5
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	



リーディングプロジェクト
南部地域活性化プロジェクト



リーディングプロジェクト

南部地域が抱える緊急的な課題を乗り越え、もてる力を活かした魅力あふれるまちへと発展していくことをめざします。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

南部地域活性化プロジェクト	1事業
南部地域活性化構想の推進	都市経営部 創造改革課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	南部地域活性化構想の推進	区分	継続
施策の方向性	南部地域活性化プロジェクト	総合計画掲載ページ	100
担当部局・課	201500 都市経営部・創造改革課		
関連部局・課	210000 都市活力部 260000 財務部 300000 市民協働部 330000 福祉部 360000 こども未来部 400000 都市計画推進部 430000 都市基盤部 600000 教育委員会		

事業概要	<p>○人口減少や少子化など、南部地域の抱える課題の解決に向けて、南部地域活性化構想を推進します。</p>
当該年度の実績	<p>○庄内さくら学園開校に向けて、予定通り学校の整備が完了しました。また、演劇ワークショップやミュージカルワークショップなど特色ある教育カリキュラムのモデル事業を実施しました。</p> <p>○令和5年2月に南部地域の新たな拠点となる庄内コラボセンターが予定通り開設しました。</p> <p>○南部地域活性化に向けて、まち全体を学びの場として捉え、音楽、スポーツ、食、ものづくりの4つの要素を子どもや大人が体験する「まちごと暮らスクール」事業を庄内さくら学園校区の児童・生徒に向けて開催しました。</p> <p>○さくら学園エリアの学校跡地に関する個別活用計画に基づき、さくら学園中学校、野田小学校、島田小学校について民間活用による施設整備を行うこととし、地域利用に対する激減緩和措置として、令和5年度以降段階的利活用することを決定しました。</p> <p>○グリーンスポーツセンターでのスポーツ体験「スケートパーク」や庄内駅前での街角音楽ライブ「庄内ストリートミュージック」を開催し、南部地域活性化に資する社会実験事業を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○特色ある教育カリキュラムのモデル事業により、魅力ある学校づくりに寄与しました。</p> <p>○「まちごと暮らスクール」事業を開催することで、地域の魅力向上につながりました。</p> <p>○スポーツ体験や街角音楽ライブの社会実験事業に携わった人たちが実行委員会形式で街角音楽ライブを開始するなど、継続した取組みにつながりました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	全年少人口に対する南部地域の年少人口の割合	担当課調査	%	9.9	9.8	9.9	数値	11
	考え方、定義、算出方法など	市民課データより作成							
2	目標	子育てがしやすいと思う人の割合(南部地域)	市民意識調査	%		37.7		数値	35.5
	考え方、定義、算出方法など	市民意識調査							
3	目標	防災や防犯、交通安全への対策が充実していると思う人の割合	市民意識調査	%		55.2		数値	47
	考え方、定義、算出方法など	市民意識調査							
4	目標	まちに愛着があるから南部地域に住み続けたいと思う人の割合	市民意識調査	%		24.1		数値	30
	考え方、定義、算出方法など	市民意識調査							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

